

院内感染対策サーベイランス事業年報・季報（案）

1. 検査部門サーベイランス
季報（平成18年10－12月）
年報（平成18年）

2. 集中治療部門（ICU）サーベイランス
季報（平成18年7－9月）

3. 全入院患者サーベイランス
季報（平成18年10－12月）
年報（平成18年）

4. 新生児集中治療部門（NICU）サーベイランス
季報（平成18年1－6月）
（平成18年7－12月）
年報（平成18年）

5. 外科手術部位感染部門（SSI）サーベイランス
季報（平成18年1－6月）
（平成18年7－12月）
年報（平成18年）

概要 (2006年10・11・12月分)

本サーベイランスは、参加医療機関において血液および髄液から分離された各種細菌の検出状況や薬剤感受性パターンの動向を把握するとともに、新たな耐性菌の早期検出等を目的とする。これらのデータを経時的に解析し臨床の現場に還元することによって、抗菌薬の安全で有効な使用方法や院内感染制御における具体的かつ確実な情報を提供する。

【検 体】

| | 2006年 4～6月 | 2006年 7～9月 | 2006年 10～12月 |
|-------|---------------|---------------|-----------------|
| 総検体数 | 66,110 | 70,292 | 69,976 |
| 血液検体数 | 60,692(200) | 64,026(203) | 65,164(201) |
| 髄液検体数 | 5,418(168) | 6,266(173) | 4,812(170) |

() 内は施設数

2006年10～12月の間に全国の医療機関より報告された検体数は総数69,976件(血液65,164件(201施設)、髄液4,812件(170施設))であった。

検体から菌が分離された頻度(検体陽性率)は11.8%(血液検体で12.2%、髄液検体で5.1%)であった。

【分離頻度】

血液検体総数に対する主要分離菌の頻度では、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(2.81%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(2.04%)、大腸菌(*E. coli*)(1.55%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(1.35%)、肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)(0.60%)、緑膿菌(*P. aeruginosa*)(0.53%)、腸球菌(*E. faecalis*)(0.48%)、*S. pyogenes*、*S. agalactiae*、*S. pneumoniae*を除く *Streptococcus* spp.(0.45%)、*C. albicans*以外のカンジダ属(0.42%)、*Bacillus* spp.(0.39%)が上位を占め、第1～5位までの菌種は前回(2006年7～9月)と全く同様であった。

髄液検体総数に対する主要分離菌の頻度では、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(0.89%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(0.87%)、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(0.71%)、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(0.69%)、インフルエンザ菌(*H. influenzae*)(0.52%)が上位を占めていた。

血液から分離された菌株総数に対する主要分離菌の頻度では、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(20%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(14%)、大腸菌(*E. coli*)(11%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(10%)、肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)(5%)、緑膿菌(*P. aeruginosa*)(4%)、腸球菌(*E. faecalis*)(3%)、*S. pyogenes*、*S. agalactiae*、*S. pneumoniae*を除く *Streptococcus* spp.(3%)、*C. albicans*以外のカンジダ属(3%)、*Bacillus* spp.(3%)が上位を占め、第1～4位までの菌種は前回(2006年7～9月)と全く同様であった。

髄液から分離された菌株総数に対する主要分離菌の頻度は、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(16%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(15%)、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(12%)、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(12%)、インフルエンザ菌(*H. influenzae*)(10%)であった。

年齢階層別では血液分離株の場合、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(4歳以下30.3%、50歳以上54.2%)、*S. agalactiae*(4歳以下21.9%、50歳以上64.1%)において二峰性の傾向がみられた。*H. influenzae*では76.3%が4歳以下の小児より分離されていた。髄液分離株の場合では、*H. influenzae*において77.7%が4歳以下の小児より分離されていた。

【薬剤感受性】

(“微量液体希釈法(MICで報告されているもの)” のみ対象とした。血液分離株と髄液分離株の合計について概説した。)

黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)のMRSAの割合はオキサシリン(MPIPC)の成績で判断する限り、65%(血液分離株で65%、髄液分離株で85%)で、全体では従来の成績と同じであった。

黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)のバンコマイシン(VCM)、テイコブラニン(TEIC)に対する耐性頻度の調査では全ての株がそれぞれの抗菌薬に対して「感性」と判定された。表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)では2株、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)では3株を除く全ての株がVCMに対して「感性」と判定されていた。TEICに対しては表皮ブドウ球菌の4%(I:3%、R:1%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラゼ陰性ブドウ球菌(CNS)の3%(I:2%、R:1%)が耐性株であった。

腸球菌に関しては2006年1～3月の成績とほとんど同様で*E. faecalis*の99%がアンピシリン(ABPC)に感性であった。VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)は*E. faecalis*において1株のみみられたが、*E. faecium*では全ての株が「感性」と判定されていた。TEICに対しては*E. faecalis*、*E. faecium*の全ての株が「感性」と判定された。

肺炎球菌(*S. pneumoniae*)におけるペニシリン耐性株の割合は44%(PISP30%、PRSP14%)であった。

インフルエンザ菌(*H. influenzae*)におけるABPC耐性株の割合は54%(I:14%、R:40%)であった。なお、ABPC耐性インフルエンザ菌の原因としては、ラクタマーゼ産生株とBLNAR菌が良く知られているが、今回のサーベイランスでは明らかにできなかった。

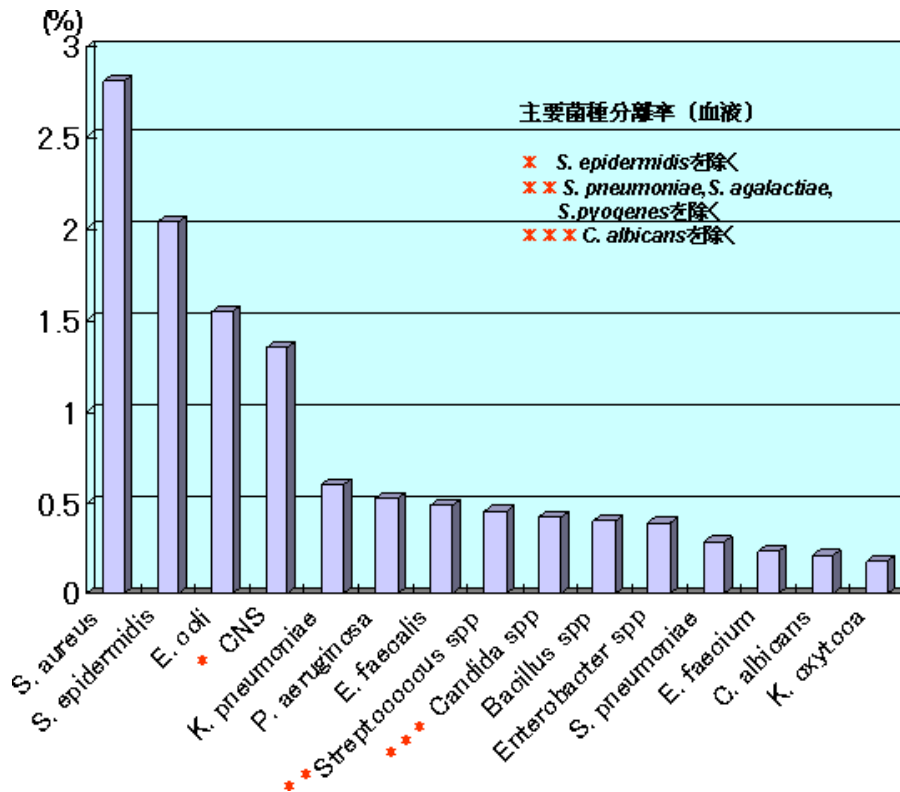
大腸菌(*E. coli*)や肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)では近年第三代セフェム系抗菌薬に耐性を示すESBL産生菌が院内感染の原因菌として注目されてきている。今回の調査における第三代セフェム系抗菌薬耐性株の割合は、大腸菌(*E. coli*)でセフトキシム(CTX)耐性株6%、セフトジジム(CAZ)耐性株2%、セフトドキシム(CPDX-PR)耐性株17%、肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)でCTX耐性株2%、CAZ耐性株1%、CPDX-PR耐性株2%であった。

緑膿菌では多剤耐性菌の動向に注意を払う必要がある。中でもカルバペネム系抗菌薬に耐性を示すメタロラクタマーゼ産生菌は今後広まることが危惧されている。今回の調査では緑膿菌(*P. aeruginosa*)のイミペネム(IPM)耐性株の割合は23%であった。また、メタロラクタマーゼ産生菌はセラチア・マルセッセンス(*S. marcescens*)にもみられているが、今回の調査では、セラチア・マルセッセンスにおけるIPM耐性株はみられなかった。IPM耐性緑膿菌の中にどのくらいの頻度でメタロラクタマーゼ産生菌が存在するのかは本サーベイランスでは明らかにできなかった。

表. 血液から分離された菌における汚染菌の頻度

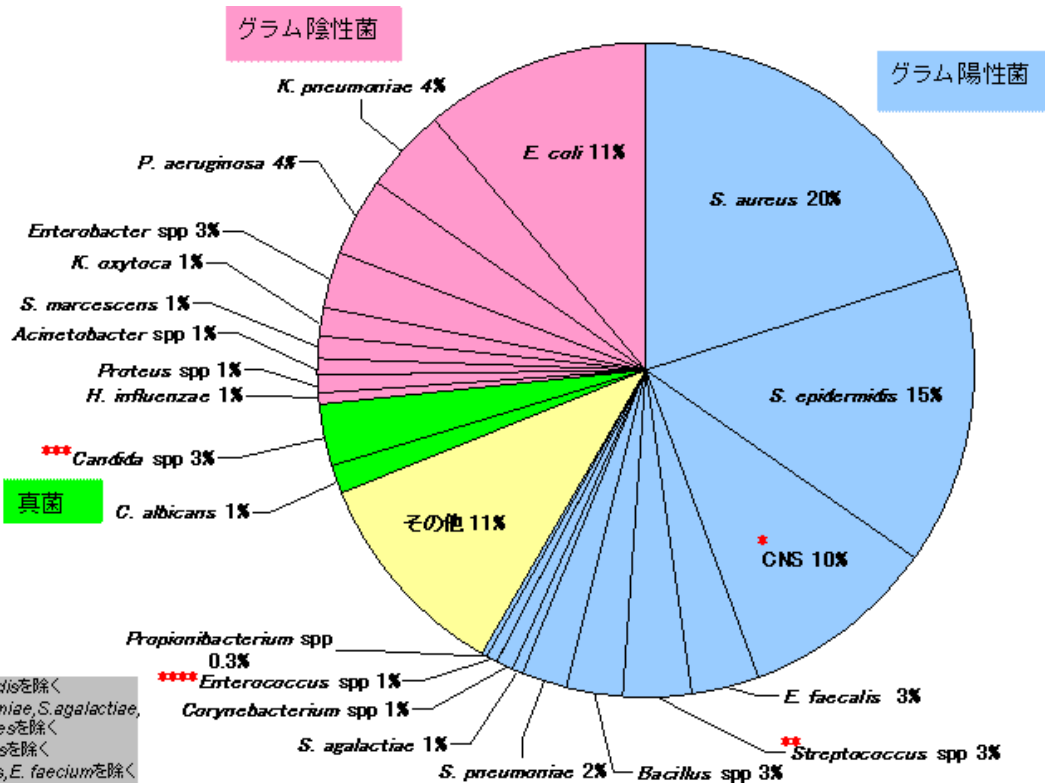
| 菌名 | 汚染菌の頻度 |
|---|---------------|
| <i>Propionibacterium</i> spp. | 99.0 ~ 100.0% |
| <i>Bacillus</i> spp. | 91.7 ~ 94.7% |
| <i>Corynebacterium</i> spp. | 79.0 ~ 96.2 % |
| Coagulase-negative staphylococci | 58.0 ~ 94.0% |
| <i>Clostridium perfringens</i> | 50.0 ~ 76.9% |
| Viridans streptococci | 23.8 ~ 49.3 % |
| <i>Clostridium</i> spp. | 20.0 ~ 33.0% |
| <i>Enterococcus</i> spp. | 1.8 ~ 16.1% |
| <i>Staphylococcus aureus</i> | 1.7 ~ 25.0% |
| Group B streptococci | 0 ~ 20.0% |
| <i>Lactobacillus</i> spp. | 0 ~ 18.2% |
| <i>Enterobacter</i> spp. | 0 ~ 15.0% |
| <i>Candida</i> spp. | 0 ~ 11.8 % |
| <i>Hemophilus influenzae</i> | 0 ~ 7.1% |
| <i>Serratia marcescens</i> | 0 ~ 7.0% |
| <i>Acinetobacter</i> spp. | 0 ~ 6.7% |
| Group A streptococci | 0 ~ 5.0% |
| <i>Escherichia coli</i> | 0 ~ 2.0% |
| <i>Pseudomonas aeruginosa</i> | 0 ~ 1.8% |
| <i>Bacteroides</i> spp. | 0% |
| <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> | 0% |
| <i>Proteus</i> spp. | 0% |
| <i>Klebsiella</i> spp. | 0% |
| <i>Listeria monocytogenes</i> | 0% |
| <i>Streptococcus pneumoniae</i> | 0% |
| Clin Infect Dis 1997;24:584-602 Rev Infect Dis 1991;13:34-46 Rev Infect Dis 1988;203-210 Rev Infect Dis 1983;35-53 | |

図1. 主要菌種分離率(分離件数/総検体数)、総検体数=65,164 血液



(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータは集計から除外してあります。
 (注) グラフには分離件数の多い方から上位15菌種のみ掲載しています。

図2. 主要菌種分離頻度([分離件数/総分離菌数] X100) 血液



総分離菌数: 9,287件

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

図3-1. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性球菌 血液

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

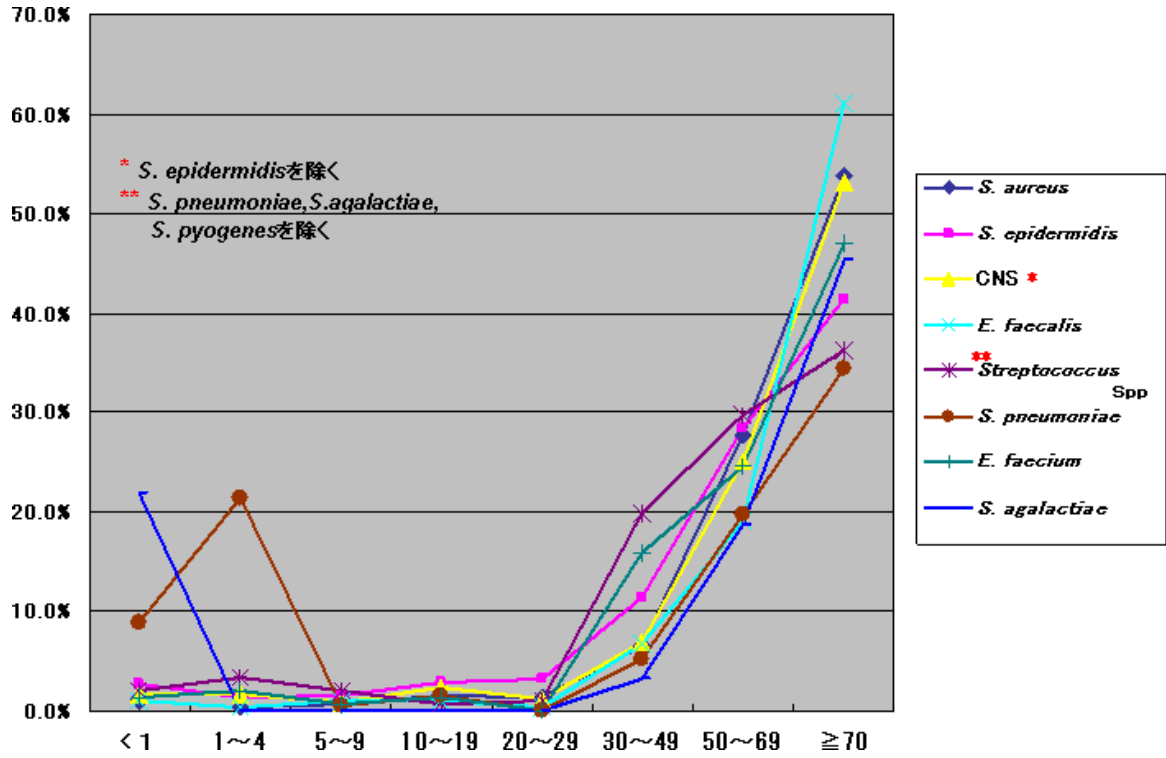


図3-2. 主要菌種別年齢分布 グラム陰性桿菌 血液

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

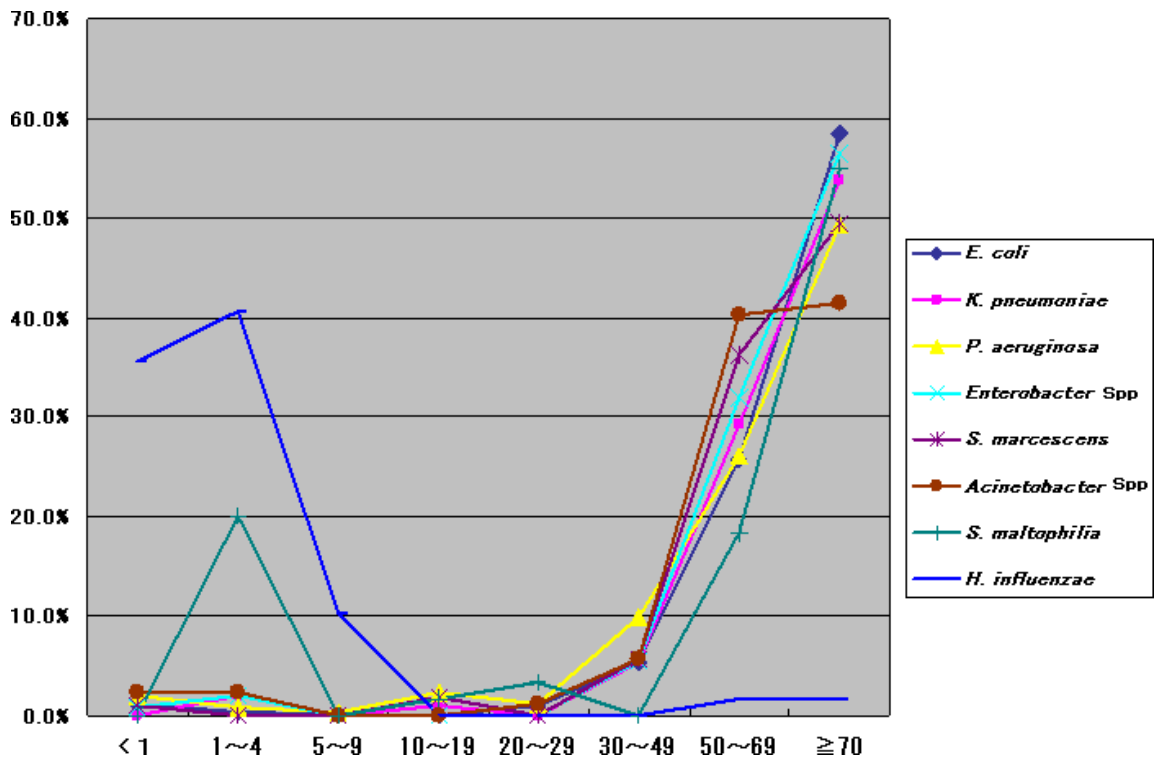


図3-3. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性桿菌/真菌 血液

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

(注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

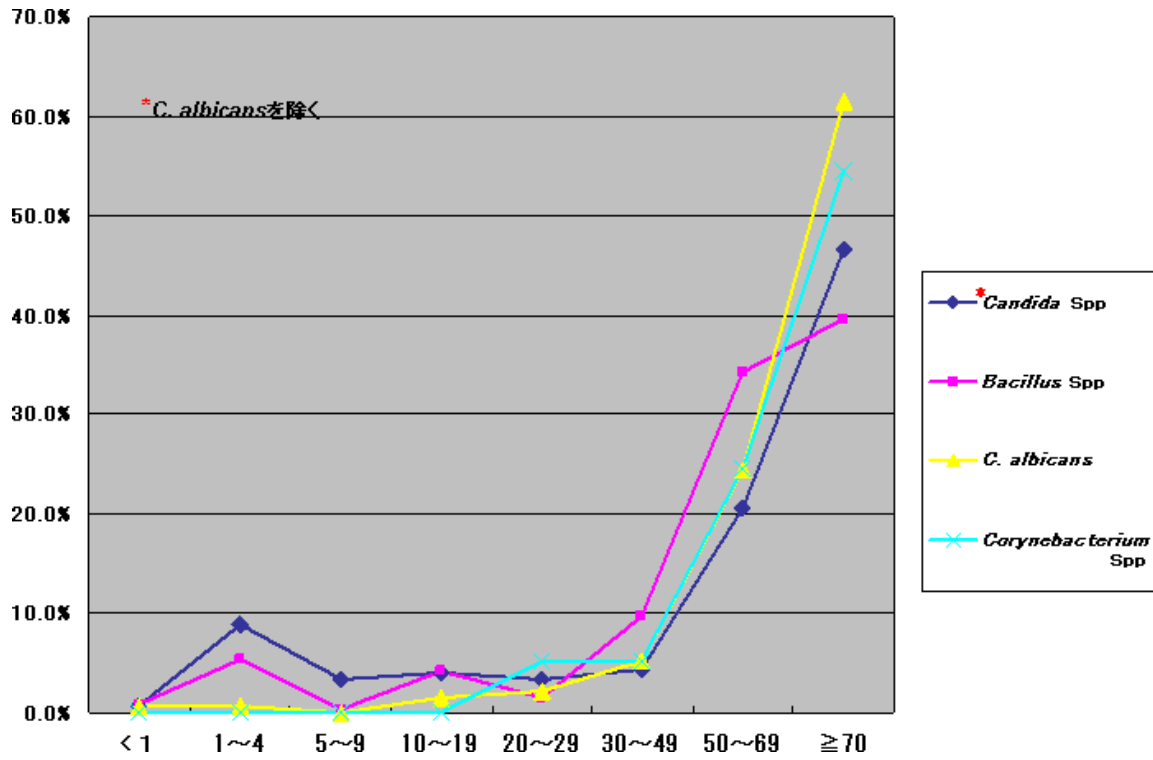
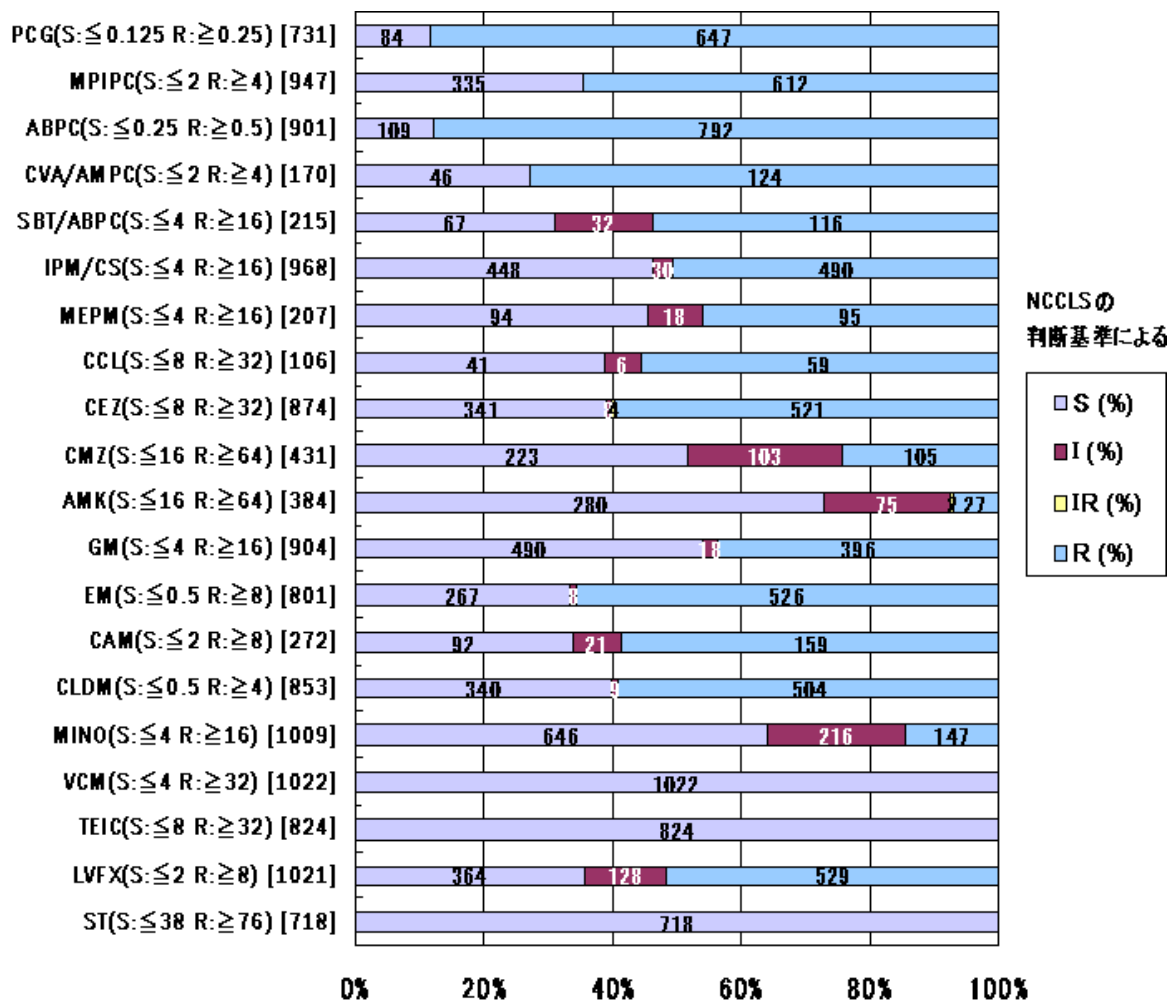


図4-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* **血液**

- (注) 感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
- (注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
- (注) グラフのバーには株数が表示されています。
- (注) "S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
- (注) 株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。

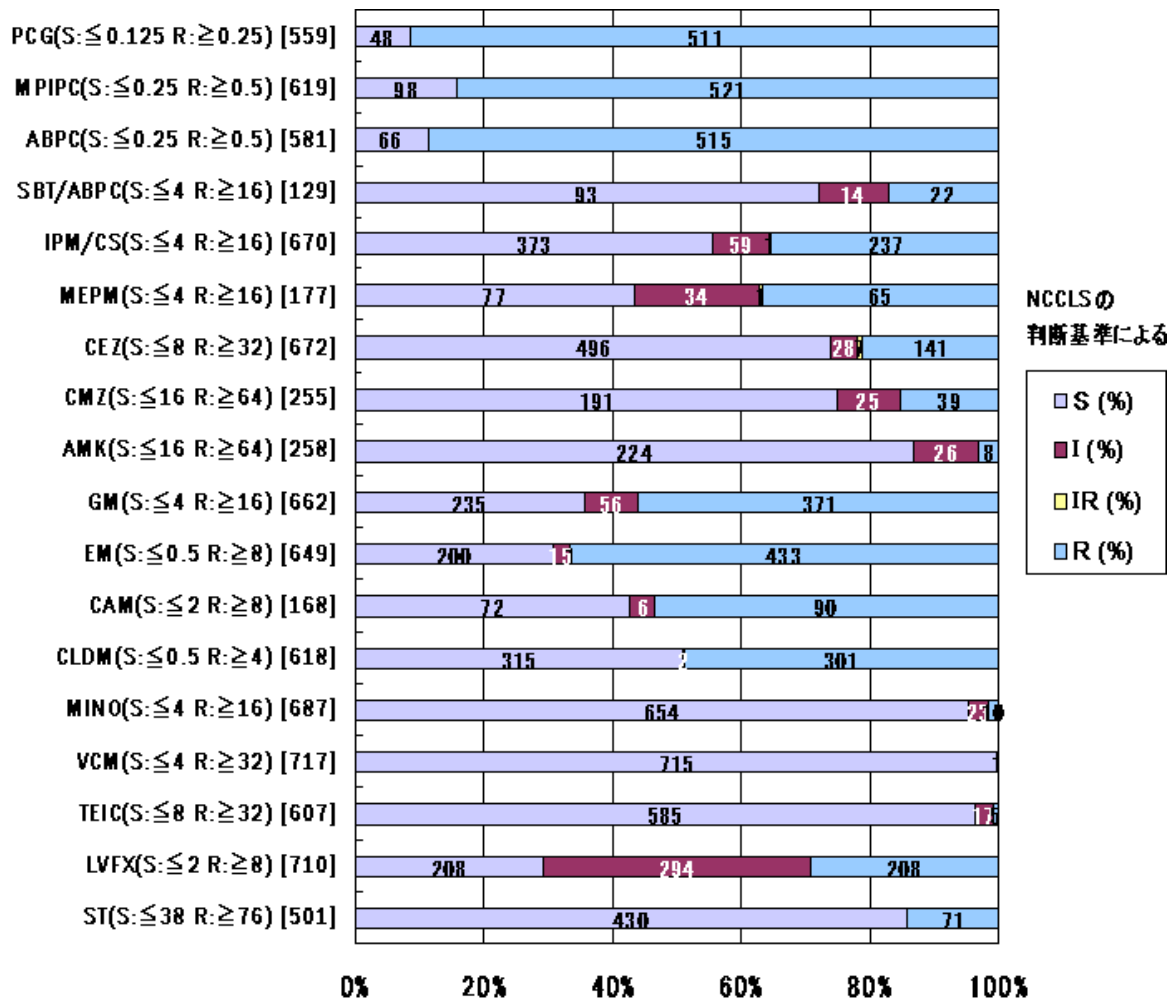


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) [NCCLSの判断基準](#)について

- ・MSSAとMRSAが含まれています。
- ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。
- ・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidermidis* 血液

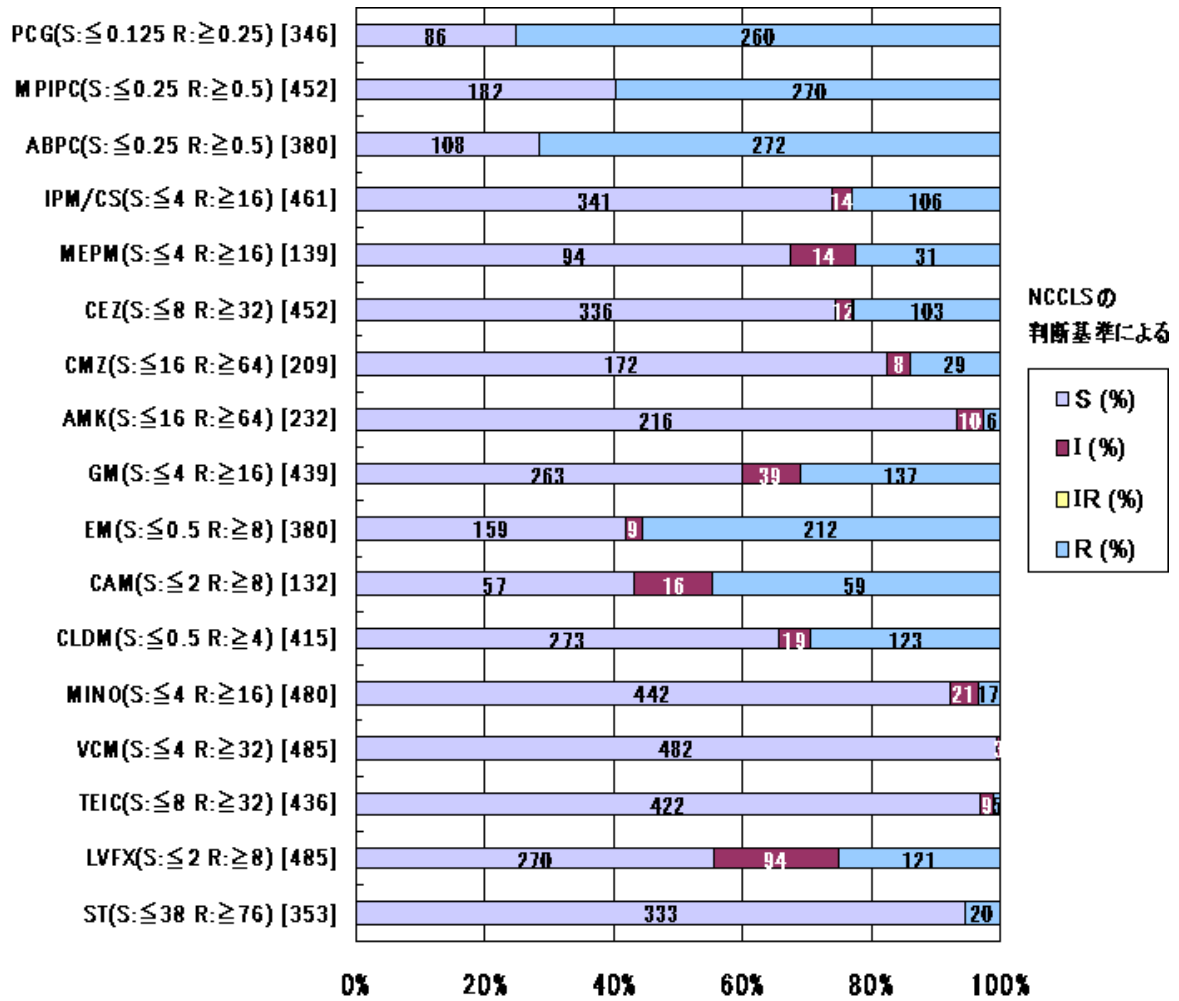


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) 血液

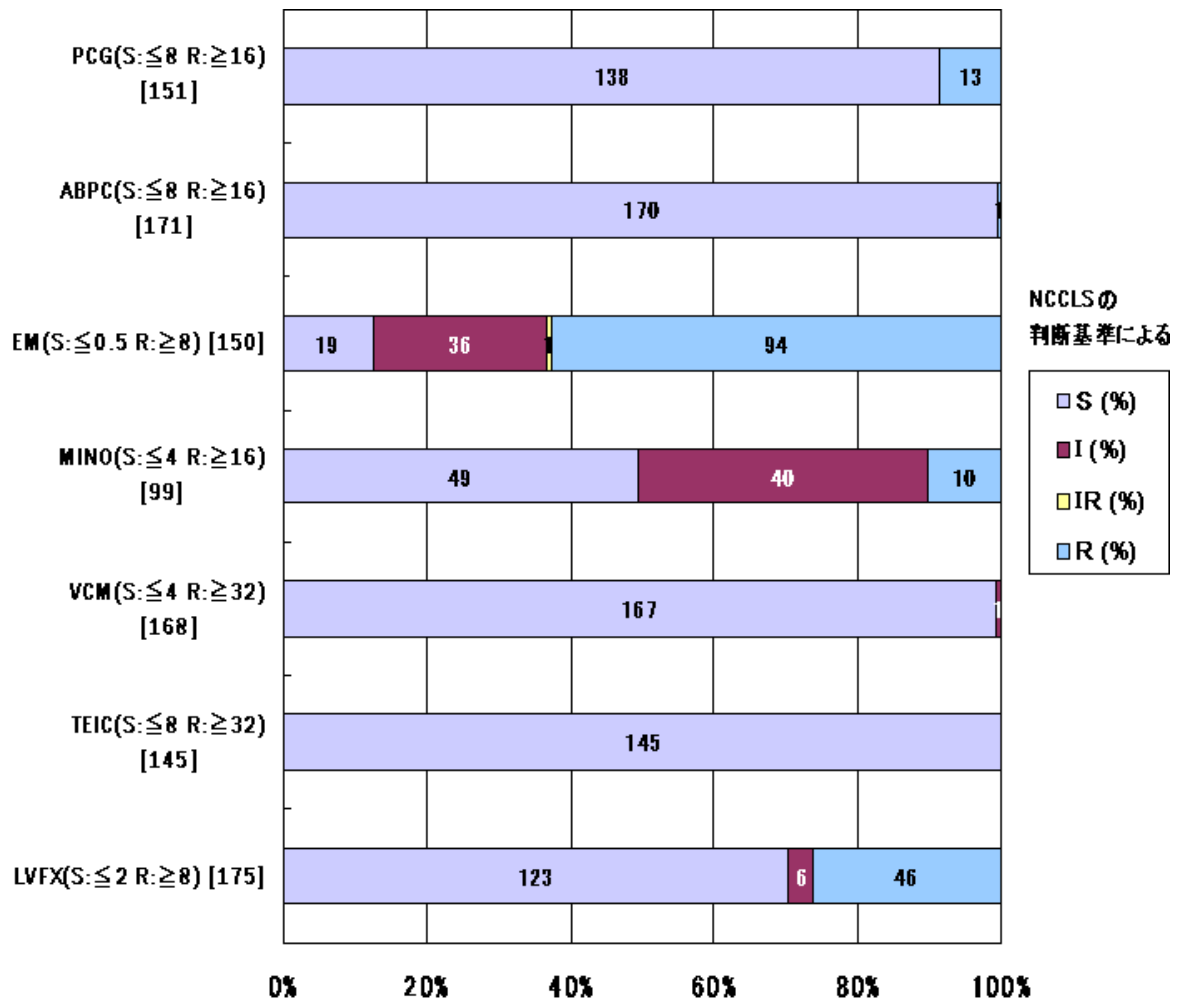


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-4. 主要菌別耐性頻度 *E. faecalis* 血液

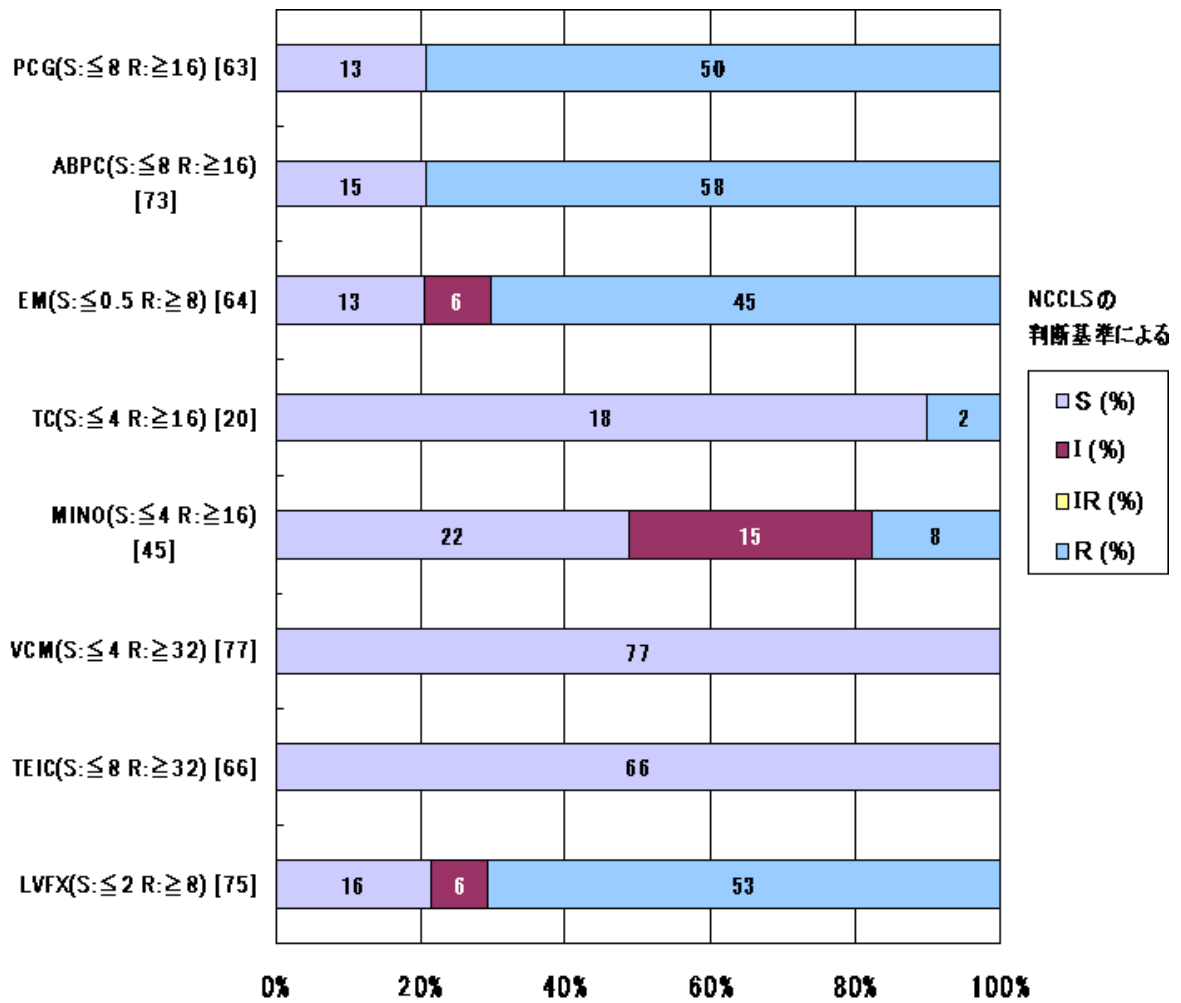


60株以上検査した薬剤について掲載

(注) [NCCLS の判断基準](#)について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-5. 主要菌別耐性頻度 *E. faecium* 血液

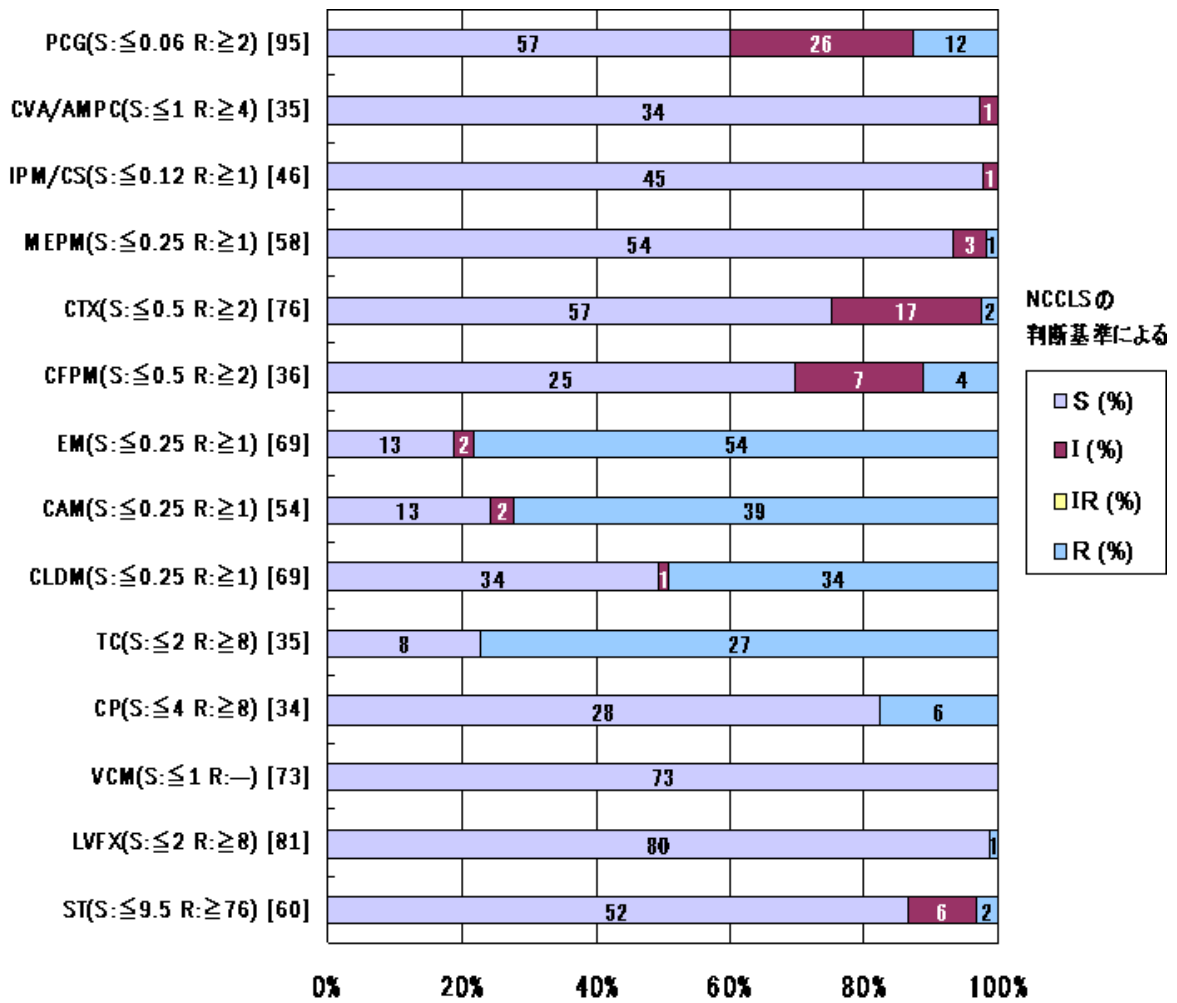


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-6. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 血液

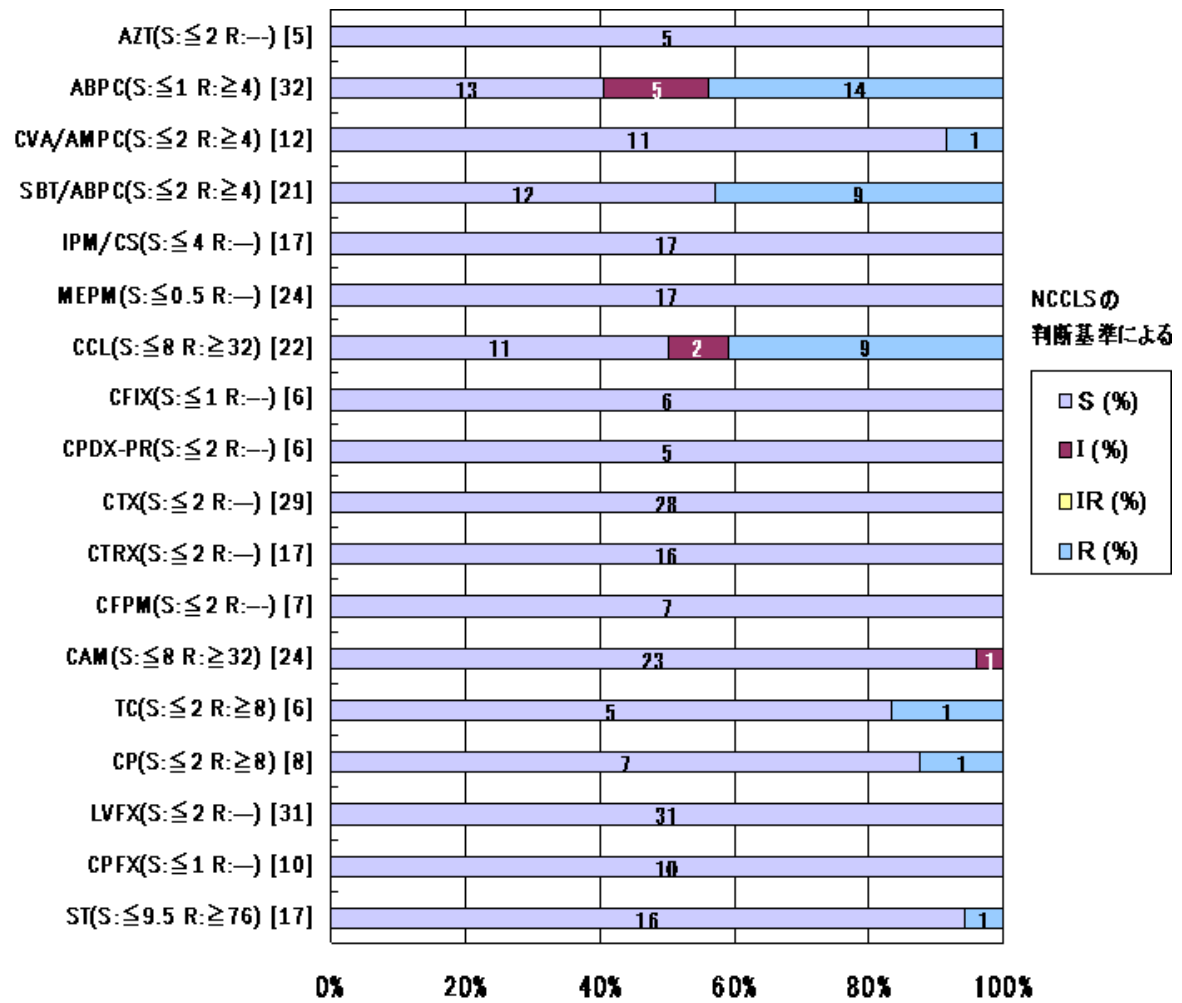


30株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

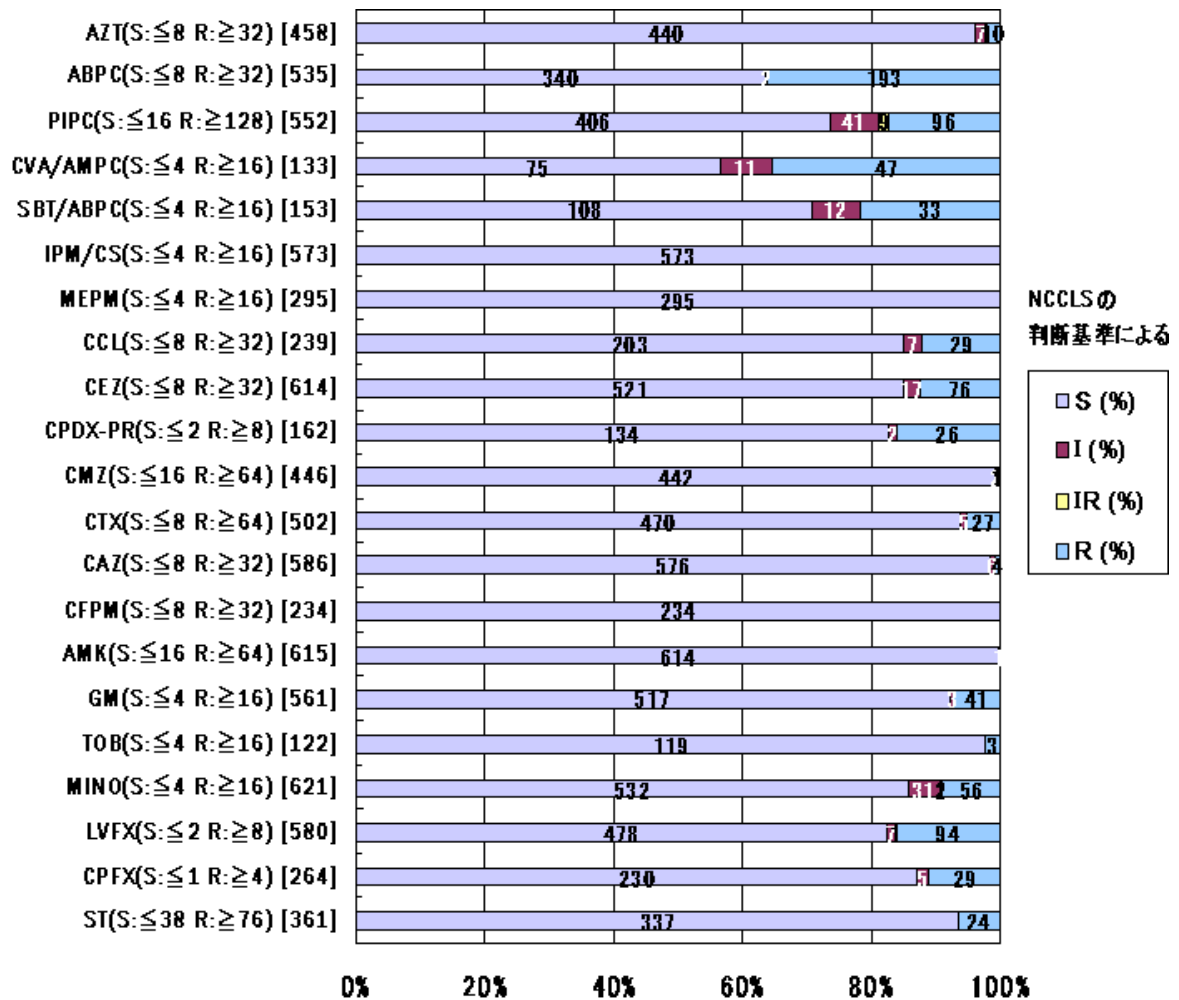
・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-7. 主要菌別耐性頻度 *H. Influenzae* 血液



5株以上検査した薬剤について掲載

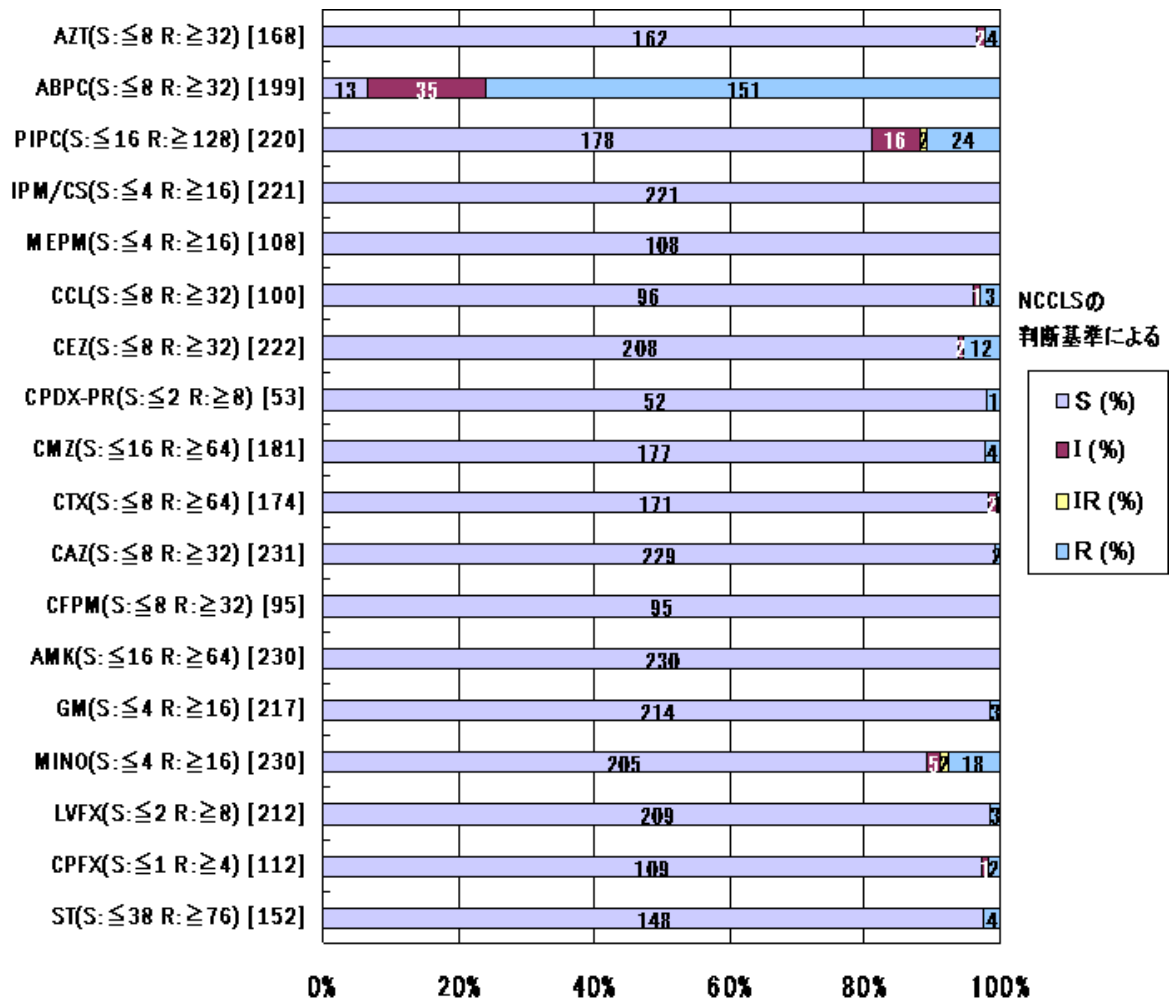
(注) [NCCLSの判断基準](#)について

図4-8. 主要菌別耐性頻度 *E. coli* 血液

100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

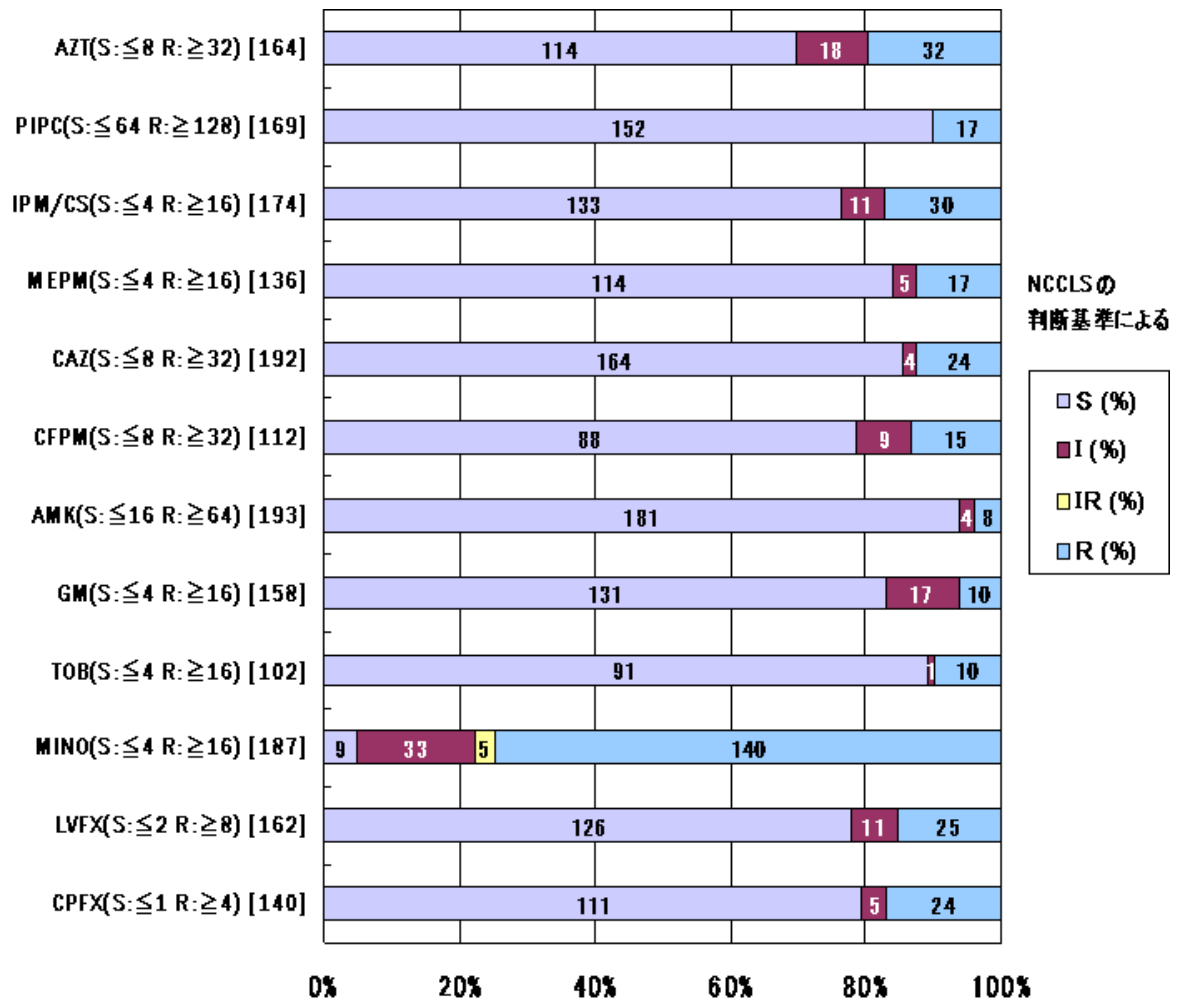
図4-9. 主要菌別耐性頻度 *K. pneumoniae* 血液

50株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

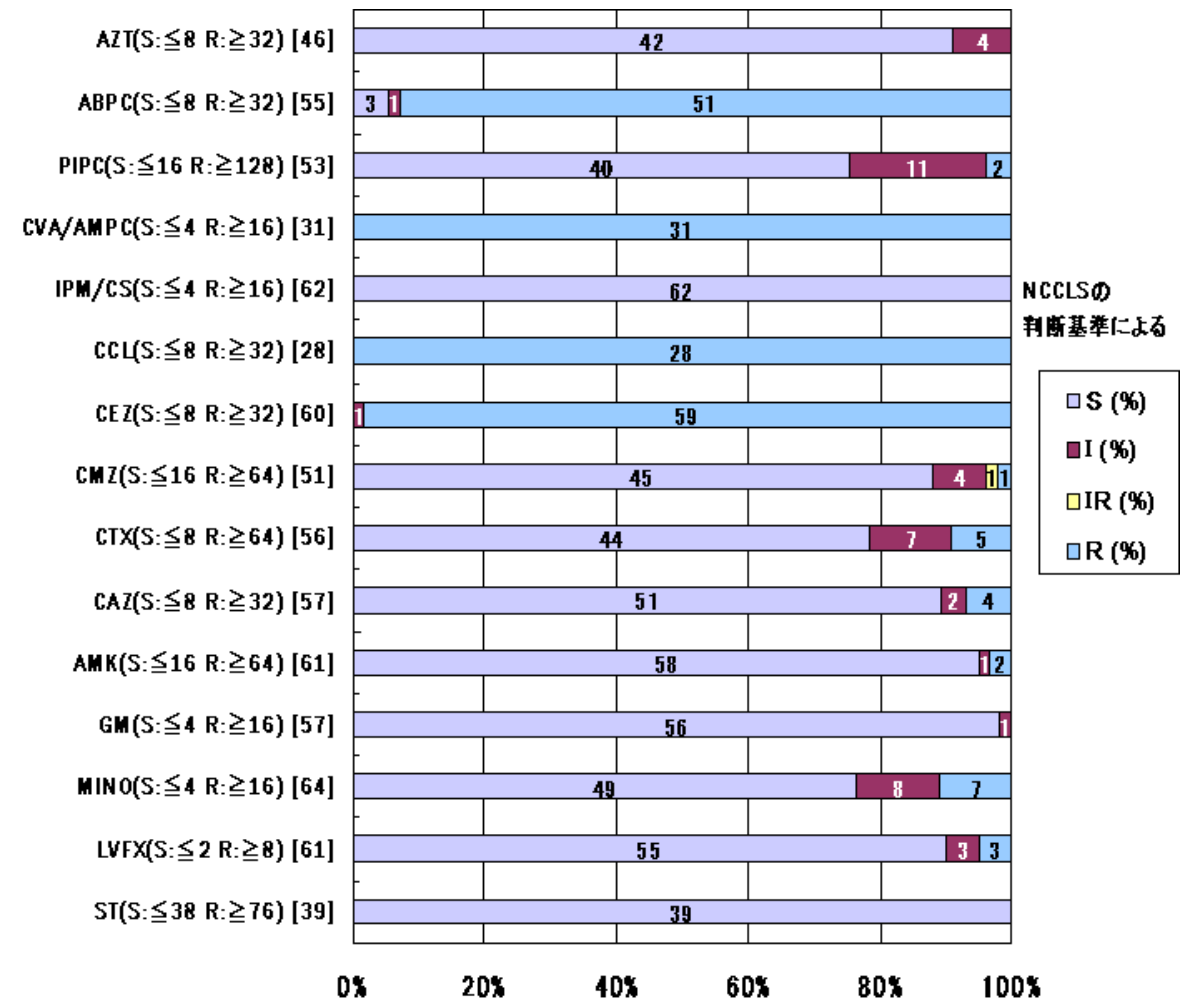
図4-10. 主要菌別耐性頻度 *P. aeruginosa* 血液



90株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図4-11. 主要菌別耐性頻度 *S. marcescens* 血液



25株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

図5. 主要菌種分離率 (分離件数/総検体数)、総検体数=4,812 髄液

(注)陽性検体のみを報告している施設のデータは集計から除外してあります。
グラフには分離件数の多い方から上位10菌種のみ掲載しています。

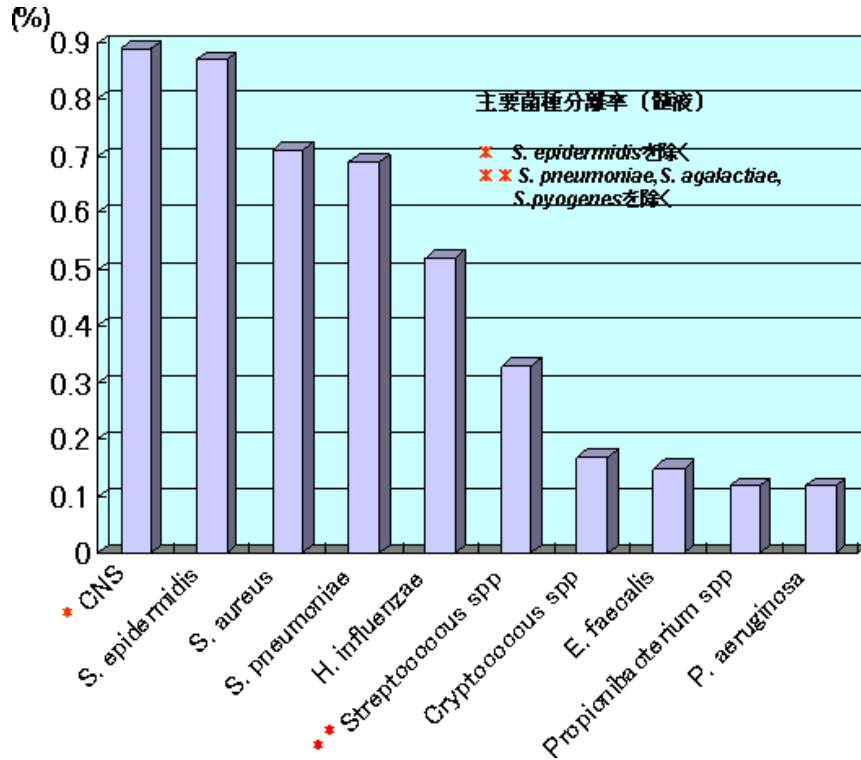
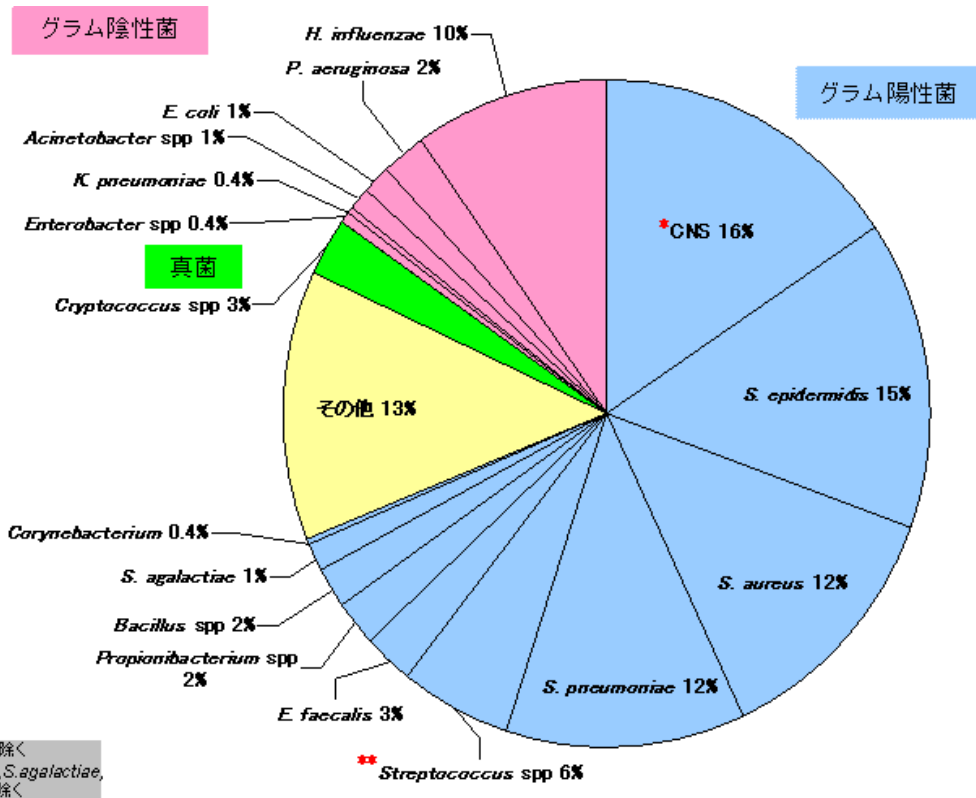


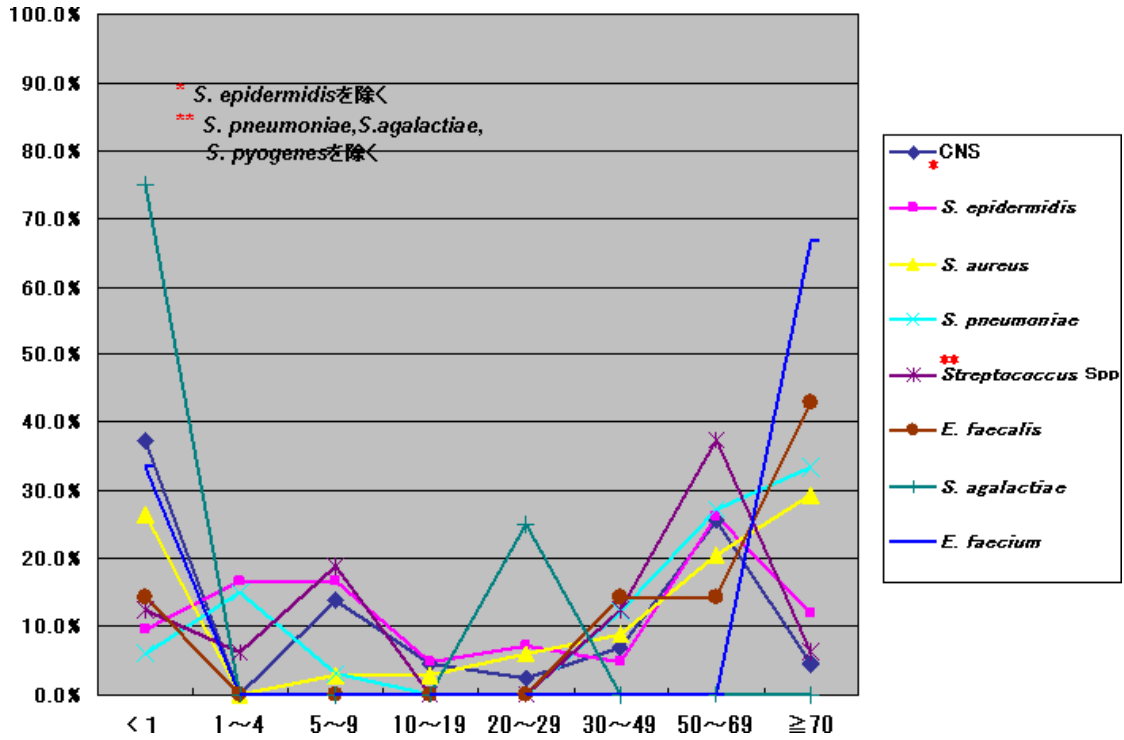
図6. 主要菌種分離頻度 ([分離件数/総分離菌数] X100) 髄液



総分離菌数: 277件

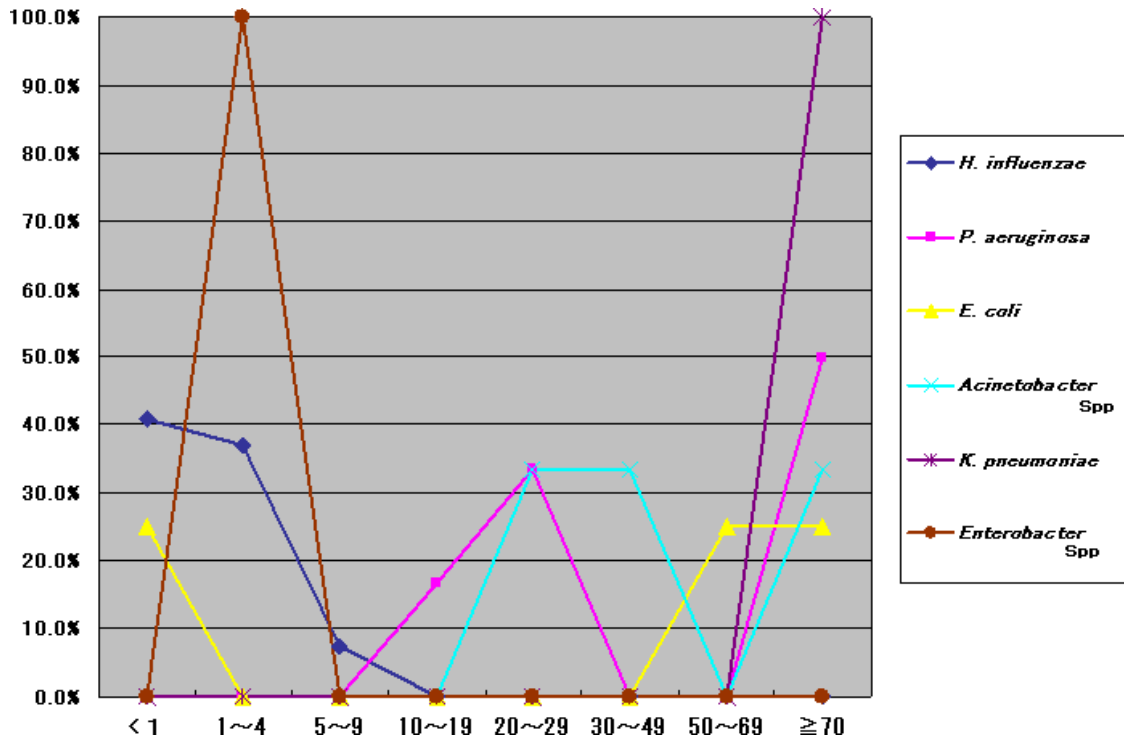
(注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

図7-1. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性球菌 髄液



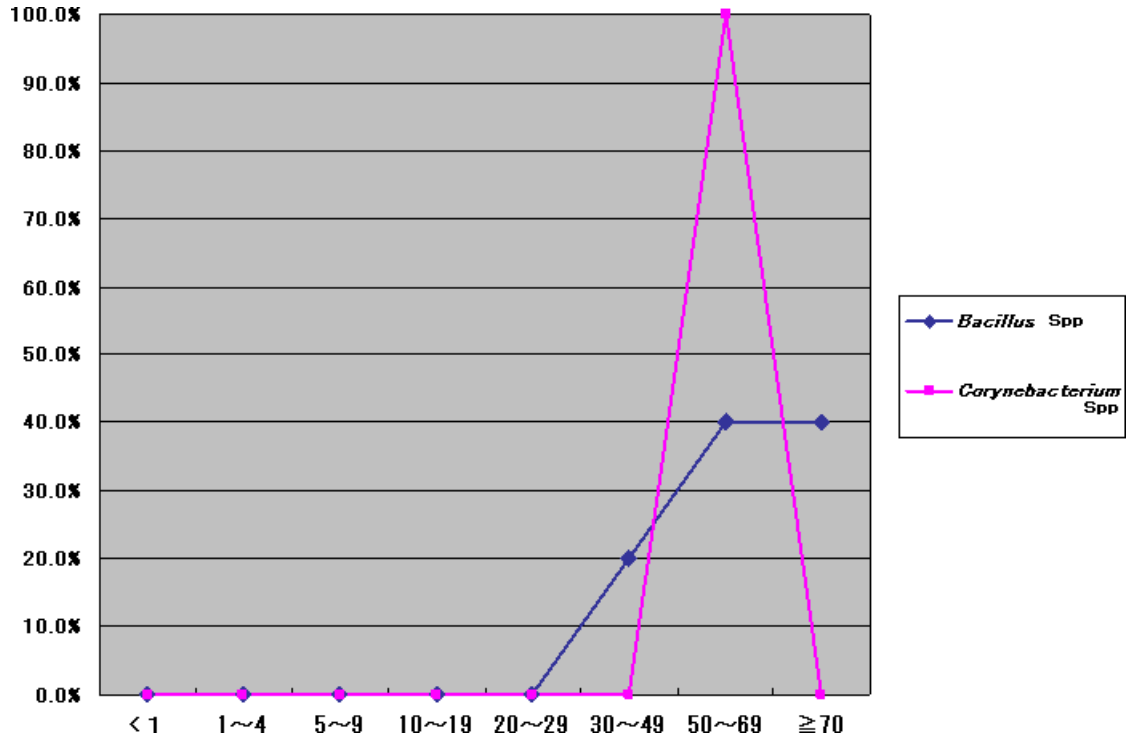
(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

図7-2. 主要菌種別年齢分布 グラム陰性桿菌 髄液



(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

図7-3. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性桿菌/真菌 髄液

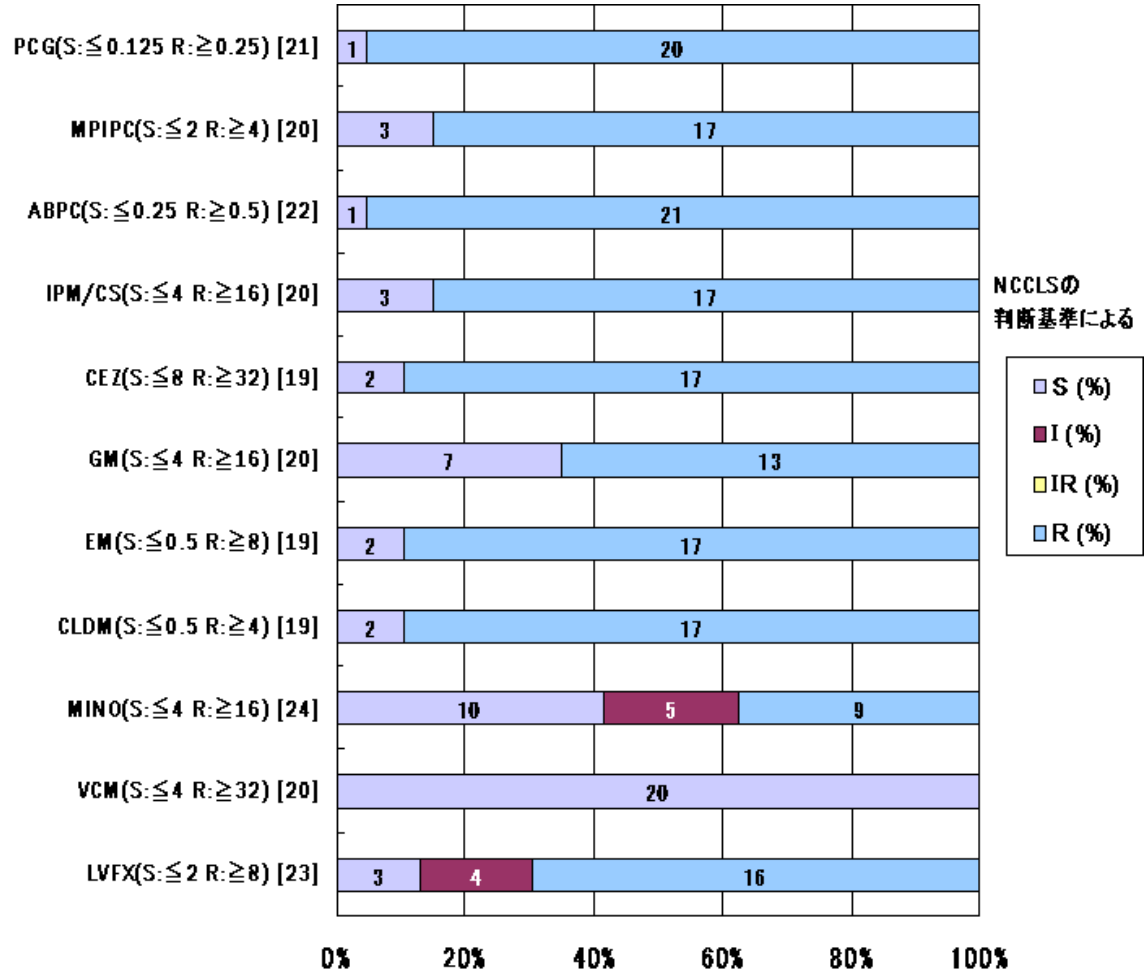


(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

(注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

図8-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* 髄液

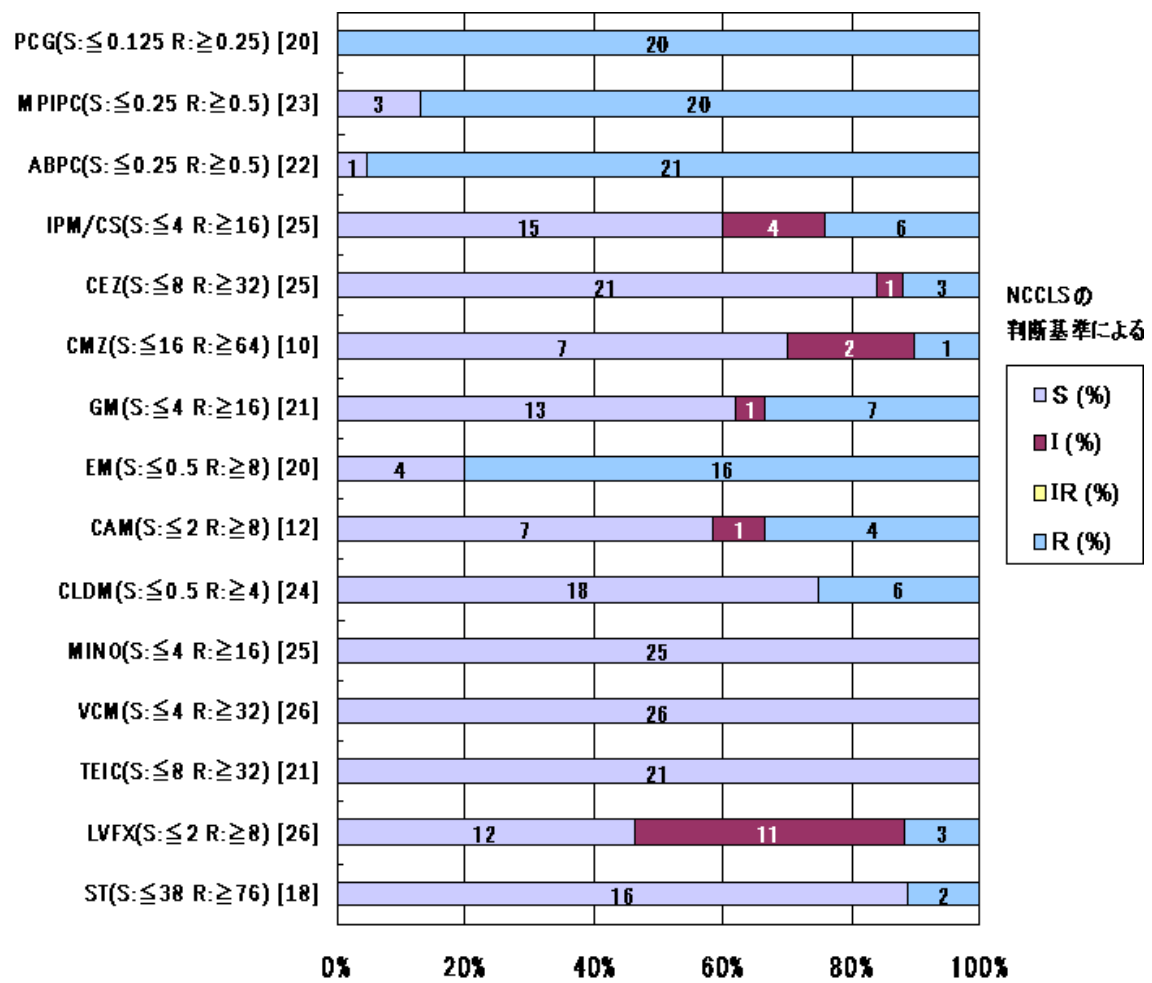
- (注) 感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
 (注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) グラフのバーには株数が表示されています。
 (注) "S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
 (注) 株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。
 (注) VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。



5株以上検査した薬剤について掲載

- (注) NCCLSの判断基準について
 ・MSSAとMRSAが含まれています。
 ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。

図8-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidermidis* 髄液

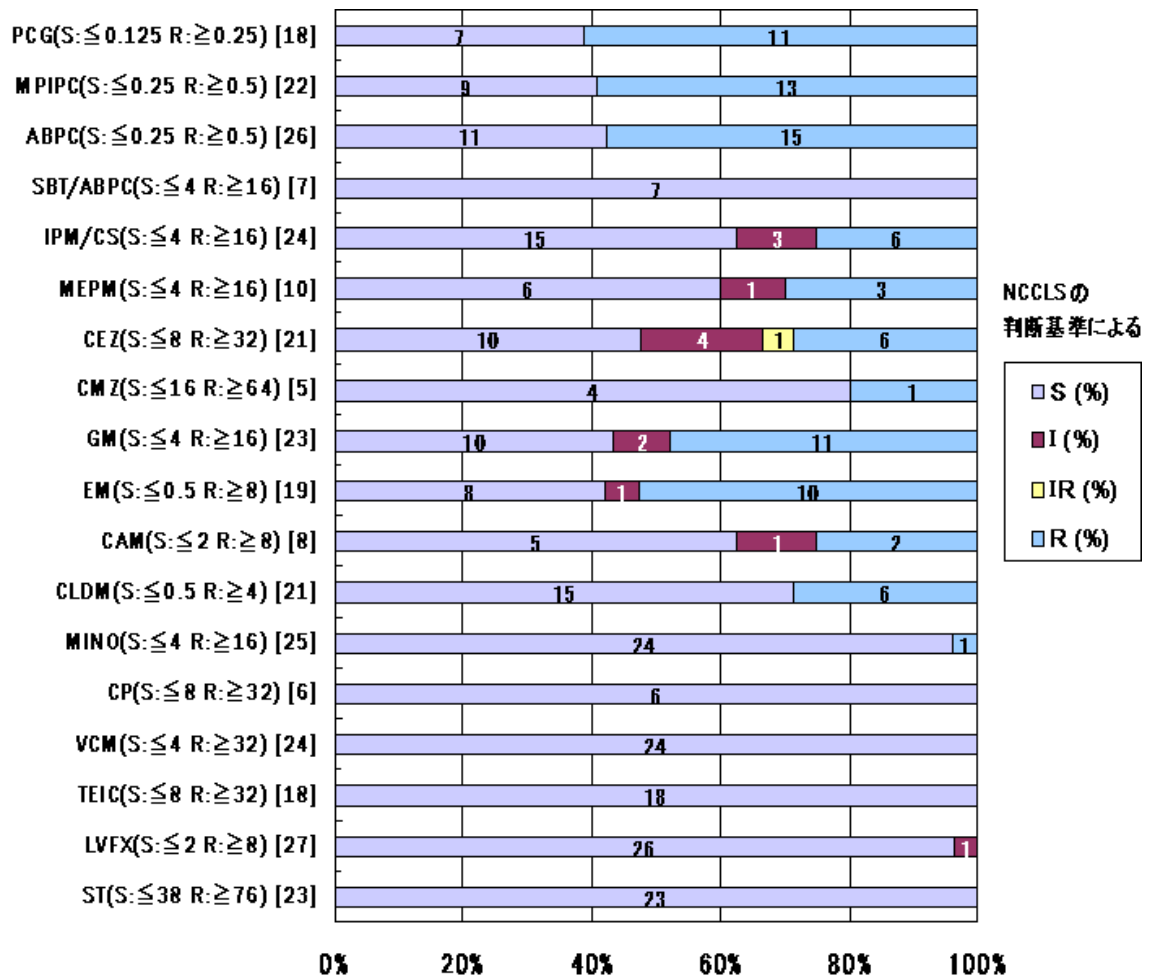


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図8-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) 髄液

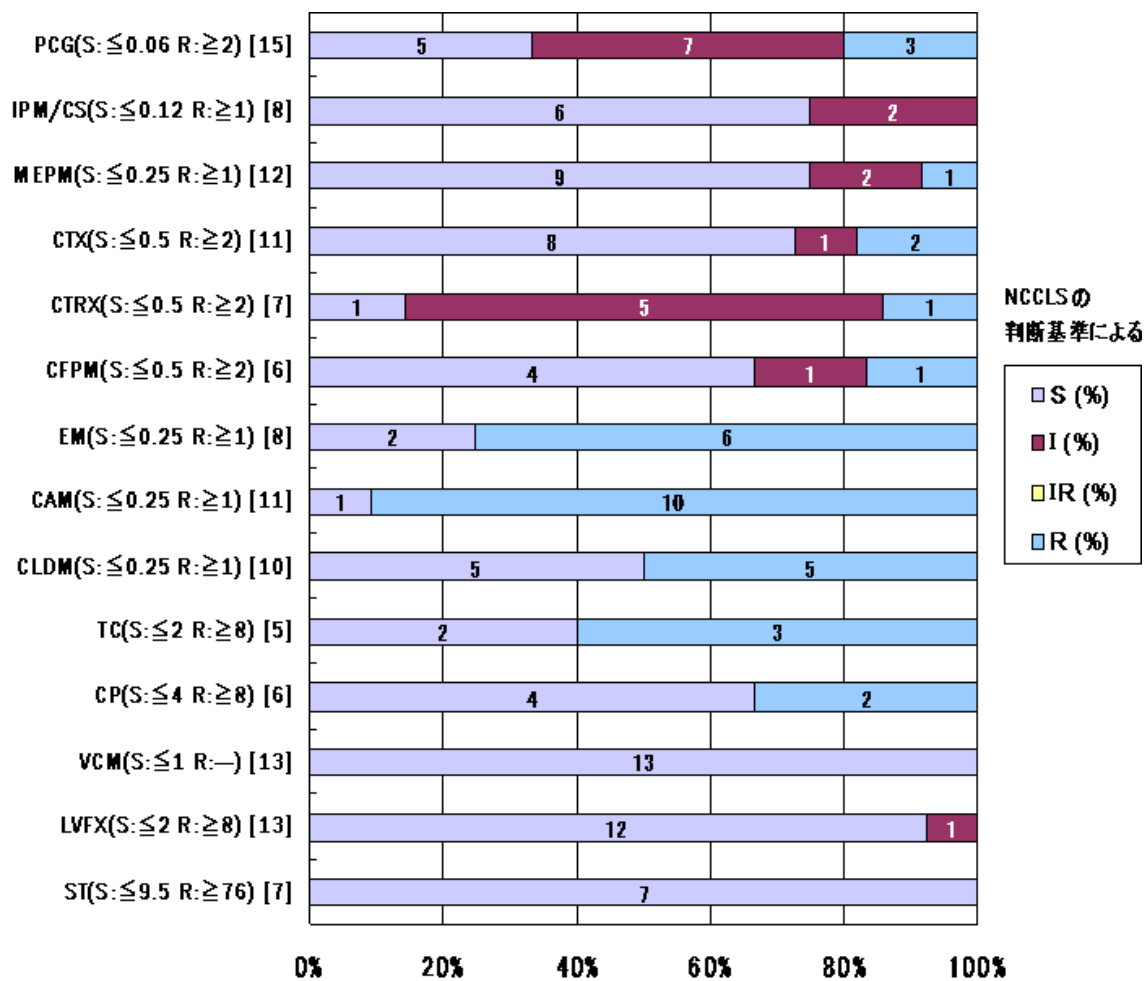


5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図8-4. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 髄液

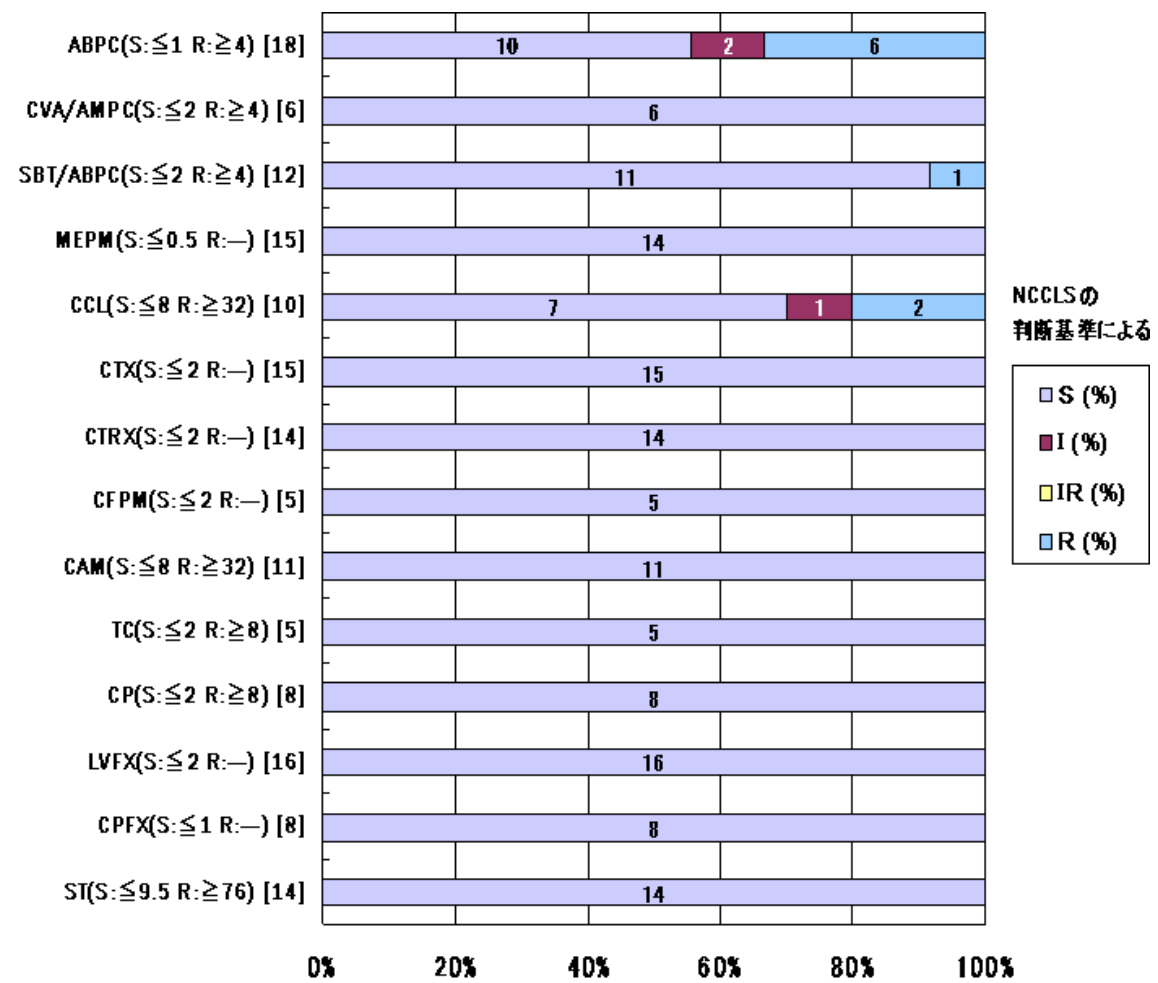


5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図8-5. 主要菌別耐性頻度 *H. influenzae* 髄液



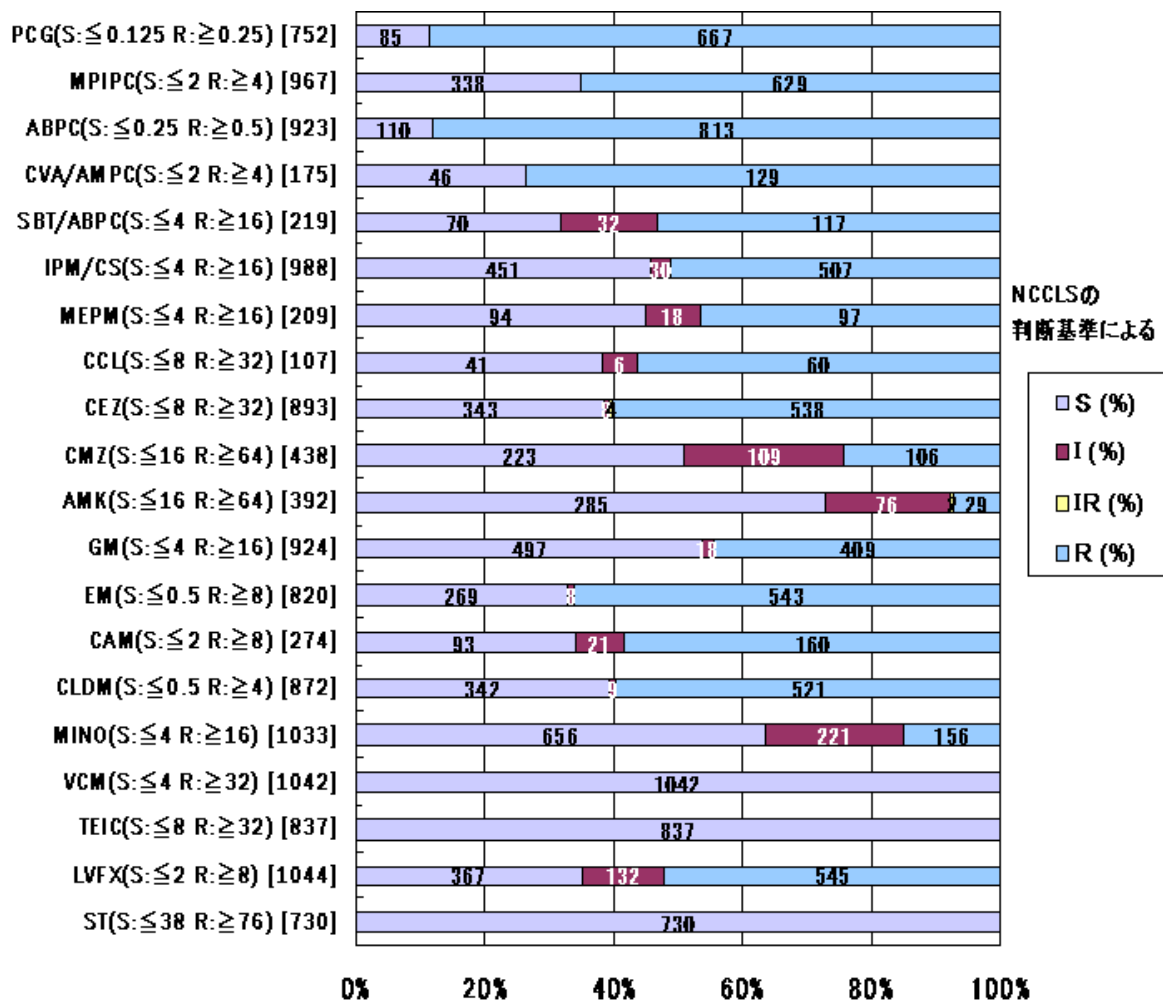
5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

図9-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* 血液+髄液

(注)感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
 (注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注)グラフのバーには株数が表示されています。
 (注)"S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
 (注)株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。

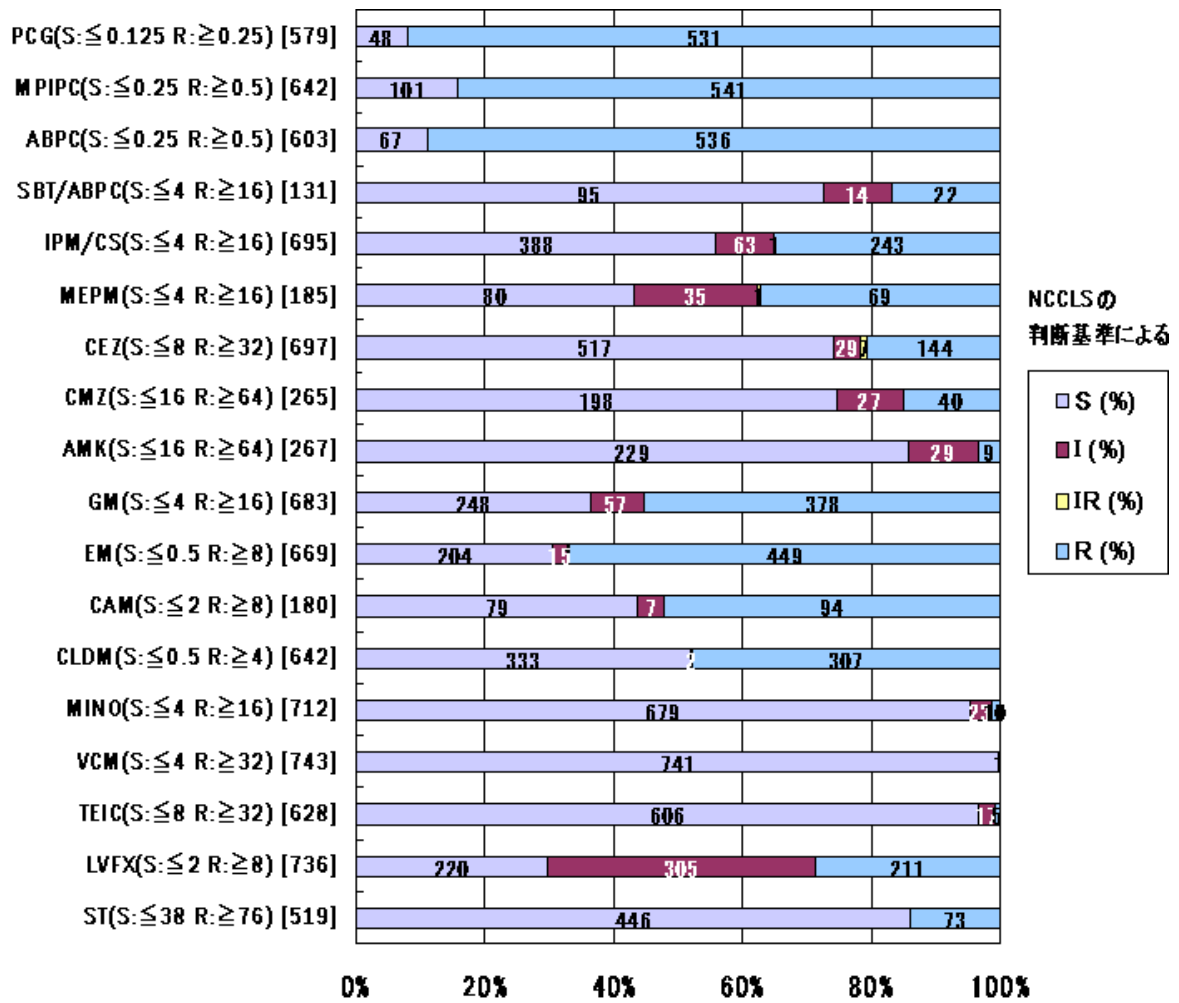


100株以上検査した薬剤について掲載

(注)NCCLSの判断基準について

- ・MSSAとMRSAが含まれています。
- ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。
- ・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidemidis* 血液 + 髄液

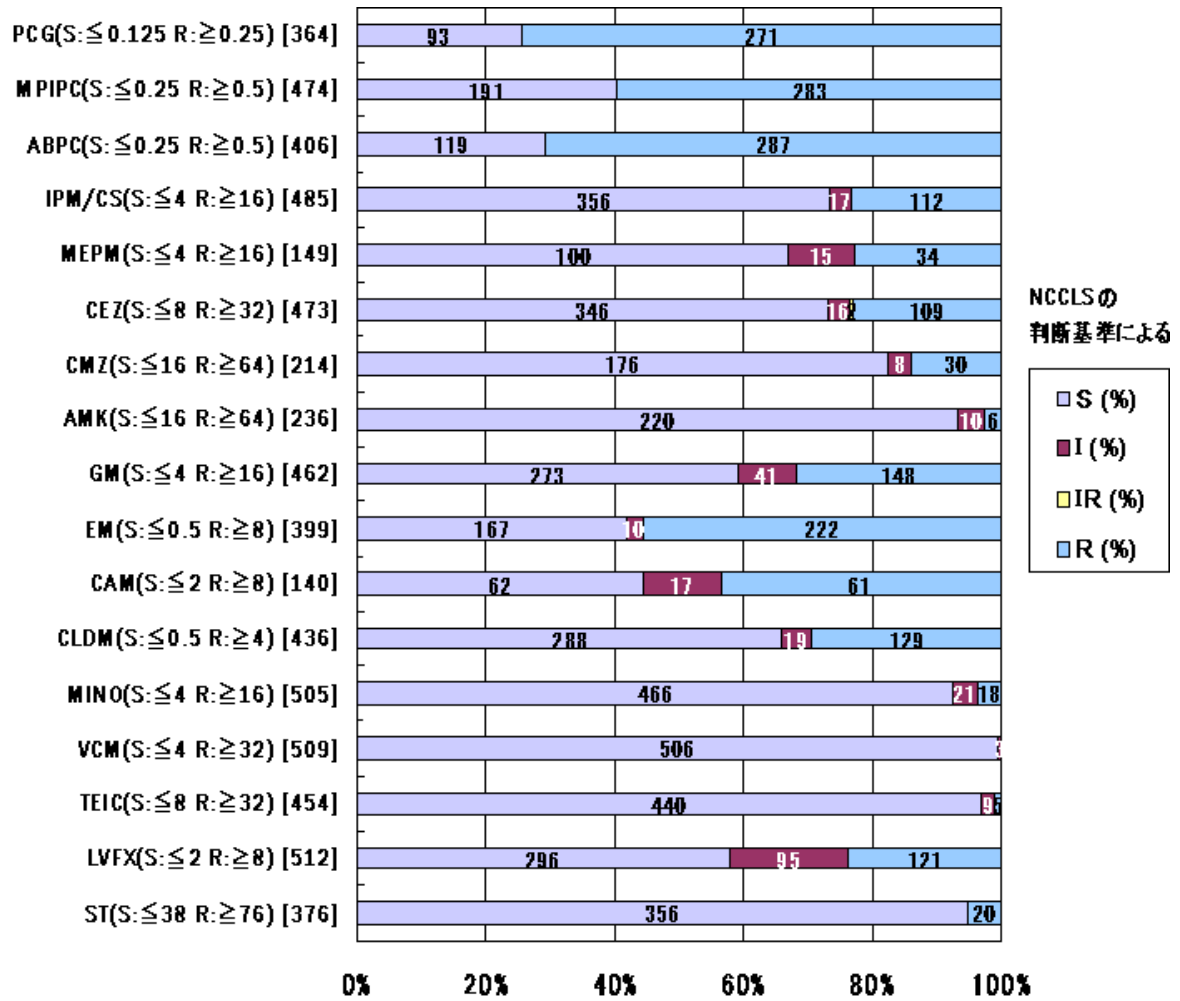


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) **血液** + **髄液**

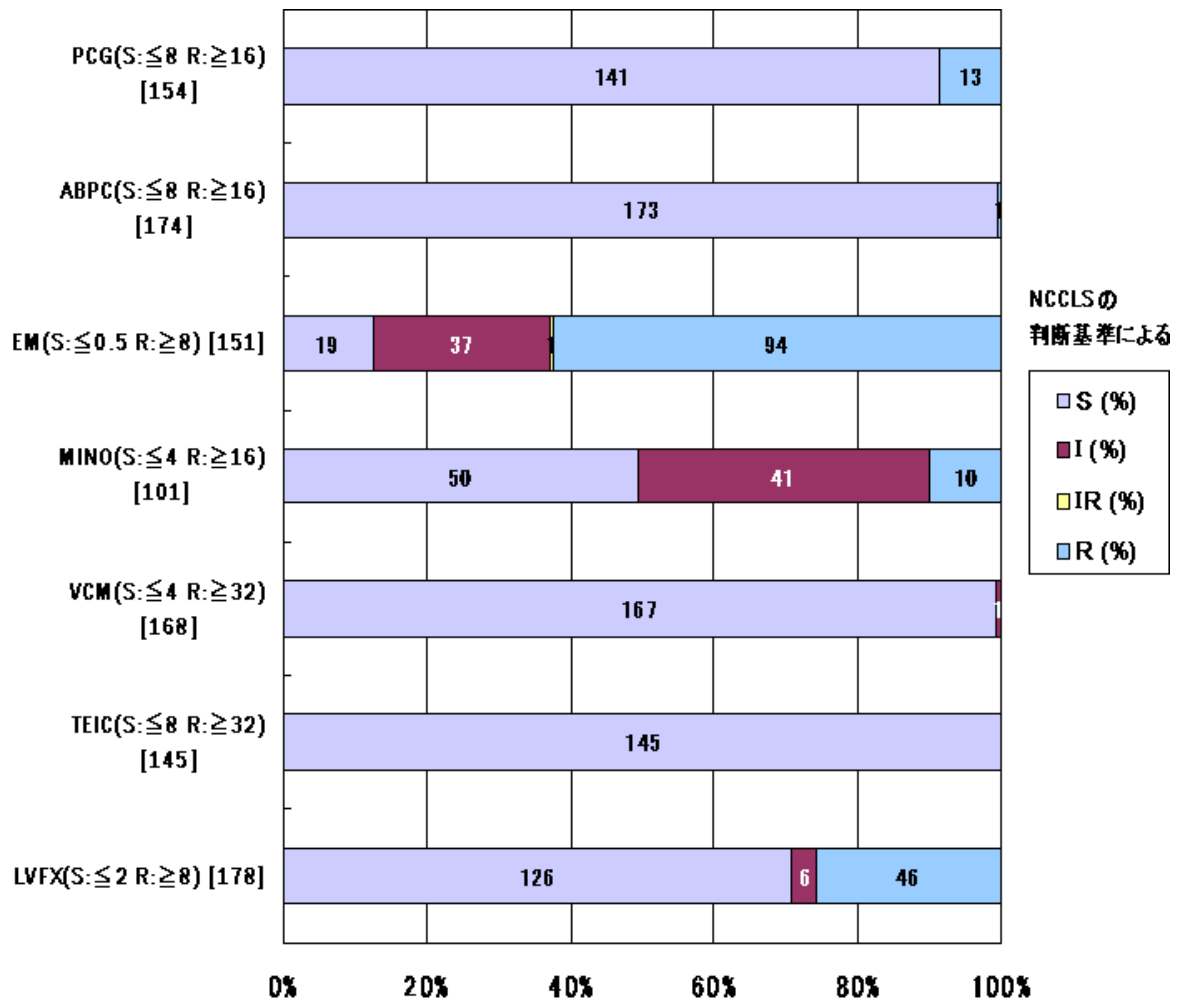


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-4. 主要菌別耐性頻度 *E. faecalis* 血液 + 髄液

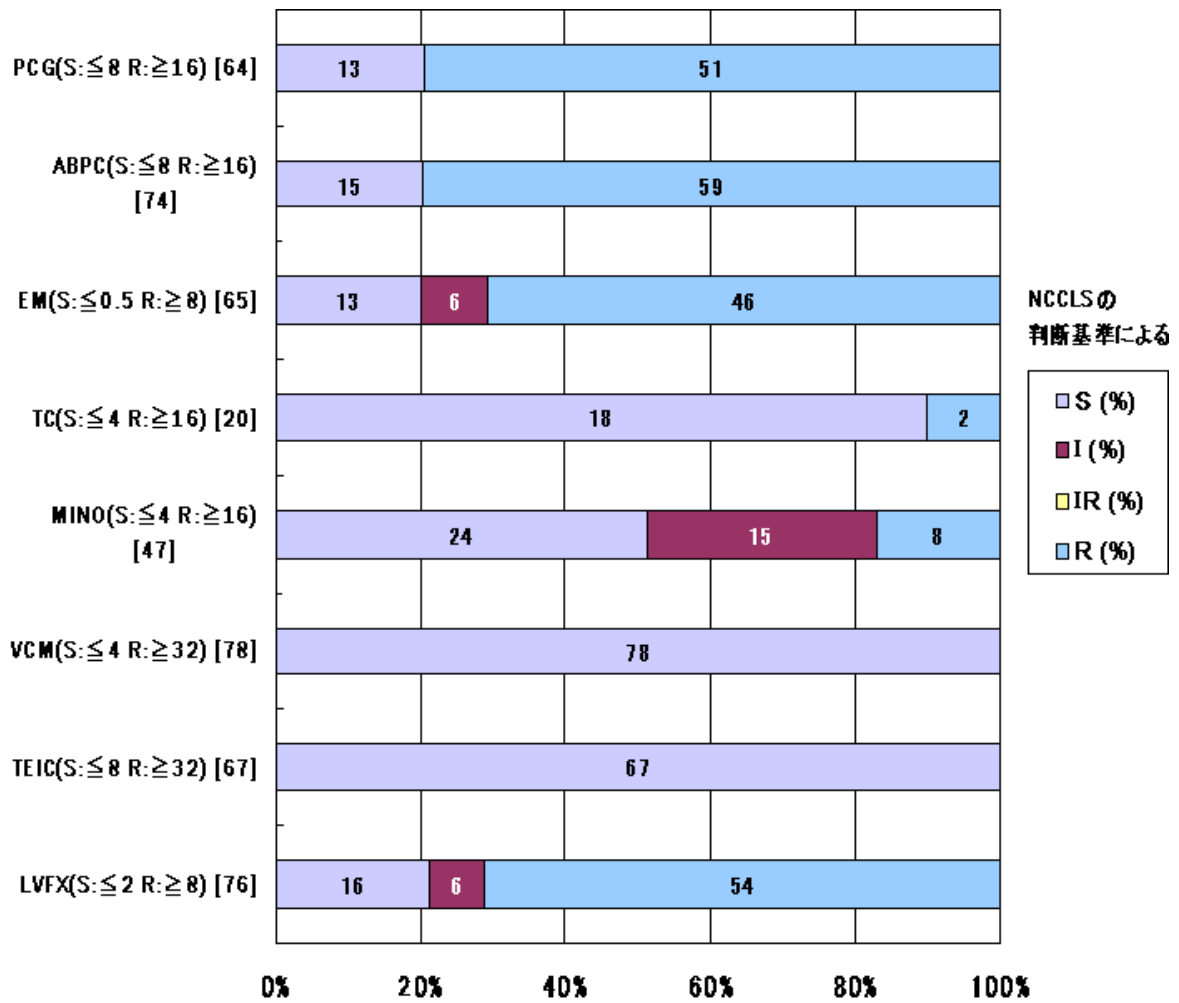


60株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-5. 主要菌別耐性頻度 *E. faecium* 血液 + 髄液

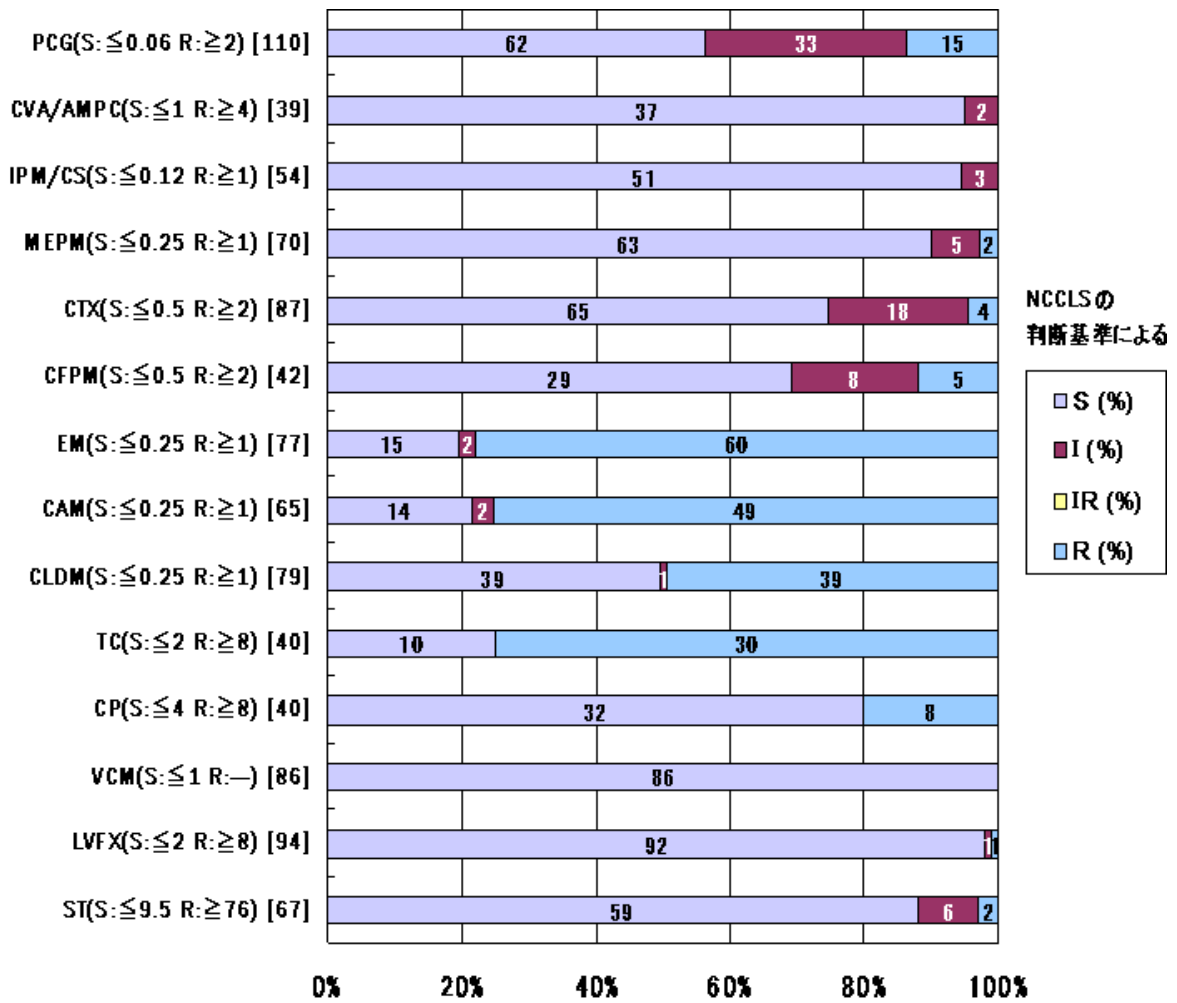


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-6. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 血液 + 髄液

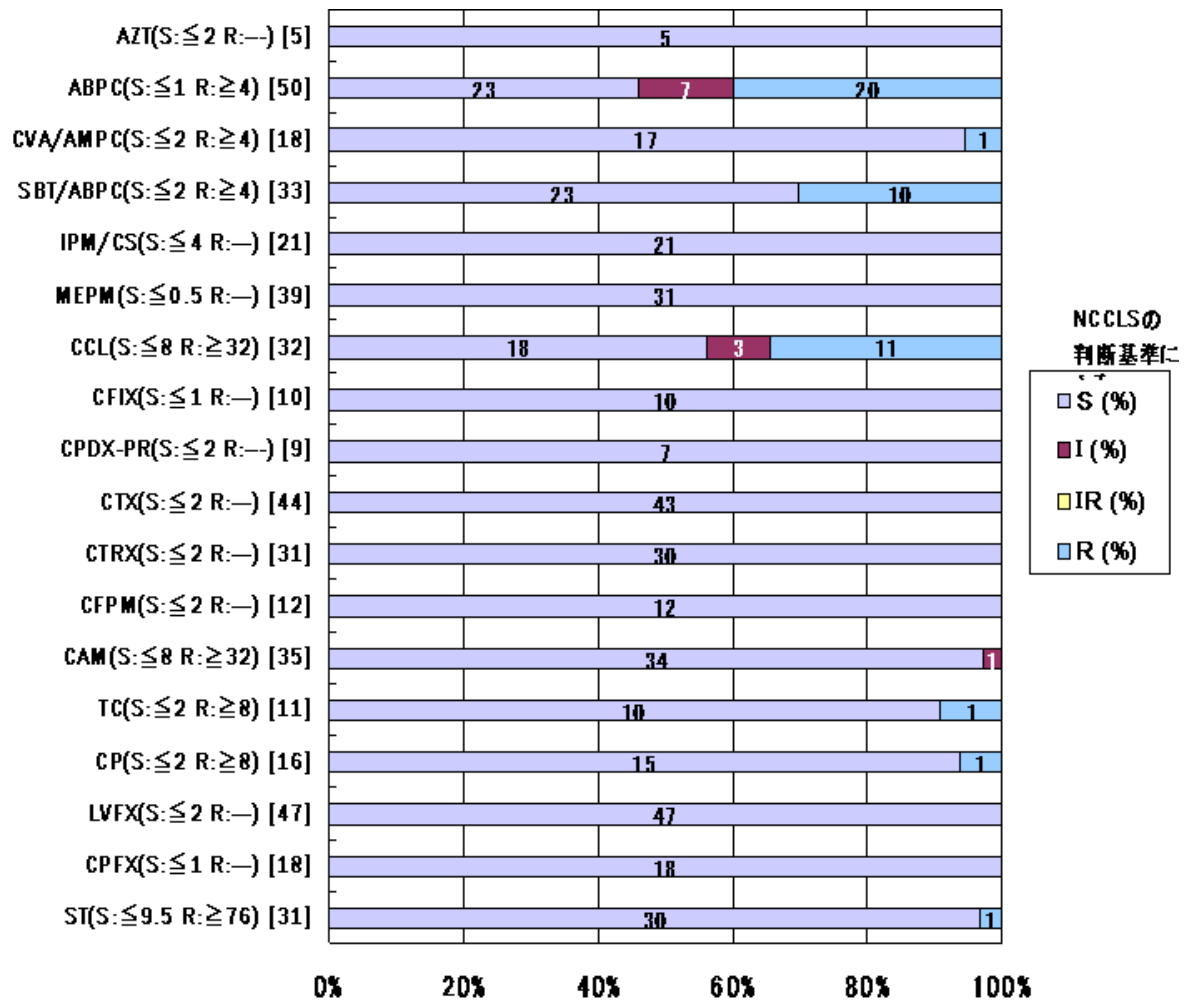


30株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

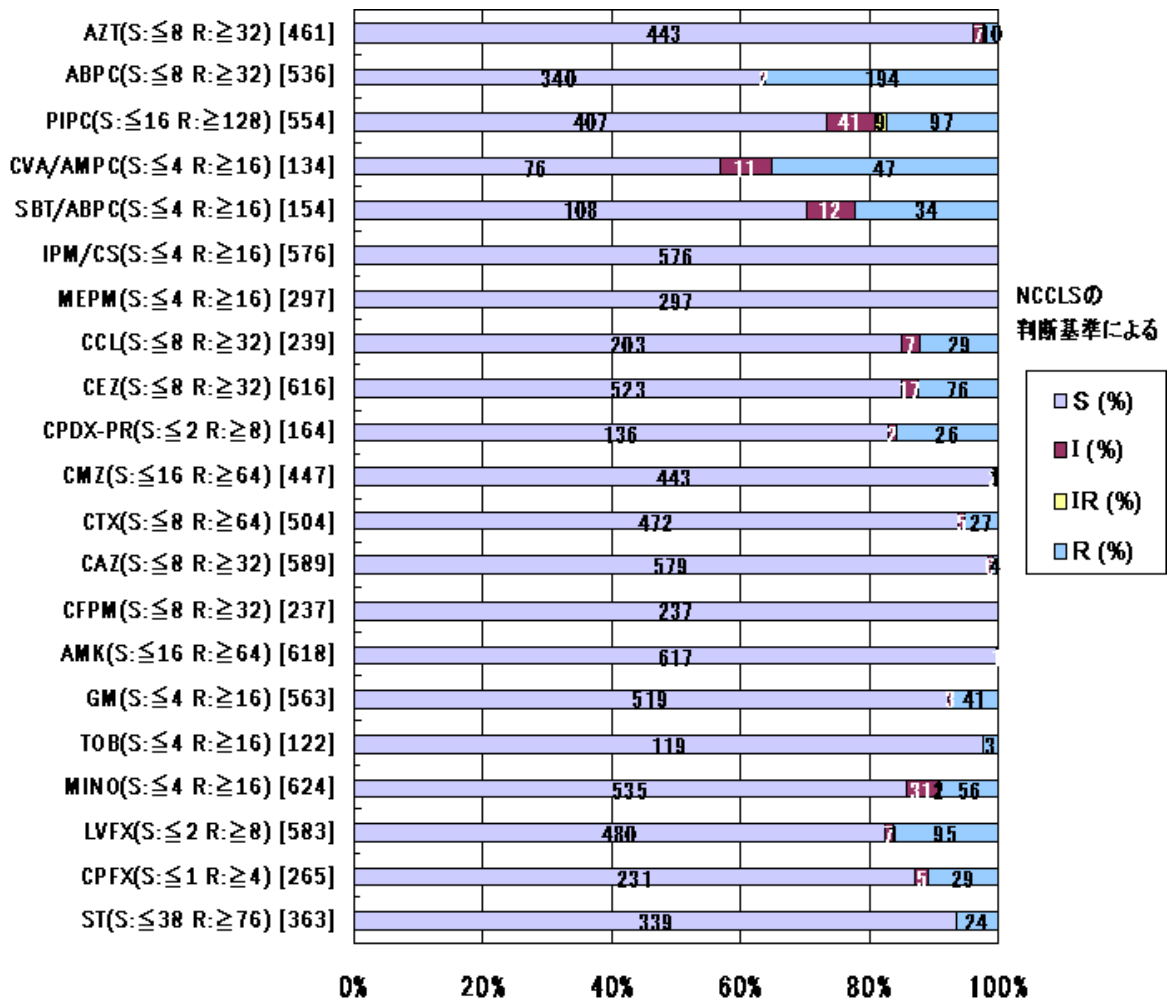
図9-7. 主要菌別耐性頻度 *H. Influenzae* 血液 + 髄液



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図9-8. 主要菌別耐性頻度 *E. coli* 血液 + 髄液

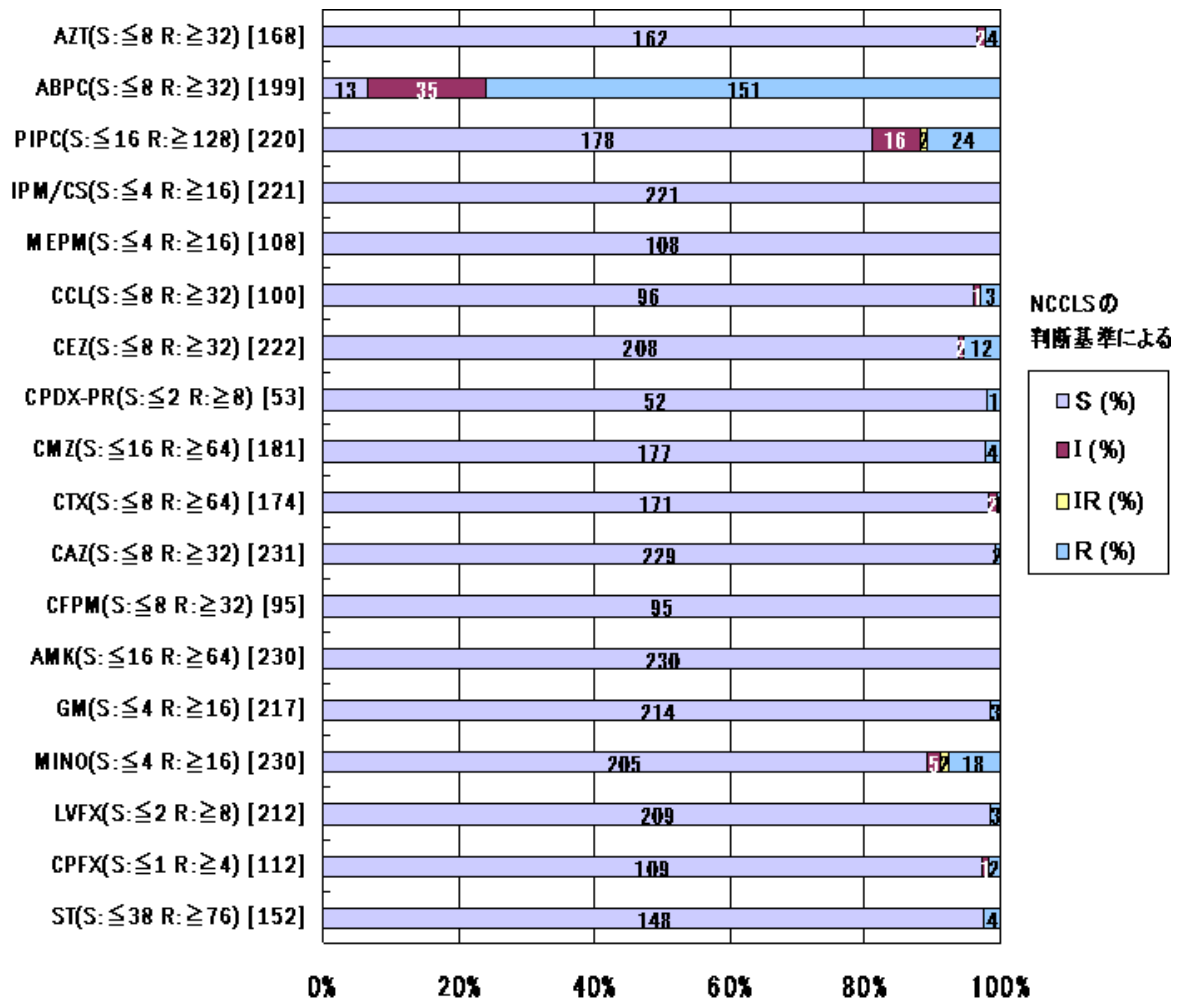


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

図9-9. 主要菌別耐性頻度 *K. pneumoniae* 血液 + 髄液

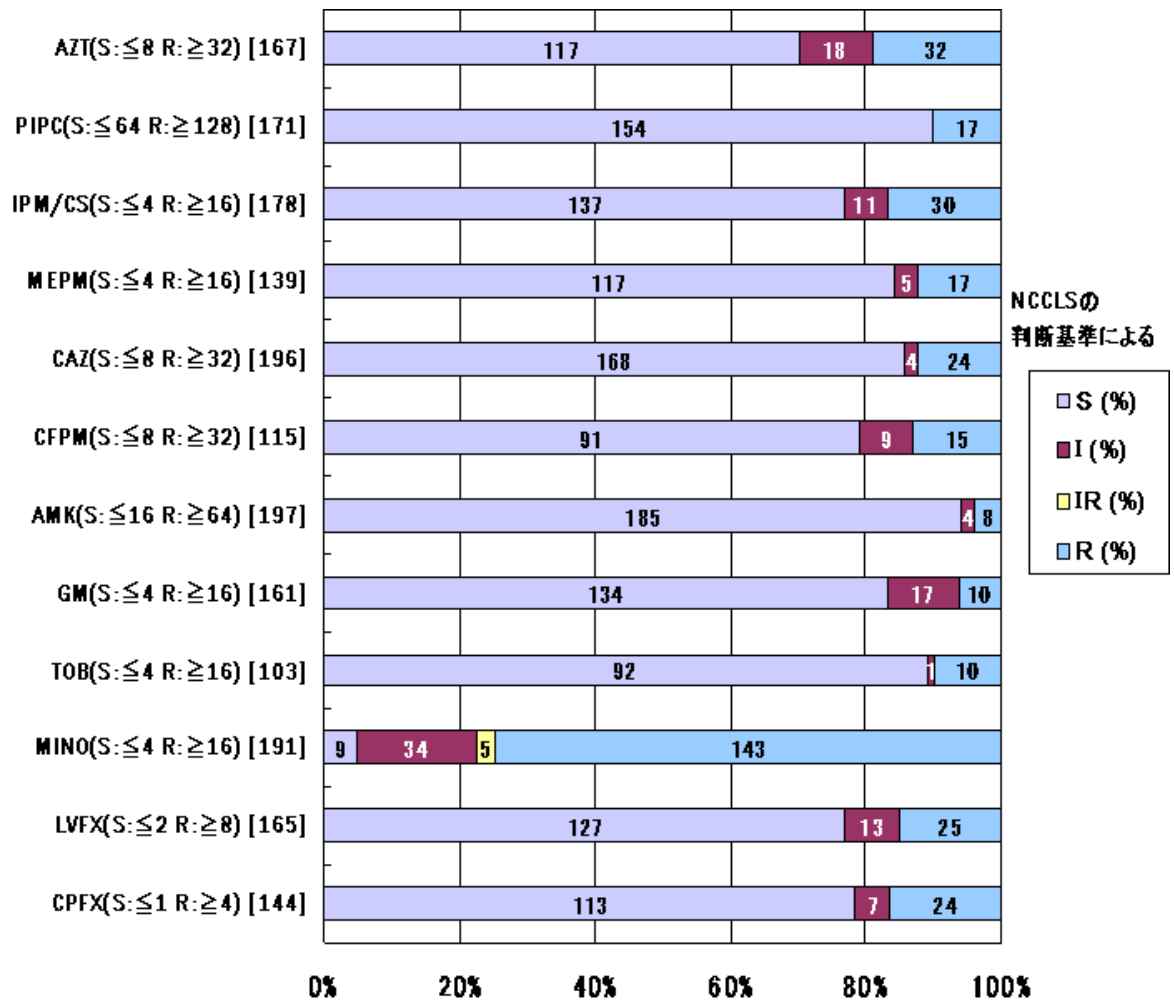


50株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

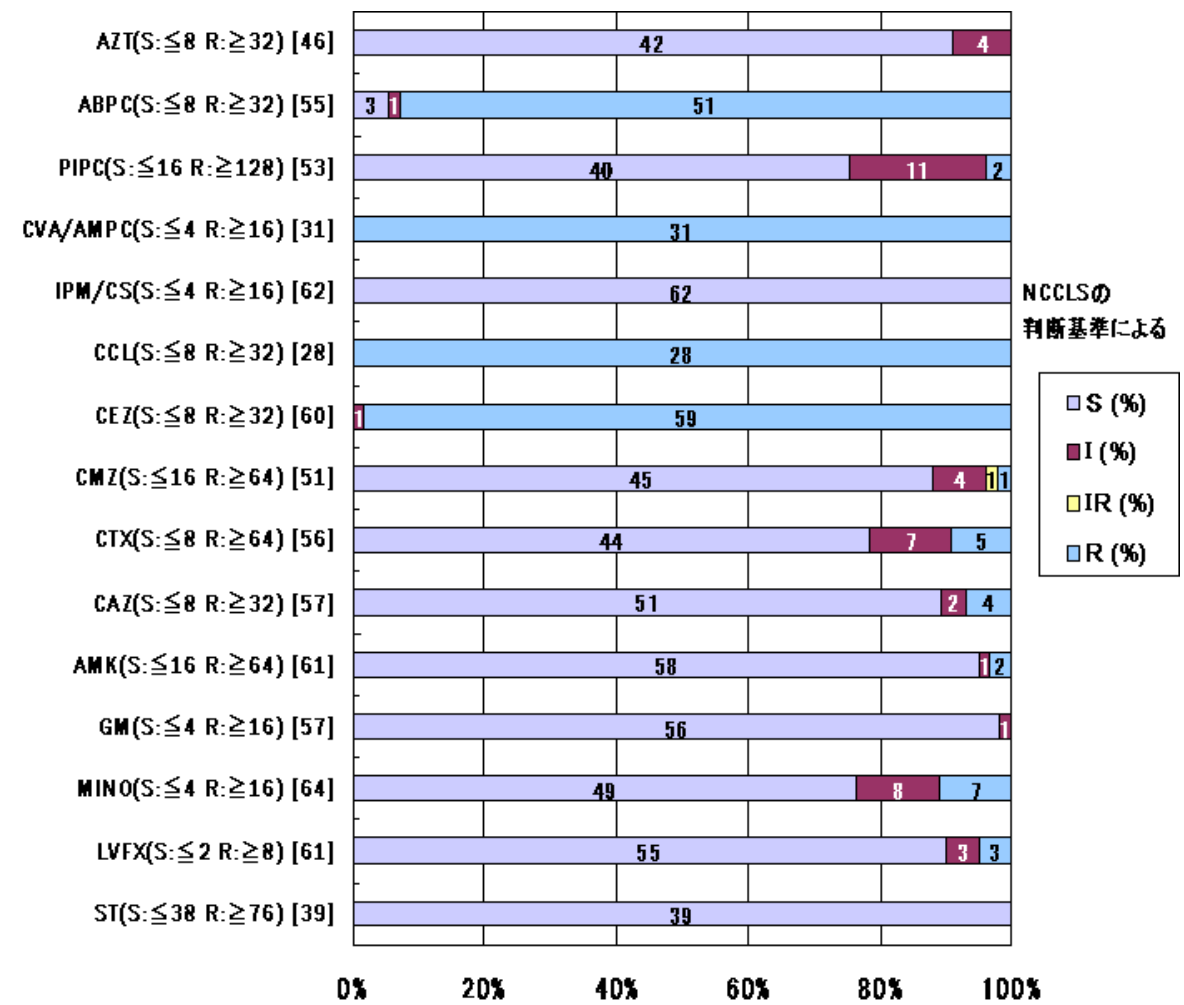
図9-10. 主要菌別耐性頻度 *P. aeruginosa* 血液 + 髄液



90株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図9-11. 主要菌別耐性頻度 *S. marcescens* 血液 + 髄液



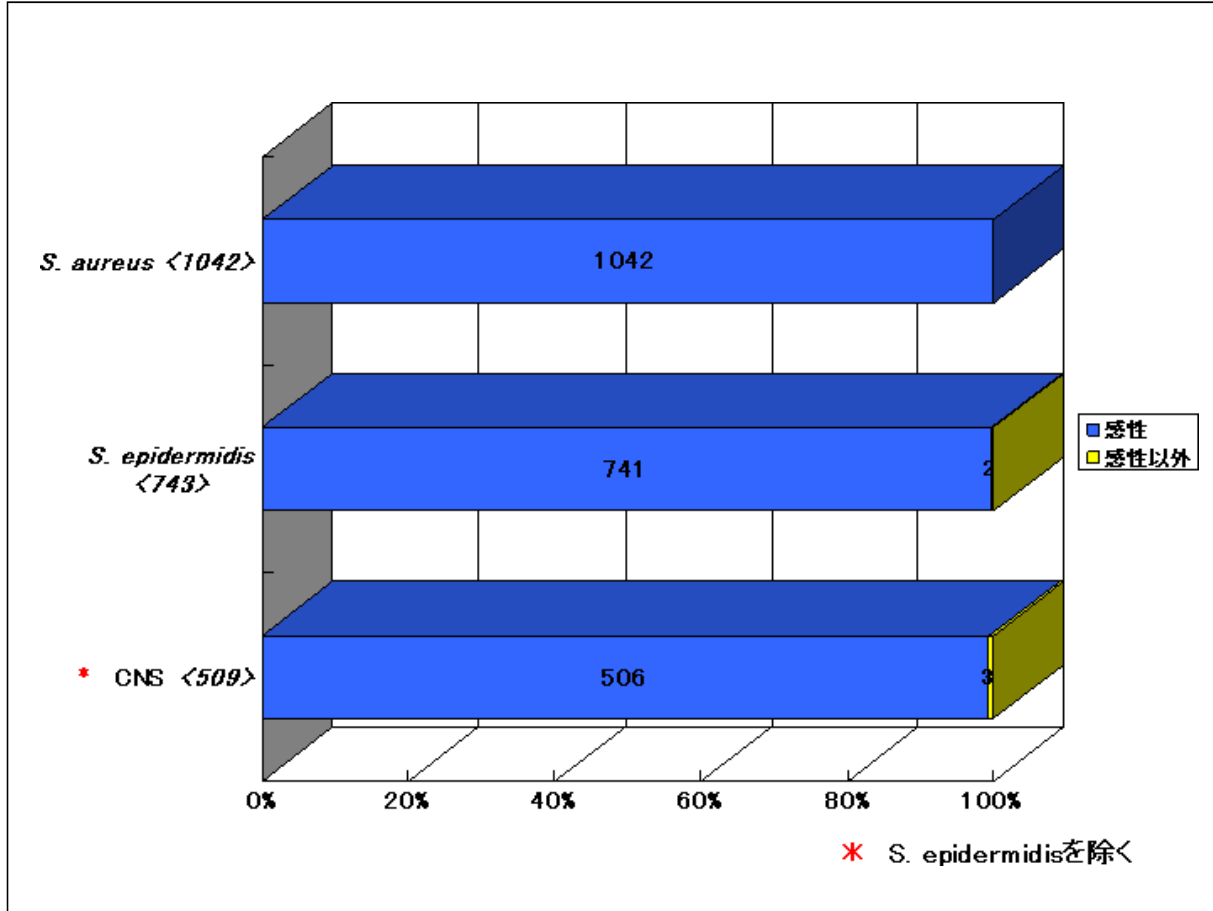
25株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

特定抗菌薬に対する薬剤感受性

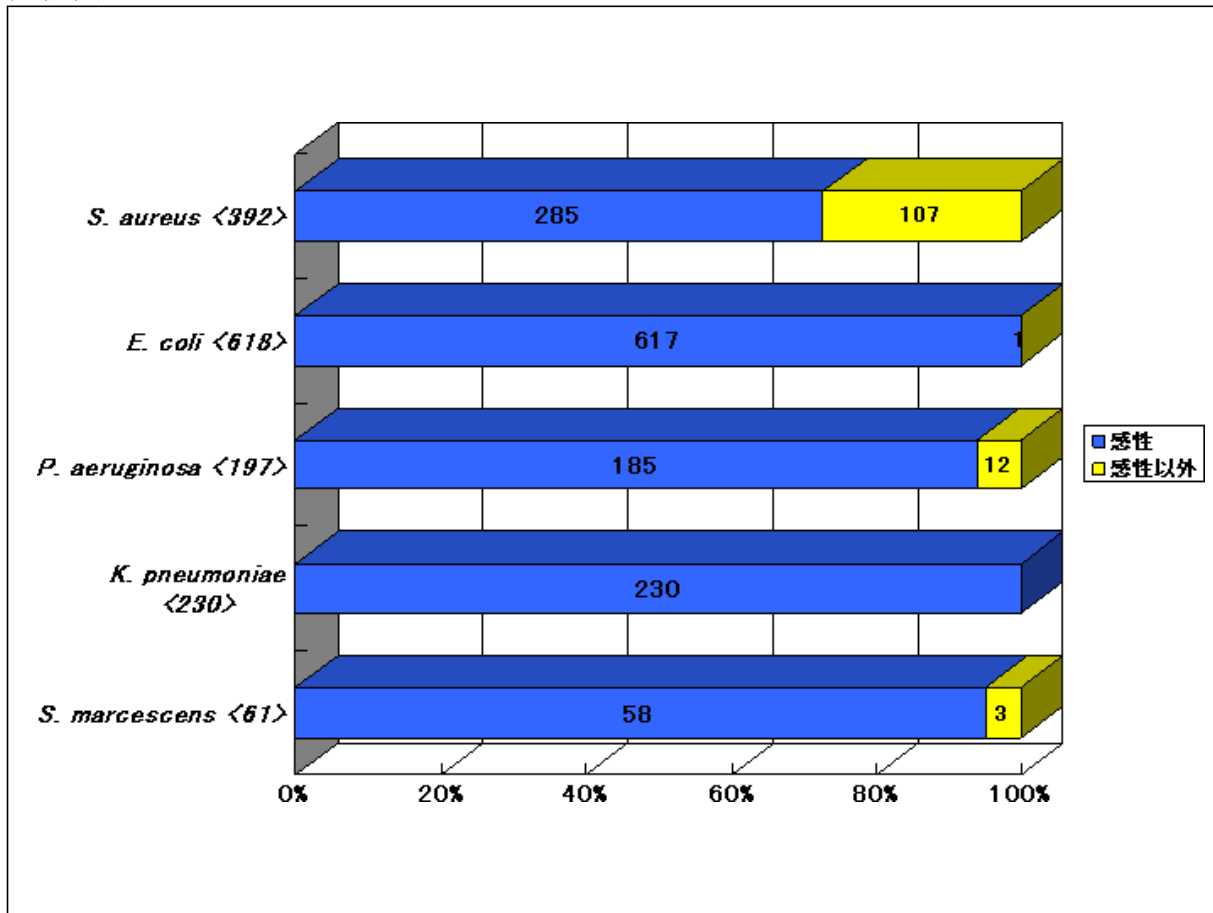
(バーの中の数字は該当する株数)

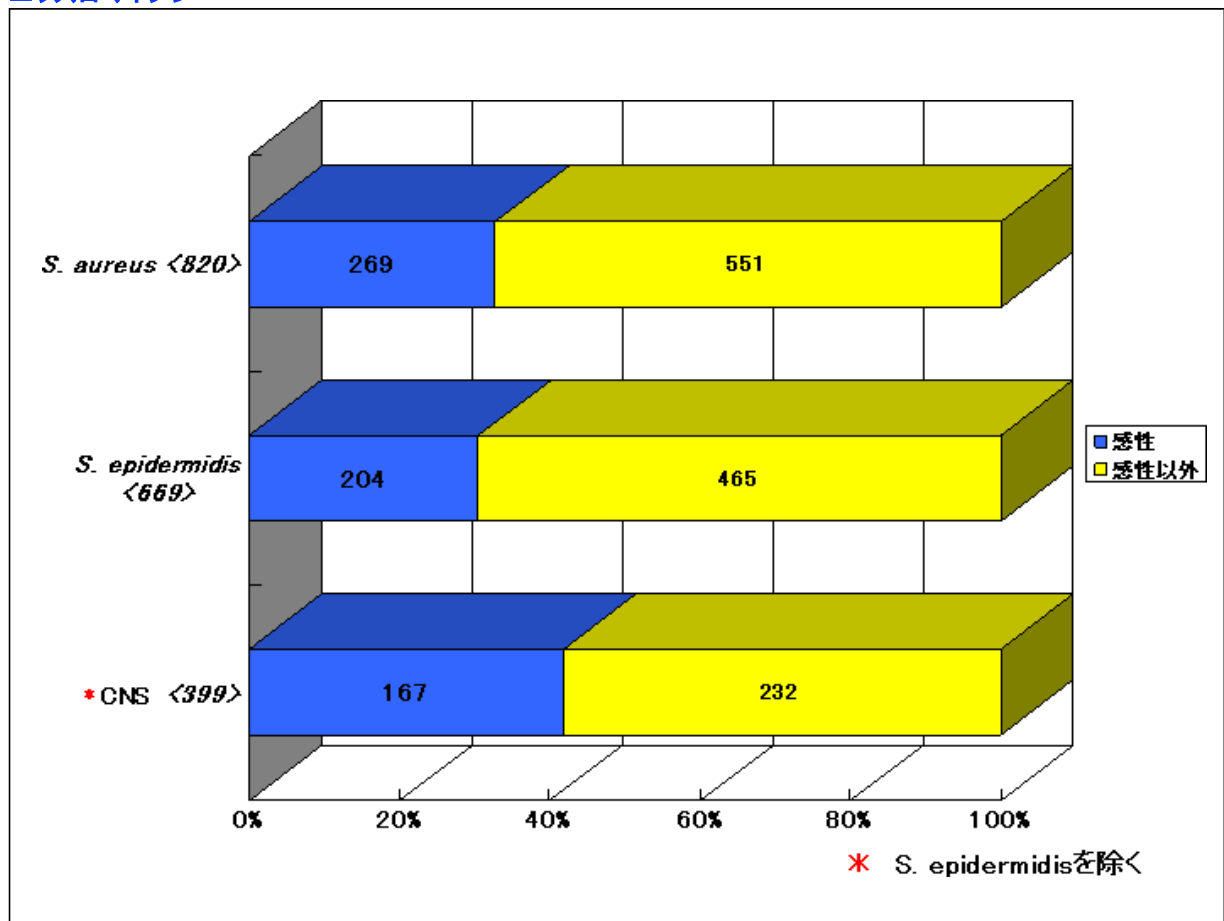
バンコマイシン



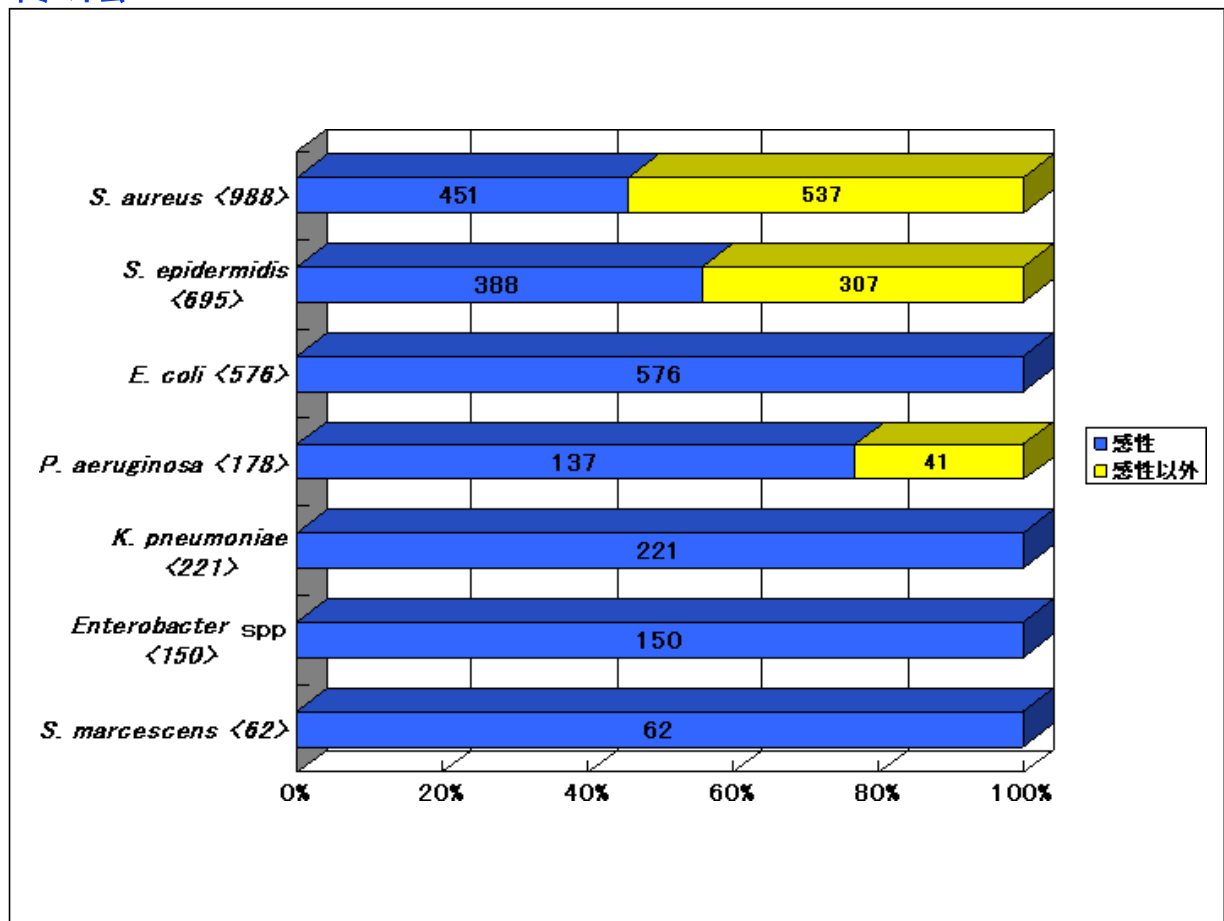
(注) CNSによる感染症の治療薬としてバンコマイシンは保険適用になっていないが、参考データとして示した。

アミカシン

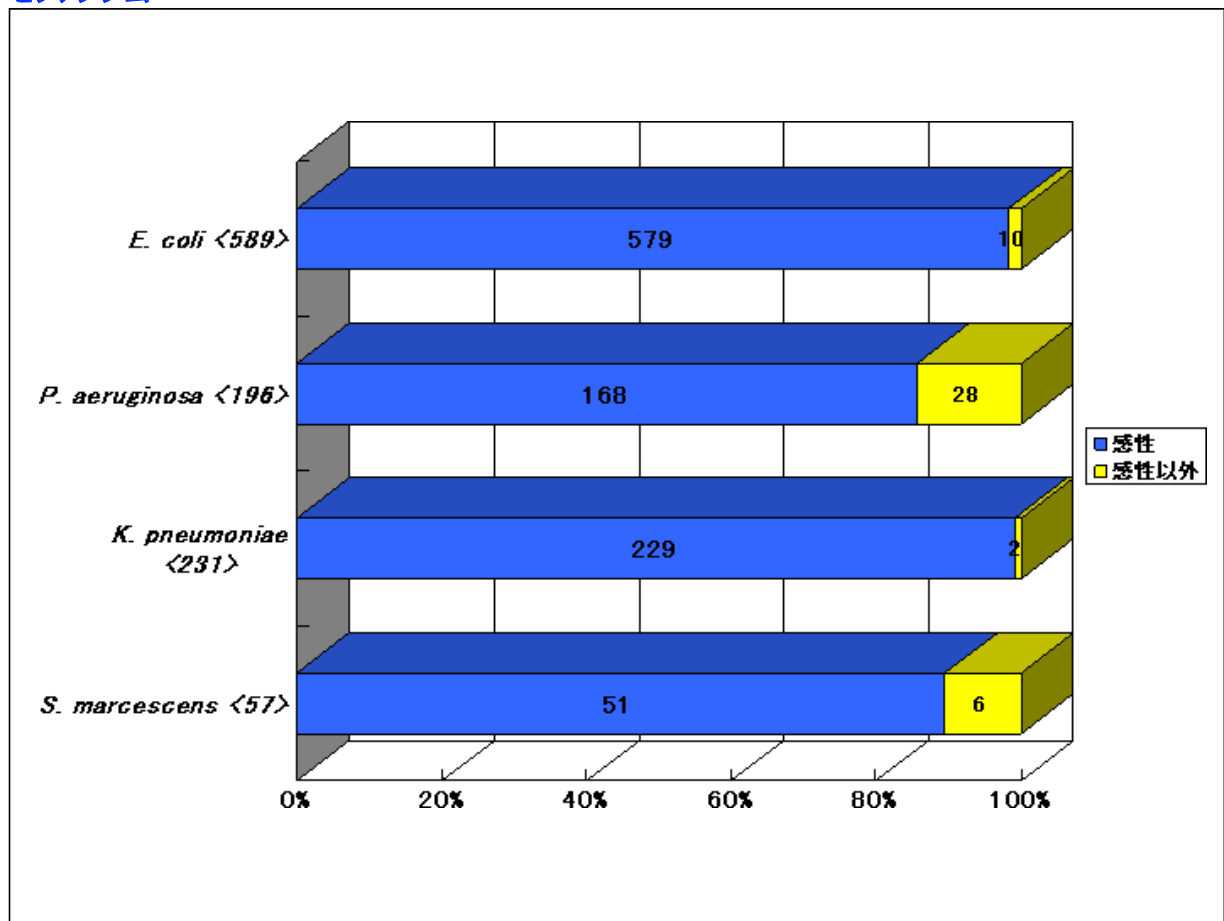




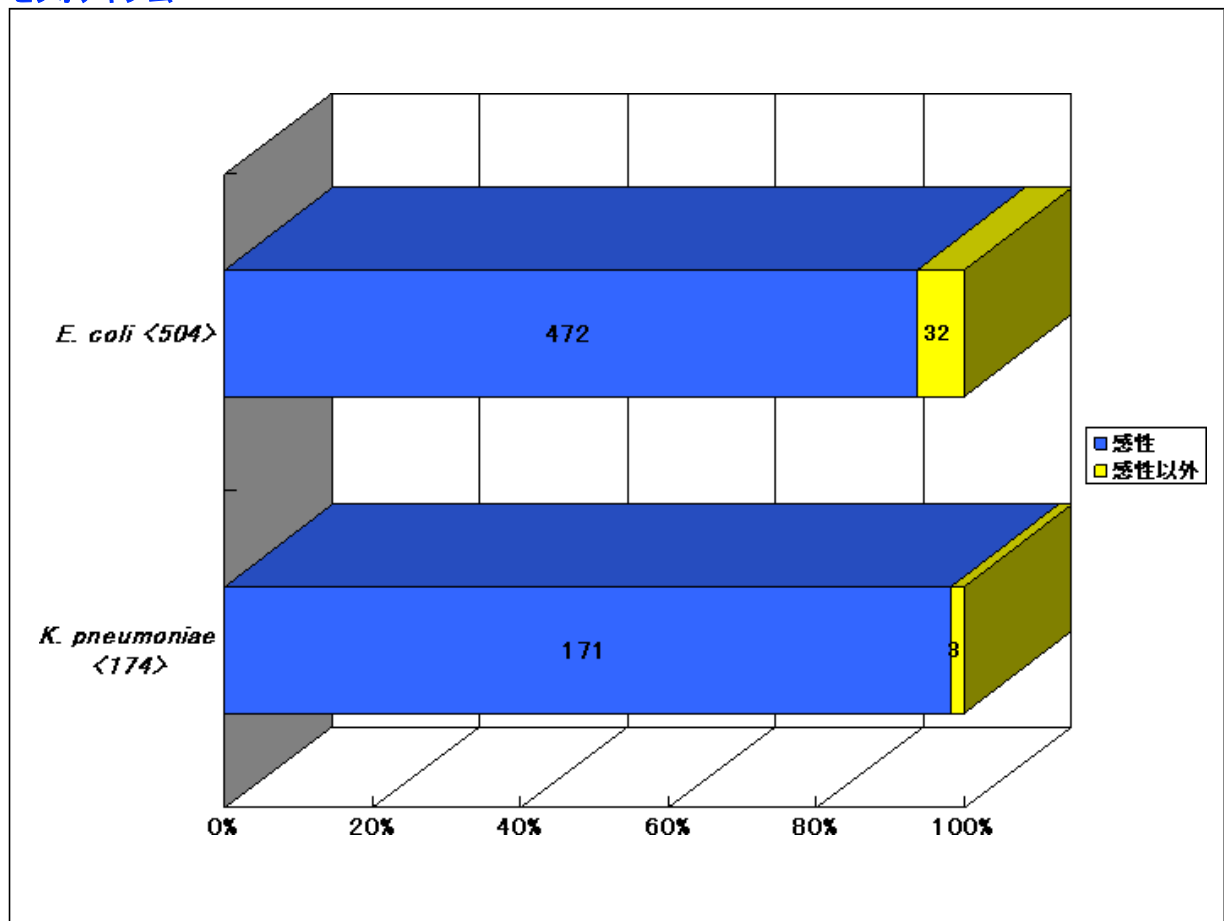
イミペネム



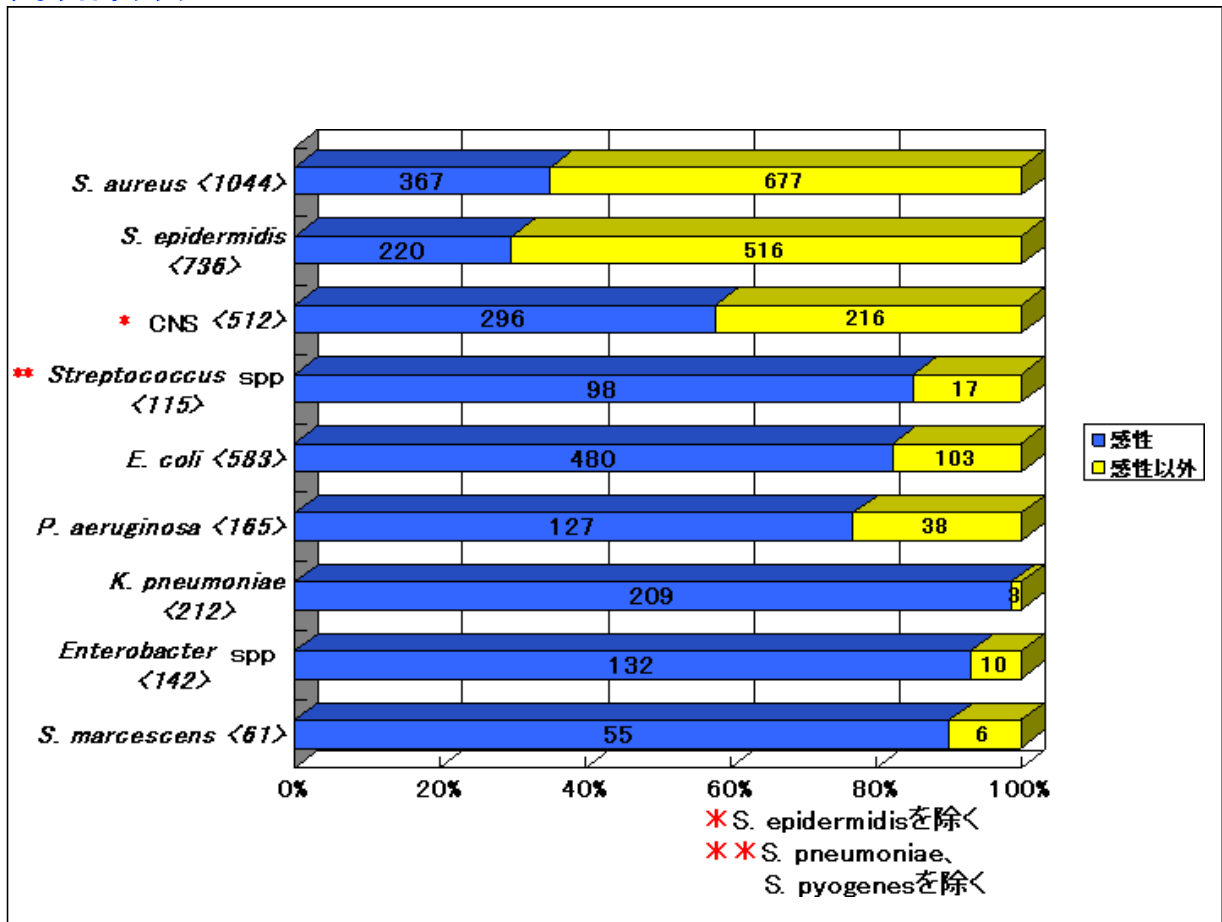
セフトジジム



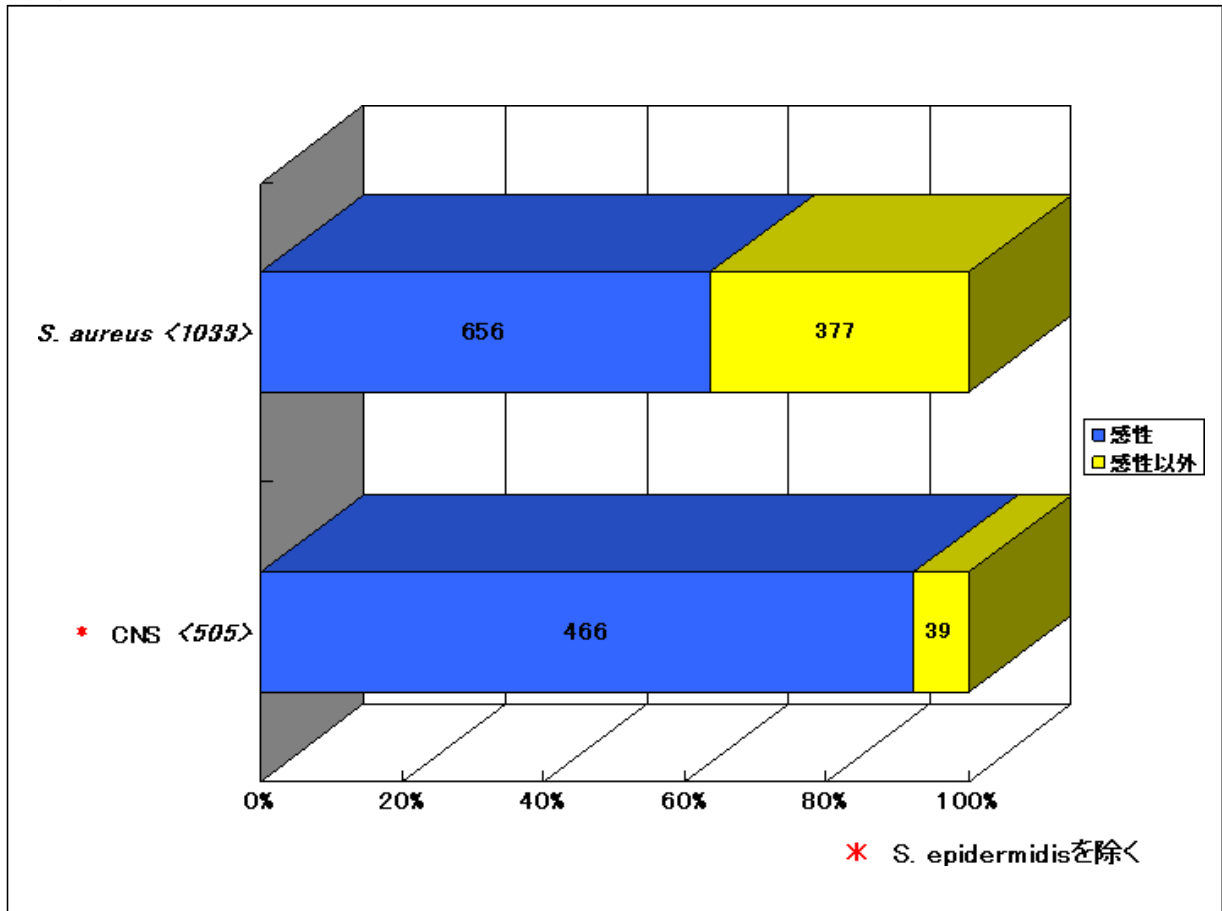
セフトキシム

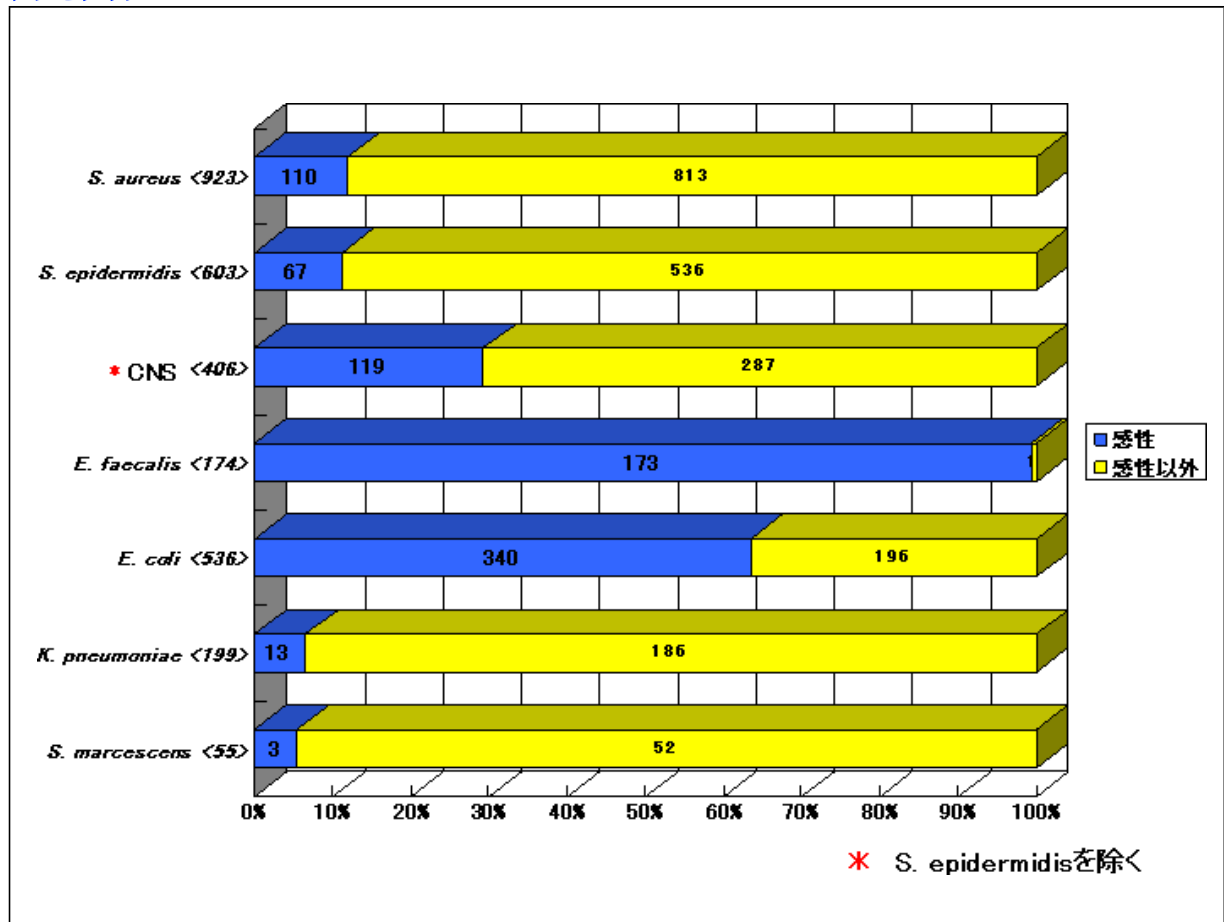


レボフロキサシン



ミノマイシン





概要 (2006年分)

本サーベイランスは、参加医療機関において血液および髄液から分離された各種細菌の検出状況や薬剤感受性パターンの動向を把握するとともに、新たな耐性菌の早期検出等を目的とする。これらのデータを経時的に解析し臨床の現場に還元することによって、抗菌薬の安全で有効な使用方法や院内感染制御における具体的かつ確実な情報を提供する。

【検 体】

| | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|--------------|--------------|--------------|
| 総検体数 | 163,677 | 169,130 | 187,314 |
| 血液検体数 | 146,527(230) | 152,822(210) | 170,096(213) |
| 髄液検体数 | 17,150(198) | 16,308(184) | 17,218(188) |

() 内は施設数

2006年に全国の医療機関より報告された検体数は総数187,314件(血液170,090件(213施設)、髄液17,218件(188施設))であった。

検体から菌が分離された頻度(検体陽性率)は15.1%(血液検体で16.1%、髄液検体で5.0%)であった。

【分離頻度】

血液検体総数に対する主要分離菌の頻度では、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(2.76%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(2.80%)、大腸菌(*E. coli*)(2.27%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(1.95%)、肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)(0.85%)、腸球菌(*E. faecalis*)(0.69%)、緑膿菌(*P. aeruginosa*)(0.68%)、*S. pyogenes*、*S. agalactiae*、*S. pneumoniae*を除く *Streptococcus* spp.(0.64%)、*Bacillus* spp.(0.60%)、*Enterobacter* spp.(0.54%)が上位を占め、第1～5位までの菌種は前年(2005年)と全く同様であった。

髄液検体総数に対する主要分離菌の頻度では、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(0.93%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(0.86%)、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(0.73%)、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(0.67%)、インフルエンザ菌(*H. influenzae*)(0.52%)が上位を占めていた。

血液から分離された菌株総数に対する主要分離菌の頻度では、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(17%)、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(14%)、大腸菌(*E. coli*)(12%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(10%)、肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)(4%)、腸球菌(*E. faecalis*)(4%)、緑膿菌(*P. aeruginosa*)(4%)が上位を占め、第1～5位までの菌種は前年(2005年)と全く同様であった。

髄液から分離された菌株総数に対する主要分離菌の頻度は、表皮ブドウ球菌(*S. epidermidis*)(16%)、表皮ブドウ球菌以外のコアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)(15%)、黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)(12%)、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(11%)、インフルエンザ菌(*H. influenzae*)(9%)であった。

年齢階層別では血液分離株の場合、肺炎球菌(*S. pneumoniae*)(4歳以下26.9%、50歳以上54.7%)において二峰性の傾向がみられた。*H. influenzae*では73.8%が4歳以下の小児より分離されていた。髄液分離株の場合では、*H. influenzae*において80.3%が4歳以下の小児より、*S. agalactiae*において66.7%が1歳未満の乳児より分離されていた。

【薬剤感受性】

[“微量液体希釈法(MICで報告されているもの)”のみ対象とした。血液分離株と髄液分離株の合計について概説した。]

黄色ブドウ球菌(*S. aureus*)のMRSAの割合はオキサシリン(MPIPC)の成績で判断する限り、63%(血液分離株で63%、髄液分離株で74%)で、全体では従来の成績と同じであった。

テイコプラニン(TEIC)に対しては表皮ブドウ球菌の3%(I:2%、R:1%)、CNSの3%(I:2%、R:1%)が耐性株と判定されていた。

肺炎球菌(*S. pneumoniae*)におけるペニシリン耐性株の割合は44%(PISP33%、PRSP11%)であった。

インフルエンザ菌(*H. influenzae*)におけるABPC耐性株の割合は、40%であった。なお、ABPC耐性インフルエンザ菌(*H.*

influenzae)の原因としては、ラクタマーゼ産生株とBLNAR菌が良く知られているが、今回のサーベイランスでは明らかにできなかった。

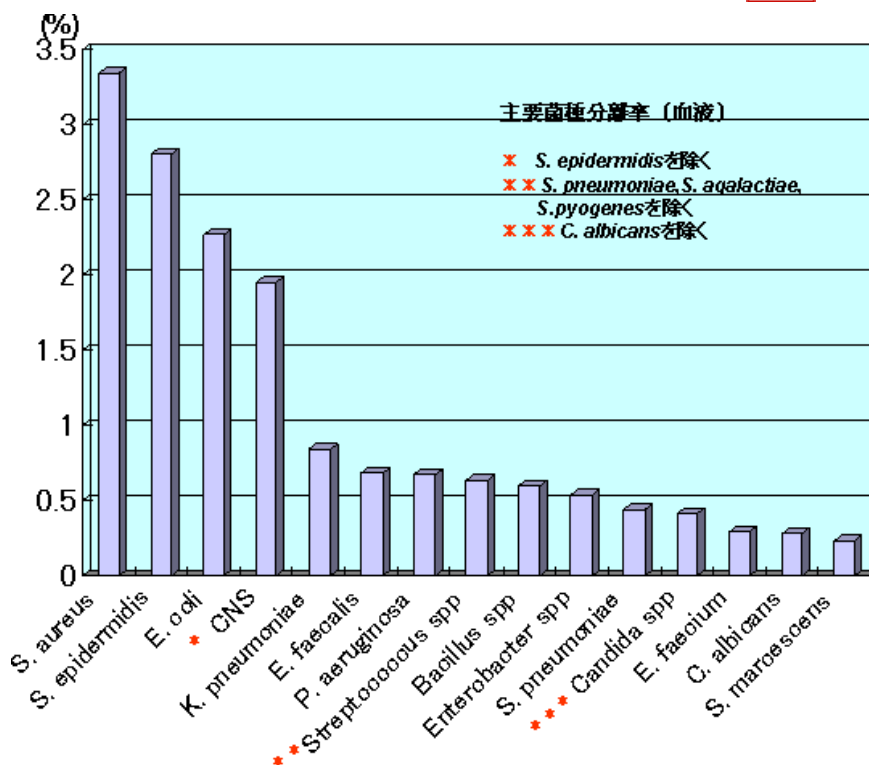
大腸菌(*E. coli*)や肺炎桿菌(*K. pneumoniae*)では近年第三世代セフェム系抗菌薬に耐性を示すESBL産生菌が院内感染の原因菌として注目されてきている。今回の調査における第三世代セフェム系抗菌薬耐性株の割合は、大腸菌で、セフトキシム(CTX)耐性株5%(I:1%、R:4%)、セフトジジム(CAZ)耐性株1%、セフトドキシム(CPD_X-PR)耐性株16%(I:1%、R:16%)、肺炎桿菌でCTX耐性株2%(I:1%、R:1%)、CAZ耐性株1%(R:1%)であった。

緑膿菌では多剤耐性菌の動向に注意を払う必要がある。中でもカルバペネム系抗菌薬に耐性を示すメタロラクタマーゼ産生菌は今後広まることが危惧されている。今回の調査では緑膿菌(*P. aeruginosa*)のイミペネム(IPM)耐性株の割合は22%であった。また、メタロラクタマーゼ産生菌はセラチア・マルセッセンス(*S. marcescens*)にもみられているが、セラチア・マルセッセンス(*S. marcescens*)におけるイミペネム(IPM)耐性株の割合は4%であった。しかし、これらのイミペネム(IPM)耐性緑膿菌(*P. aeruginosa*)とセラチア・マルセッセンス(*S. marcescens*)の中にどのくらいの頻度でメタロラクタマーゼ産生菌が存在するのかは本サーベイランスでは明らかにできなかった。

表. 血液から分離された菌における汚染菌の頻度

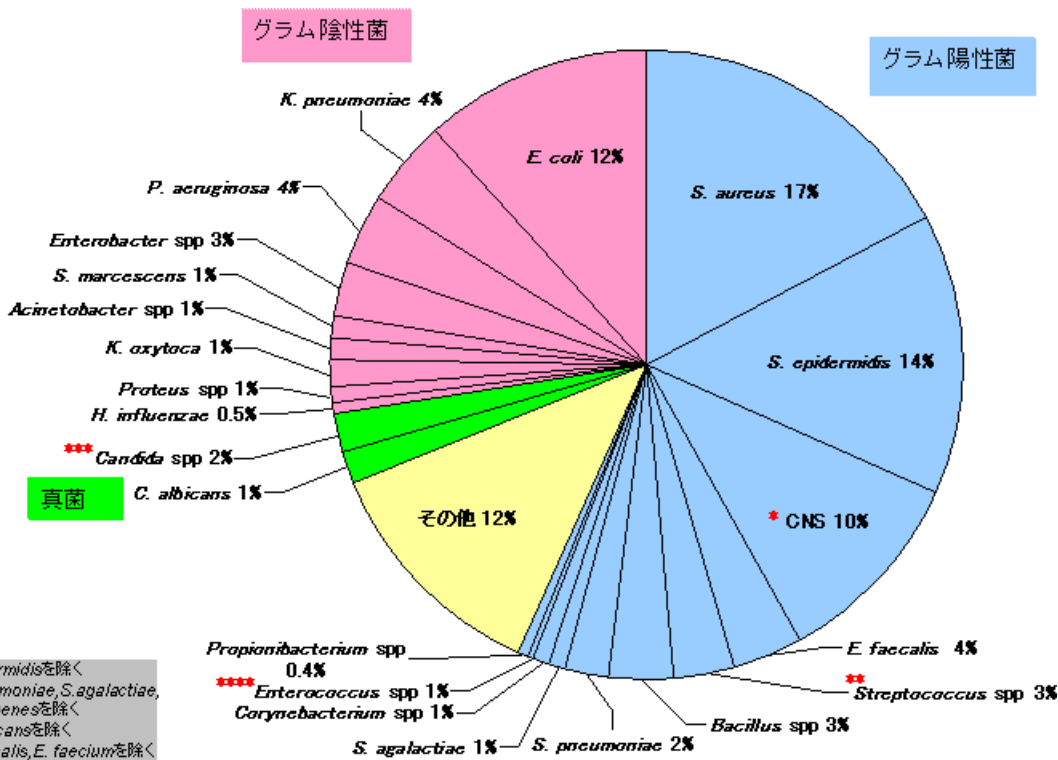
| 菌名 | 汚染菌の頻度 |
|-------------------------------------|---|
| <i>Propionibacterium</i> spp. | 99.0 ~ 100.0% |
| <i>Bacillus</i> spp. | 91.7 ~ 94.7% |
| <i>Corynebacterium</i> spp. | 79.0 ~ 96.2 % |
| Coagulase-negative staphylococci | 58.0 ~ 94.0% |
| <i>Clostridium perfringens</i> | 50.0 ~ 76.9% |
| Viridans streptococci | 23.8 ~ 49.3 % |
| <i>Clostridium</i> spp. | 20.0 ~ 33.0% |
| <i>Enterococcus</i> spp. | 1.8 ~ 16.1% |
| <i>Staphylococcus aureus</i> | 1.7 ~ 25.0% |
| Group B streptococci | 0 ~ 20.0% |
| <i>Lactobacillus</i> spp. | 0 ~ 18.2% |
| <i>Enterobacter</i> spp. | 0 ~ 15.0% |
| <i>Candida</i> spp. | 0 ~ 11.8 % |
| <i>Hemophilus influenzae</i> | 0 ~ 7.1% |
| <i>Serratia marcescens</i> | 0 ~ 7.0% |
| <i>Acinetobacter</i> spp. | 0 ~ 6.7% |
| Group A streptococci | 0 ~ 5.0% |
| <i>Escherichia coli</i> | 0 ~ 2.0% |
| <i>Pseudomonas aeruginosa</i> | 0 ~ 1.8% |
| <i>Bacteroides</i> spp. | 0% |
| <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> | 0% |
| <i>Proteus</i> spp. | 0% |
| <i>Klebsiella</i> spp. | 0% |
| <i>Listeria monocytogenes</i> | 0% |
| <i>Streptococcus pneumoniae</i> | 0% |
| | Clin Infect Dis 1997;24:584-602 Rev Infect Dis 1991;13:34-46 Rev Infect Dis 1988;203-210 Rev Infect Dis 1983;35-53 |

図1. 主要菌種分離率(分離件数/総検体数)、総検体数=170,096 血液



(注)陽性検体のみを報告している施設のデータは集計から除外してあります。
 (注)グラフには分離件数の多い方から上位15菌種のみ掲載しています。

図2. 主要菌種分離頻度 ([分離件数/総分離菌数] X100) 血液



総分離菌数: 32,955件

(注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

図3-1. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性球菌 血液

(注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注)年齢不詳データは除いて表示しています。

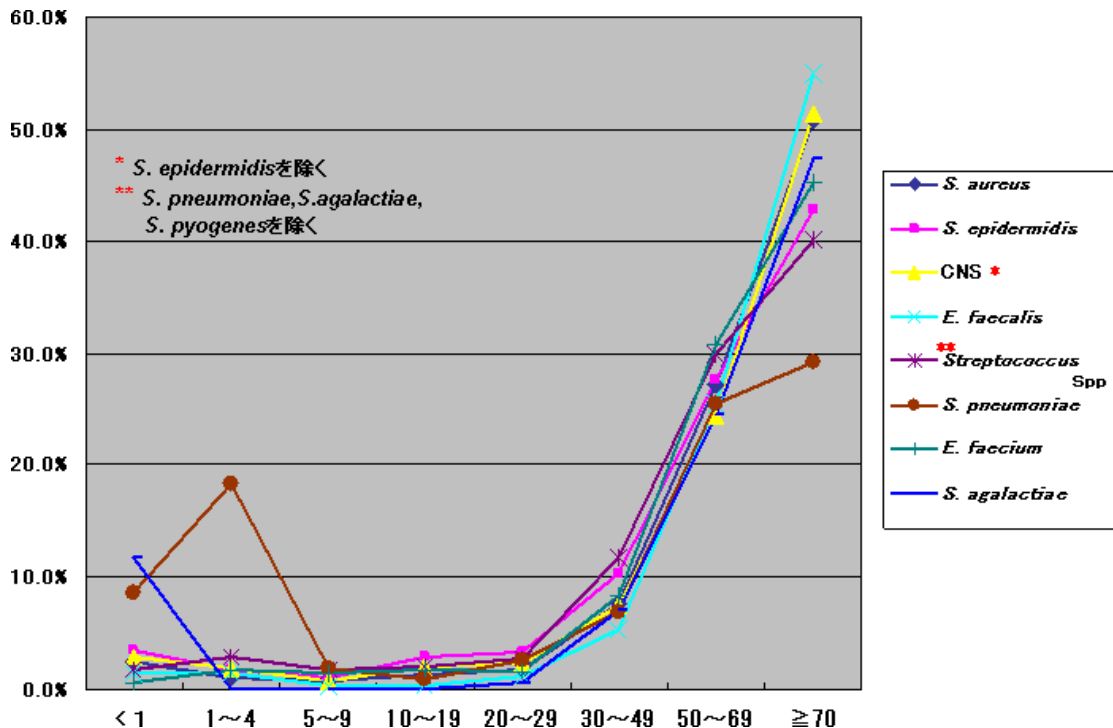


図3-2. 主要菌種別年齢分布 グラム陰性桿菌 血液

(注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注)年齢不詳データは除いて表示しています。

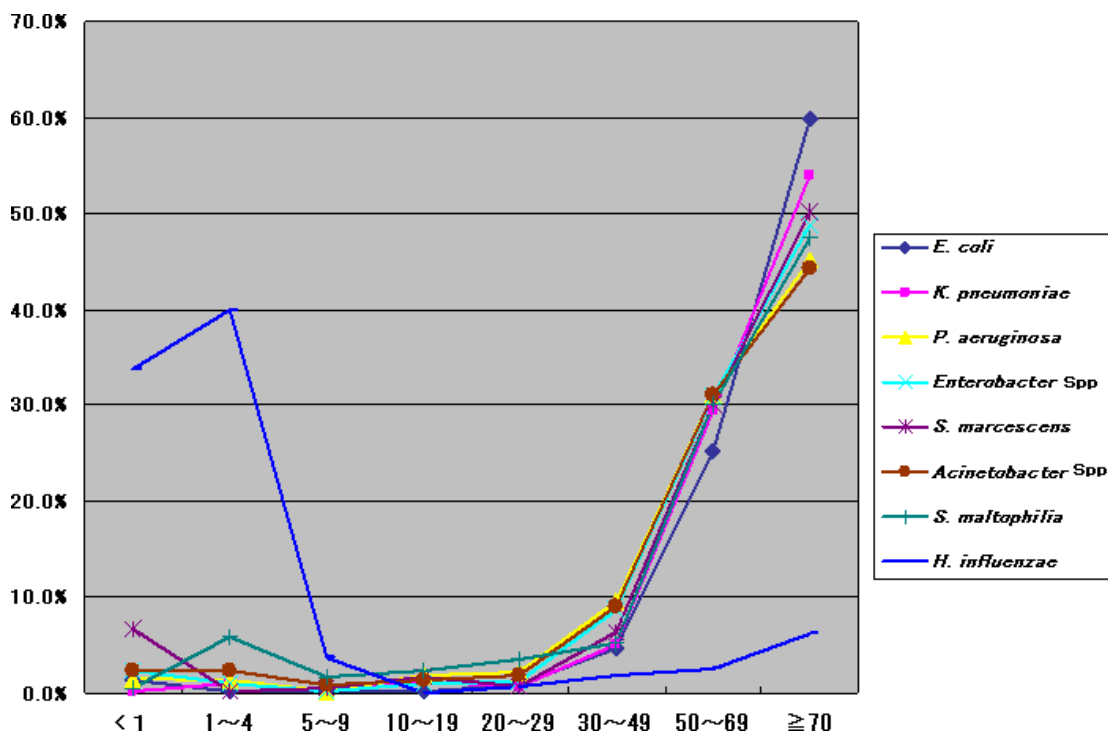


図3-3. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性桿菌/真菌 血液

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

(注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

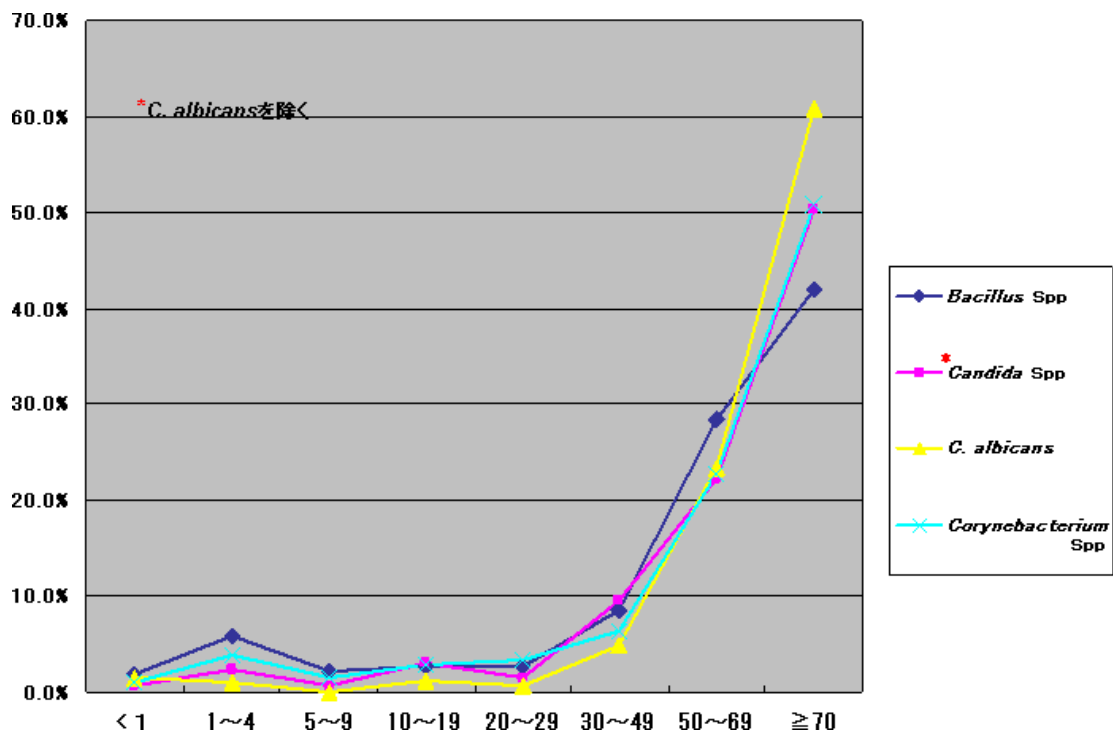
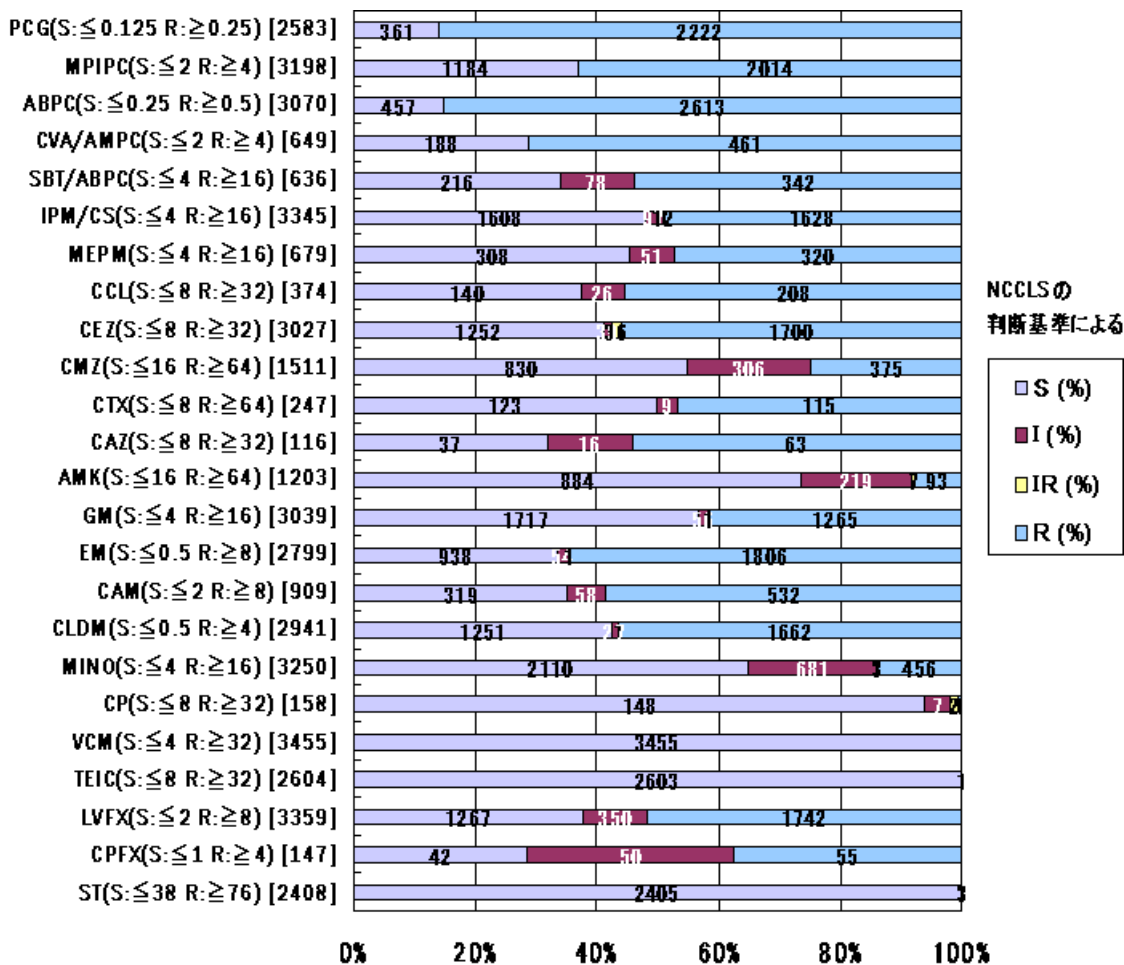


図4-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* 血液

- (注) 感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
- (注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
- (注) グラフのバーには株数が表示されています。
- (注) "S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
- (注) 株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。

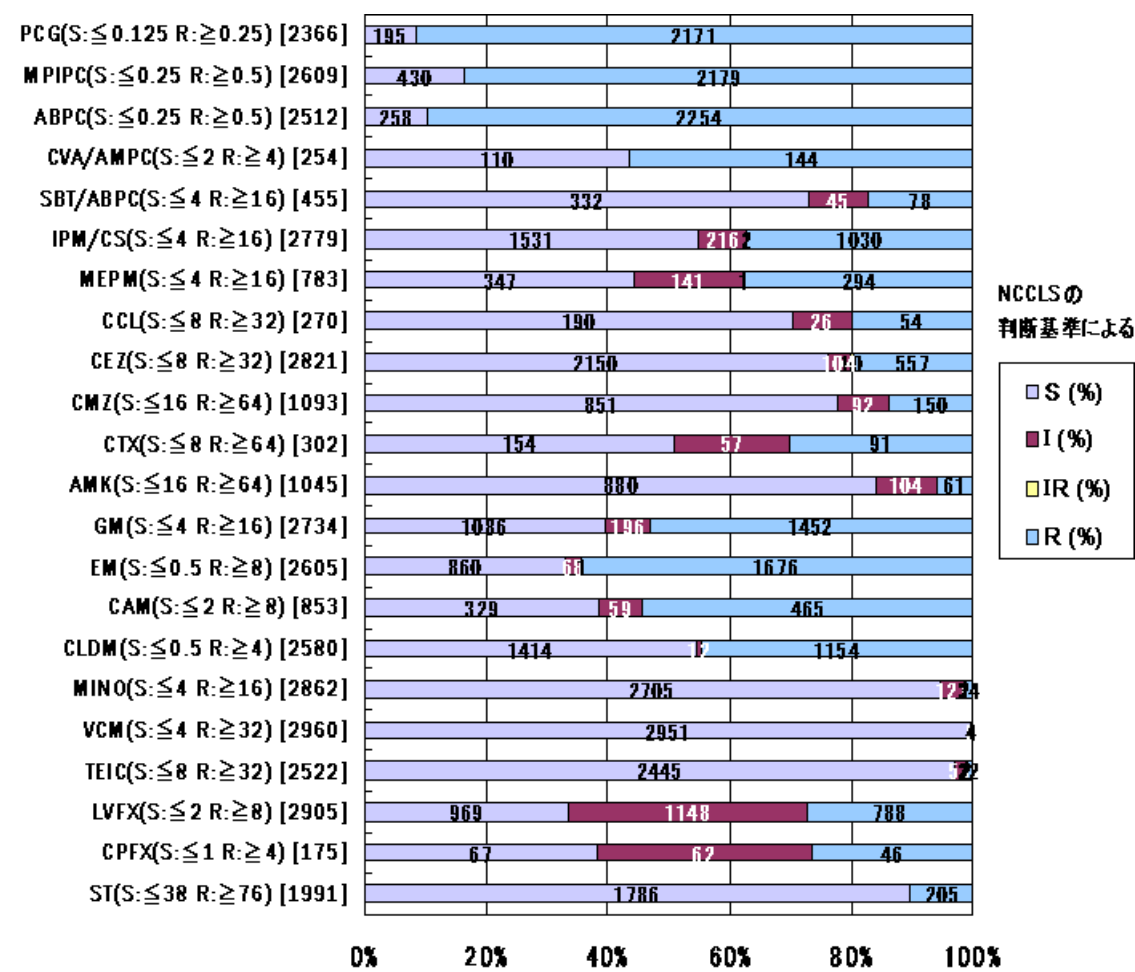


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

- ・MSSAとMRSAが含まれています。
- ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。
- ・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidermidis* 血液

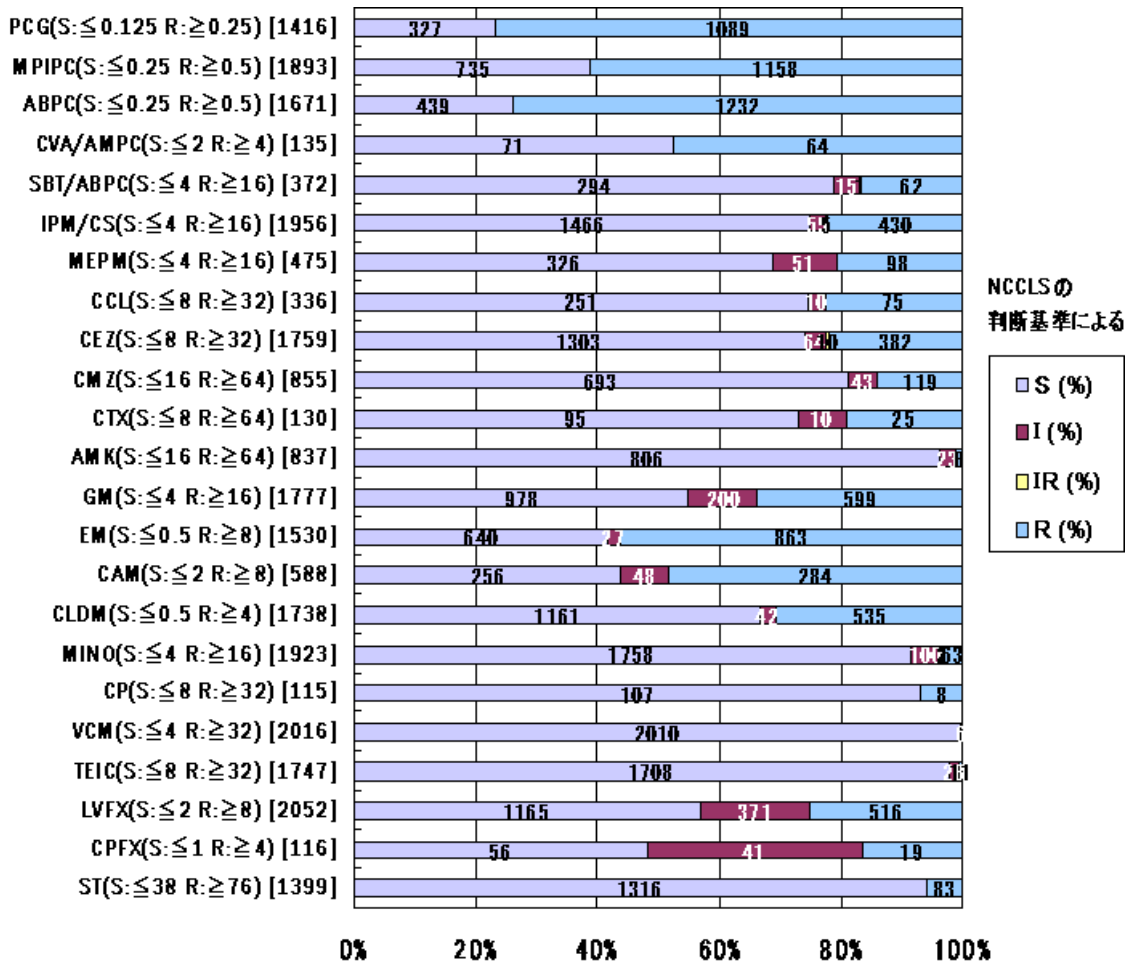


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) 血液

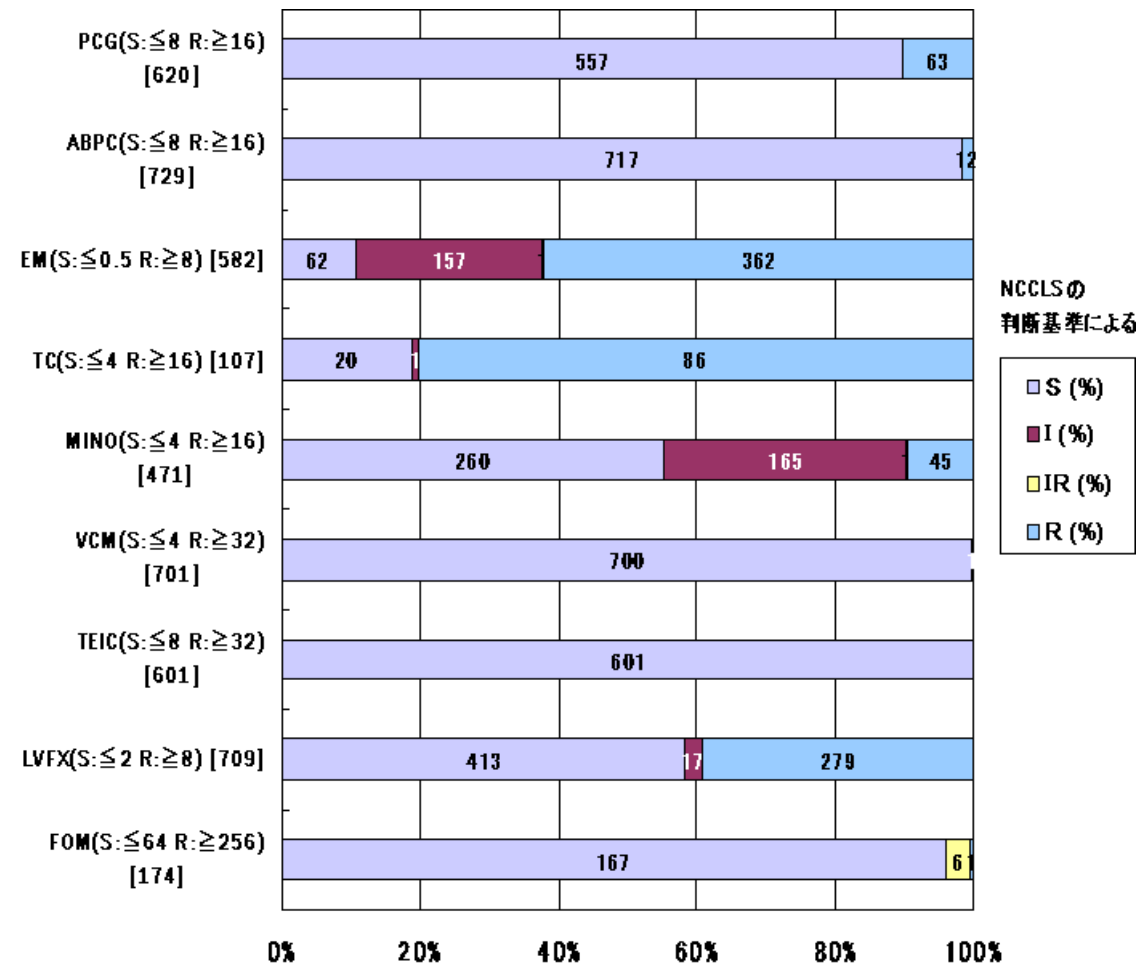


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-4. 主要菌別耐性頻度 *E. faecalis* 血液

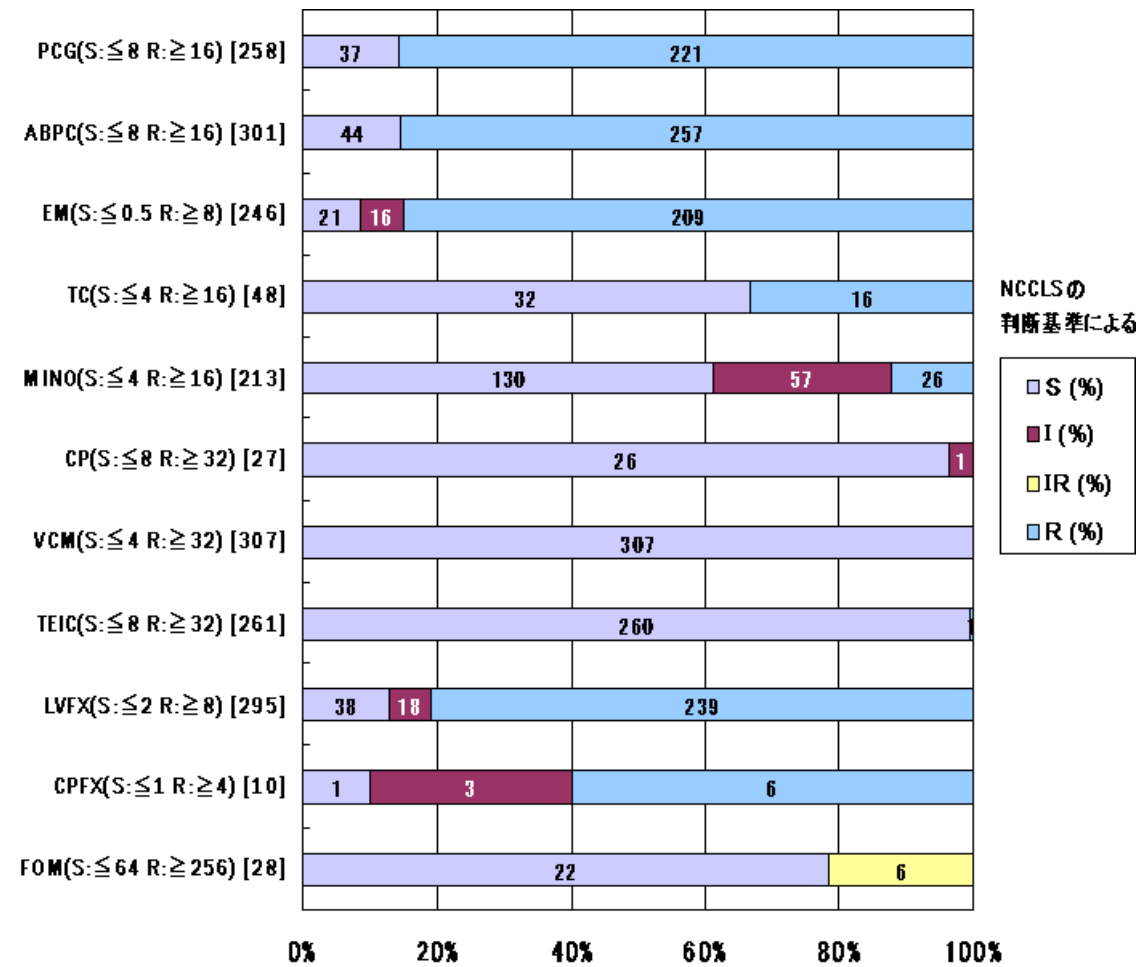


60株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-5. 主要菌別耐性頻度 *E. faecium* 血液

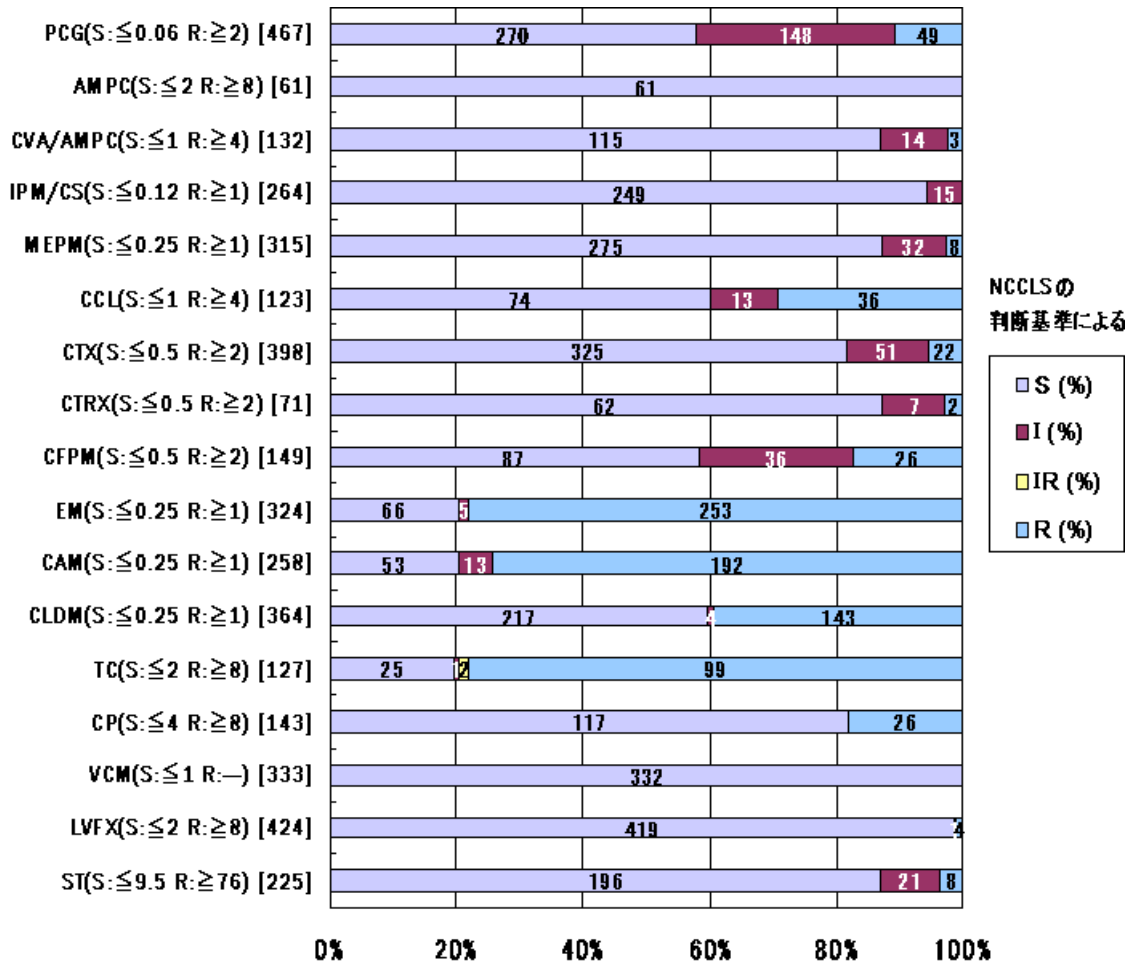


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図4-6. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 血液

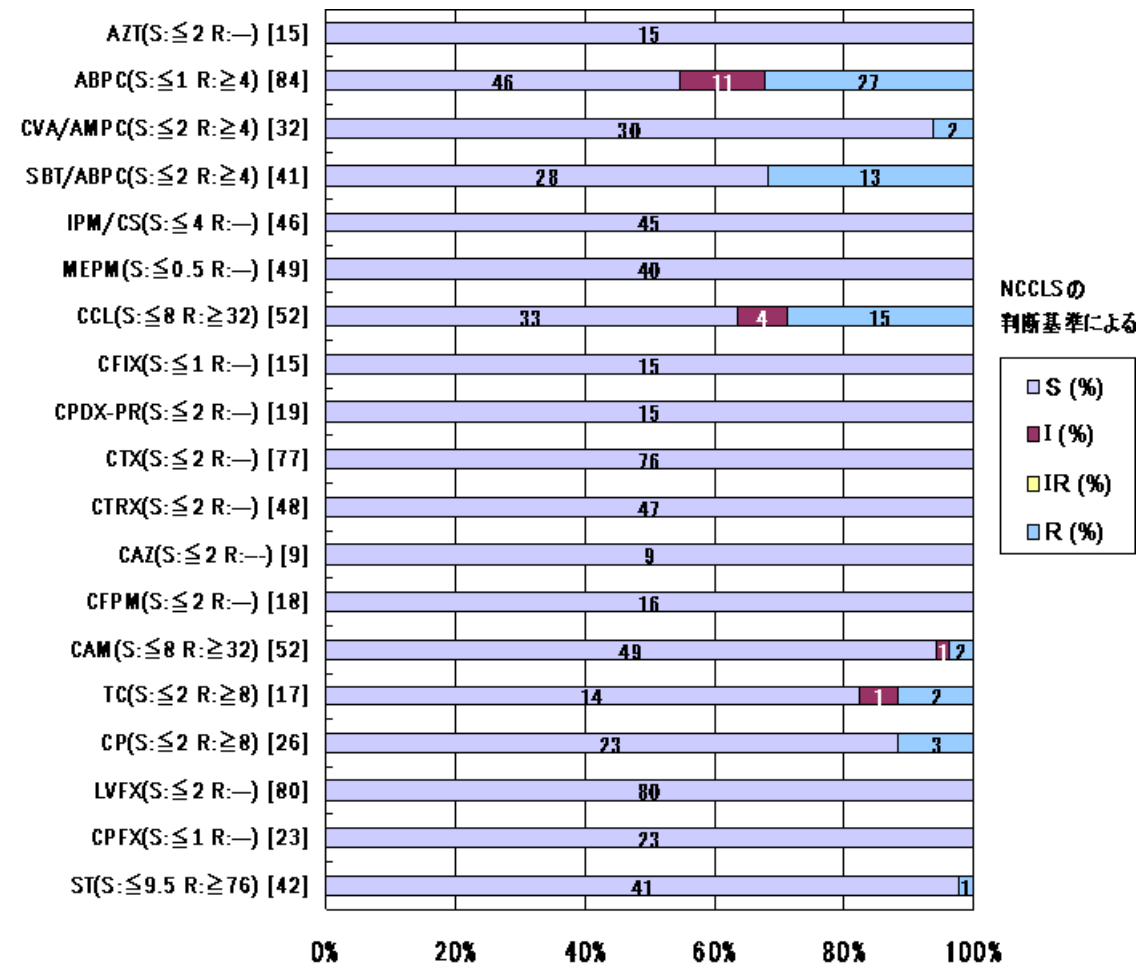


30株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

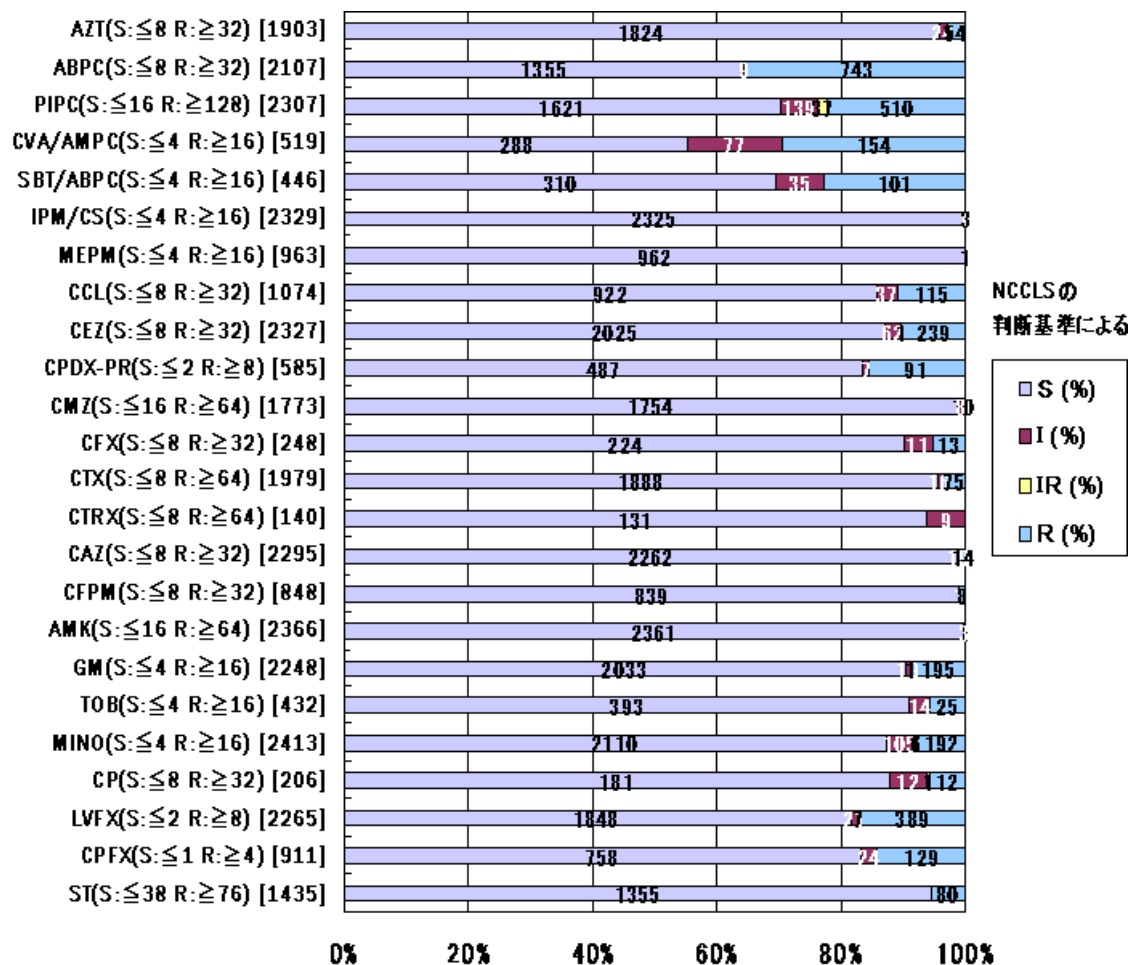
図4-7. 主要菌別耐性頻度 *H. Influenzae* 血液



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図4-8. 主要菌別耐性頻度 *E. coli* 血液

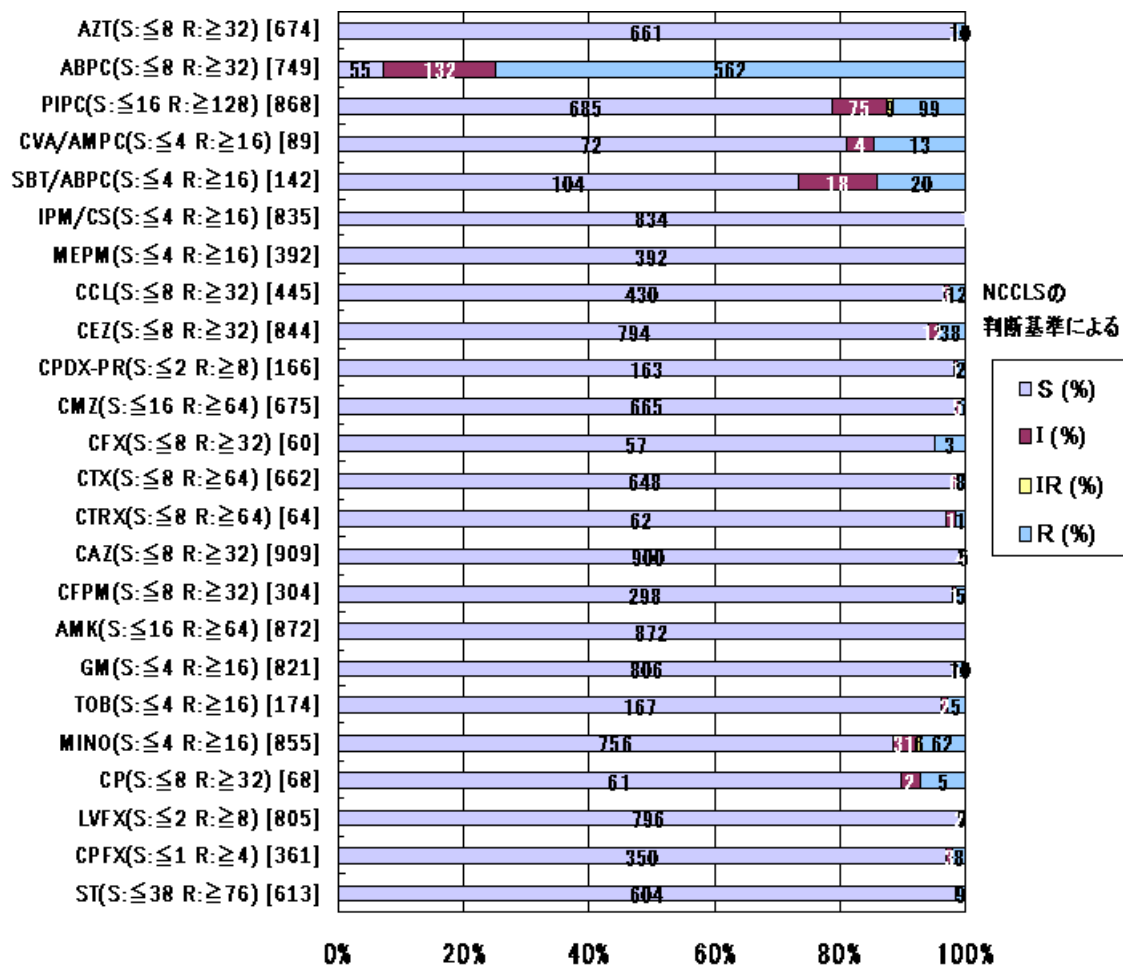


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

図4-9. 主要菌別耐性頻度 *K. pneumoniae* 血液

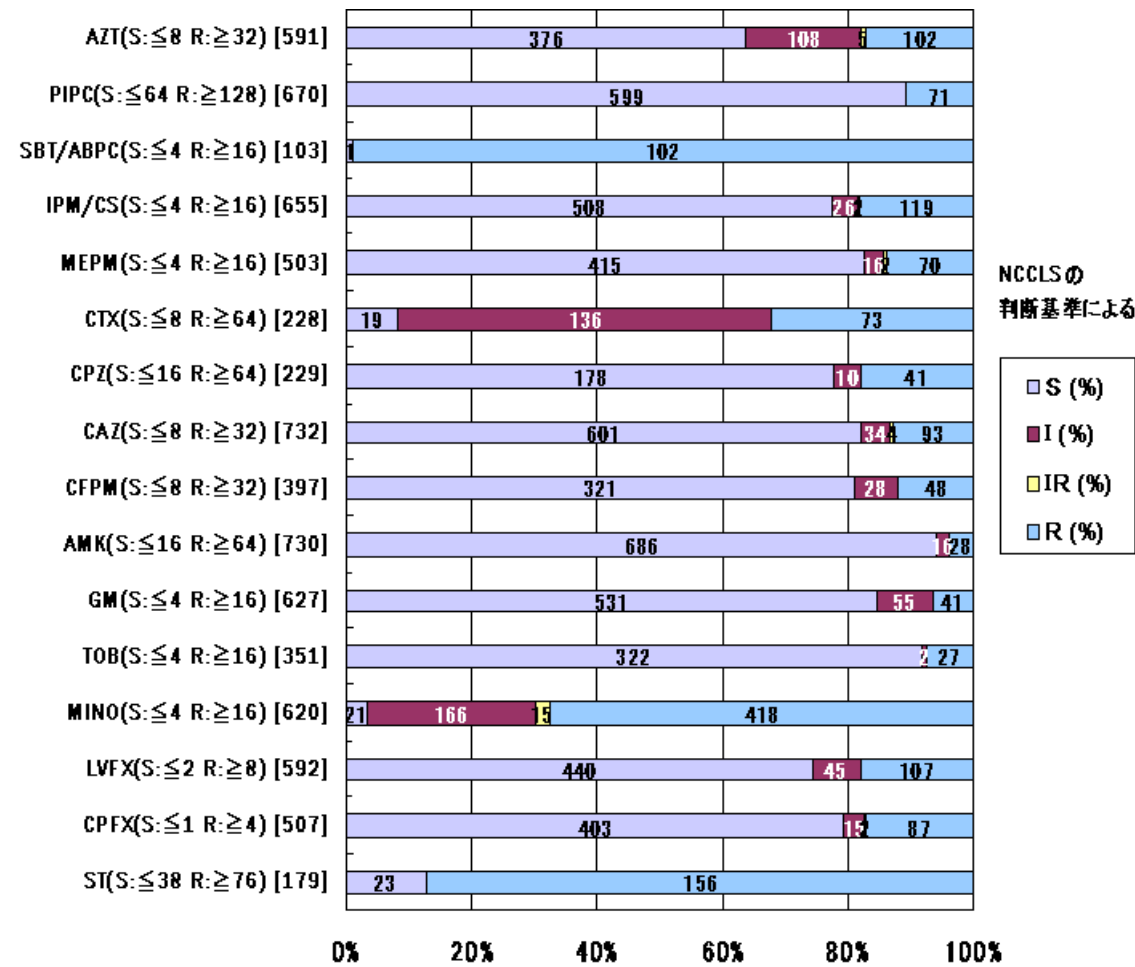


50株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

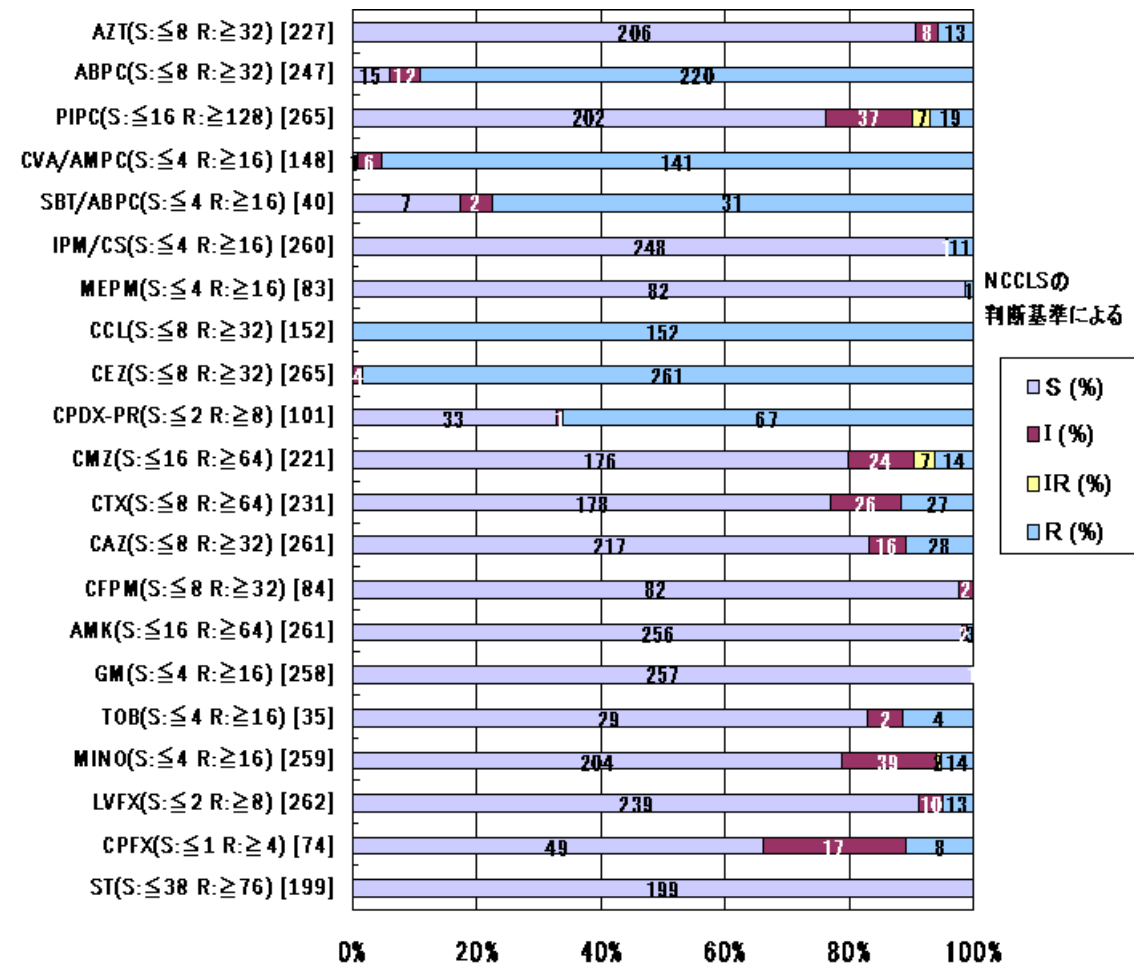
図4-10. 主要菌別耐性頻度 *P. aeruginosa* 血液



90株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図4-11. 主要菌別耐性頻度 *S. marcescens* 血液



25株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

図5. 主要菌種分離率(分離件数/総検体数)、総検体数=17,218 髄液

(注)陽性検体のみを報告している施設のデータは集計から除外してあります。
 グラフには分離件数の多い方から上位10菌種のみ掲載しています。

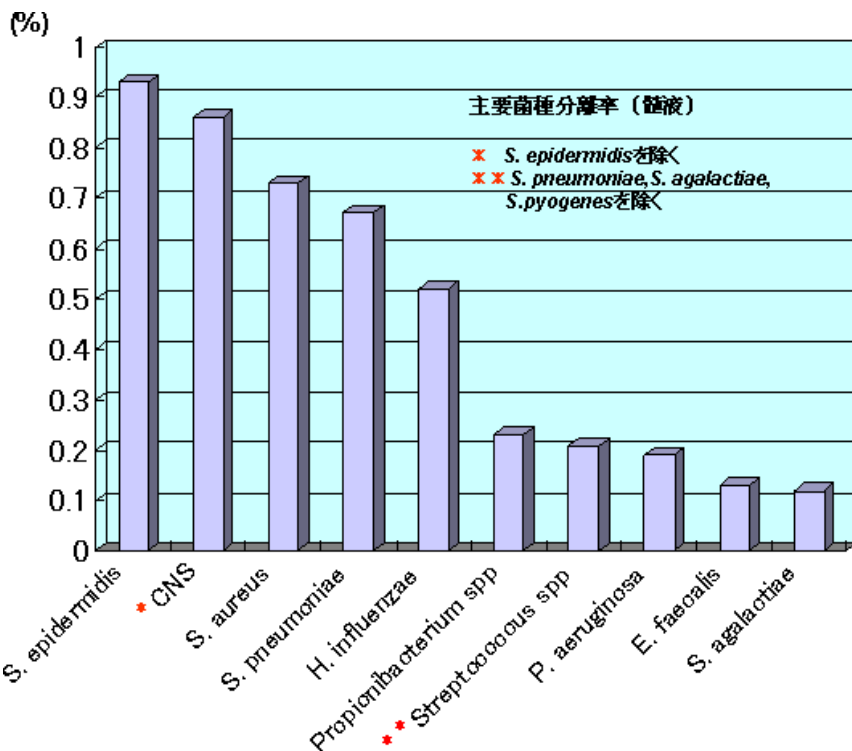
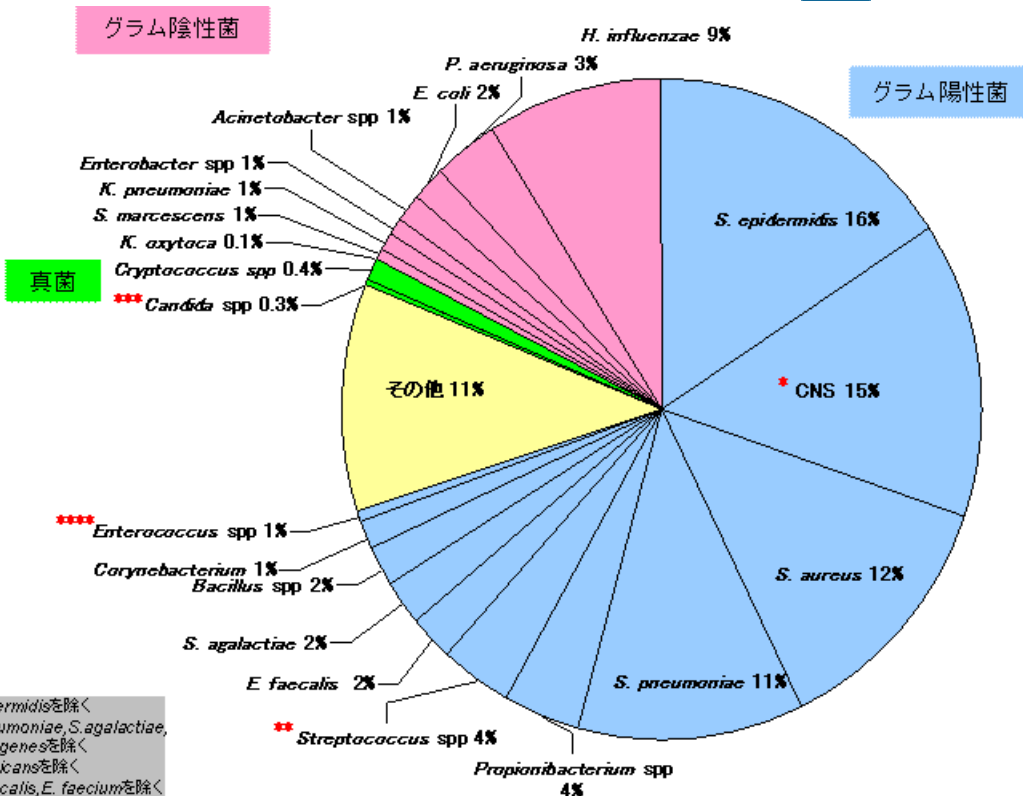


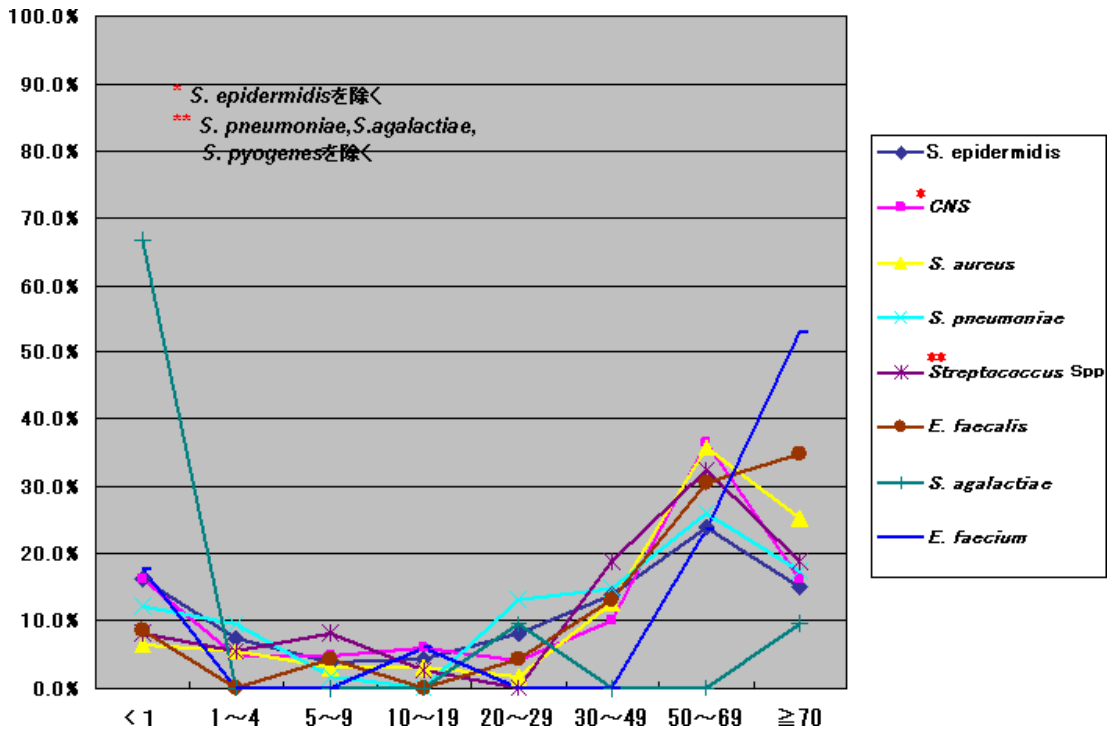
図6. 主要菌種分離頻度 ([分離件数/総分離菌数] X100) 髄液



総分離菌数: 1,014件

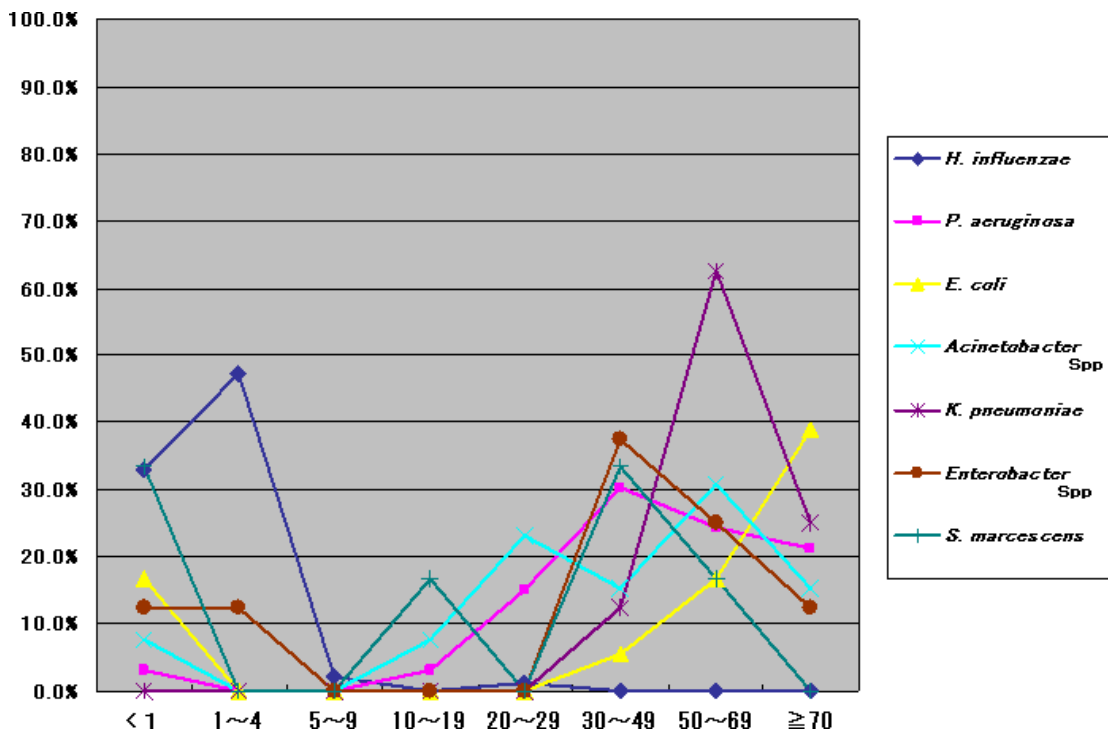
(注)陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。

図7-1. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性球菌 髄液



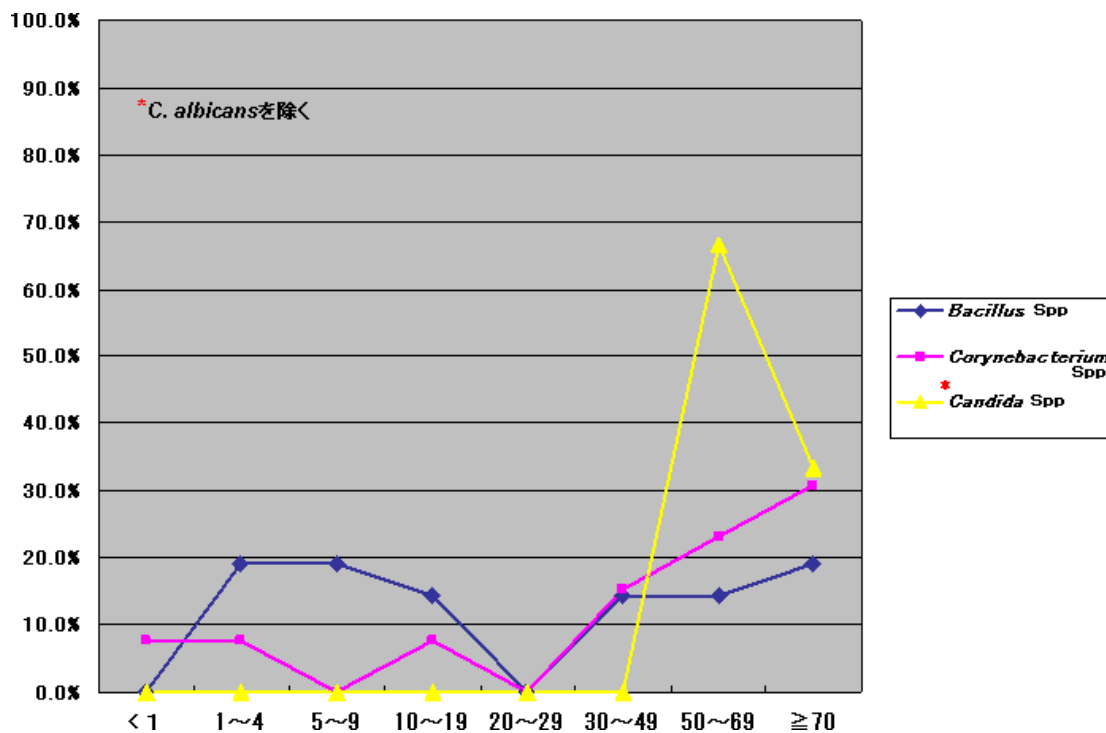
(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

図7-2. 主要菌種別年齢分布 グラム陰性桿菌 髄液



(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

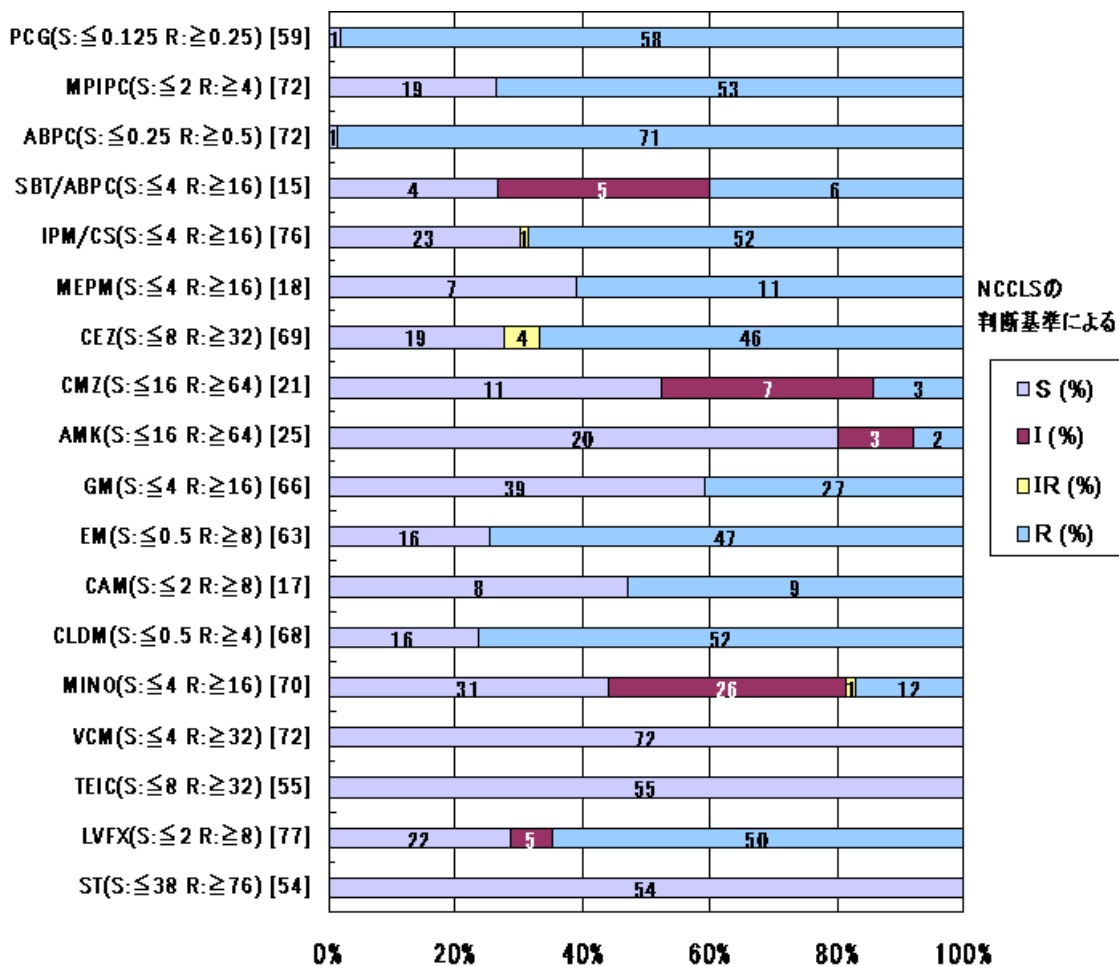
図7-3. 主要菌種別年齢分布 グラム陽性桿菌/真菌 髄液



(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) 年齢不詳データは除いて表示しています。

図8-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* 髄液

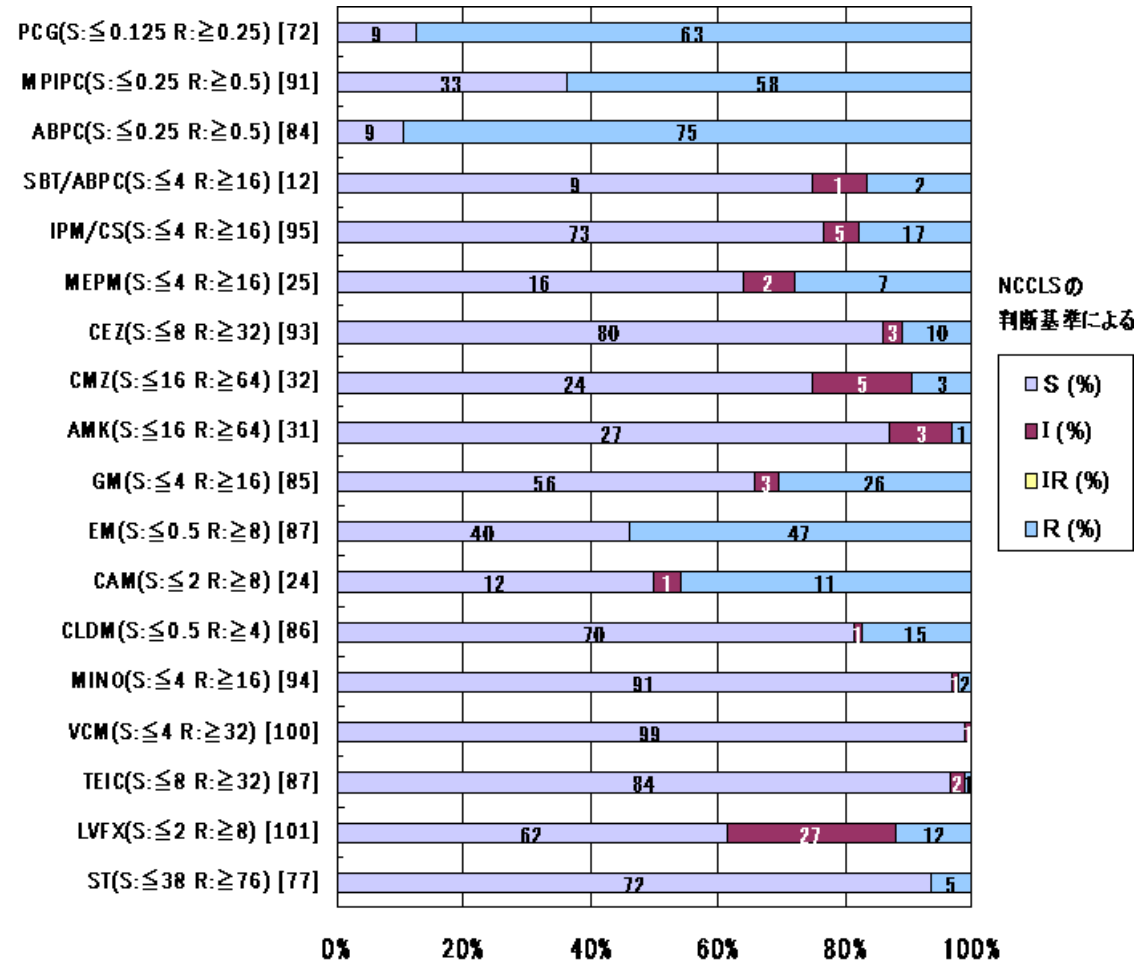
(注) 感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
 (注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) グラフのバーには株数が表示されています。
 (注) "S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
 (注) 株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。
 (注) VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について
 ・MSSAとMRSAが含まれています。
 ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。

図8-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidermidis* 髄液

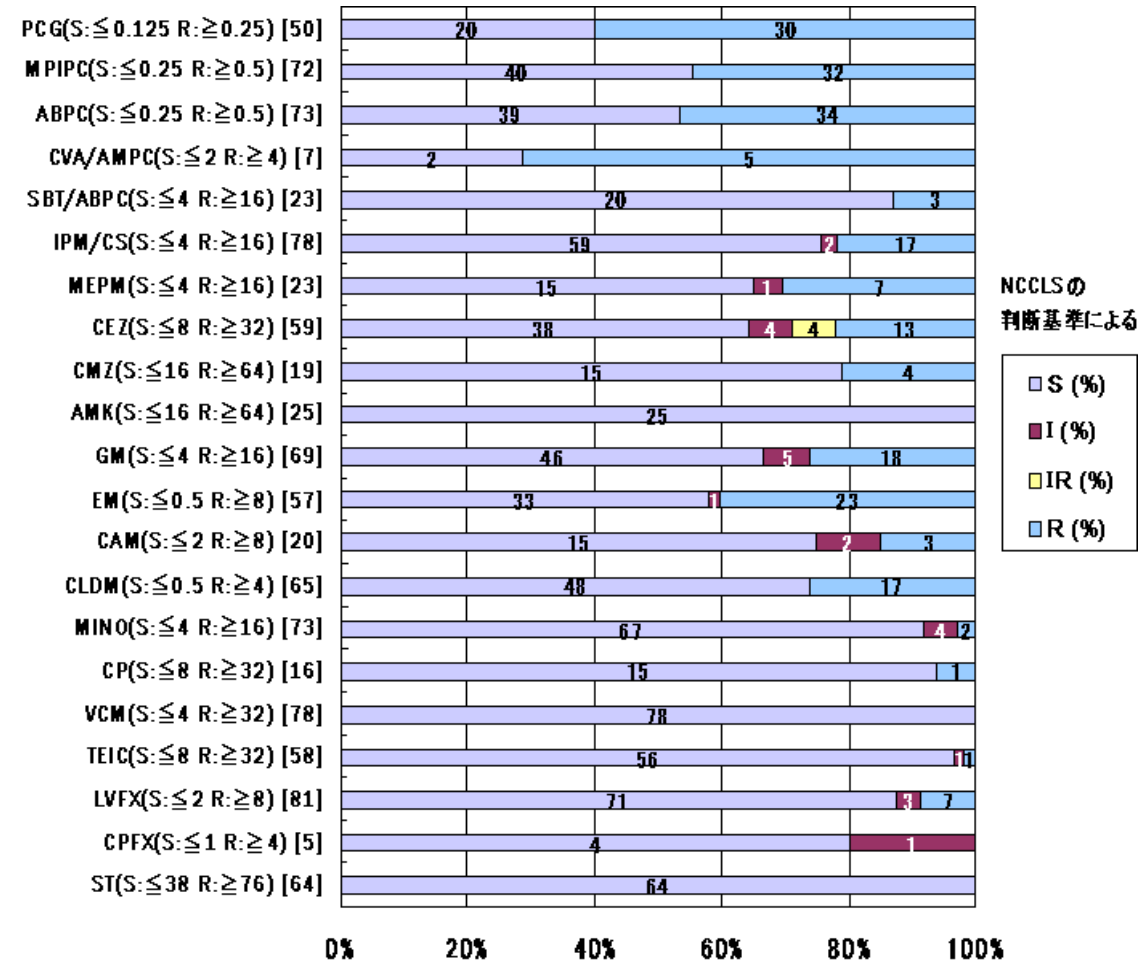


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図8-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) 髄液

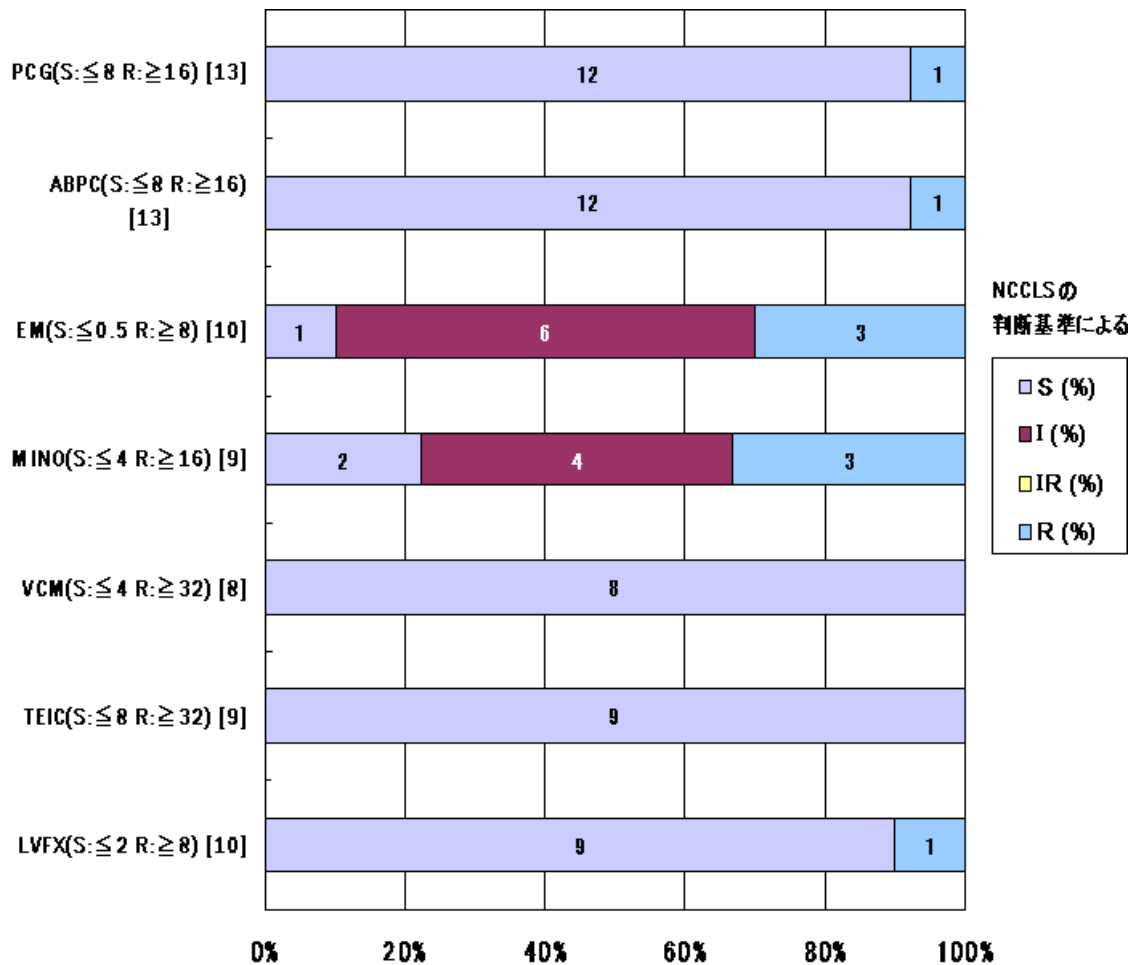


5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図8-4. 主要菌別耐性頻度 *E. faecalis* 髄液



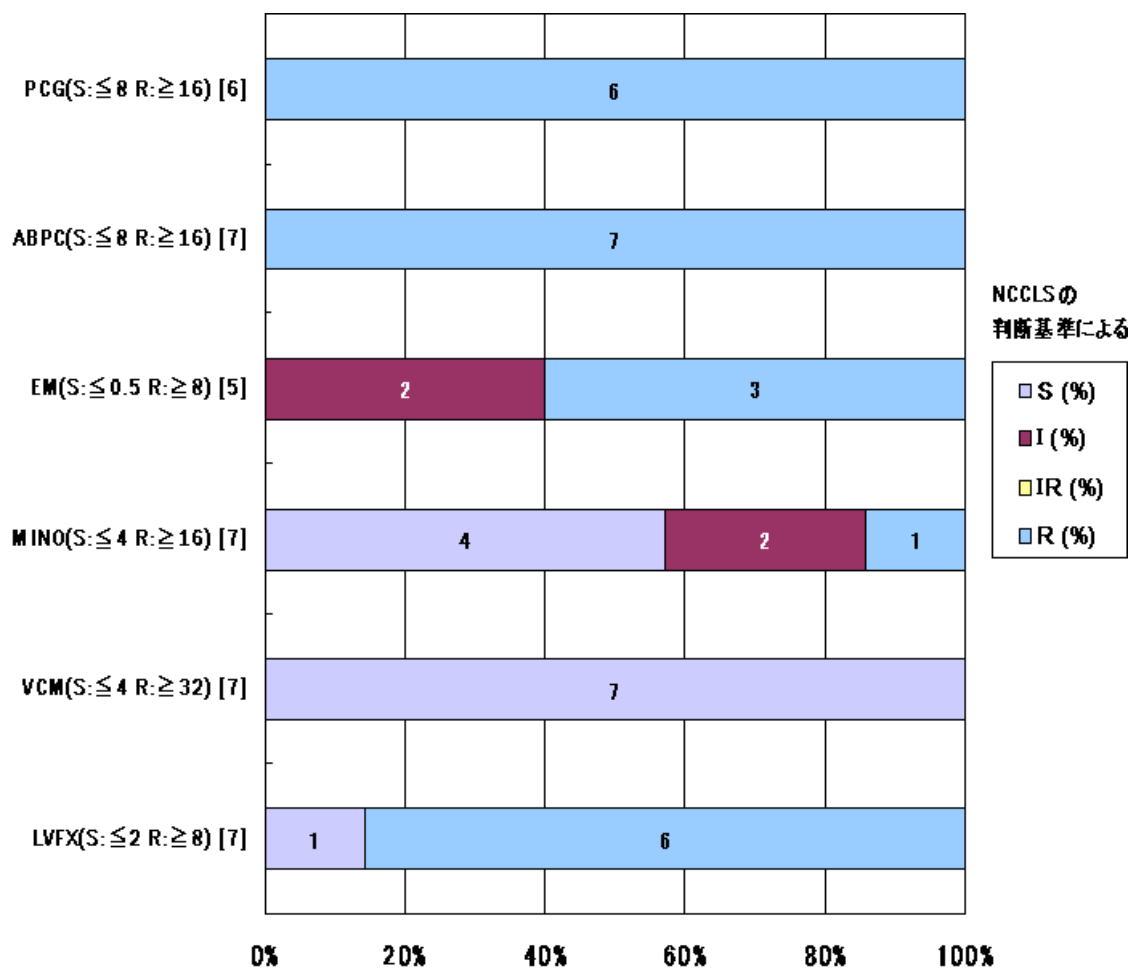
5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

図8-5. 主要菌別耐性頻度 *E. faecium* 髄液

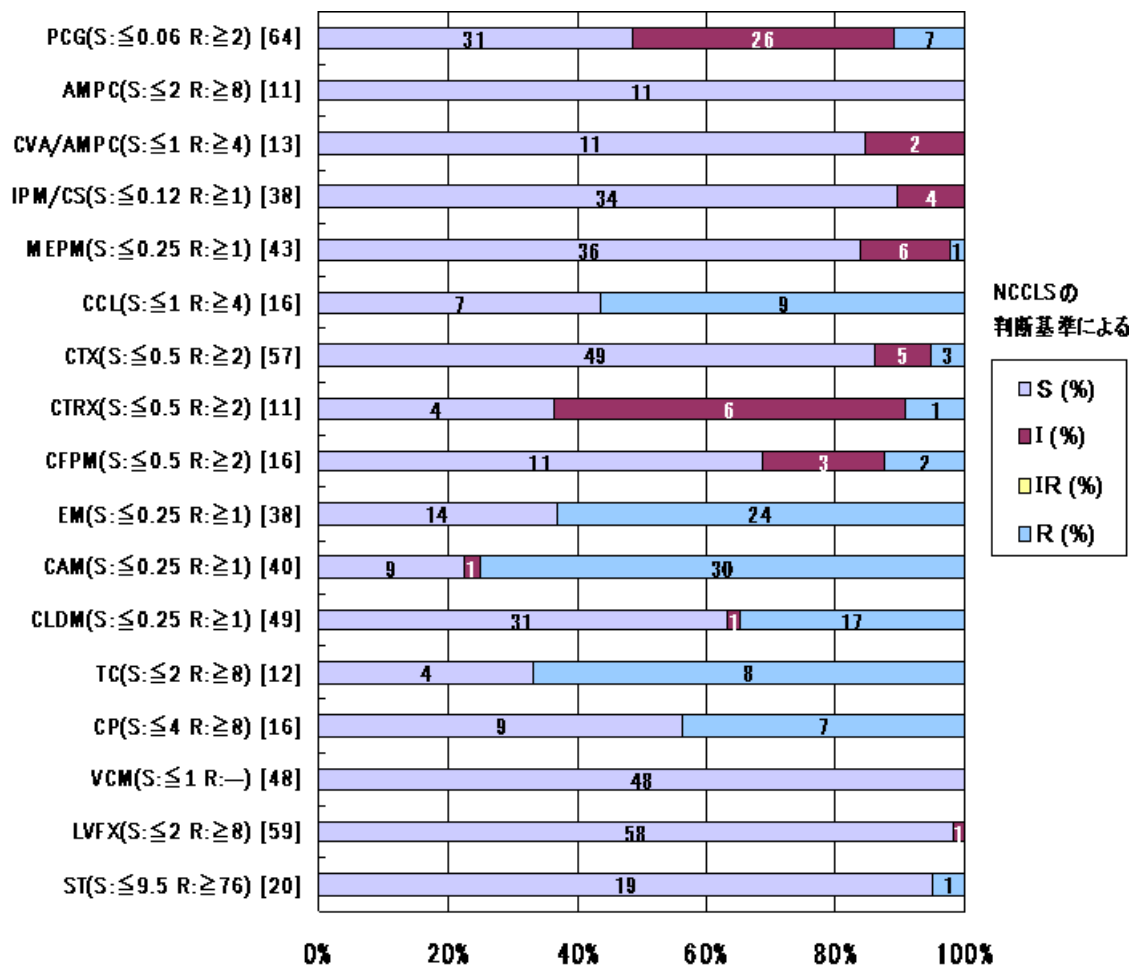


5株以上検査した薬剤について掲載

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

(注) [NCCLS の判断基準](#)について

図8-6. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 髄液

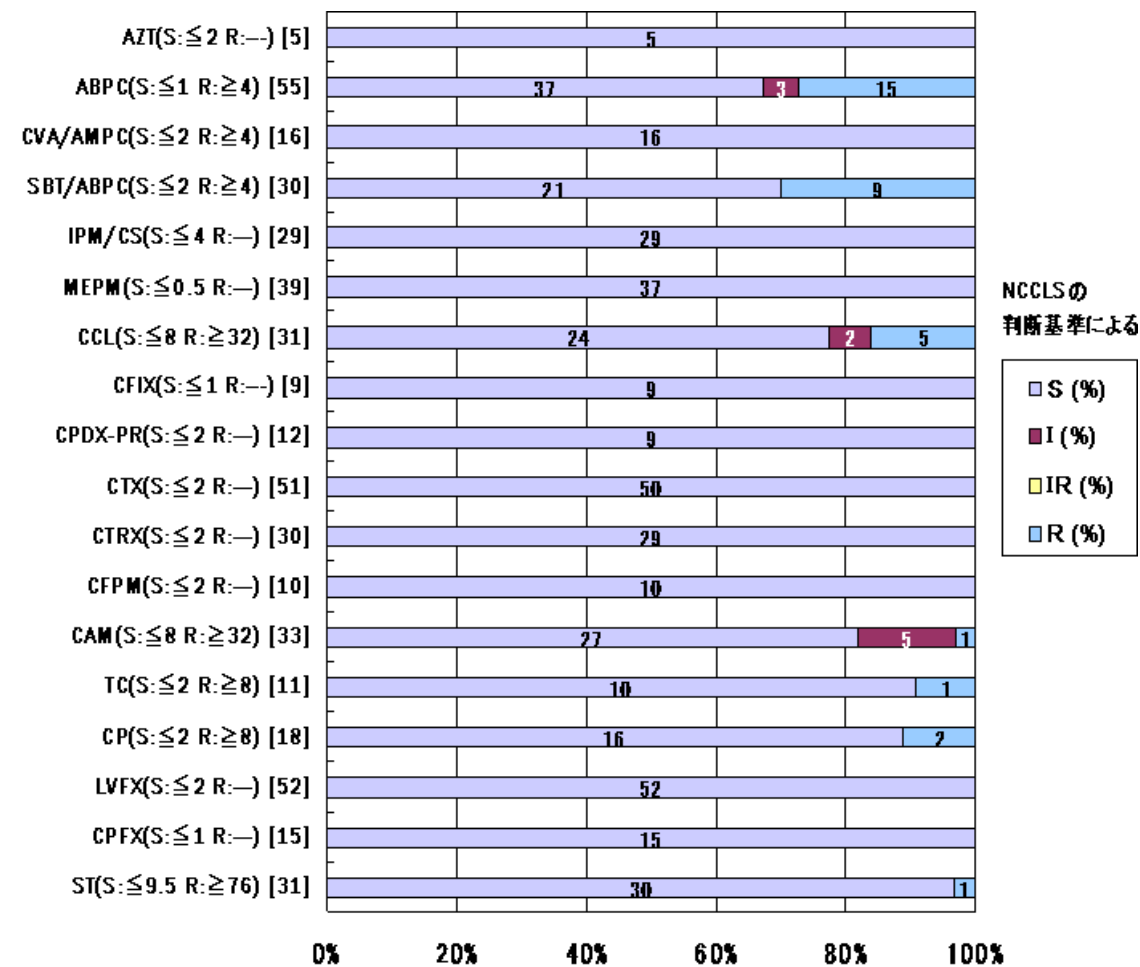


5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

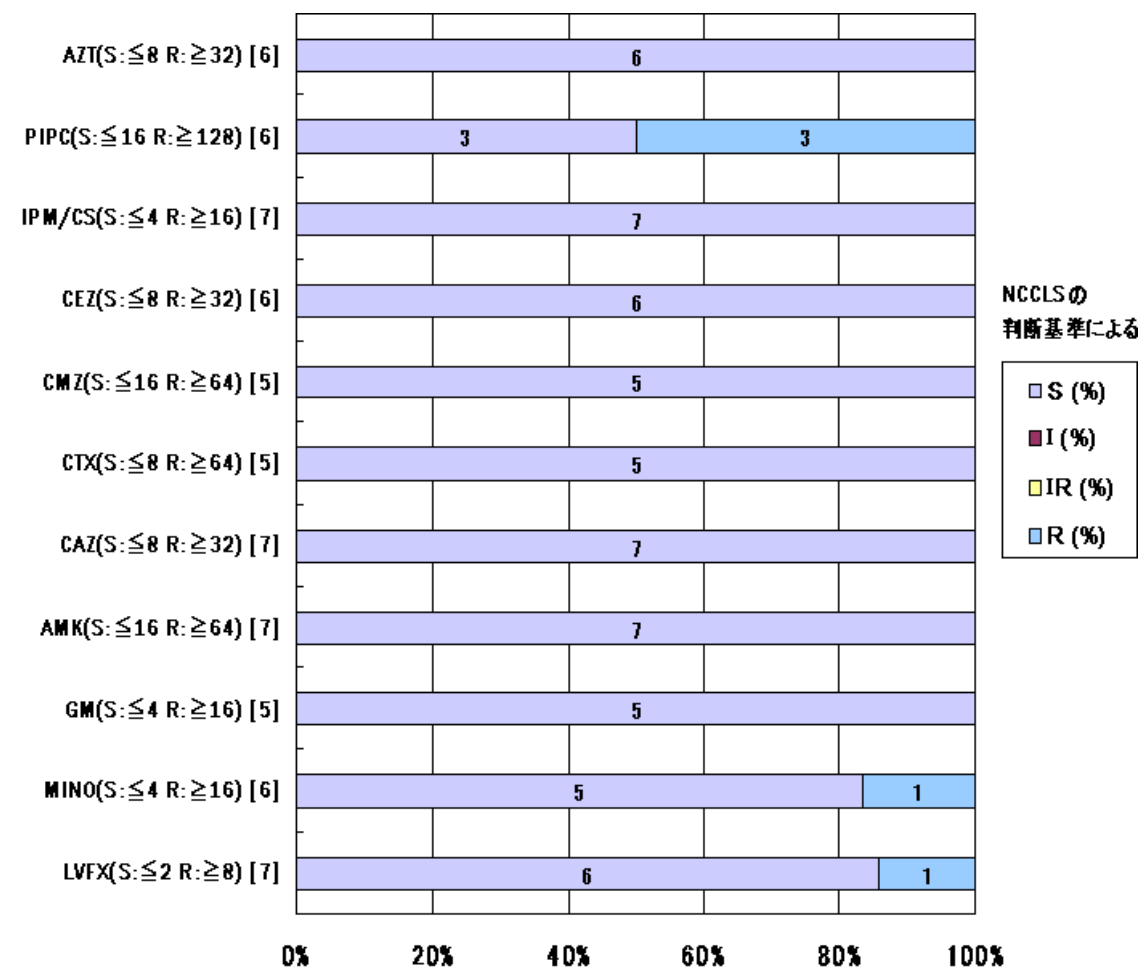
図8-7. 主要菌別耐性頻度 *H. influenzae* 髄液



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

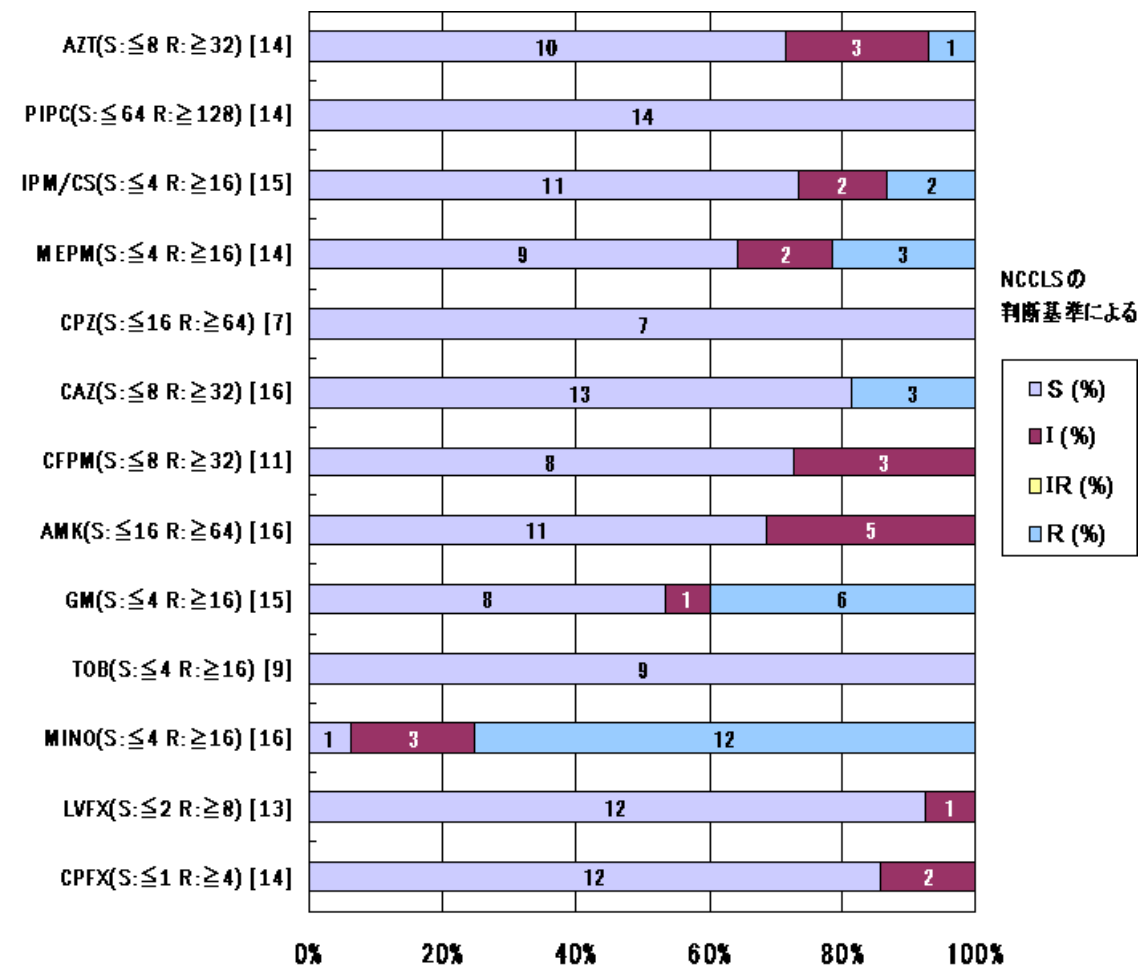
図8-8. 主要菌別耐性頻度 *E. coli* 髄液



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図8-9. 主要菌別耐性頻度 *P.aeruginosa* 髄液



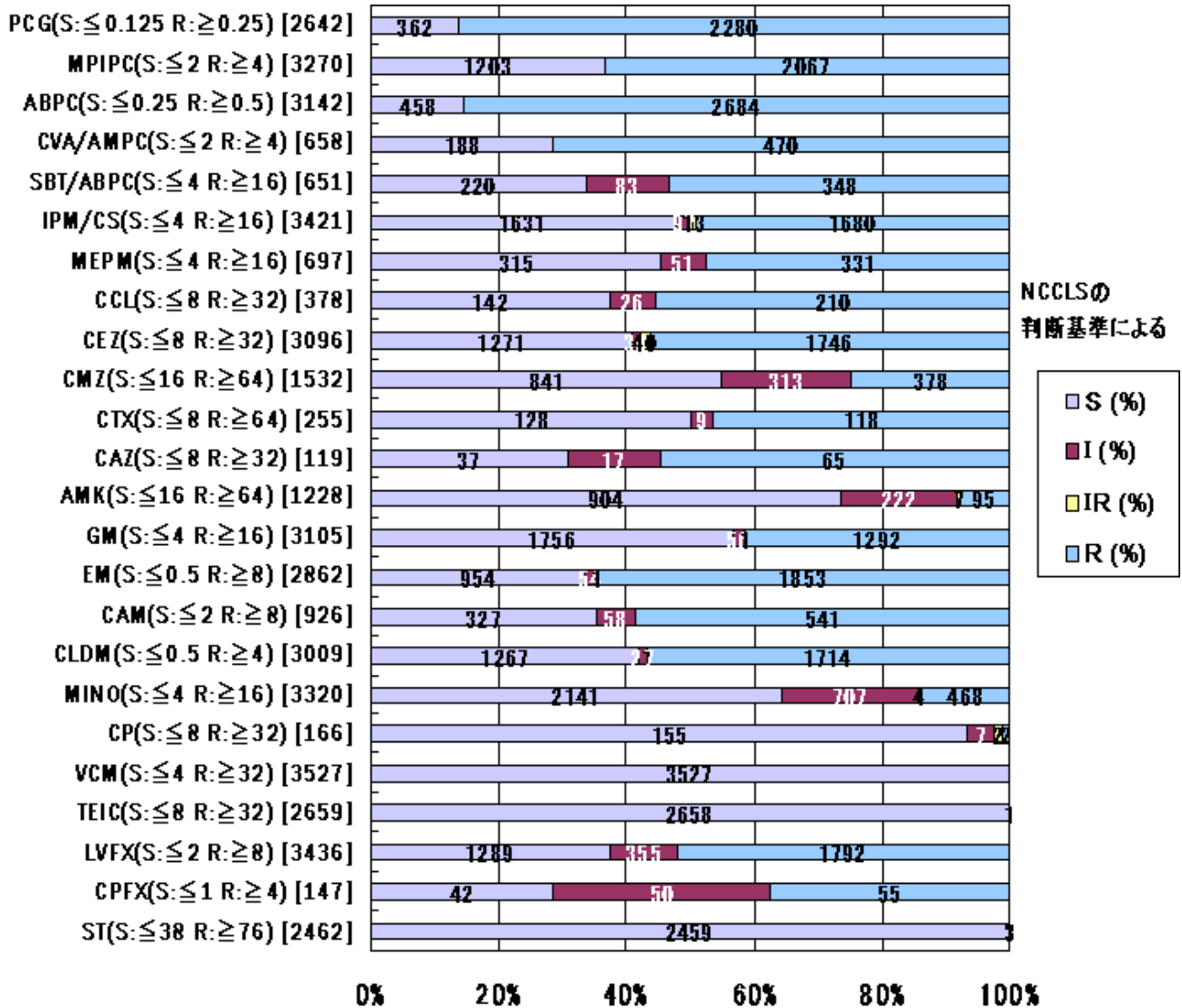
5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

図9-1. 主要菌種別耐性頻度 *S. aureus* 血液 + 髄液

- (注) 感受性試験で広く一般に使用されている薬剤について選択したため、保険適用とは必ずしも合致しません。
- (注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
- (注) グラフのバーには株数が表示されています。
- (注) "S以外"の判定が含まれていないため、総分離株数とグラフバーの株数の合計に差異が生じる場合があります。
- (注) 株数の割合により、IR、Rの数値が微小の場合、グラフバーに表れない場合があります。

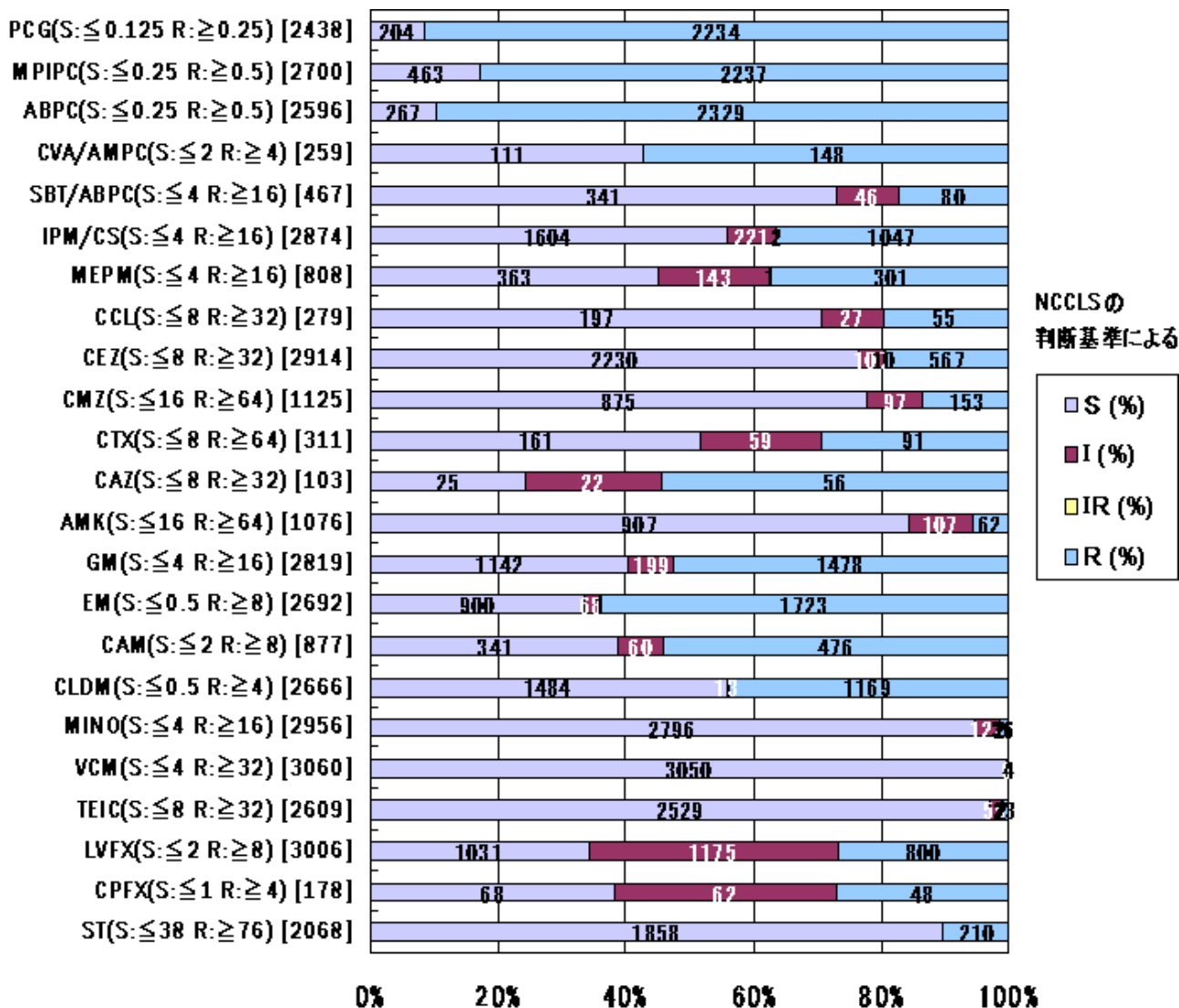


100株以上検査した薬剤について掲載

- ・MSSAとMRSAが含まれています。
- ・MPIPCの判定基準がRのものをMRSAとします。
- ・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

(注) [NCCLS の判断基準](#)について

図9-2. 主要菌別耐性頻度 *S. epidemidis* 血液+髄液

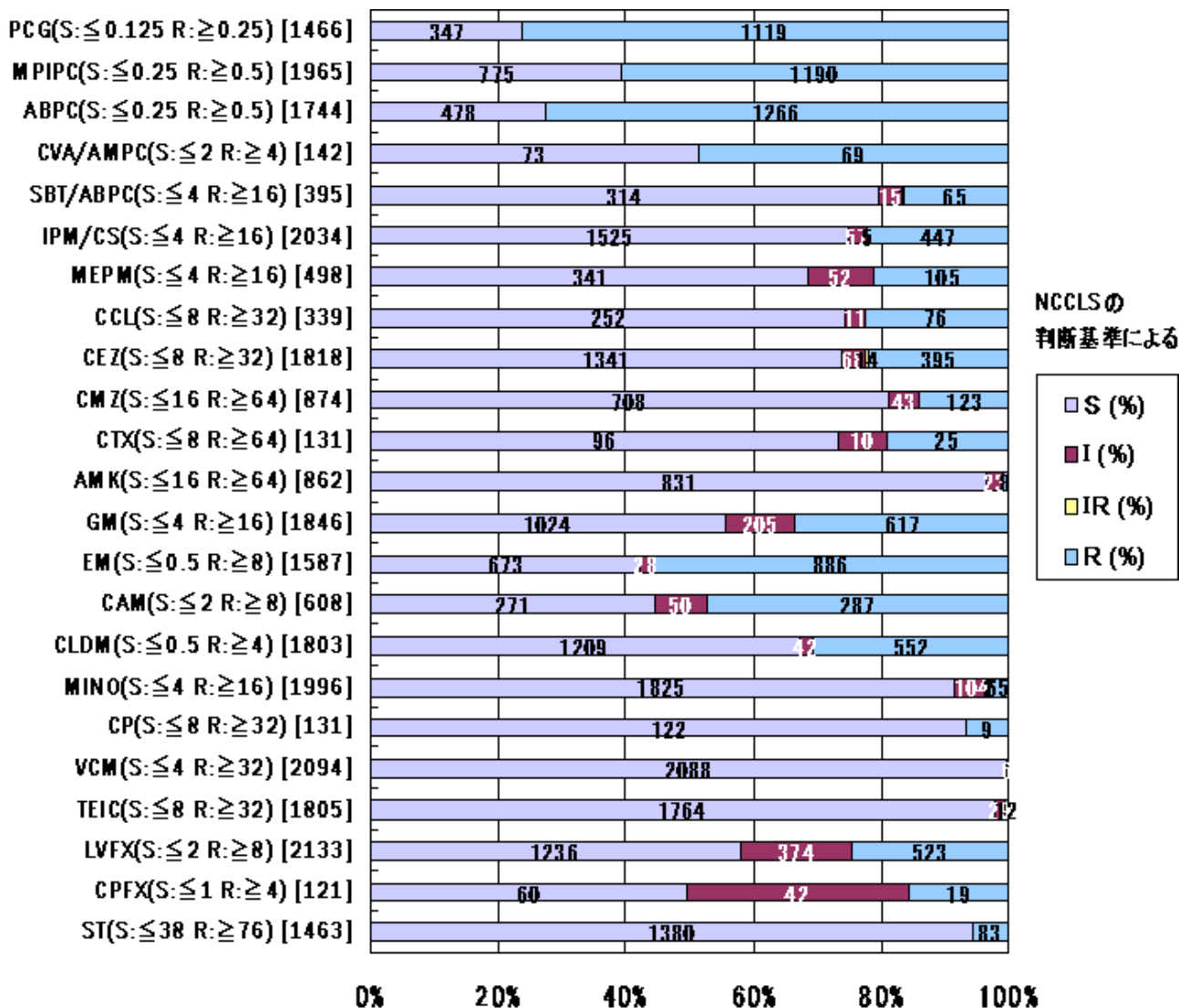


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-3. 主要菌別耐性頻度 CNS (*S. epidermidis* を含まない) **血液** + **髄液**

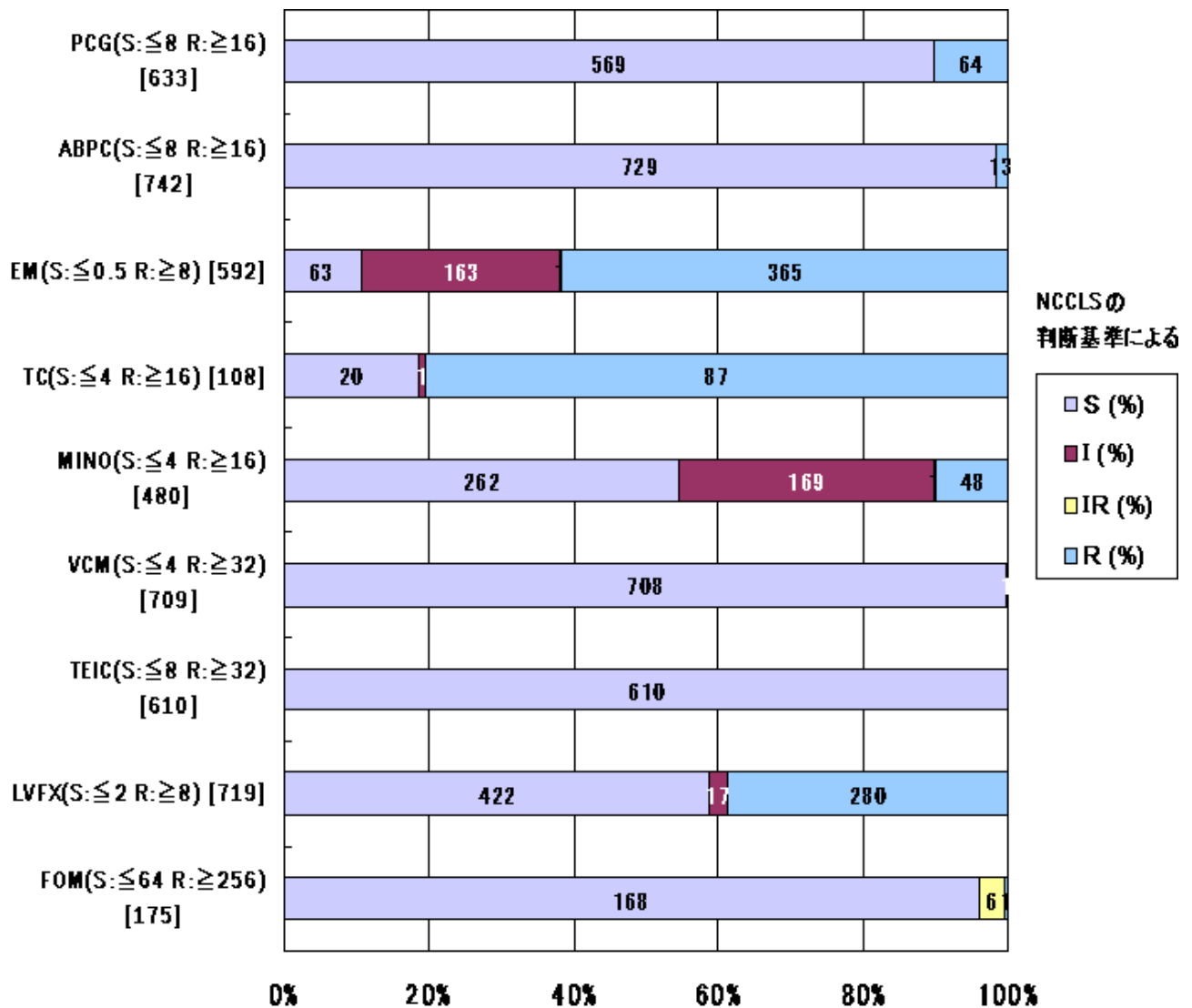


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-4. 主要菌別耐性頻度 *E. faecalis* 血液 + 髄液

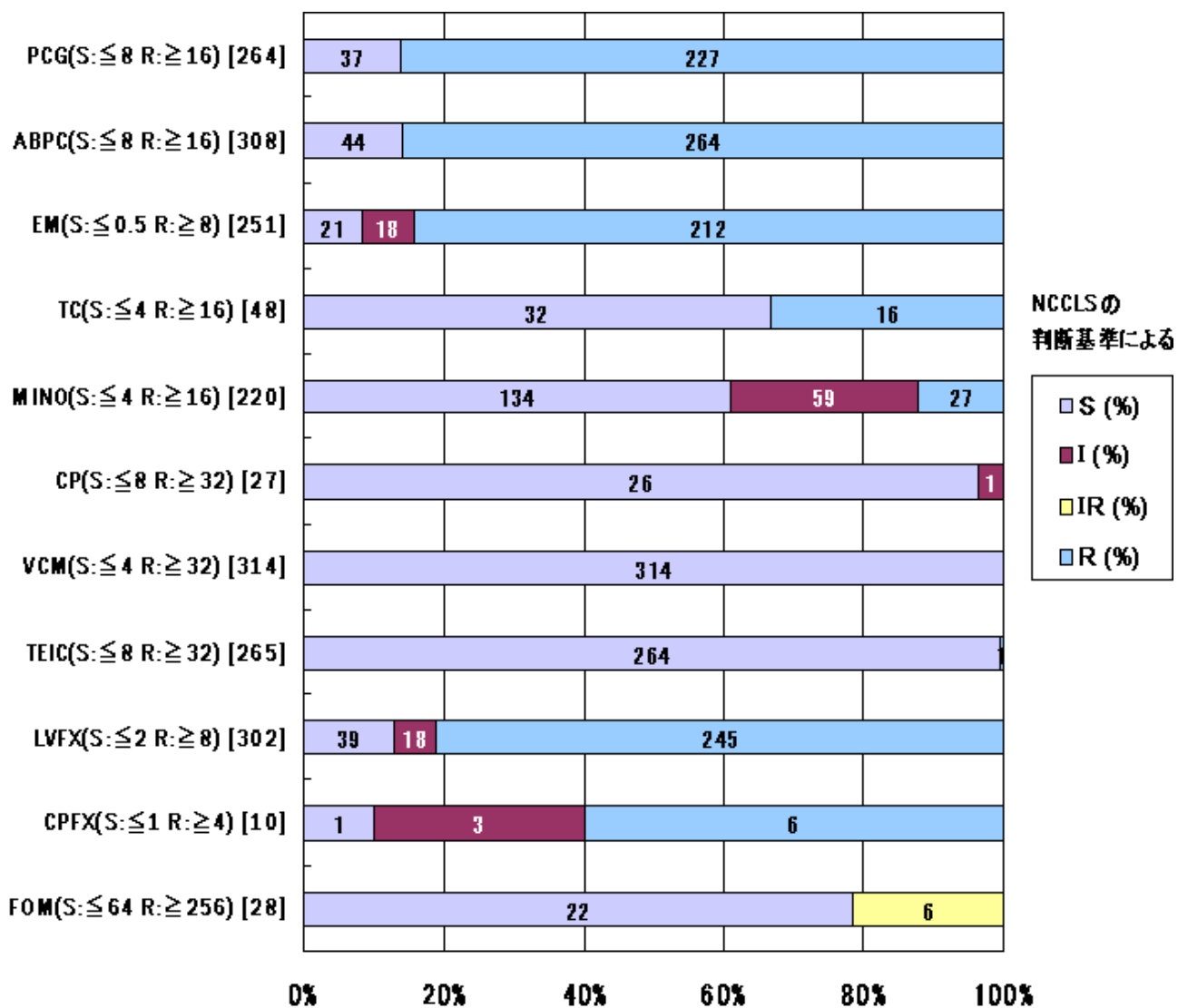


60株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-5. 主要菌別耐性頻度 *E. faecium* 血液 + 髄液

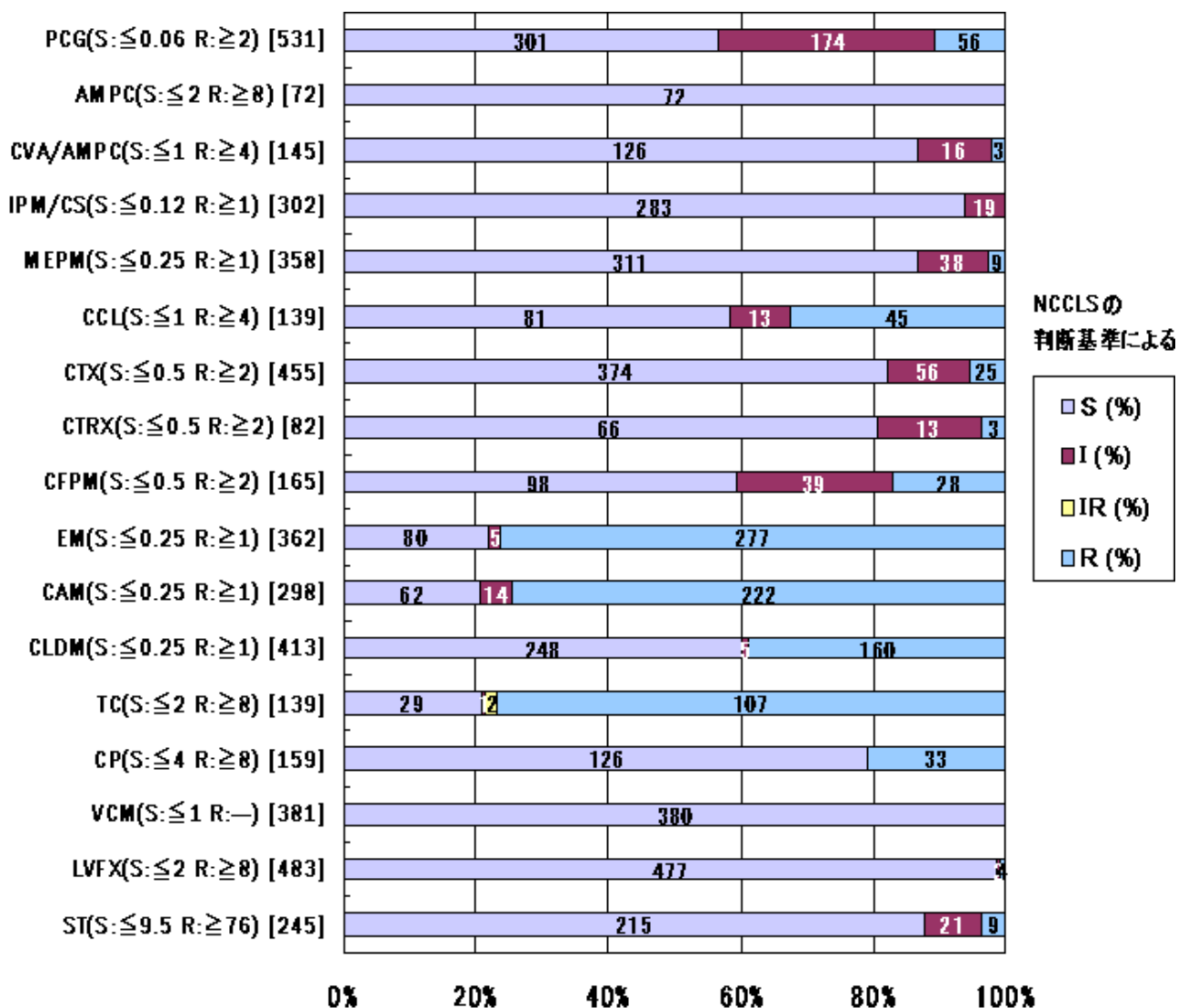


10株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

図9-6. 主要菌別耐性頻度 *S. pneumoniae* 血液 + 髄液

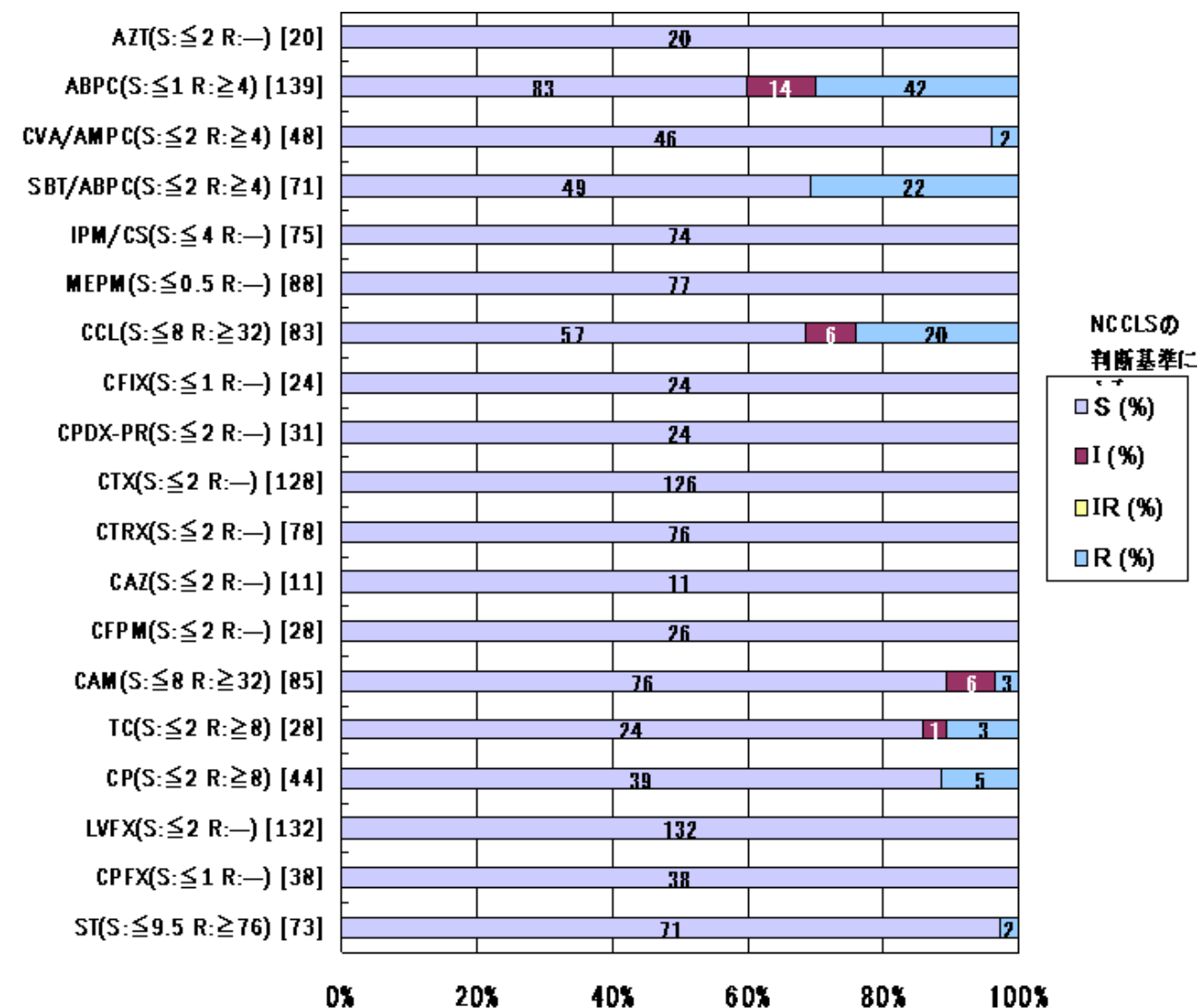


30株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・VCMとTEICの注射薬の適応はMRSA感染症のみに限られています。

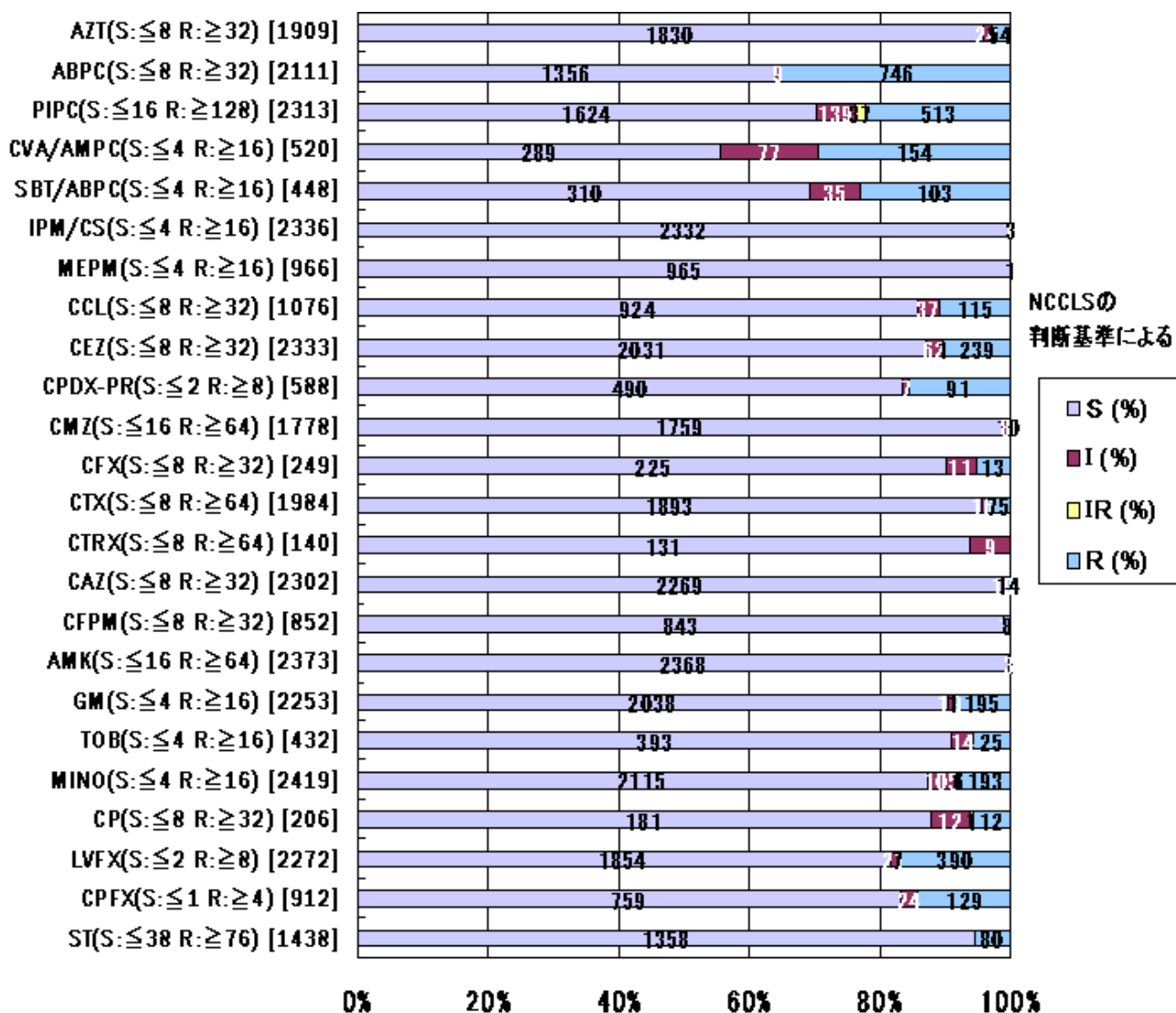
図9-7. 主要菌別耐性頻度 *H. Influenzae* 血液 + 髄液



5株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図9-8. 主要菌別耐性頻度 *E. coli* 血液 + 髄液

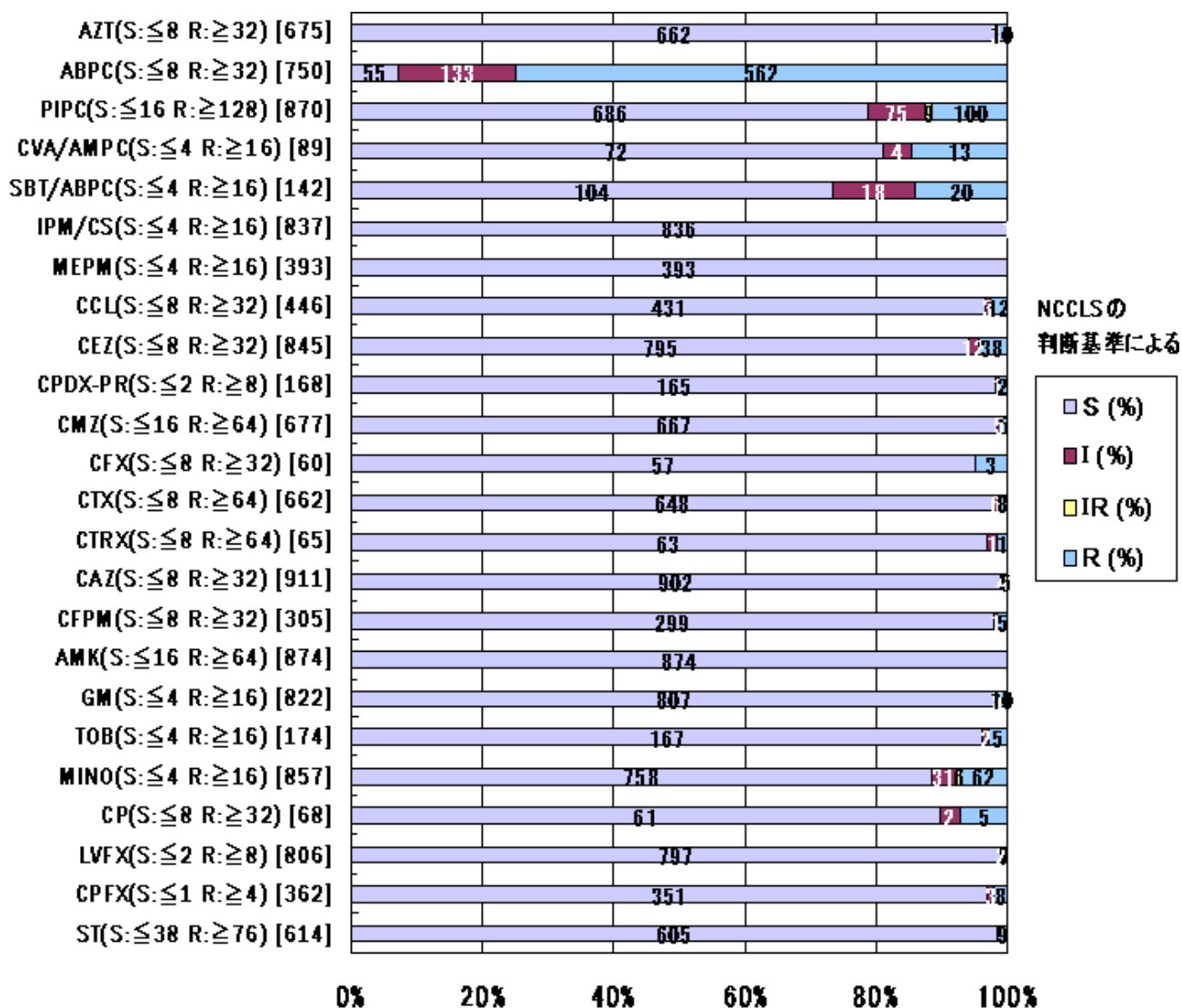


100株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

図9-9. 主要菌別耐性頻度 *K. pneumoniae* 血液 + 髄液

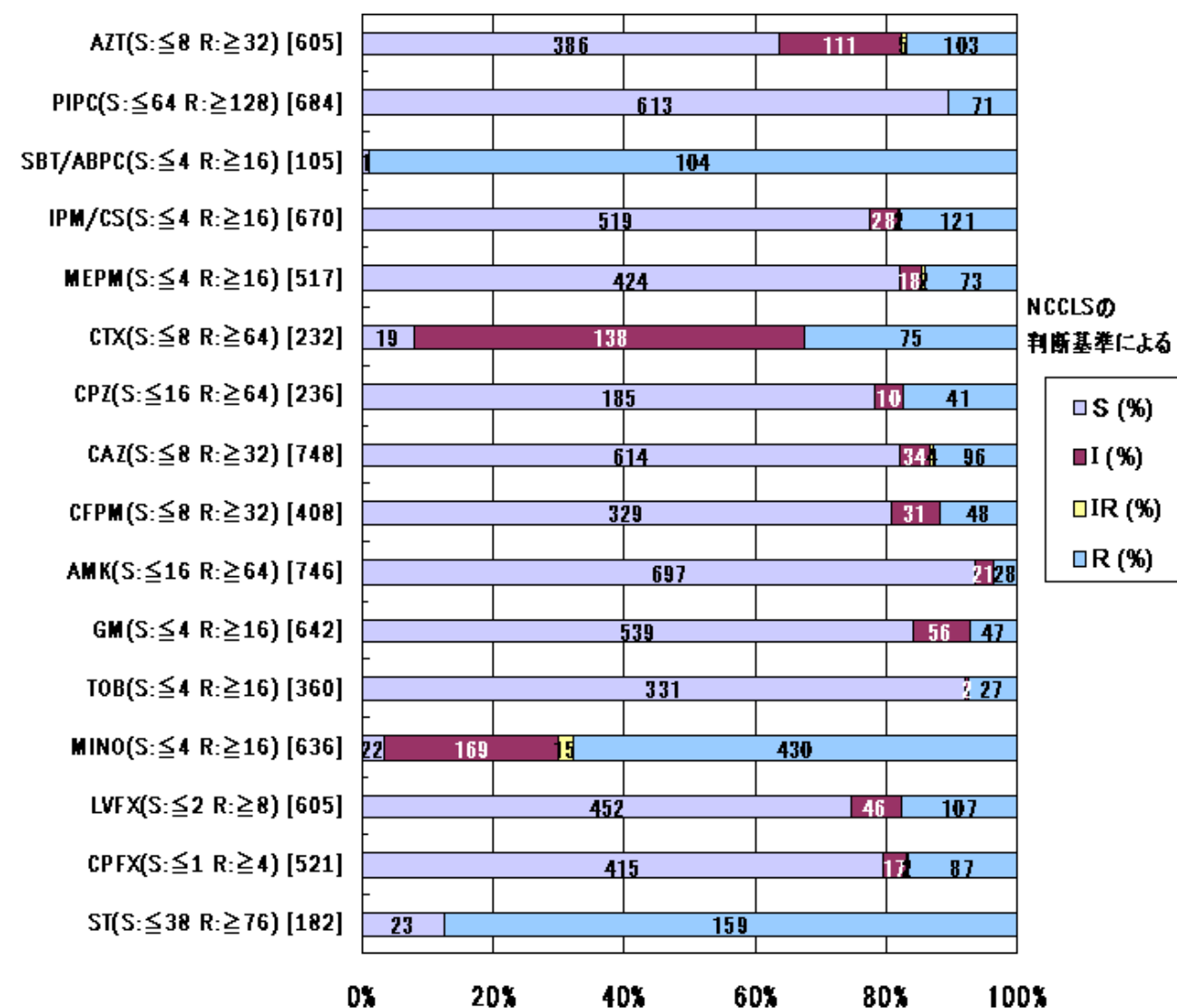


50株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

・NCCLSでは、FOMの感受性は寒天希釈法、あるいは、ディスク拡散法によって測定することになっています。また、腸内細菌属では、大腸菌にのみbreakpointが設定されています。相当数の報告がありましたので、参考のため寒天希釈法あるいは、大腸菌に準じたbreakpointで判断し集計しました。

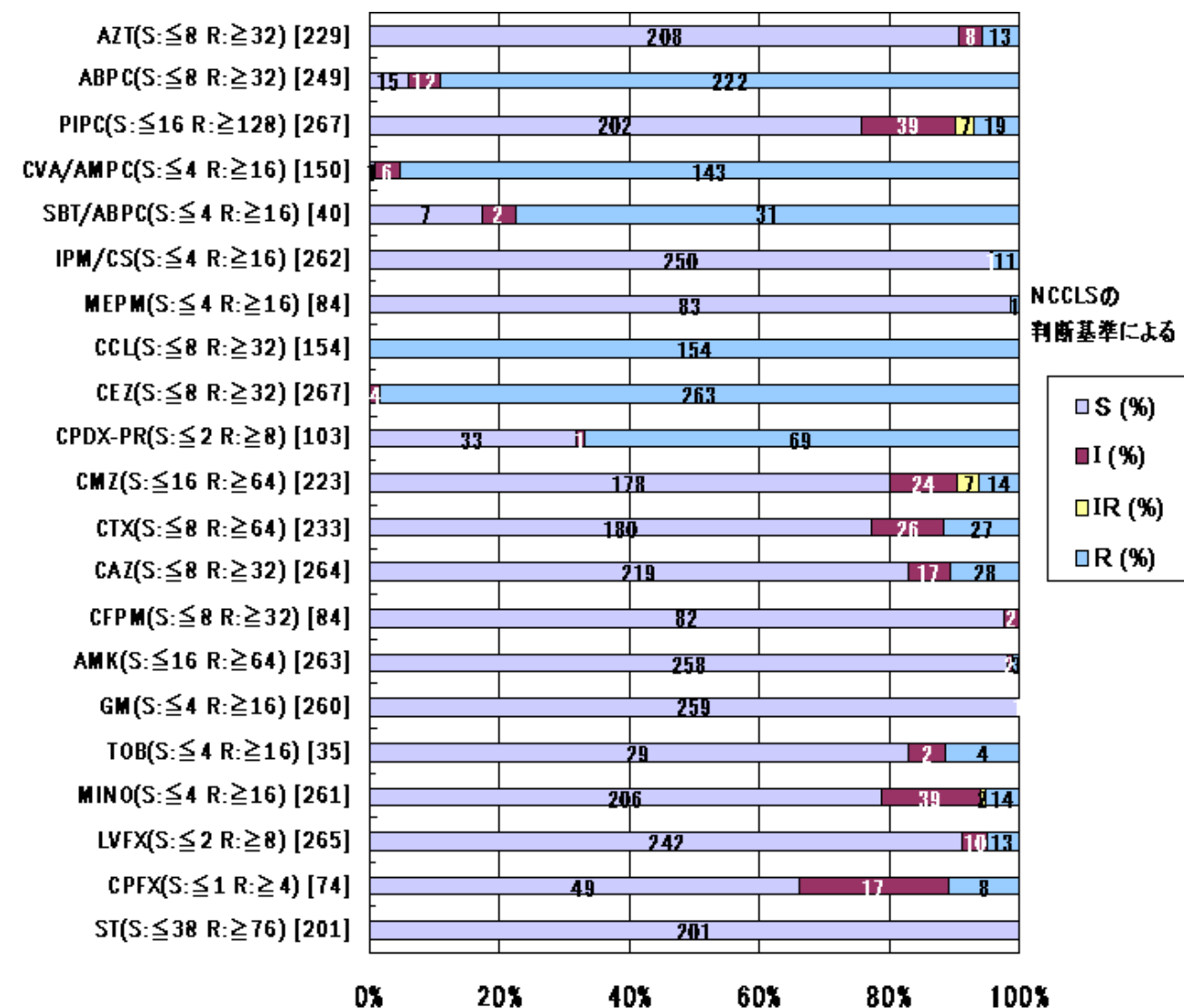
図9-10. 主要菌別耐性頻度 *P. aeruginosa* 血液 + 髄液



90株以上検査した薬剤について掲載

(注) NCCLS の判断基準について

図9-11. 主要菌別耐性頻度 *S. marcescens* 血液 + 髄液



25株以上検査した薬剤について掲載

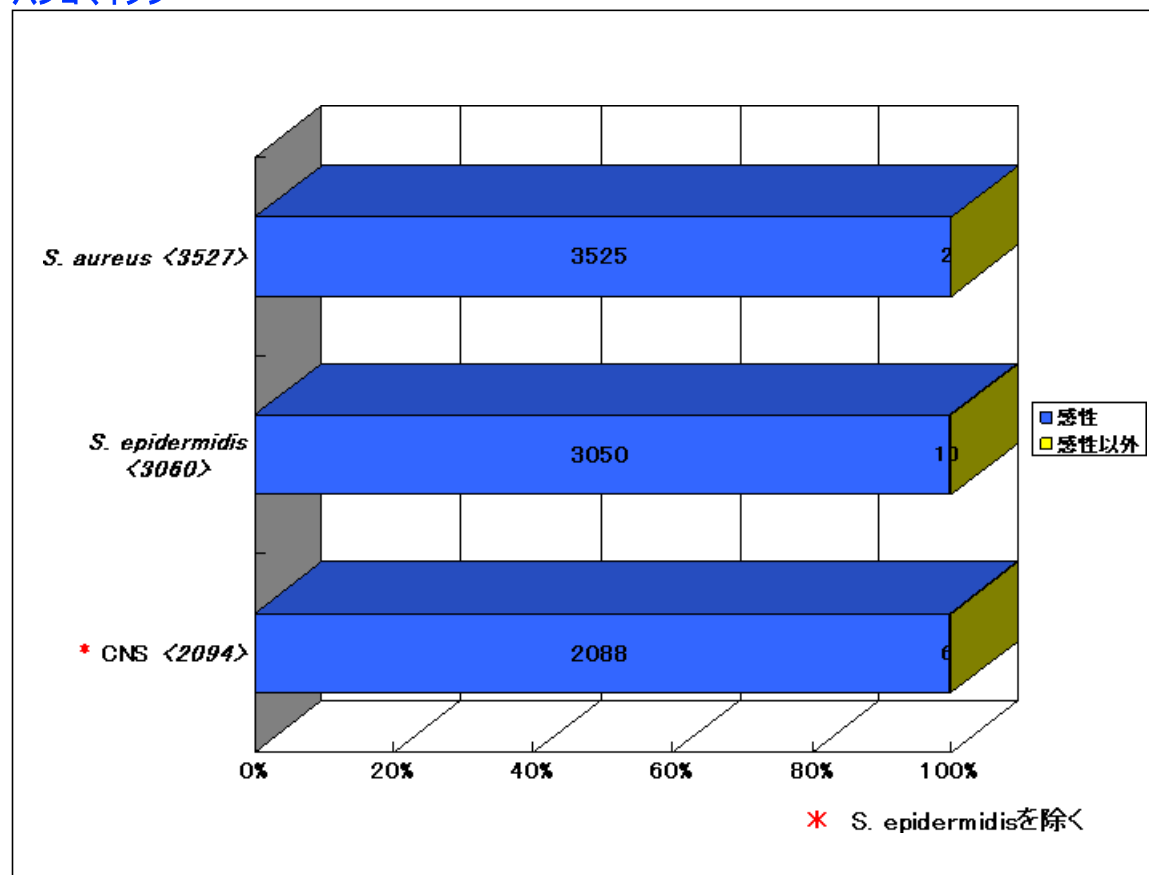
(注) NCCLS の判断基準について

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

特定抗菌薬に対する薬剤感受性

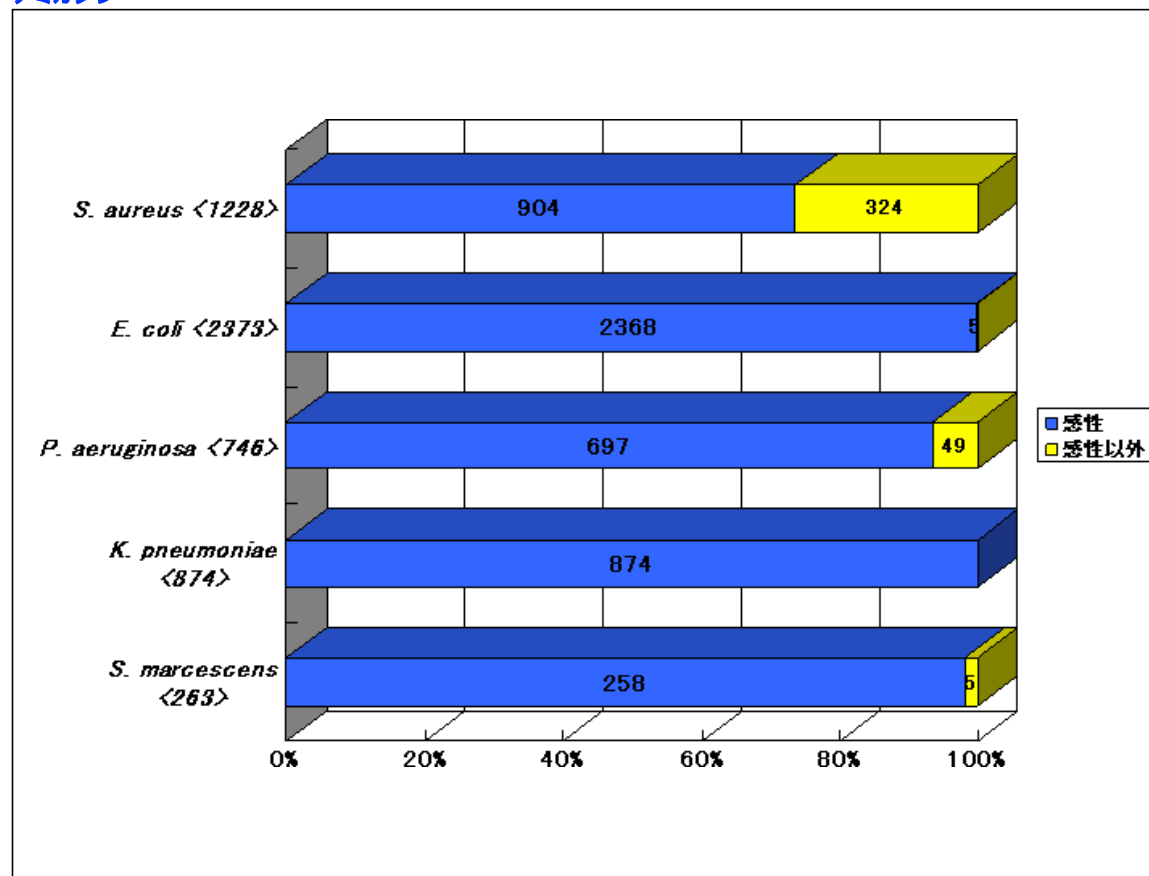
(バーの中の数字は該当する株数)

バンコマイシン

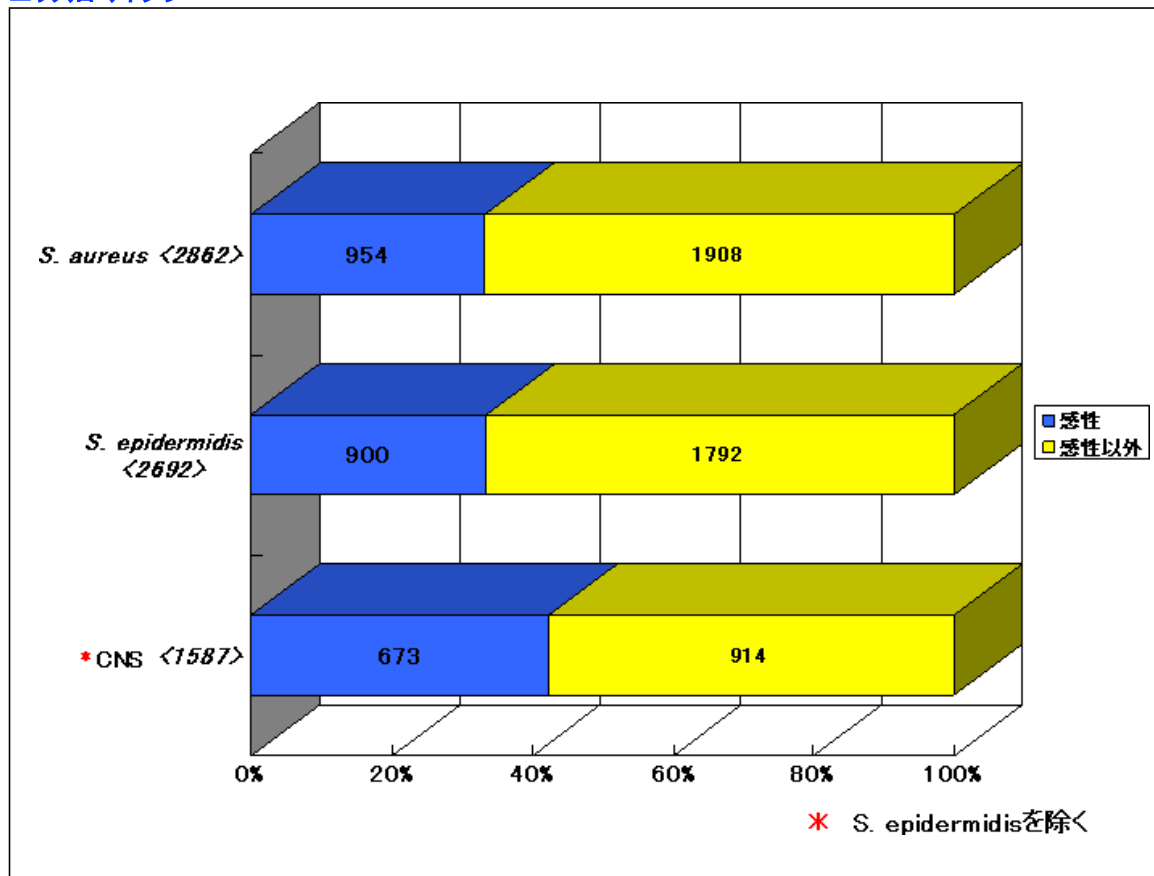


(注) CNSによる感染症の治療薬としてバンコマイシンは保険適用になっていないが、参考データとして示した。

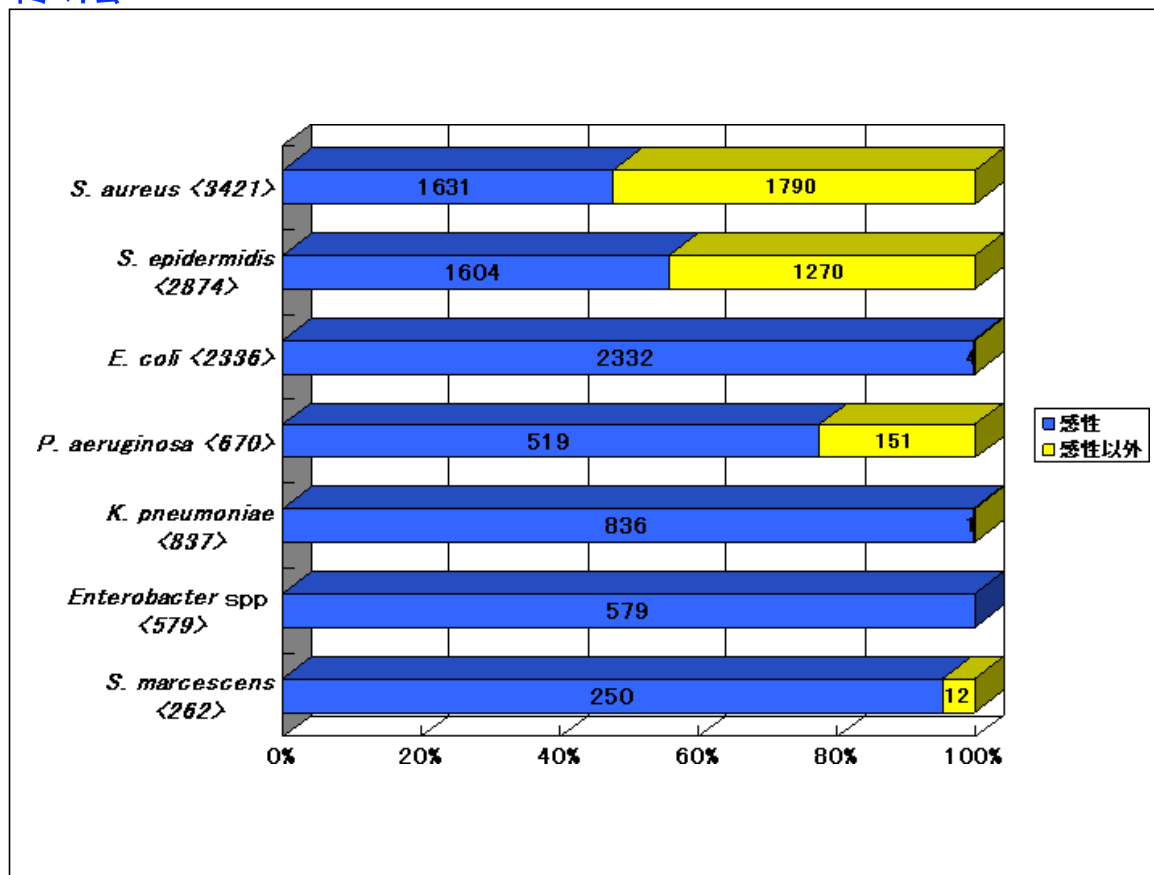
アミカシン



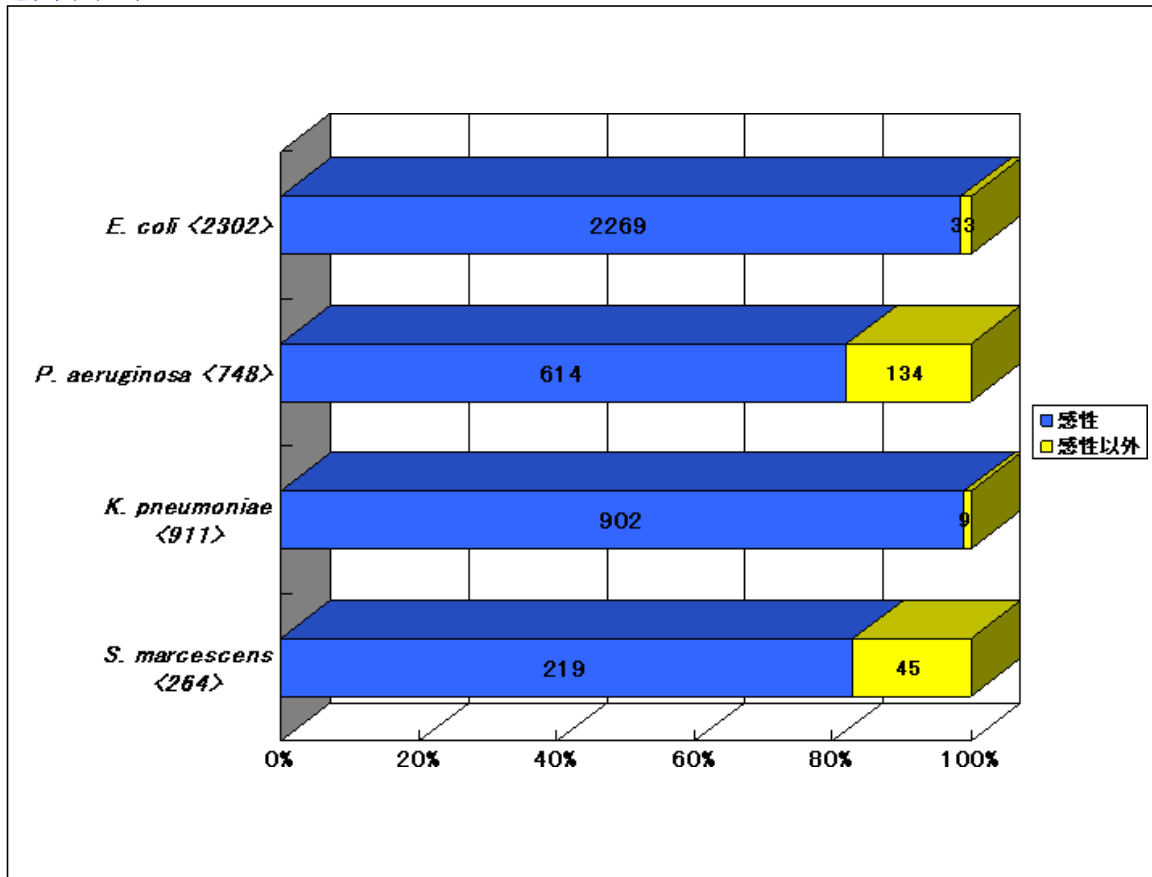
エリスロマイシン



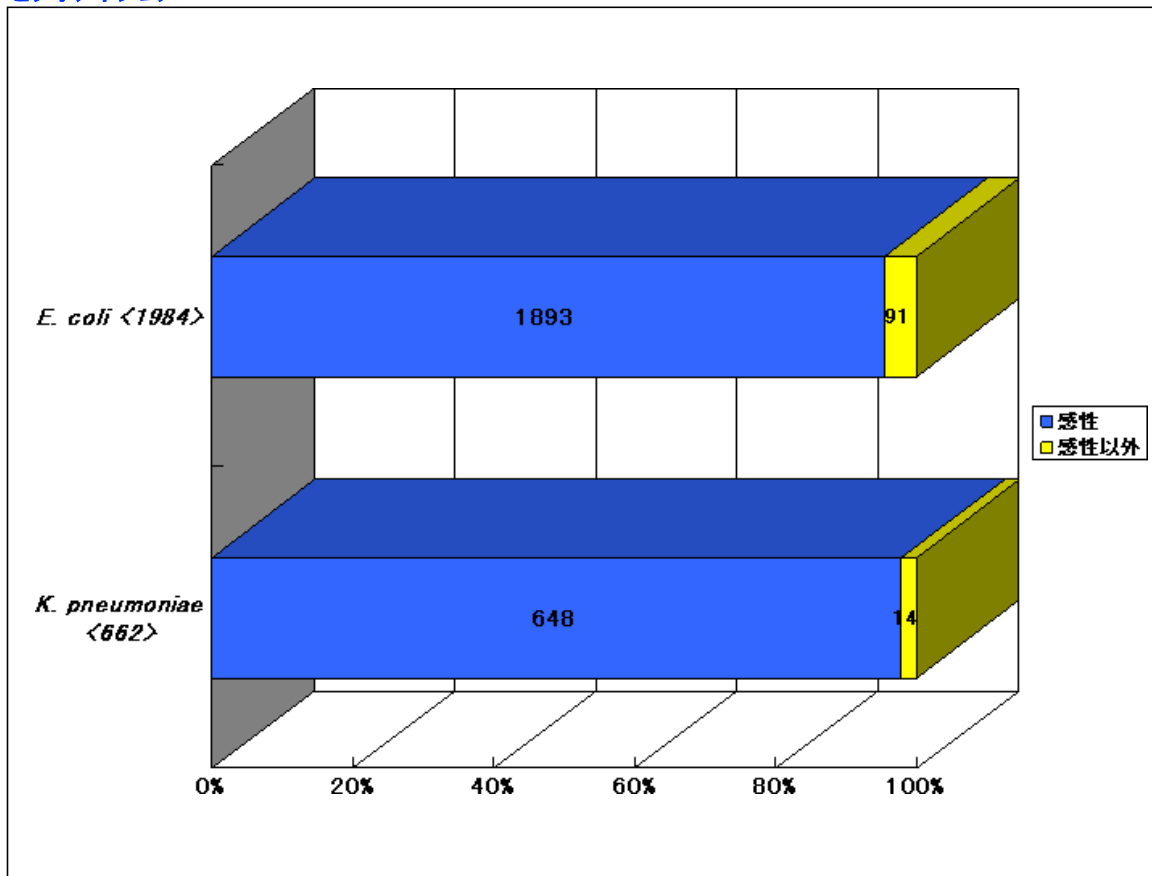
イミペネム



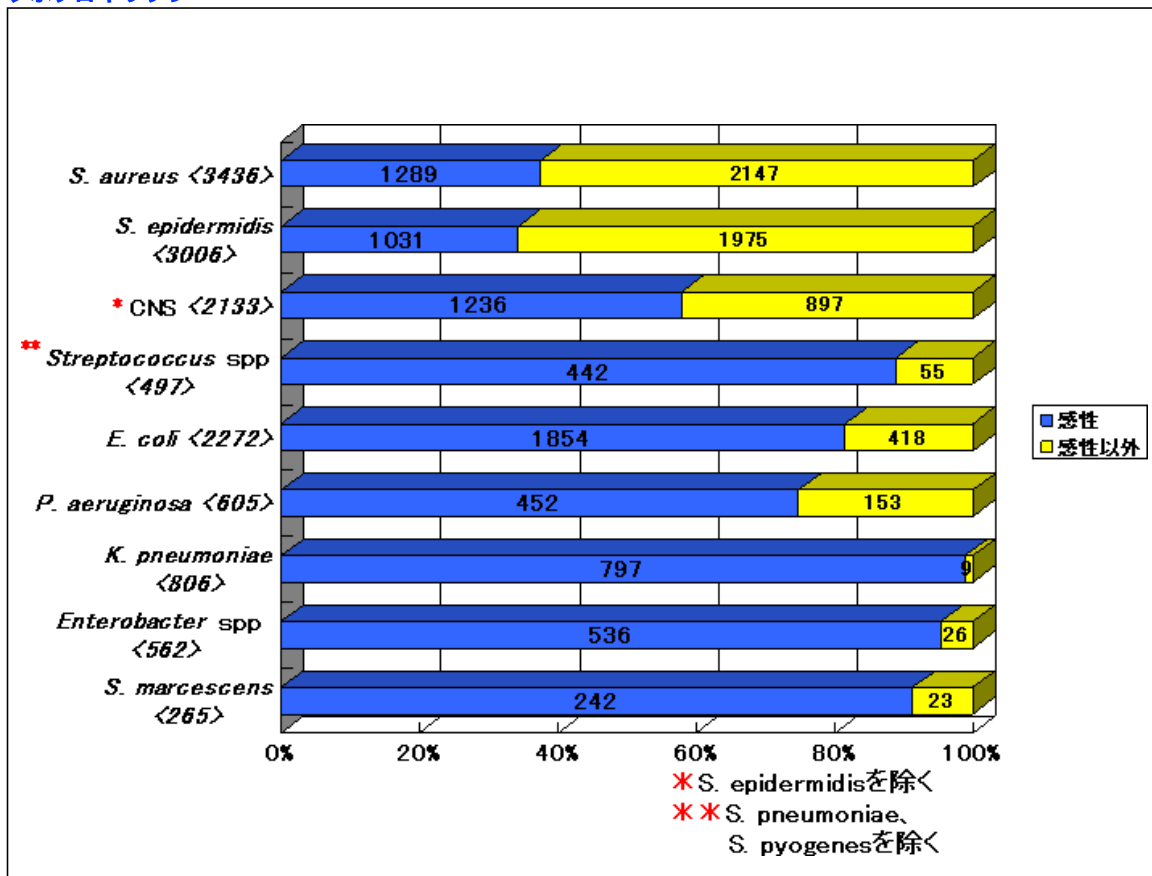
セフトジジム



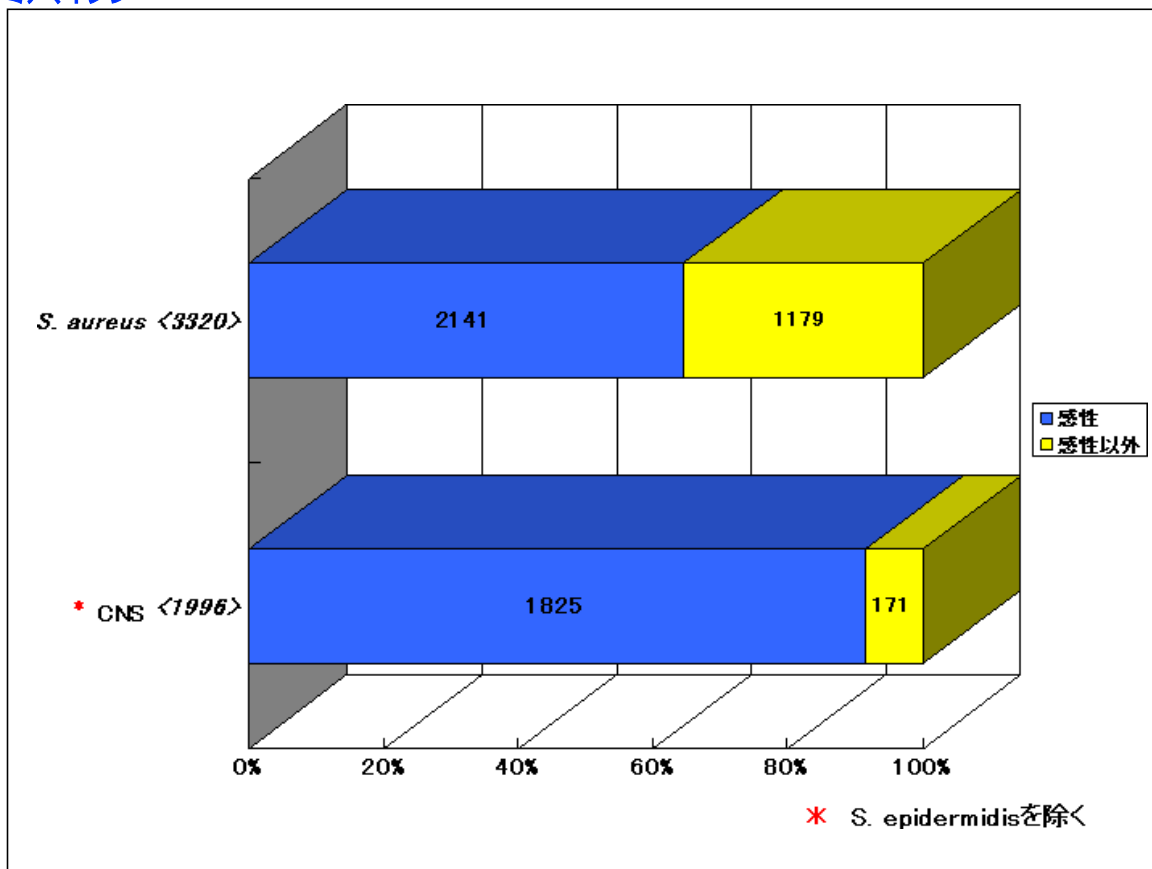
セフトキシム



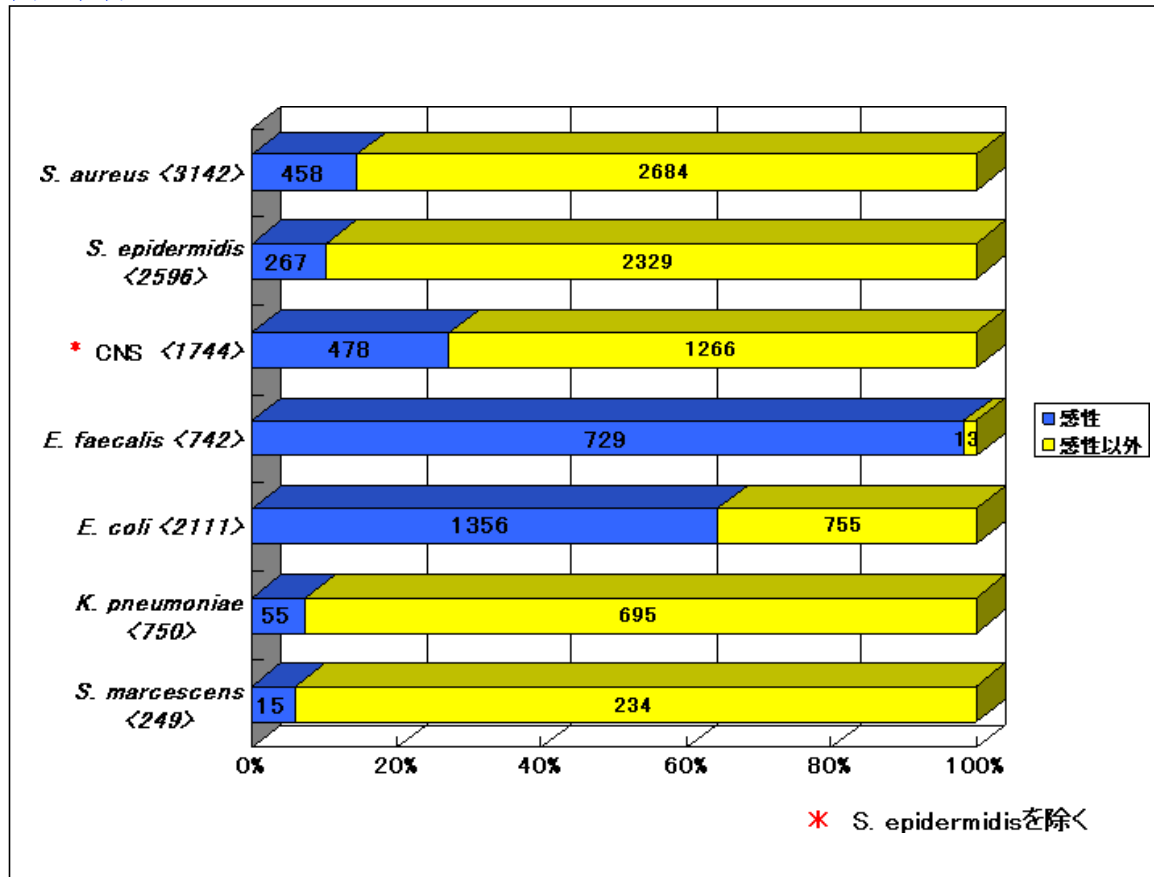
レボフロキサシン



ミノマイシン



アンピシリン



集中治療部門サーベイランスは、ICUにおける感染症の発生状況を把握し、その対策を支援する情報を還元することを目的とする。院内感染状況の把握を通じ、参加医療機関が自ら行う、ICUのパフォーマンス評価とその改善に資する情報を医療機関に提供することが可能となる。

7～9月の間に、ICU部門サーベイランスに参加した施設のなかで、感染リスクのデバイス日、重症度評価のAPACHEスコア、退院日および退院時患者転帰、院内感染起炎菌のすべてのデータが月単位で充足している10施設のデータを基礎資料として解析を行った。それぞれの解析に用いた対象患者数は以下のごとくである。

| | 全集計患者数 | デバイス日充足患者数 | APACHE/転帰充足患者数 | 集計対象充足施設数 |
|------|--------|------------|----------------|-----------|
| 7-9月 | 1,355 | 1,283 | 1,351 | 10 |

集中治療室に入室し、人工呼吸器などのデバイスを装着している患者の院内感染率は、(1)肺炎発生率が5.4、(2)血管留置カテーテル装着患者の血流感染の発生率は2.9、(3)尿路カテーテル装着患者の尿路感染症は1.7であった。アメリカの内科外科混合ICU(NNIS/CDC)の感染率およびJANISの7-9月と比較すると以下のごとくである。(注)肺炎はICU入室後48時間以降に発生したものの

| 感染 | 肺炎 | CVカテ感染 | 尿路感染 |
|------------------|-----|--------|------|
| NNIS/CDC (2004年) | 5.4 | 4 | 3.9 |
| JANIS/ICU (7-9月) | 5.4 | 2.9 | 1.7 |

(注)感染率(1000分率) = (感染患者数 / 各デバイスの延べ装着日数) × 1000

集中治療室に入室の患者の院内感染率は、全退室患者当たり4.3%であり、その内訳は、人工呼吸器関連肺炎(2.5%)、敗血症(2.1%)の順であった。また、院内感染で多剤耐性菌によるものは約30%(耐性:感性=38:89)であった。

| 感染 | 肺炎 | カテ感染 | 敗血症 | 創感染 | 尿路感染 | その他 | 全感染患者 | 延べ感染患者 |
|---------------|-----|------|-----|-----|------|-----|-------|--------|
| 感染率(%) (7-9月) | 2.5 | 1.3 | 2.1 | 1.3 | 1.0 | 0.5 | 4.3 | 8.6 |

(注)感染率(%) = (感染患者数 / 入室患者数) × 100

ICU入室患者の平均ICU在室日数並びに平均在院日数をみると、非感染者に比べ感染者の在院日数が長い。

| | 耐性菌感染 | 感性菌感染 | 非感染 | 全体 |
|-----------------|----------|----------|-------------|-------------|
| 平均ICU在室日数(7-9月) | 34.0(47) | 34.0(58) | 5.5(1,334) | 7.7(1,451) |
| 平均在院日数(7-9月) | 64.9(42) | 60.4(48) | 44.7(1,278) | 45.9(1,378) |

(注) ()内は延べ患者数

ICUにおける感染症の起炎菌の中ではMRSA(30/127)が最も多く、ついで感性*Pseudomonas aeruginosa*(14/127)、*Candida* spp(9/127)、CNS(7/127)、*E.coli*(4/127)であった。

ICU部門に参加した施設ではここに掲載された感染率や標準化死亡比と当該施設のデータを比較することが可能となる。

| | 平均予測死亡率 | 平均実死亡率 | 全患者平均標準化死亡比 | 施設平均標準化死亡比 |
|------|---------|--------|-------------|------------|
| 7-9月 | 20.99 | 19.76 | 0.94 | 0.94 |

薬剤耐性菌判定基準

表1.性別・年齢別患者数

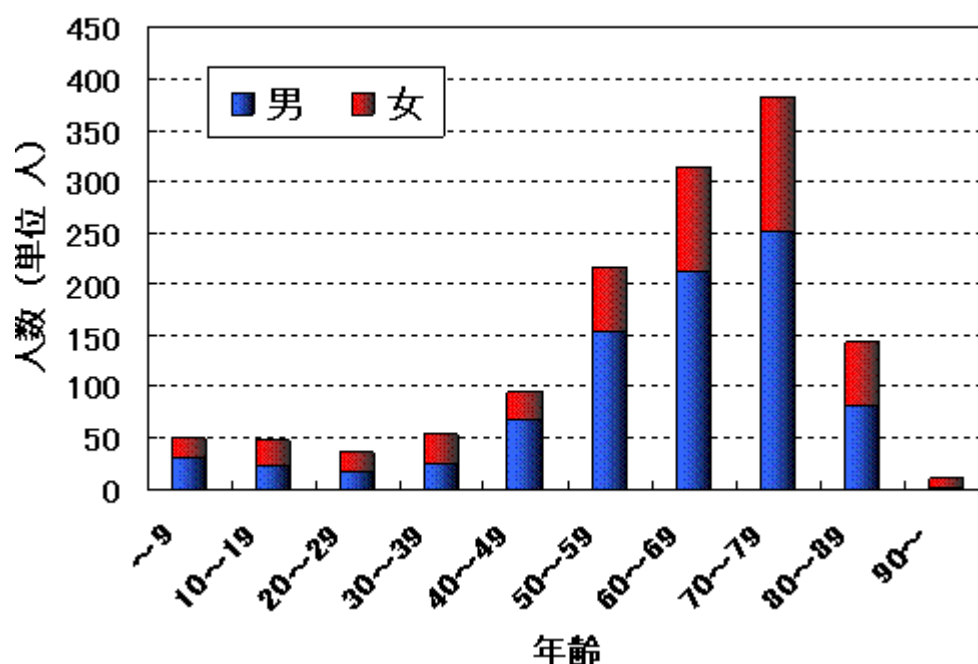


表2.入室経路別患者数と転帰

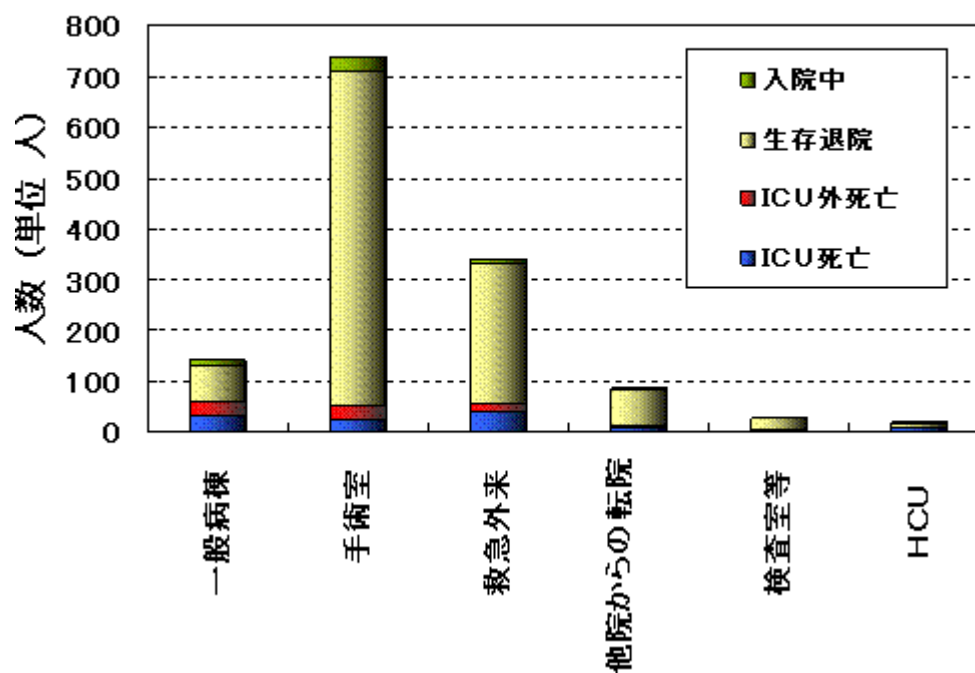


表3.重症度別性別患者数

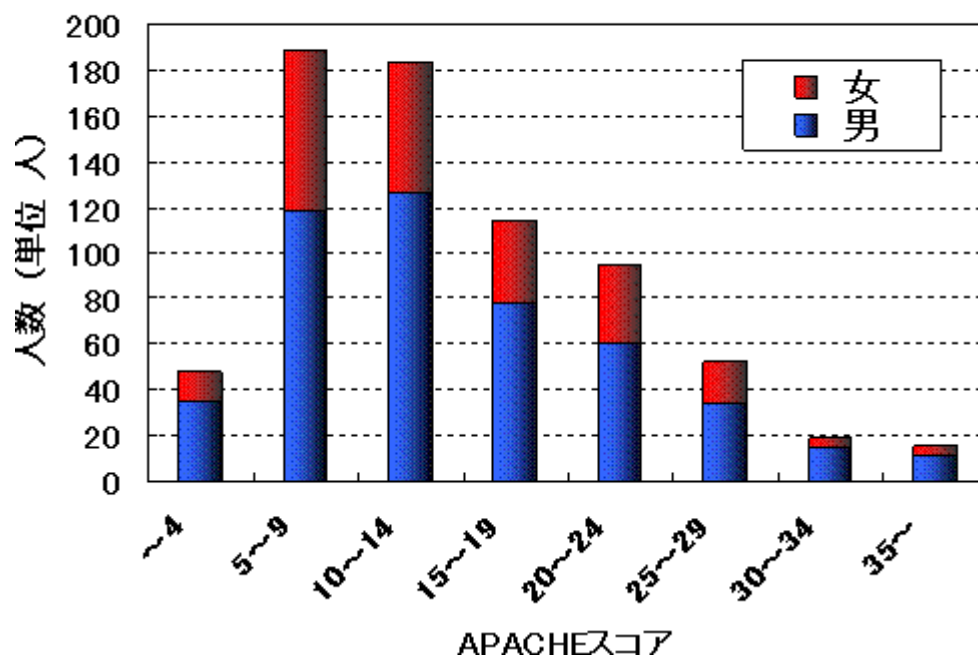


表4.重症度別平均在院日数

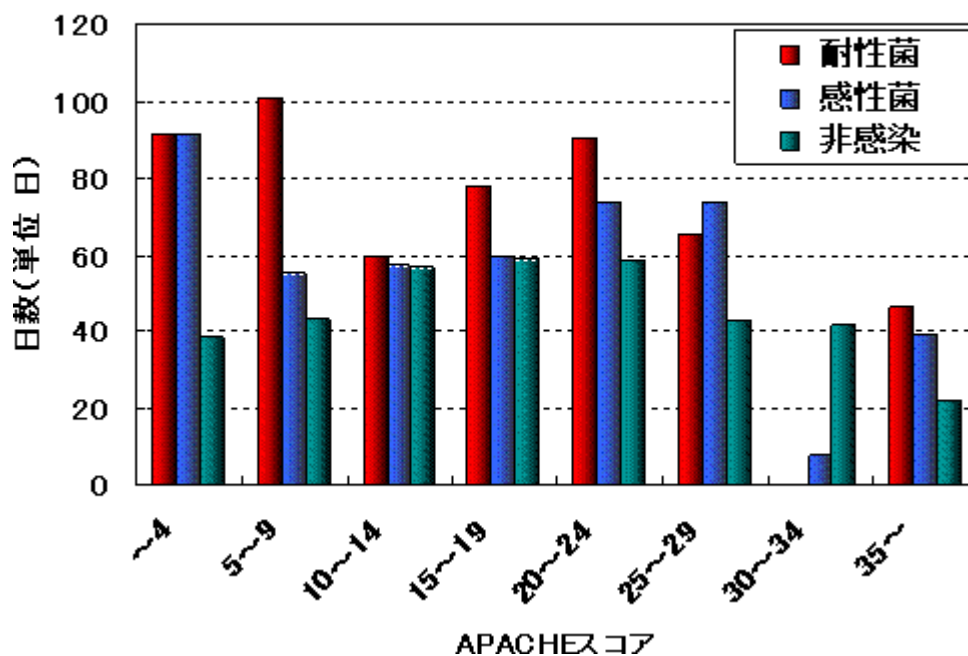
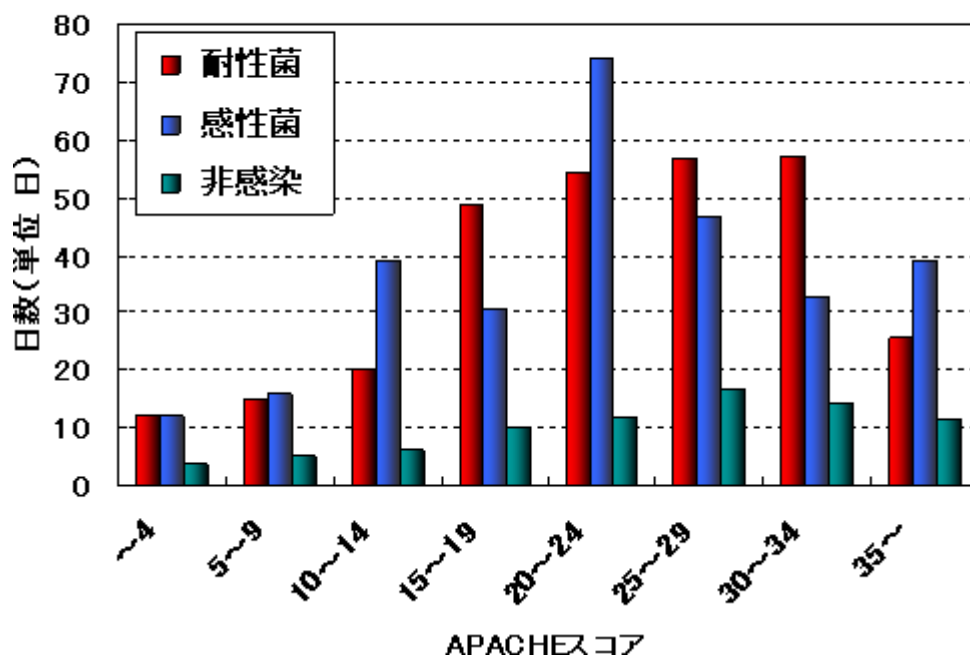


表5.重症度別平均在室日数



◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表6-1.重症度別各感染患者数(肺炎)

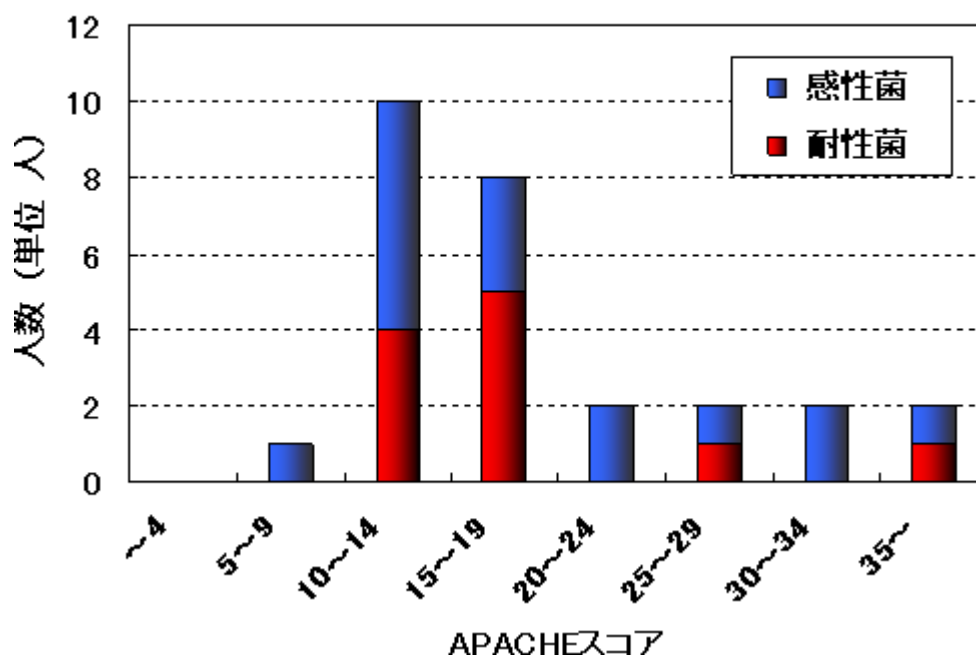


表6-2.重症度別各感染患者数(カテ血流)

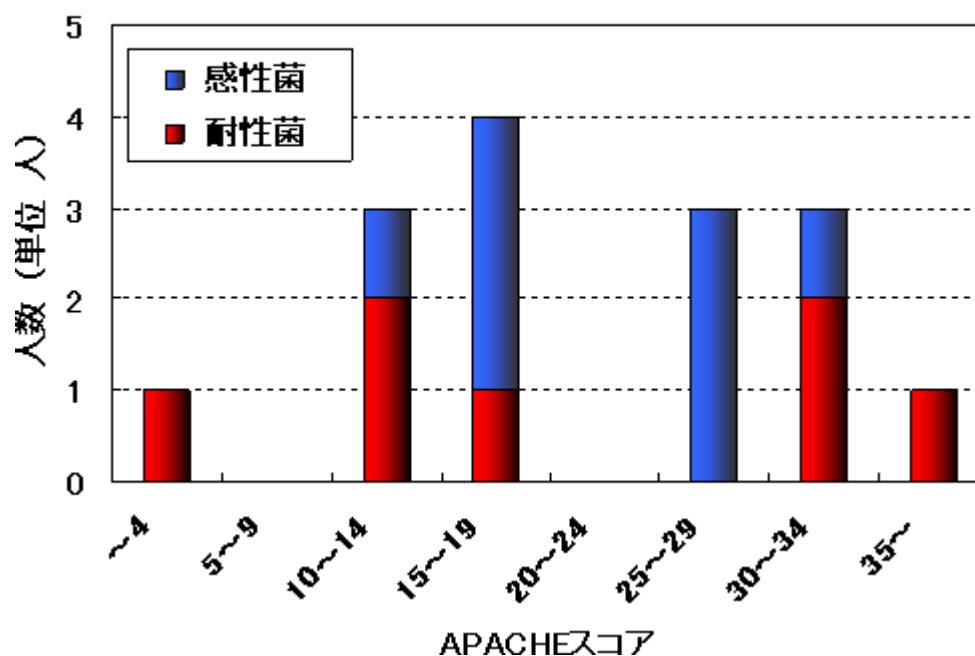


表6-3.重症度別各感染患者数(敗血症)

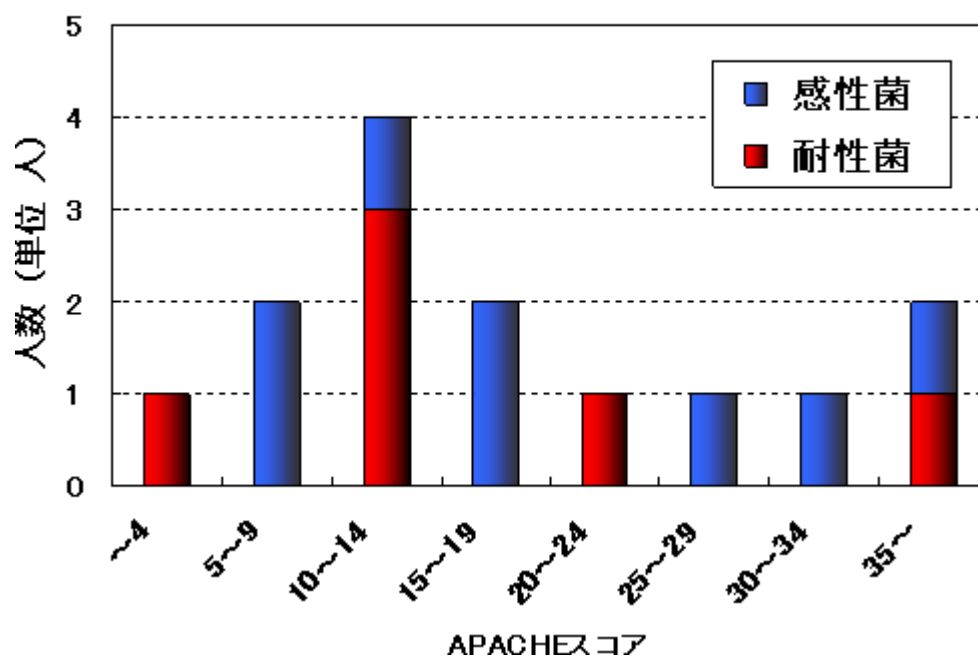


表6-4.重症度別各感染患者数(創感染)

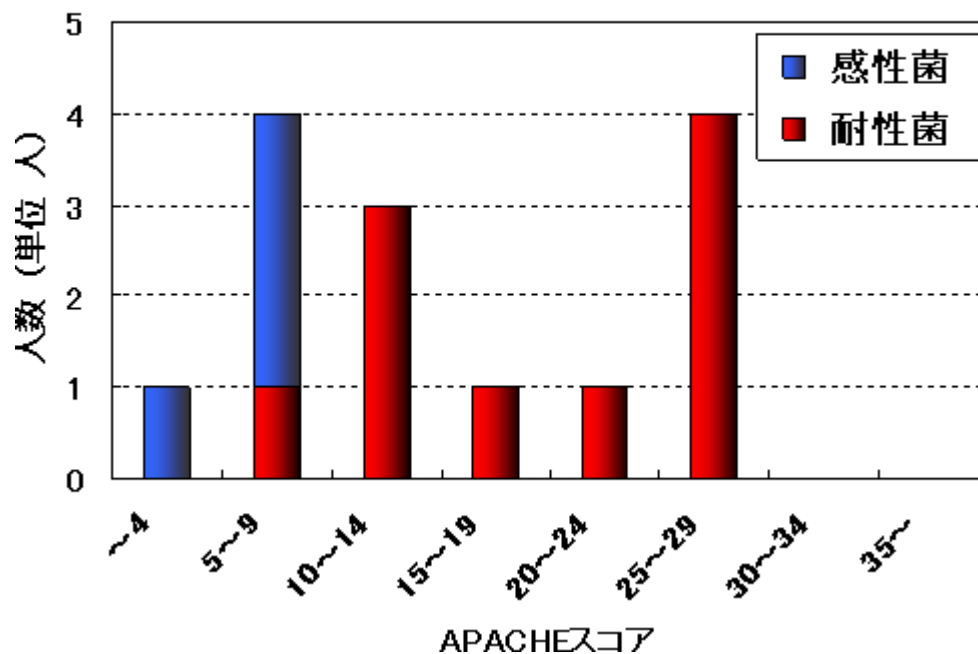


表6-5.重症度別各感染患者数(尿路)

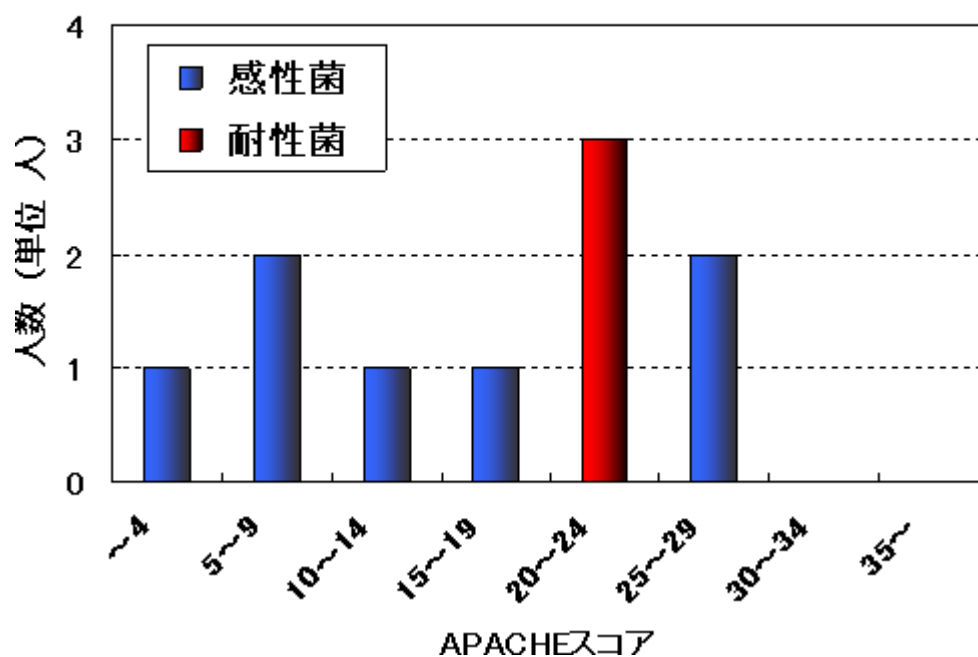


表6-6.重症度別各感染患者数(その他)

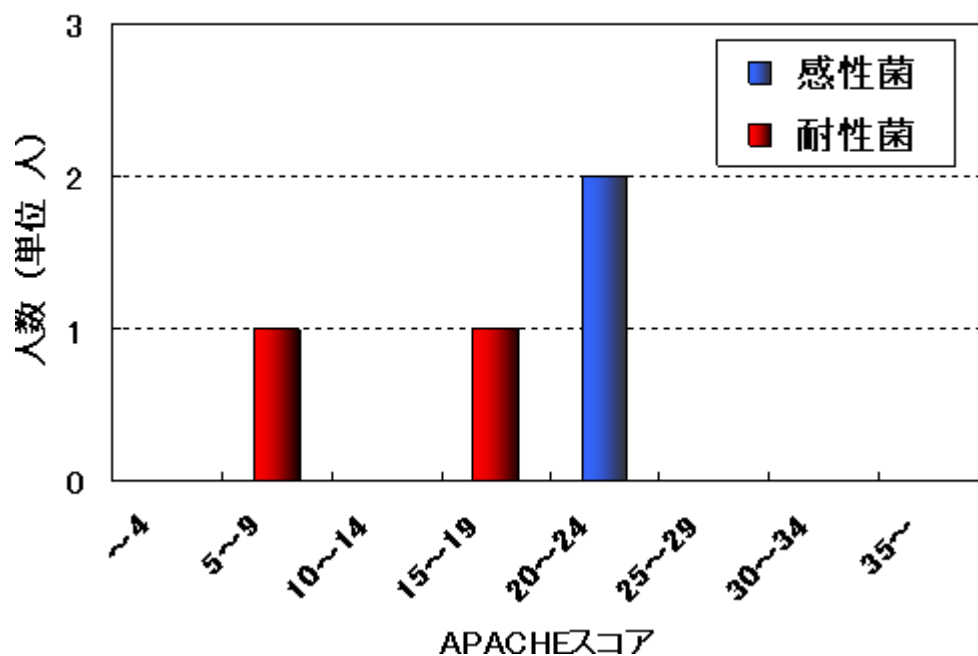


表6-7.重症度別各感染患者数(全感染症患者)

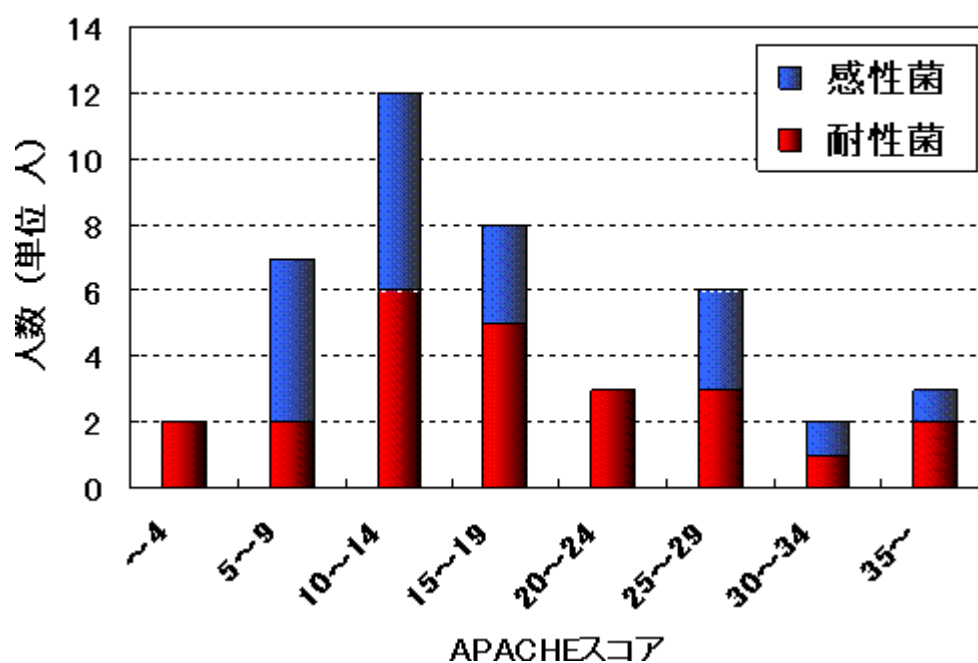


表6-8.重症度別各感染患者数(全感染症延べ患者)

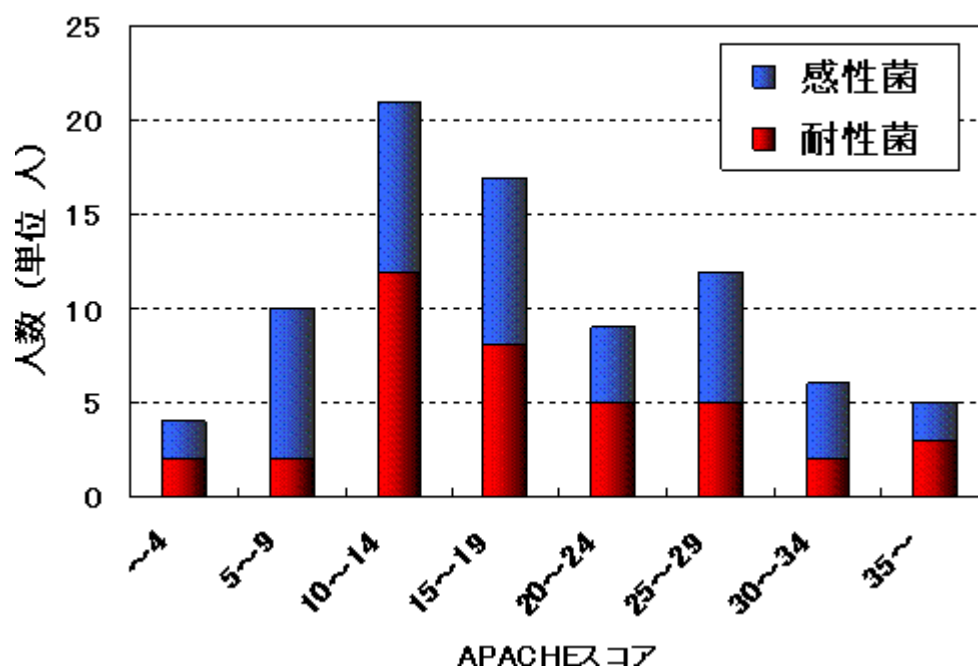
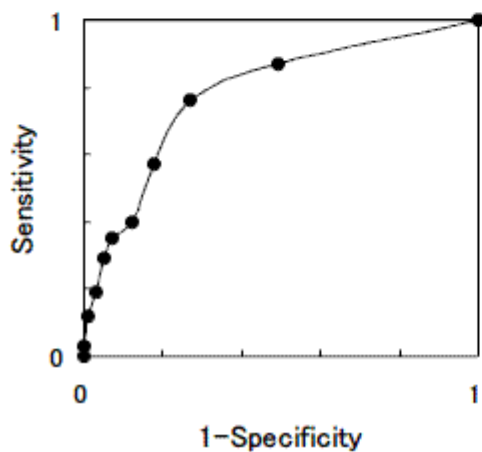
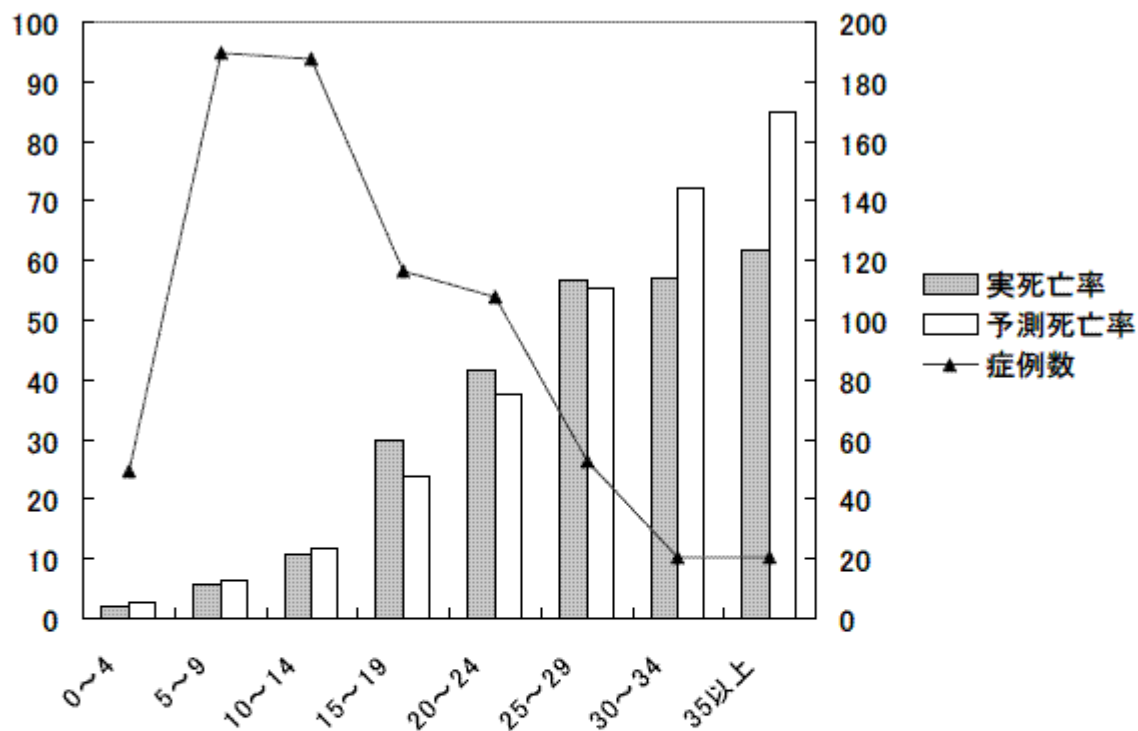


図7. 重症度別転帰

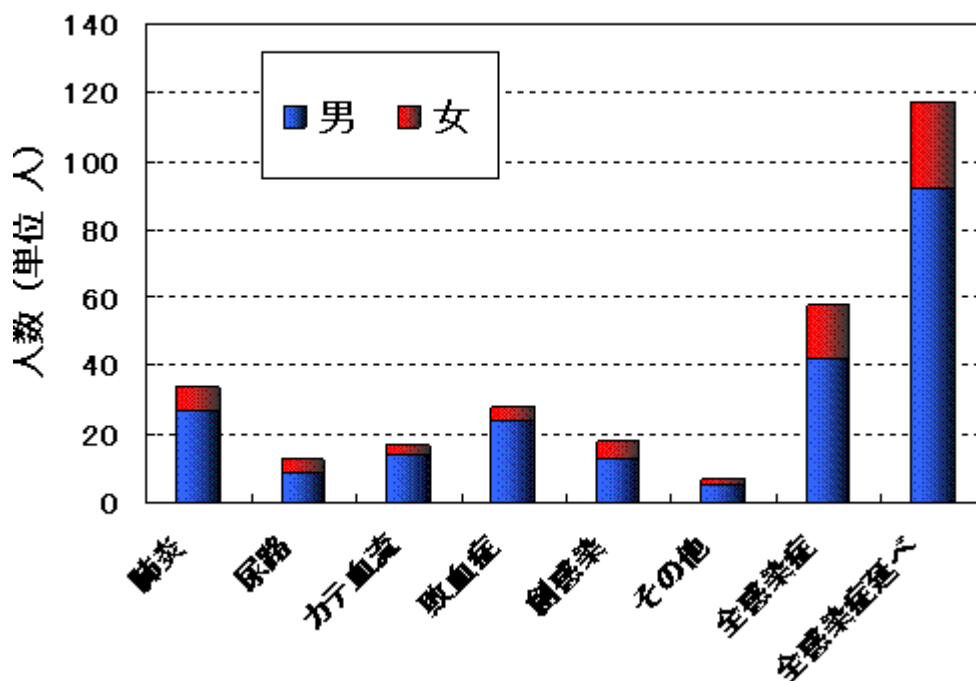
X軸: APACHE、Y軸: 死亡率(%)、第2Y軸: 症例数



The area under ROC curve

0.779

表8.各感染患者数

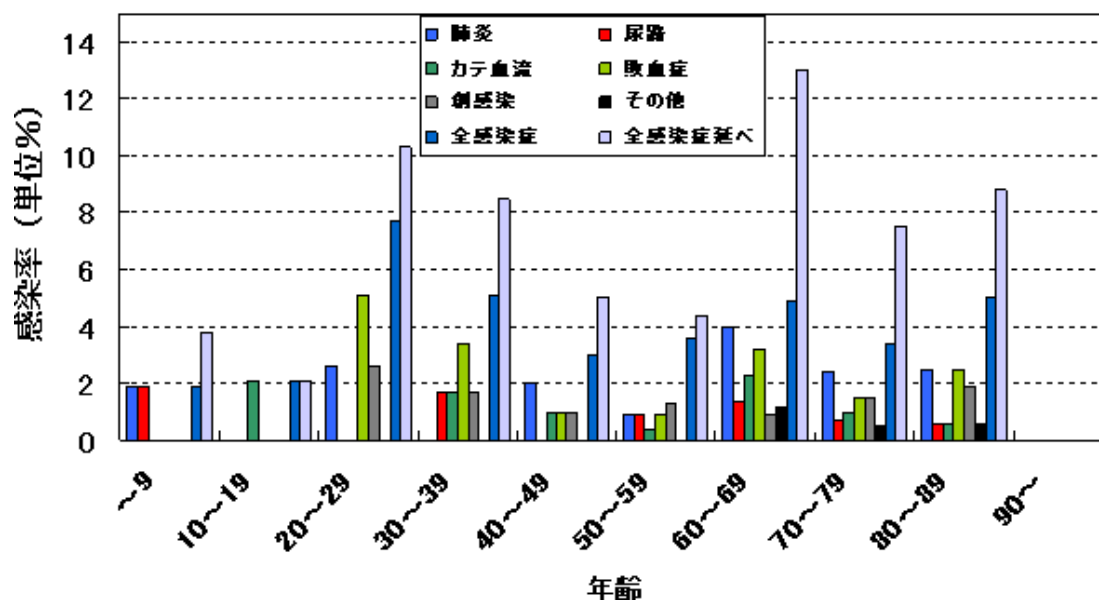


カッコの値は%

| 感染症 | 男 | 女 | 合計 |
|--------|----|----|-----|
| 肺炎 | 27 | 7 | 34 |
| 尿路 | 9 | 4 | 13 |
| カテ血流 | 14 | 3 | 17 |
| 敗血症 | 24 | 4 | 28 |
| 創感染 | 13 | 5 | 18 |
| その他 | 5 | 2 | 7 |
| 全感染症 | 42 | 16 | 58 |
| 全感染症延べ | 92 | 25 | 117 |

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表9.年齢別感染率



| 年齢階層 | 肺炎 | 尿路 | カテ血流 | 敗血症 | 創感染 | その他 | 全感染症 | 全感染症延べ |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|--------|
| ~9 | 1.9 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 3.8 |
| 10~19 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 2.1 |
| 20~29 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 5.1 | 2.6 | 0.0 | 7.7 | 10.3 |
| 30~39 | 0.0 | 1.7 | 1.7 | 3.4 | 1.7 | 0.0 | 5.1 | 8.5 |
| 40~49 | 2.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 3.0 | 5.0 |
| 50~59 | 0.9 | 0.9 | 0.4 | 0.9 | 1.3 | 0.0 | 3.6 | 4.4 |
| 60~69 | 4.0 | 1.4 | 2.3 | 3.2 | 0.9 | 1.2 | 4.9 | 13.0 |
| 70~79 | 2.4 | 0.7 | 1.0 | 1.5 | 1.5 | 0.5 | 3.4 | 7.5 |
| 80~89 | 2.5 | 0.6 | 0.6 | 2.5 | 1.9 | 0.6 | 5.0 | 8.8 |
| 90~ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | 2.3 | 0.9 | 1.2 | 1.9 | 1.2 | 0.5 | 4.0 | 8.1 |

表 10 . 起炎菌別感染症別患者数

| 菌名 | 耐性 / 感受性 | 肺炎 | 尿路 | カテ血流 | 敗血症 | 創感染 | その他 | 全感染症 | 全感染症延べ |
|-------------------------------|----------|----|----|------|-----|-----|-----|------|--------|
| MRSA | 耐性 | 7 | 0 | 3 | 6 | 12 | 2 | 18 | 30 |
| CNS | 耐性 | 1 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 4 | 7 |
| PRSP | 耐性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| E.coli | 感受性 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| Klebsiella pneumoniae | 感受性 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| Enterobactor spp | 感受性 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| Serratia marcescens | 感受性 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| Aeromonas spp | 感受性 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| Pseudomonas aeruginosa | 感受性 | 4 | 4 | 1 | 4 | 1 | 0 | 8 | 14 |
| Stenotroph.maltophilia | 感受性 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| Chryseobacterium meningosepti | 感受性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| Candida spp | 感受性 | 0 | 3 | 3 | 2 | 0 | 1 | 6 | 9 |
| その他 | 感受性 | 17 | 4 | 4 | 13 | 6 | 5 | 23 | 49 |

表 11 . デバイス日当たりの感染患者数

カッコの値は症例数

| リスク種別 | リスク調整感染率 | 耐性 | 感性 |
|------------|----------|------------|-----------|
| 肺炎(症例単位) | 6.340 | 24.8 (9) | 75.2(17) |
| 尿路(症例単位) | 1.882 | 41.9 (3) | 58.1(10) |
| カテ血流(症例単位) | 3.107 | 44.7 (6) | 55.3(9) |
| 全感染症(症例単位) | 3.410 | 35.1 (18) | 64.9(36) |
| 肺炎(患者単位) | 5.365 | 30.5 (8) | 69.5(14) |
| 尿路(患者単位) | 1.738 | 30.8 (2) | 69.2(10) |
| カテ血流(患者単位) | 2.900 | 36.2 (5) | 63.8(9) |
| 全感染症(患者単位) | 3.031 | 33.3 (15) | 66.7(33) |

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生動向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタローラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染患者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。季報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の季報（2006年10～12月）における調査参加施設数は59施設で、調査対象となった総入院患者数は190,622名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は841名であった。

各月毎に感染症に罹っている患者数を各月の総入院患者数で除したものをその月の感染率(‰)として表し、その月に新たに感染症に罹患した患者数の割合を罹患率(‰)として表した。3ヶ月間の平均感染率は4.41‰、平均罹患率は3.57‰であった。

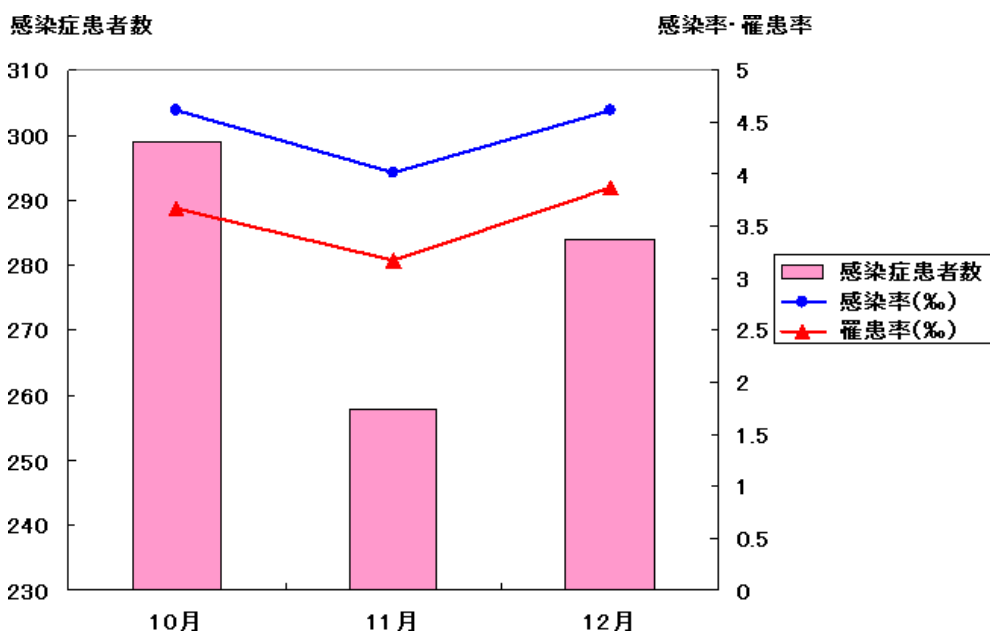
薬剤耐性菌による感染症の92.15%はMRSA感染症であり、次いでPRSP感染症は2.85%であった。多剤耐性緑膿菌による感染症は1.78%であった。VRE感染症の報告はなかった。感染症の42.71%は肺炎であり、次いで手術創感染（14.84%）、皮膚・軟部組織感染症（10.45%）、菌血症（9.81%）、消化器系感染症（6.71%）、尿路感染症（4.39%）の順であった。MRSA感染症に感染した患者の基礎疾患は、悪性腫瘍（19.89%）が最も多く、次いで循環器系疾患（19.01%）、呼吸器系疾患（13.70%）、神経系疾患（10.39%）、消化器系疾患（8.40%）、内分泌代謝疾患（7.40%）の順であった。診療科別では、内科系が40.77%、外科系が58.32%であった。MRSA感染症患者の体温分布では37.1 以上～38.9 未満が49.03%を占め、39.0 以上（19.23%）を加えると37.1 以上が68.26%であった。白血球数分布では10,001/μL以上が49.29%、CRP値分布では1.1mg/dL以上～10.0mg/dL未満が43.48%、10.1mg/dL以上が35.74%であった。

- [表1](#) . 感染率及び罹患率の推移
- [表2](#) . 薬剤耐性菌別感染症患者数
- [表3](#) . MRSA感染症の感染症名内訳
- [表4](#) . MRSA感染症の基礎疾患名内訳
- [表5](#) . MRSA感染症の診療科内訳
- [表6](#) . MRSA感染症患者の体温分布
- [表7](#) . MRSA感染症患者の白血球数分布
- [表8](#) . MRSA感染症患者のCRP値分布

なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

表1. 感染率及び罹患率の推移

| | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|----------|--------|--------|--------|---------|
| 感染症患者数 | 299 | 258 | 284 | 841 |
| 新規感染症患者数 | 237 | 204 | 238 | 679 |
| 総入院患者数 | 64,711 | 64,410 | 61,501 | 190,622 |
| 感染率(‰) | 4.62 | 4.01 | 4.62 | 4.41 |
| 罹患率(‰) | 3.67 | 3.17 | 3.87 | 3.57 |
| 参加施設数 | 59 | 59 | 59 | |



感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数 = 前月からの繰越患者数 + 新入院患者数

新規感染症患者数 = 新規の感染症患者の数 (= 罹患患者数)

継続感染症患者数 = 先月から継続している感染症患者の数

感染率(‰) = (感染症患者数) ÷ (総入院患者数) × 1000

罹患率(‰) = (新規感染症患者数) ÷ (総入院患者数 - 継続感染症患者数) × 1000

注(1)：表の「計」は3ヶ月の感染症患者数、新規感染症患者数、総入院患者数を単純に加えたものです。感染率、罹患率はこれらに基づいて算出してあり、3ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なります。

表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数

| 薬剤耐性菌名 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| M R S A | 279(93.31%) | 234(90.70%) | 262(92.25%) | 775(92.15%) |
| MRSA+多剤耐性緑膿菌 | 1(0.33%) | 1(0.39%) | 0(0.00%) | 2(0.24%) |
| 多剤耐性緑膿菌 | 6(2.01%) | 5(1.94%) | 4(1.41%) | 15(1.78%) |
| P R S P (P I S P も含む) | 6(2.01%) | 9(3.49%) | 9(3.17%) | 24(2.85%) |
| メタロβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌 | 1(0.33%) | 1(0.39%) | 3(1.06%) | 5(0.59%) |
| MRSA+メタロβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌 | 0(0.00%) | 0(0.00%) | 0(0.00%) | 0(0.00%) |
| その他 | 6(2.01%) | 8(3.10%) | 6(2.11%) | 20(2.38%) |
| 感染症患者数計 | 299(100.00%) | 258(100.00%) | 284(100.00%) | 841(100.00%) |
| 参加施設数 | 59 | 59 | 59 | |

注：「計」は3ヶ月の薬剤耐性菌別感染症患者数を単純に加えたものです。

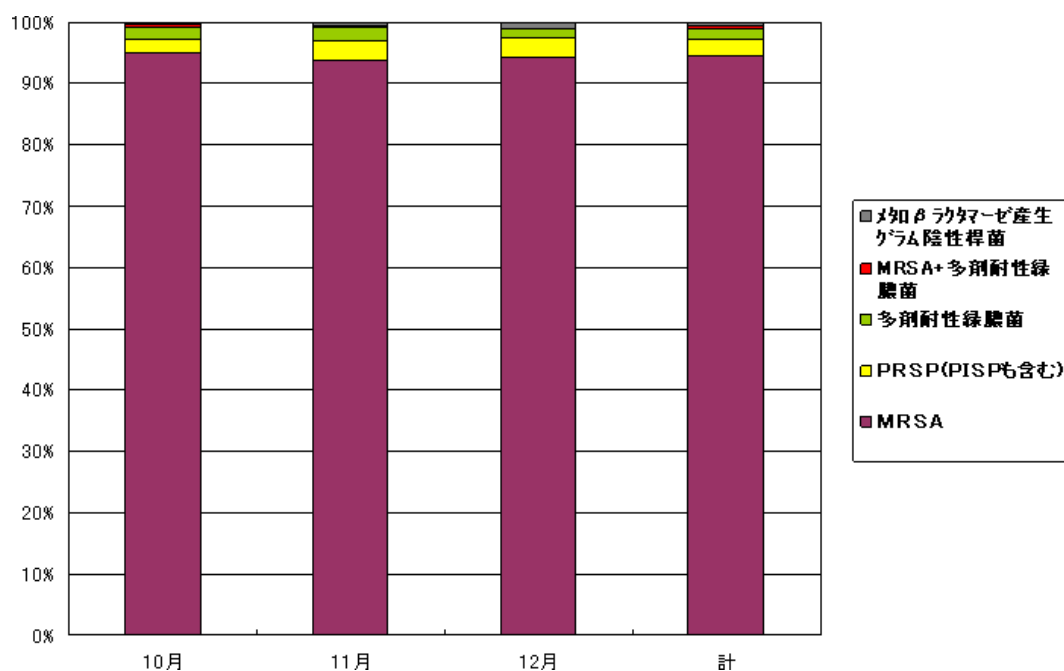
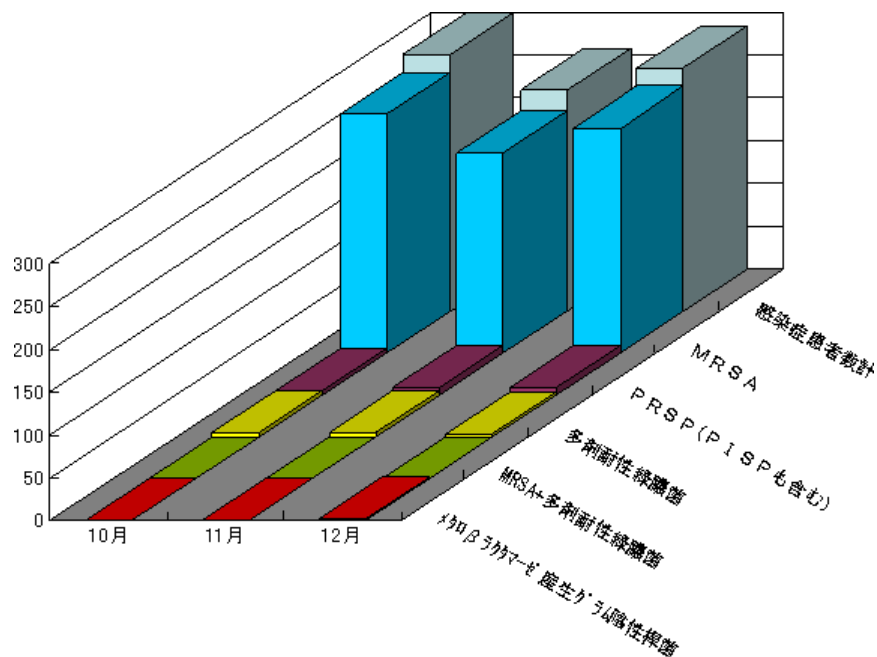


表3.MRSA感染症の感染症名内訳

| 感染症名 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 尿路感染症 | 13(4.66%) | 11(4.70%) | 10(3.82%) | 34(4.39%) |
| 肺炎 | 107(38.35%) | 97(41.45%) | 127(48.47%) | 331(42.71%) |
| 肺炎以外の呼吸器感染症 | 12(4.30%) | 8(3.42%) | 7(2.67%) | 27(3.48%) |
| 消化器系感染症 | 21(7.53%) | 13(5.56%) | 18(6.87%) | 52(6.71%) |
| 中枢神経系感染症 | 1(0.36%) | 0(0.00%) | 1(0.38%) | 2(0.26%) |
| 皮膚・軟部組織感染症 | 26(9.32%) | 27(11.54%) | 28(10.69%) | 81(10.45%) |
| 手術創感染 | 41(14.70%) | 38(16.24%) | 36(13.74%) | 115(14.84%) |
| 菌血症 | 35(12.54%) | 24(10.26%) | 17(6.49%) | 76(9.81%) |
| その他の感染症 | 23(8.24%) | 16(6.84%) | 18(6.87%) | 57(7.35%) |
| 計 | 279(100.00%) | 234(100.00%) | 262(100.00%) | 775(100.00%) |

注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の感染症名の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

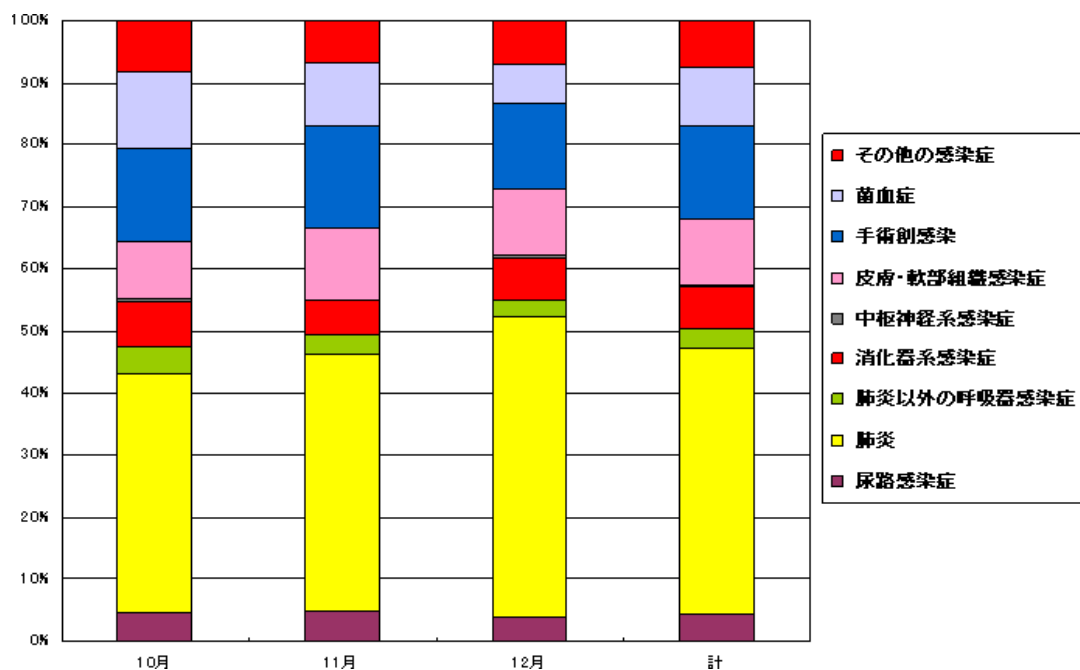
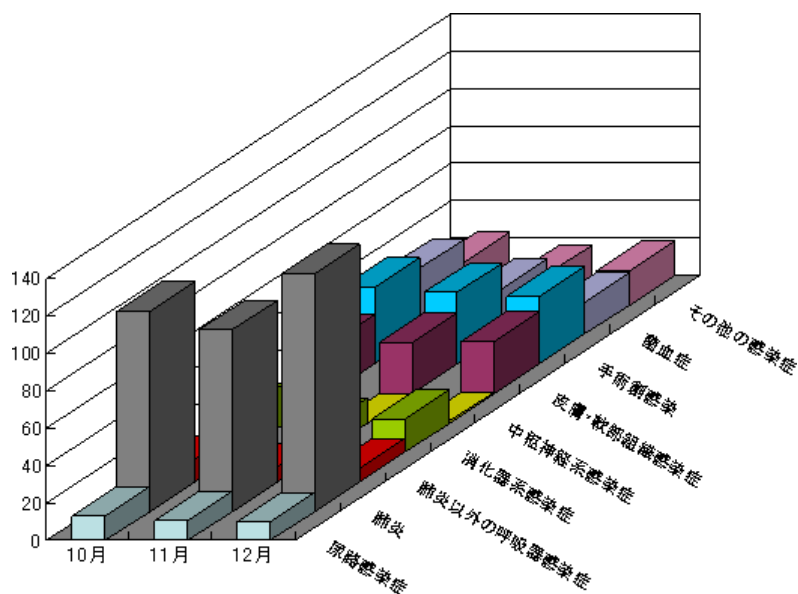


表4. MRSA感染症の基礎疾患名内訳
2007/03/15

| 基礎疾患名 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 悪性腫瘍 | 66(20.43%) | 60(22.39%) | 54(17.20%) | 180(19.89%) |
| 尿路系疾患 | 21(6.50%) | 8(2.99%) | 17(5.41%) | 46(5.08%) |
| 呼吸器系疾患 | 36(11.15%) | 37(13.81%) | 51(16.24%) | 124(13.70%) |
| 循環器系疾患 | 70(21.67%) | 38(14.18%) | 64(20.38%) | 172(19.01%) |
| 消化器系疾患 | 21(6.50%) | 32(11.94%) | 23(7.32%) | 76(8.40%) |
| 神経系疾患 | 35(10.84%) | 29(10.82%) | 30(9.55%) | 94(10.39%) |
| 精神系疾患 | 7(2.17%) | 5(1.87%) | 6(1.91%) | 18(1.99%) |
| 内分泌代謝疾患 | 21(6.50%) | 20(7.46%) | 26(8.28%) | 67(7.40%) |
| 自己免疫疾患 | 10(3.10%) | 7(2.61%) | 4(1.27%) | 21(2.32%) |
| その他の疾患 | 36(11.15%) | 32(11.94%) | 39(12.42%) | 107(11.82%) |
| 計 | 323(100.00%) | 268(100.00%) | 314(100.00%) | 905(100.00%) |

注：(1) 1患者の基礎疾患名に重複があるために、件数は患者数より多くなっています。
 注：(2) 基礎疾患名別の統計情報の収集が行われていないので、基礎疾患名別の感染率は表示できません。
 注：(3) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の基礎疾患名の報告数を単純に加えたものです。
 注：(4) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ ラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

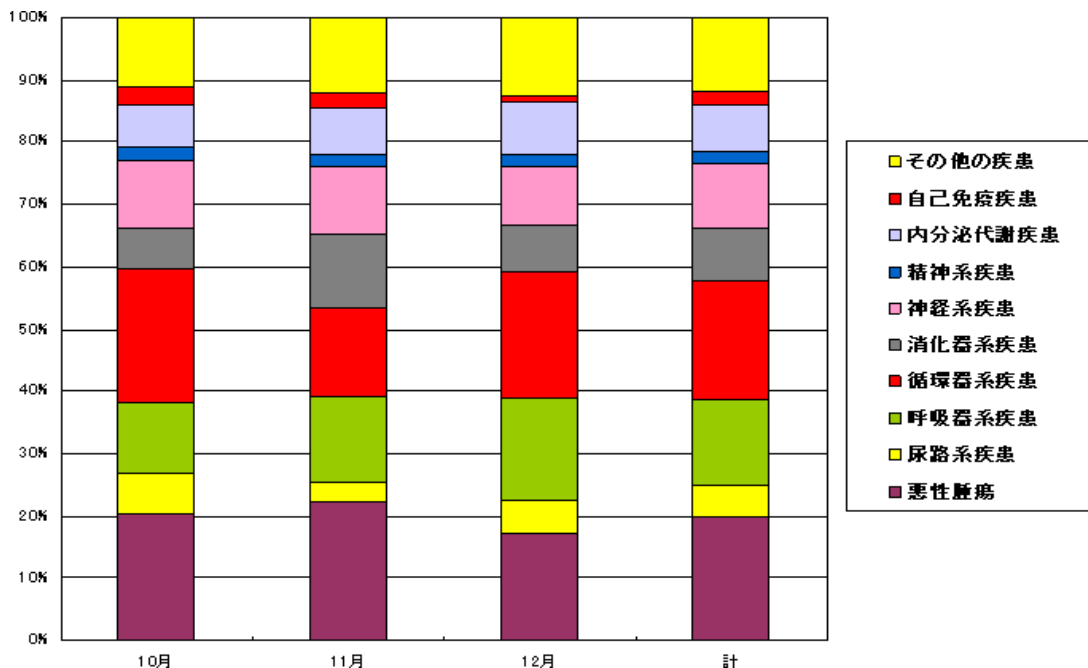
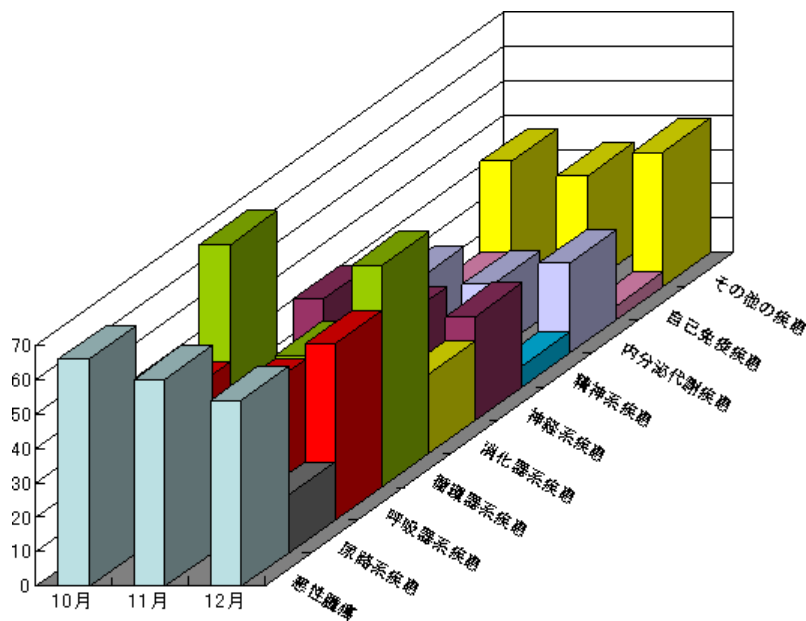
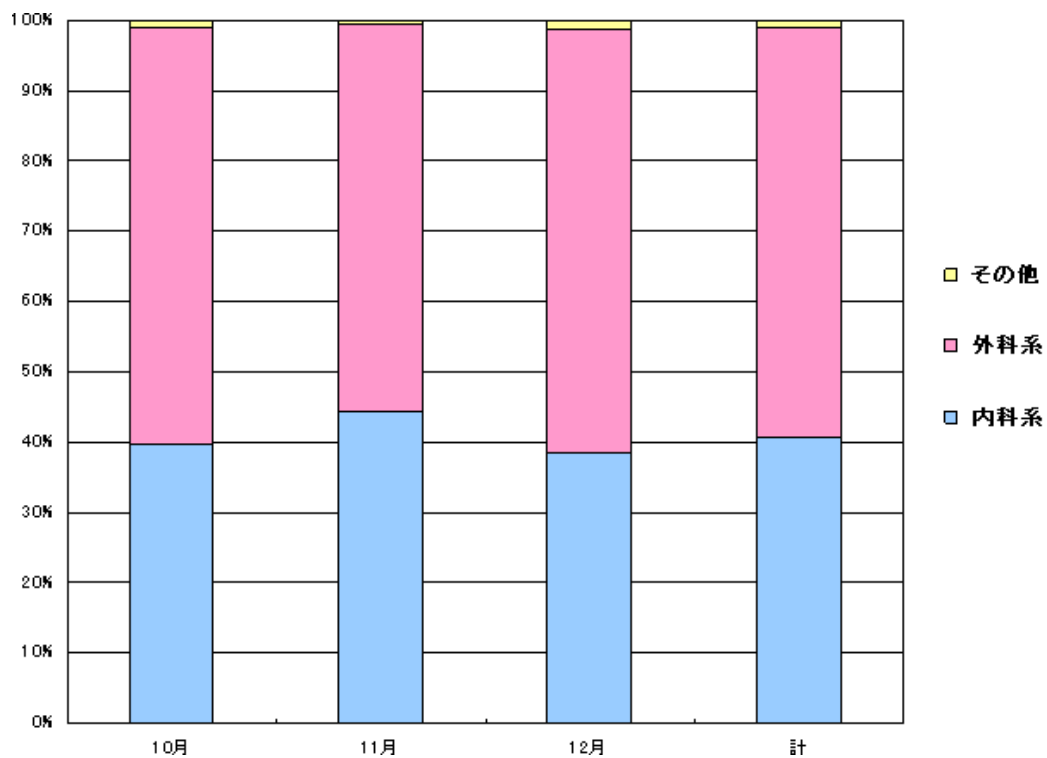
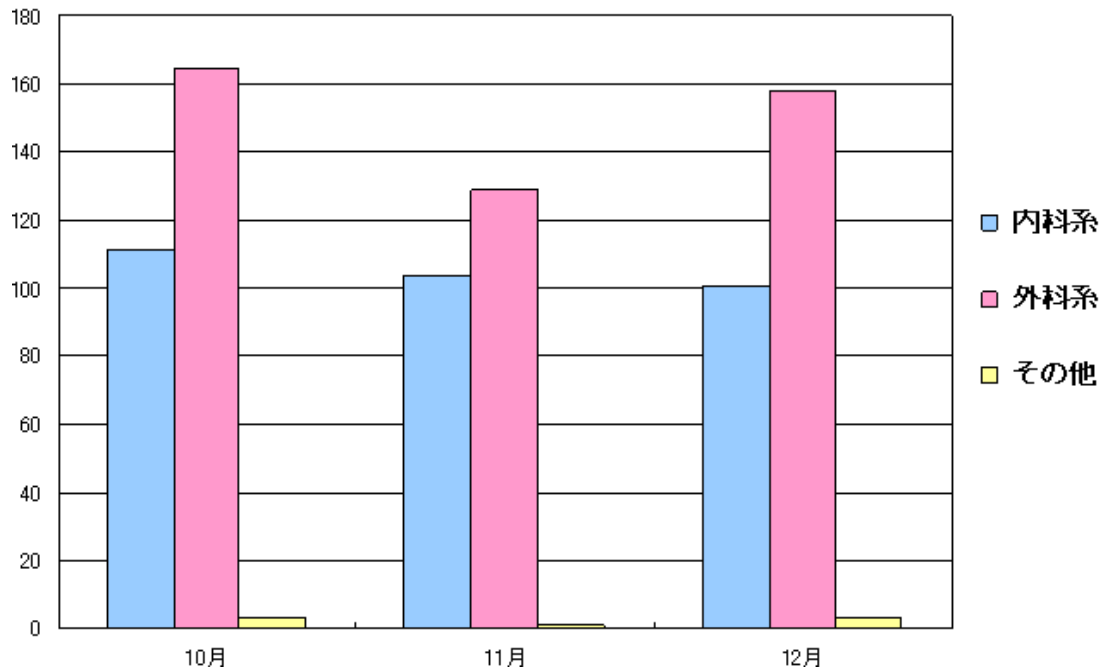


表5.MRSA感染症の診療科内訳

| 診療科 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 内科系 | 111(39.78%) | 104(44.44%) | 101(38.55%) | 316(40.77%) |
| 外科系 | 165(59.14%) | 129(55.13%) | 158(60.31%) | 452(58.32%) |
| その他 | 3(1.08%) | 1(0.43%) | 3(1.15%) | 7(0.90%) |
| 計 | 279(100.00%) | 234(100.00%) | 262(100.00%) | 775(100.00%) |

感染患者数



内科系:内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、心療内科、神経科、精神科、放射線科、麻酔科、
リウマチ科、胃腸科、アレルギー科

外科系:外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、産婦人科、産科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
泌尿器科、皮膚泌尿器科、脳神経外科、形成外科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、矯正歯科、気管食道科、
美容外科、肛門科

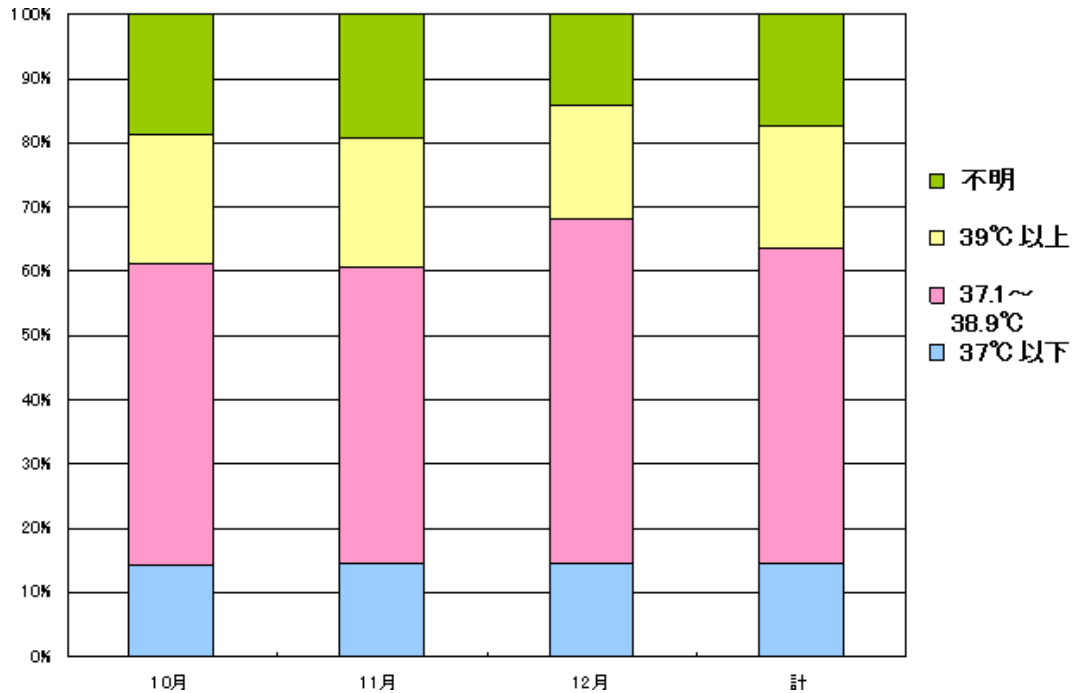
その他:性病科、リハビリテーション科、その他

注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の診療科名の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ βラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表6.MRSA感染症患者の体温分布

| 体温 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 37 以下 | 40(14.34%) | 34(14.53%) | 38(14.50%) | 112(14.45%) |
| 37.1～38.9 | 131(46.95%) | 108(46.15%) | 141(53.82%) | 380(49.03%) |
| 39 以上 | 56(20.07%) | 47(20.09%) | 46(17.56%) | 149(19.32%) |
| 不明 | 52(18.64%) | 45(19.23%) | 37(14.12%) | 134(17.29%) |
| 計 | 279(100.00%) | 234(100.00%) | 262(100.00%) | 775(100.00%) |



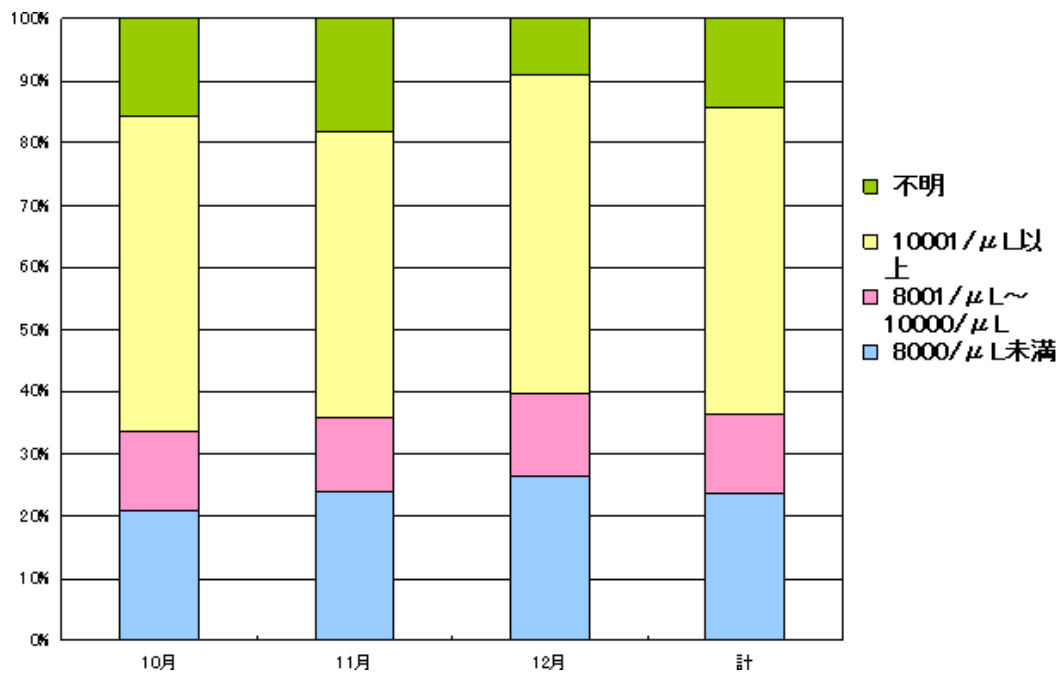
注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の体温の報告数を単純に加えたものです。

注:(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表7.MRSA感染症患者の白血球数分布

| | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 8000/ μ L未満 | 58(20.79%) | 56(23.93%) | 69(26.34%) | 183(23.61%) |
| 8001/ μ L～10000/ μ L | 36(12.90%) | 28(11.97%) | 35(13.36%) | 99(12.77%) |
| 10001/ μ L以上 | 141(50.54%) | 107(45.73%) | 134(51.15%) | 382(49.29%) |
| 不明 | 44(15.77%) | 43(18.38%) | 24(9.16%) | 111(14.32%) |
| 計 | 279(100.00%) | 234(100.00%) | 262(100.00%) | 775(100.00%) |

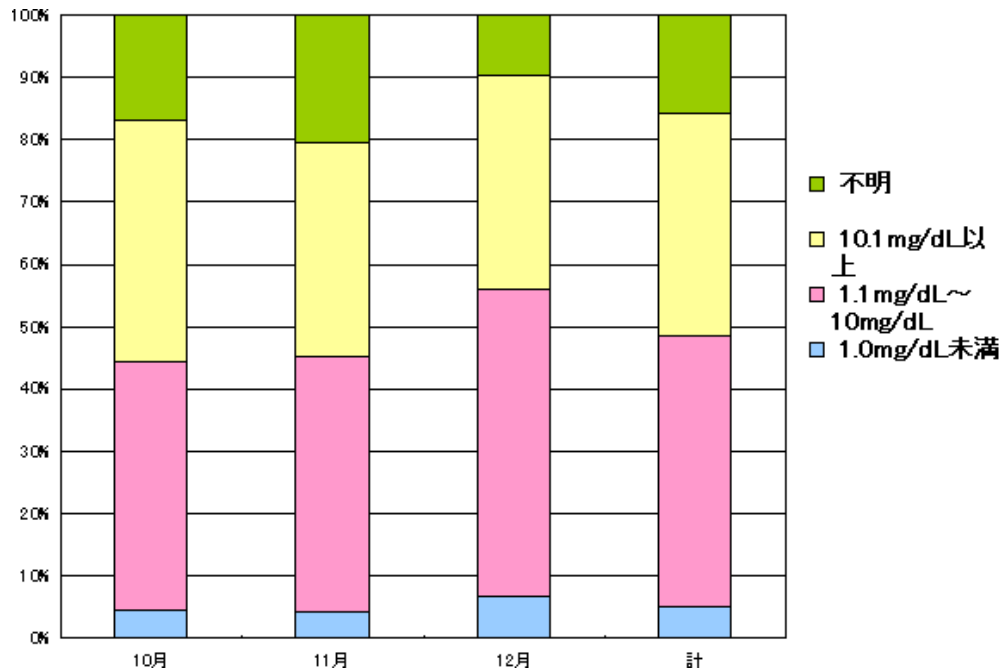


注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の白血球の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表8 . MRSA感染症患者のCRP値分布

| CRP値 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1.0mg/dL未満 | 12(4.30%) | 10(4.27%) | 18(6.87%) | 40(5.16%) |
| 1.1mg/dL～10mg/dL | 112(40.14%) | 96(41.03%) | 129(49.24%) | 337(43.48%) |
| 10.1mg/dL以上 | 108(38.71%) | 80(34.19%) | 89(33.97%) | 277(35.74%) |
| 不明 | 47(16.85%) | 48(20.51%) | 26(9.92%) | 121(15.61%) |
| 計 | 279(100.00%) | 234(100.00%) | 262(100.00%) | 775(100.00%) |



注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症のCRP値の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生動向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染患者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。年報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の年報(2006年1～12月)では、調査参加施設数は64施設で、調査対象となった総入院患者数は756,554名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は3,657名であった。薬剤耐性菌別では、MRSA感染症患者は3,357名で、MRSAと多剤耐性緑膿菌との混合感染症患者は17名、MRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌との混合感染症患者は2名であった。PRSP感染症患者は109名、多剤耐性緑膿菌感染症患者は46名、メタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌感染症患者は23名であった。VRE、VRSA感染症の報告はなかった。

感染症患者数を総入院患者数で除した感染率(‰)は4.83‰であった。新規感染者数を総入院患者数から継続感染者数を引いた数で除した罹患率(‰)は4.00‰であった。耐性菌別の感染率、罹患率はそれぞれMRSA感染症では4.44‰、3.69‰、PRSP感染症では0.14‰、0.14‰、多剤耐性緑膿菌感染症では0.06‰、0.05‰であった。

感染症患者の性別はMRSA感染症患者及びPRSP感染症患者ともに60%以上が男性であった。年齢別ではMRSA感染症患者の60%以上が70歳以上であったが、PRSP感染症では10歳未満が48.6%と低年齢層に多かった。

検出検体をみると、MRSA感染症の検体では呼吸器系が46.4%と最も多く、次いで血液・穿刺液系(12.4%)、消化器系(6.1%)の順であり、呼吸器系の中でも喀出痰が75.0%を占めていた。PRSP感染症の検体では呼吸器系が90.8%を占め、その内訳は喀出痰(53.5%)、咽頭粘液(35.4%)、鼻腔内(6.1%)の順であった。

薬剤耐性菌による感染症名の内訳は、MRSA感染症については肺炎が最も多く41.9%で、次いで手術創感染(11.9%)、菌血症(11.3%)、皮膚・軟部組織感染症(8.6%)の順であった。PRSP感染症については肺炎(55.0%)、肺炎以外の呼吸器感染(35.8%)、菌血症(5.5%)の順であった。

薬剤耐性菌による感染症患者全体の基礎疾患名の内訳は、悪性腫瘍が最も多く18.7%、次いで循環器系疾患(18.5%)、呼吸器系疾患(13.0%)、神経系疾患(10.4%)、消化器系疾患(8.8%)、内分泌代謝疾患(8.3%)の順であった。MRSA感染症患者では同様の傾向であった。

診療科別内訳は感染症患者全体では内科系46.3%、外科系54.4%であり、MRSA感染症患者では、内科系44.4%、外科系54.4%であった。PRSP感染症患者では内科系が87.2%を占めた。

感染症患者の体温分布を見ると、MRSA感染症患者では37.1 以上～38.9 未満が51.3%と最も多く、39 以上の20.6%を合わせて37.1 以上が71.9%で、37 以下は15.7%であった。PRSP感染症患者では37.1 以上～38.9 未満が50.5%、39 以上の28.4%と合わせると37.1 以上が78.9%で、37 以下が11.0%であった。白血球数分布ではMRSA感染症患者、PRSP症患者とも10,001/μL以上が半数を占めた。CRP値分布ではMRSA感染症患者において10.1mg/dL以上は40.6%を占め、PRSP感染症患者では36.7%であった。

[表1](#) . サーベイランス参加施設の規模内訳

[表2](#) . 薬剤耐性菌別感染症及び罹患患者数の内訳

[表3](#) . 感染症及び罹患患者の性別内訳

[表4](#) . 感染症及び罹患患者の年齢別内訳

[表5](#) . 感染症及び罹患患者の検体内訳

[表6](#) . 感染症及び罹患患者の感染症名内訳

[表7. 感染症及び罹患患者の基礎疾患名内訳](#)

[表8. 感染症及び罹患患者数の診療科内訳](#)

[表9. 感染症及び罹患患者の体温分布](#)

[表10. 感染症及び罹患患者の白血球数分布](#)

[表11. 感染症及び罹患患者のCRP値分布](#)

なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表1. サーベイランス参加施設の規模内訳

| 病床数 | ～399 | 400～599 | 600～799 | 800～999 | 1000以上 | 計 |
|-------|------|---------|---------|---------|--------|----|
| 参加施設数 | 21 | 27 | 13 | 2 | 1 | 64 |

参加施設数

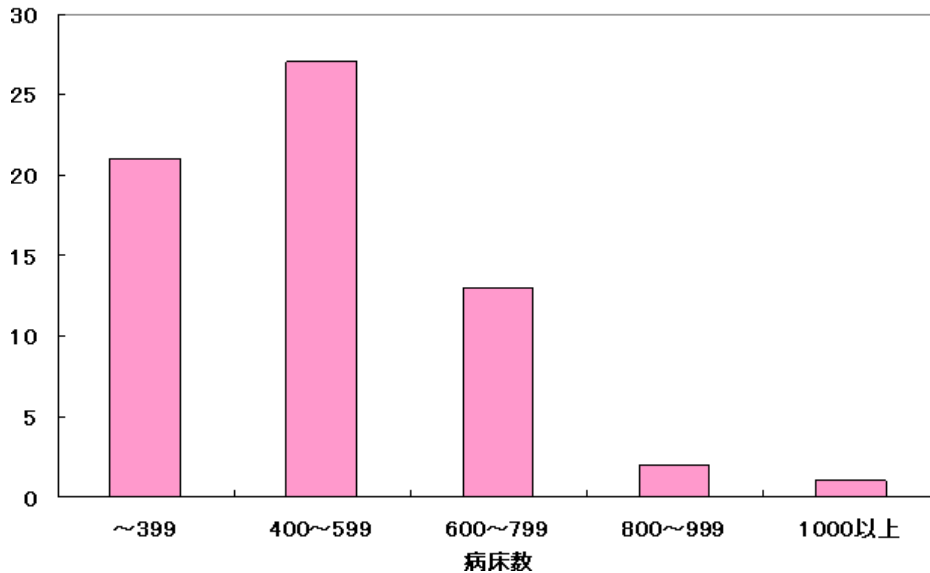


表2. 薬剤耐性菌別感染症および罹患患者数の内訳

| 薬剤耐性菌名 | 感染症患者数 | 罹患患者数 | 感染率(%) | 罹患率(%) |
|------------------------|--------|-------|--------|--------|
| MRSA | 3,357 | 2,787 | 4.44 | 3.69 |
| MRSA+多剤耐性緑膿菌 | 17 | 11 | 0.02 | 0.01 |
| 多剤耐性緑膿菌 | 46 | 35 | 0.06 | 0.05 |
| PRSP (PISPも含む) | 109 | 108 | 0.14 | 0.14 |
| メロ ラクターゼ産生グラム陰性桿菌 | 23 | 21 | 0.03 | 0.03 |
| VRE | 0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| VRSA | 0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| MRSA+メロ ラクターゼ産生グラム陰性桿菌 | 2 | 2 | 0.00 | 0.00 |
| その他 | 103 | 61 | 0.14 | 0.08 |
| 感染患者数計 | 3,657 | 3,025 | 4.83 | 4.00 |
| 参加施設数 | 64 | | | |

総入院患者数 756,554名

感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数 = 前年からの繰越患者数 + 新入院患者数

新規感染症患者数 = 新規の感染症患者の数 (= 罹患患者数)

継続感染症患者数 = 前年から継続している感染症患者の数

感染率(%) = 感染症患者数 ÷ 総入院患者数 × 1000

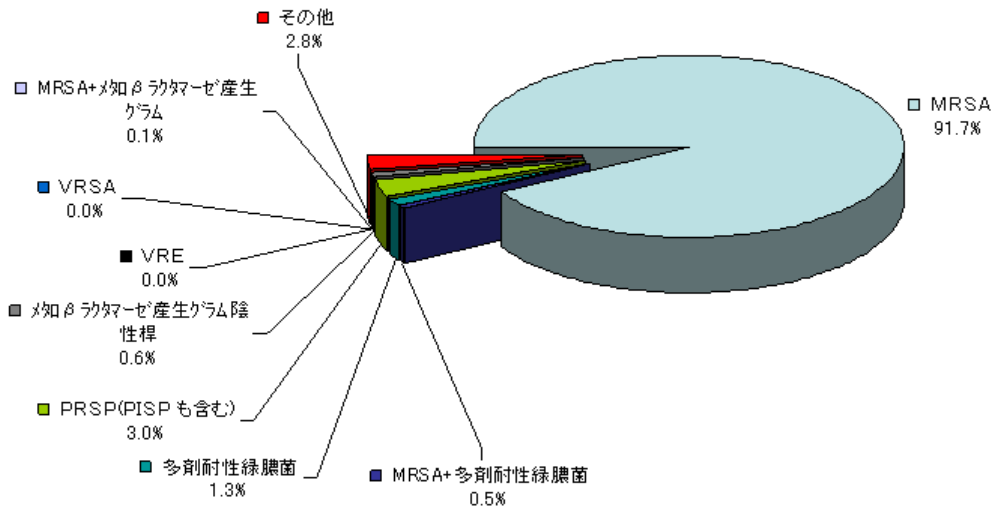
罹患率(%) = 新規感染症患者数 ÷ (総入院患者数 - 継続感染症患者数) × 1000

注(1)：総入院患者数、感染症患者数、罹患患者数は毎月の報告数を単純に加えたものです。

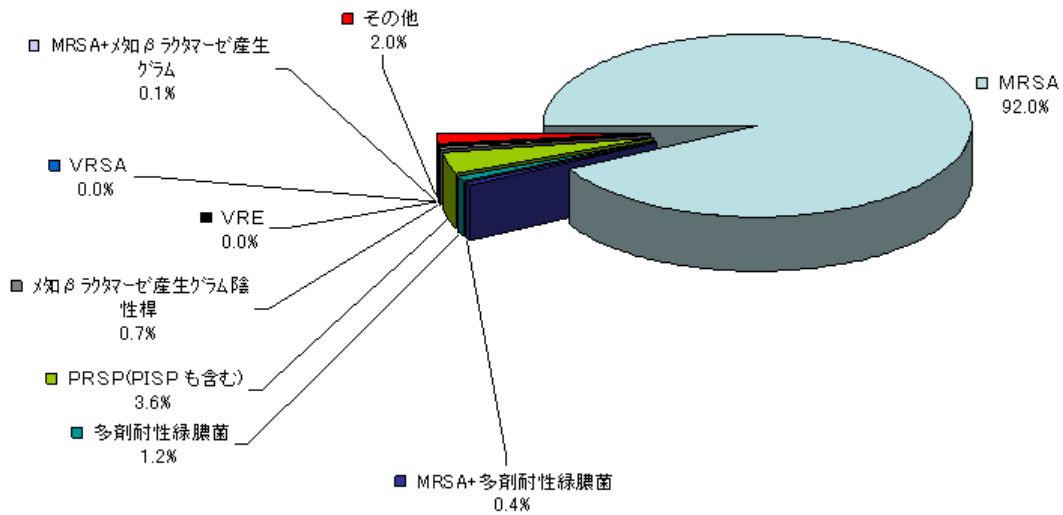
感染率、罹患率はこれらに基づいて算出してあり、12ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なっています。

薬剤耐性菌別感染症患者の内訳（百分率）



薬剤耐性菌別罹患患者の内訳（百分率）



◀ 概要・1・2・3・4 ▶

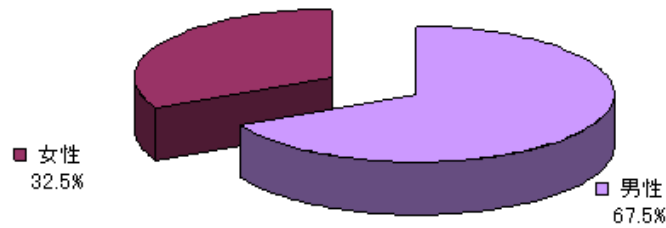
表3 . 感染症及び罹患患者の性別内訳

| | 感染症患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染症患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染症患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染症患者数 | その他の罹患患者数 |
|----|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|------------|------------|------------|
| 男性 | 2,468 (67.5) | 2,033 (67.2) | 2,271(67.6) | 1,883 (67.6) | 69(63.3) | 68(63.0) | 128(67.0) | 82(63.1) |
| 女性 | 1,189 (32.5) | 992(32.8) | 1,086(32.4) | 904(32.4) | 40(36.7) | 40(37.0) | 63(33.0) | 48(36.9) |
| 計 | 3,657 (100.0) | 3,025 (100.0) | 3,357 (100.0) | 2,787 (100.0) | 109(100.0) | 108(100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

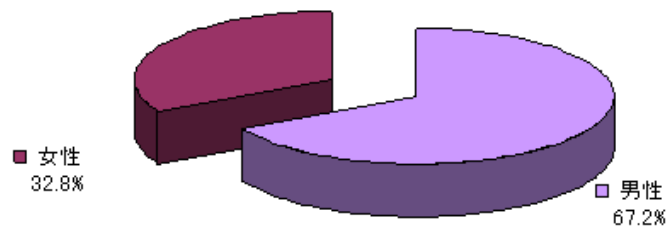
()内は百分率
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

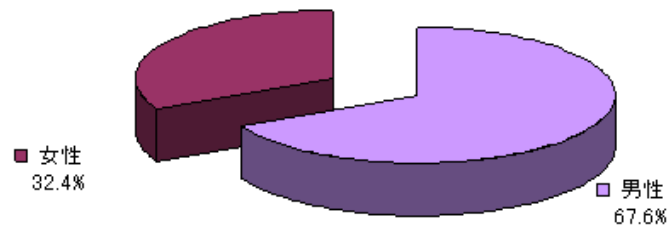
感染症患者数の性別内訳



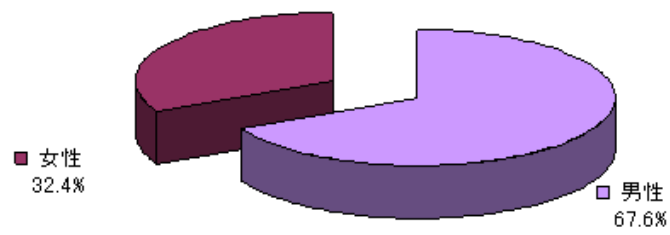
罹患患者数の性別内訳



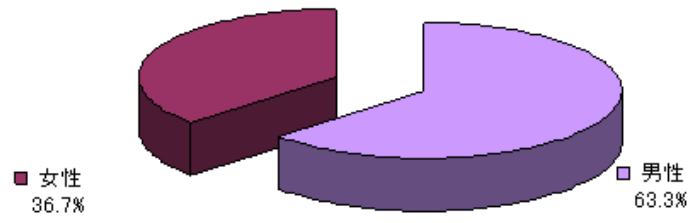
MRSA感染症患者数の性別内訳



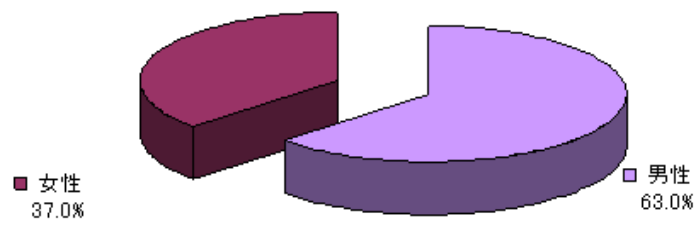
MRSA罹患患者数の性別内訳



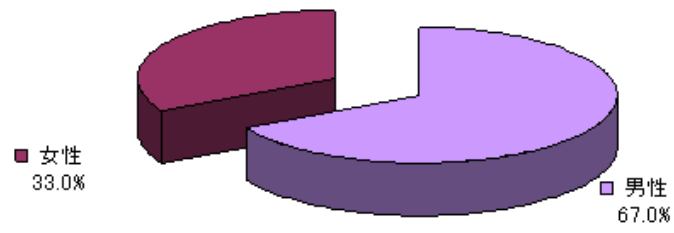
PRSP感染症患者数の性別内訳



PRSP罹患患者数の性別内訳



その他の感染症患者数の性別内訳



その他の罹患患者数の性別内訳

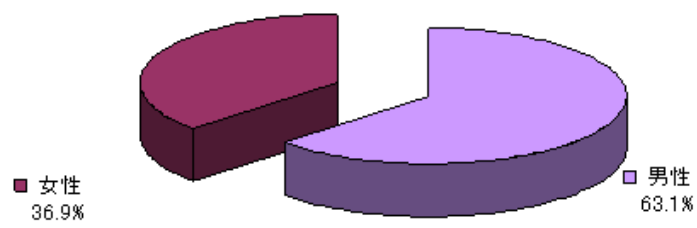
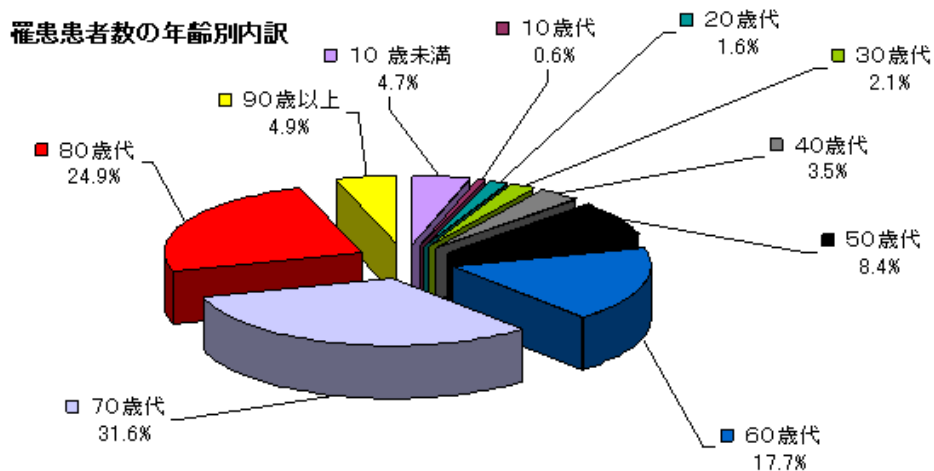
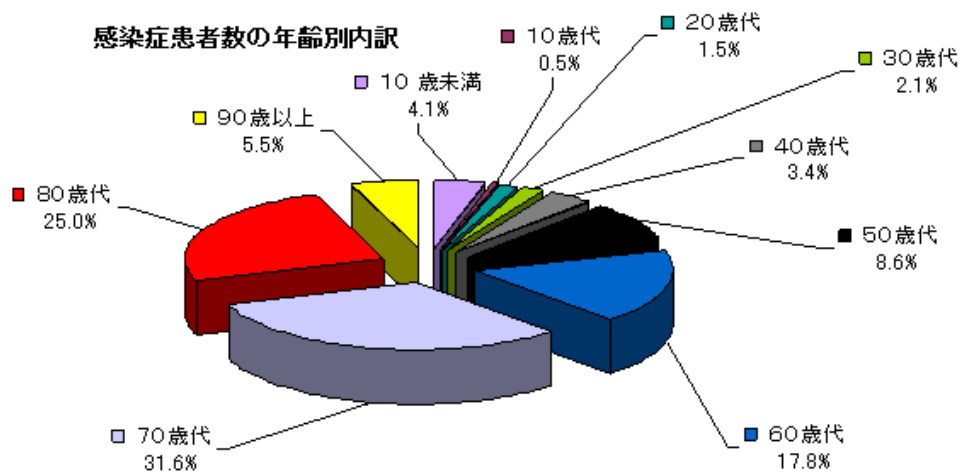


表4. 感染症及び罹患患者の年齢別内訳

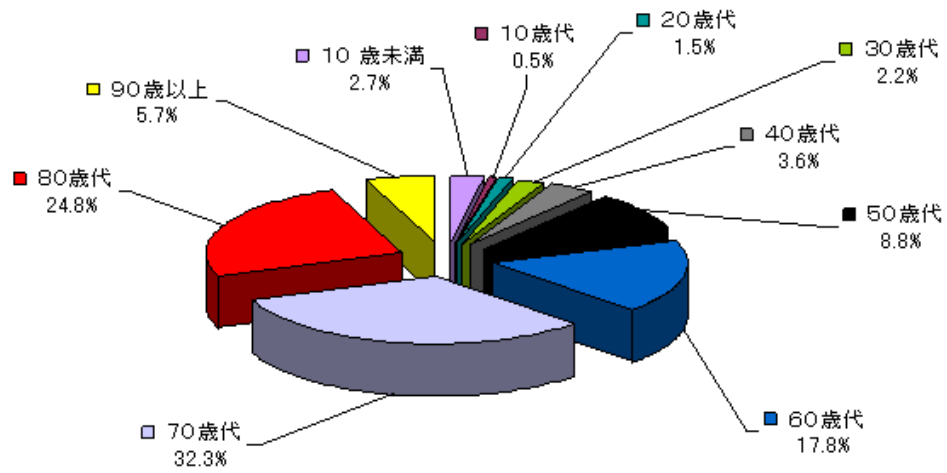
| | 感染症患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染症患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染症患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染症患者数 | その他の罹患患者数 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| 10歳未満 | 150(4.1) | 143(4.7) | 92(2.7) | 86(3.1) | 53(48.6) | 53(49.1) | 5(2.6) | 4(3.1) |
| 10歳代 | 18(0.5) | 17(0.6) | 17(0.5) | 17(0.6) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(0.5) | 0(0.0) |
| 20歳代 | 54(1.5) | 47(1.6) | 51(1.5) | 45(1.6) | 0(0.0) | 0(0.0) | 3(1.6) | 2(1.5) |
| 30歳代 | 77(2.1) | 64(2.1) | 74(2.2) | 62(2.2) | 1(0.9) | 1(0.9) | 2(1.0) | 1(0.8) |
| 40歳代 | 124(3.4) | 107(3.5) | 120(3.6) | 103(3.7) | 2(1.8) | 2(1.9) | 2(1.0) | 2(1.5) |
| 50歳代 | 315(8.6) | 255(8.4) | 297(8.8) | 240(8.6) | 6(5.5) | 6(5.6) | 12(6.3) | 9(6.9) |
| 60歳代 | 651(17.8) | 535(17.7) | 599(17.8) | 498(17.9) | 7(6.4) | 7(6.5) | 45(23.6) | 30(23.1) |
| 70歳代 | 1154(31.6) | 956(31.6) | 1084(32.3) | 898(32.2) | 17(15.6) | 17(15.7) | 53(27.7) | 41(31.5) |
| 80歳代 | 913(25.0) | 754(24.9) | 833(24.8) | 699(25.1) | 19(17.4) | 18(16.7) | 61(31.9) | 37(28.5) |
| 90歳以上 | 201(5.5) | 147(4.9) | 190(5.7) | 139(5.0) | 4(3.7) | 4(3.7) | 7(3.7) | 4(3.1) |
| 計 | 3657(100.0) | 3025(100.0) | 3357(100.0) | 2787(100.0) | 109(100.0) | 108(100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

()内は百分率

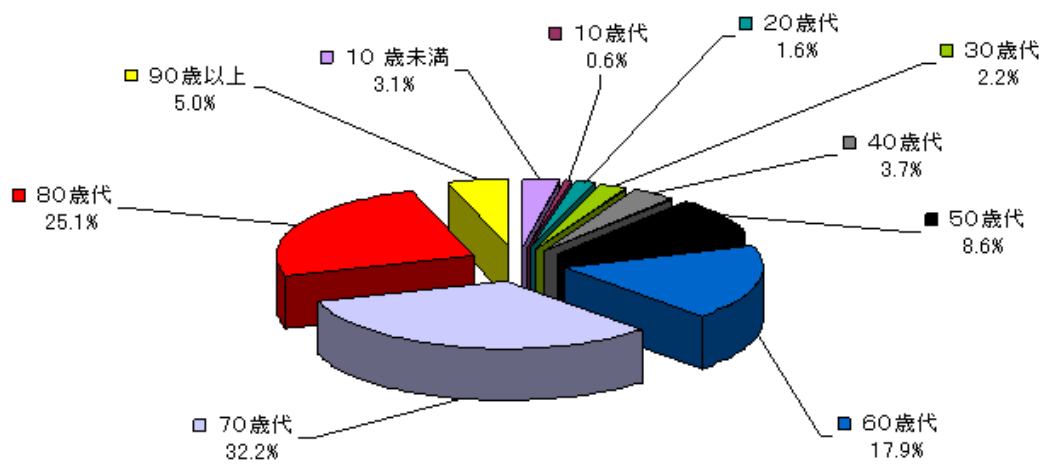
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



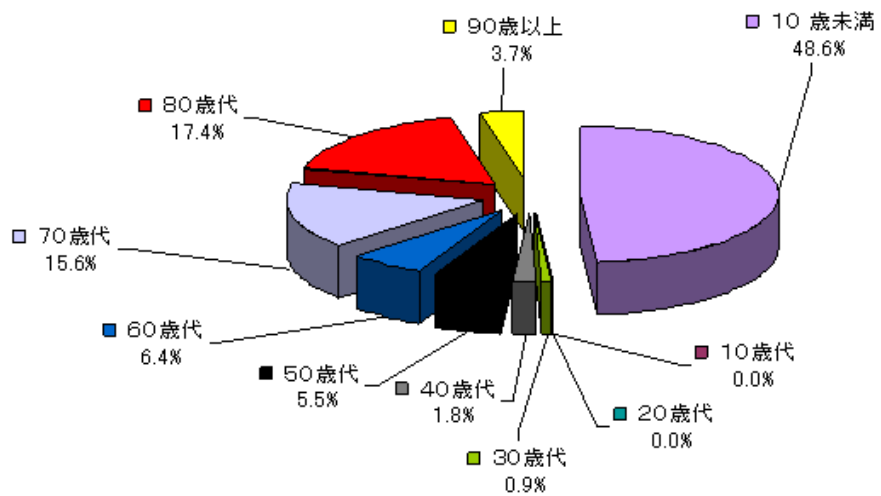
MRSA感染症患者数の年齢別内訳



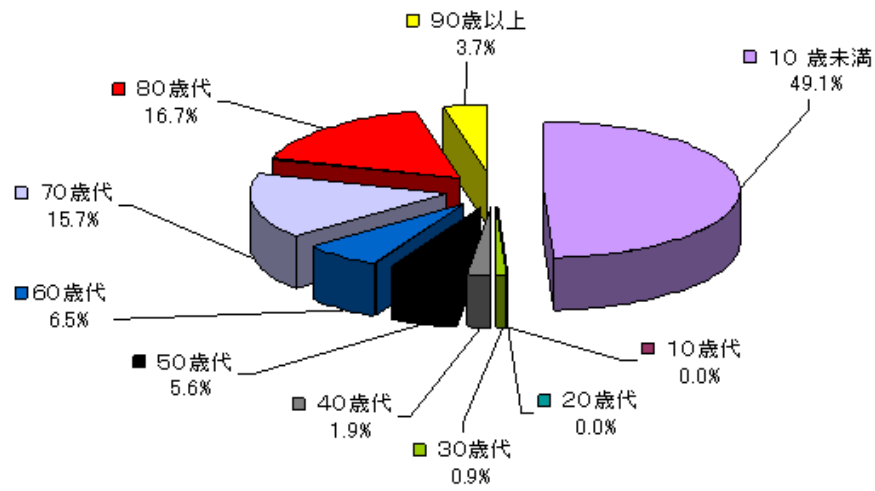
MRSA罹患患者数の年齢別内訳



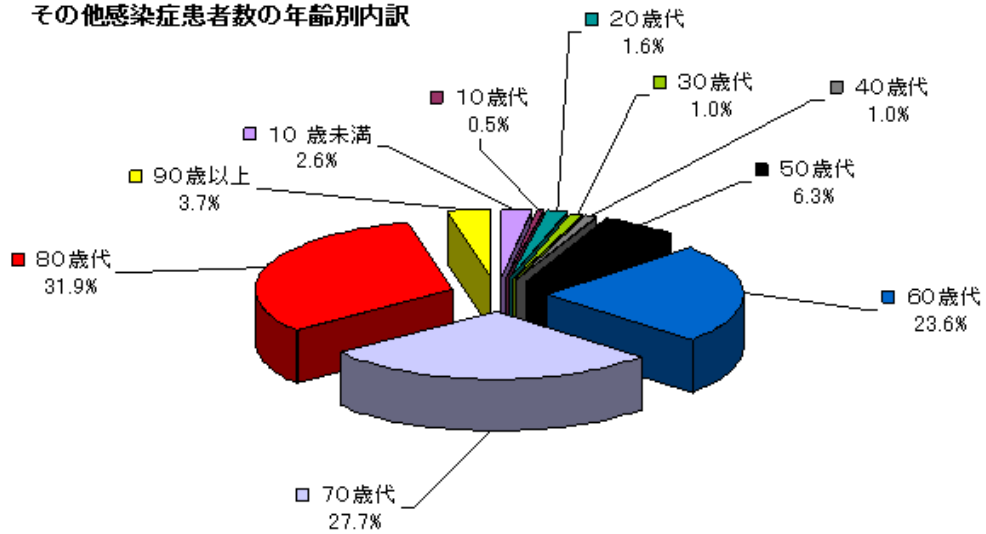
PRSP感染症患者数の年齢別内訳



PRSP罹患者数の年齢別内訳



その他感染症患者数の年齢別内訳



その他罹患者数の年齢別内訳

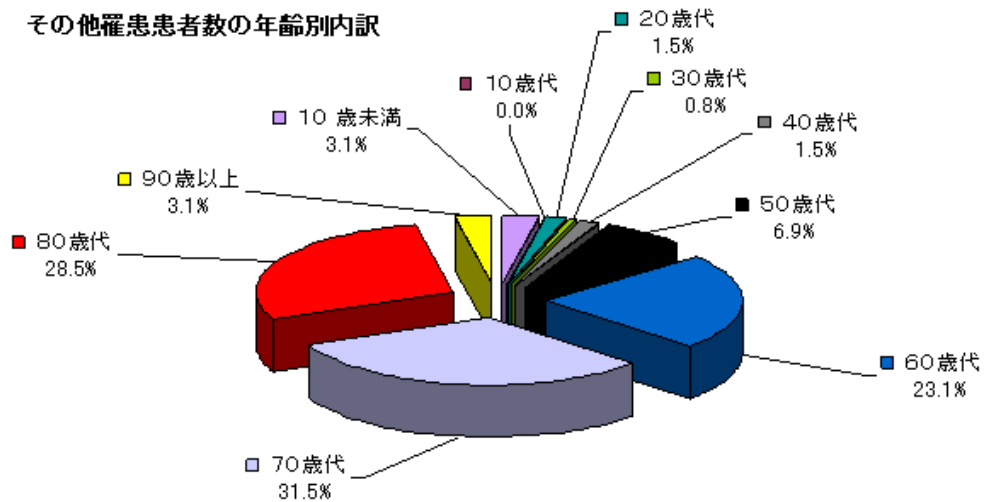
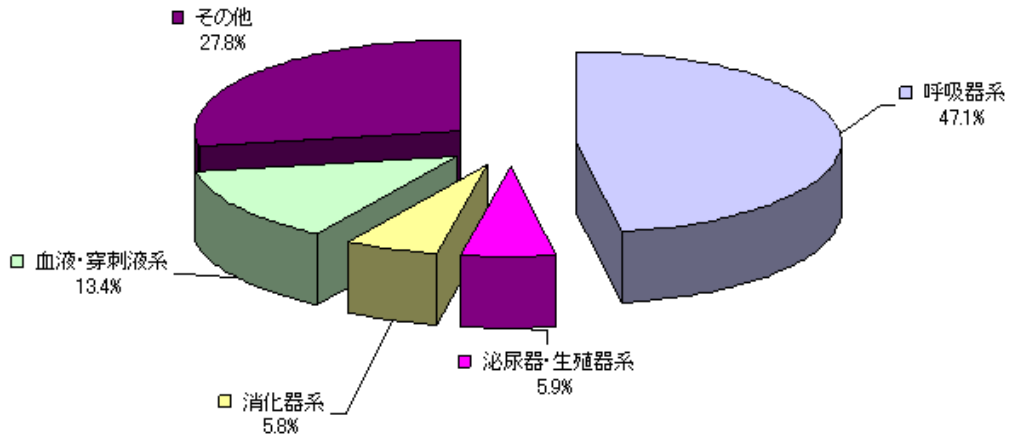


表5. 感染症及び罹患患者の検体内訳

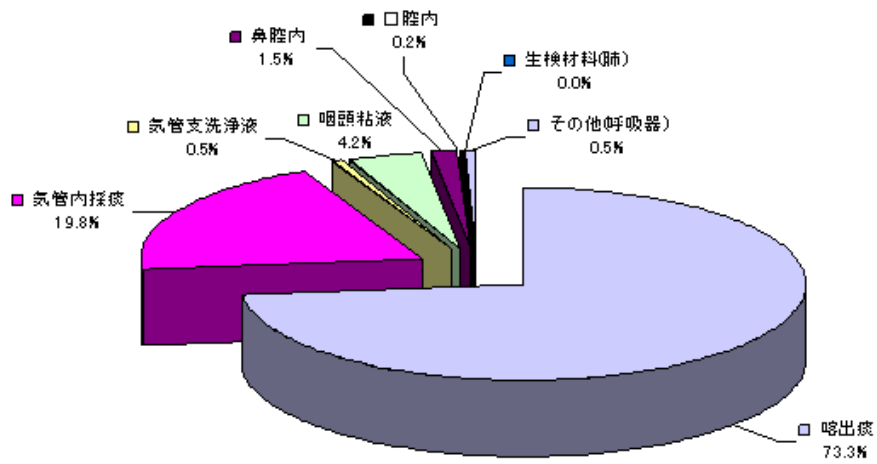
| 系統 | 検体 | 感染症患者 | 罹患患者 | MRSA感染症患者 | MRSA罹患患者 | PRSP感染症患者 | PRSP罹患患者 | その他の感染症患者 | その他の罹患患者 |
|----------|----------------------|-------|-------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| 呼吸器系 | 喀出痰 | 1,263 | 1,035 | 1,167 | 950 | 53 | 52 | 43 | 33 |
| | 気管内採痰 | 342 | 268 | 318 | 249 | 5 | 5 | 19 | 14 |
| | 気管支洗浄液 | 8 | 6 | 8 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 咽頭粘液 | 72 | 61 | 37 | 26 | 35 | 35 | 0 | 0 |
| | 鼻腔内 | 26 | 26 | 16 | 16 | 6 | 6 | 4 | 4 |
| | 口腔内 | 3 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 生検材料(肺) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他(呼吸器) | 9 | 6 | 7 | 5 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| | 小計 | 1,723 | 1,405 | 1,556 | 1,255 | 99 | 98 | 68 | 52 |
| 泌尿器・生殖器系 | 自然排尿 | 63 | 52 | 56 | 46 | 0 | 0 | 7 | 6 |
| | 採尿カテ - テル尿 | 40 | 35 | 31 | 29 | 0 | 0 | 9 | 6 |
| | 留置カテ - テル尿 | 77 | 57 | 60 | 43 | 1 | 1 | 16 | 13 |
| | 尿道分泌物 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 膣分泌物 | 4 | 4 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能) | 30 | 28 | 27 | 25 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| | その他(泌尿・生殖) | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 216 | 178 | 180 | 149 | 1 | 1 | 35 | 28 |
| 消化器系 | 糞便 | 192 | 183 | 189 | 180 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| | 胃・十二指腸液 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 胆汁 | 10 | 10 | 9 | 9 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 生検材料(消化管) | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | その他(消化管) | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 211 | 202 | 206 | 197 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 血液・穿刺液系 | 静脈血 | 332 | 268 | 269 | 237 | 4 | 4 | 59 | 27 |
| | 動脈血 | 77 | 72 | 72 | 67 | 2 | 2 | 3 | 3 |
| | 髄液 | 11 | 10 | 10 | 9 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 胸水 | 34 | 29 | 33 | 28 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 腹水 | 9 | 8 | 9 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 関節液 | 15 | 13 | 14 | 12 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 骨髓液 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 心嚢水 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他(穿刺液) | 11 | 9 | 10 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 小計 | 489 | 409 | 417 | 369 | 7 | 7 | 65 | 33 |
| その他 | | 1,018 | 831 | 998 | 817 | 2 | 2 | 18 | 12 |
| 計 | | 3,657 | 3,025 | 3,357 | 2,787 | 109 | 108 | 191 | 130 |

注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

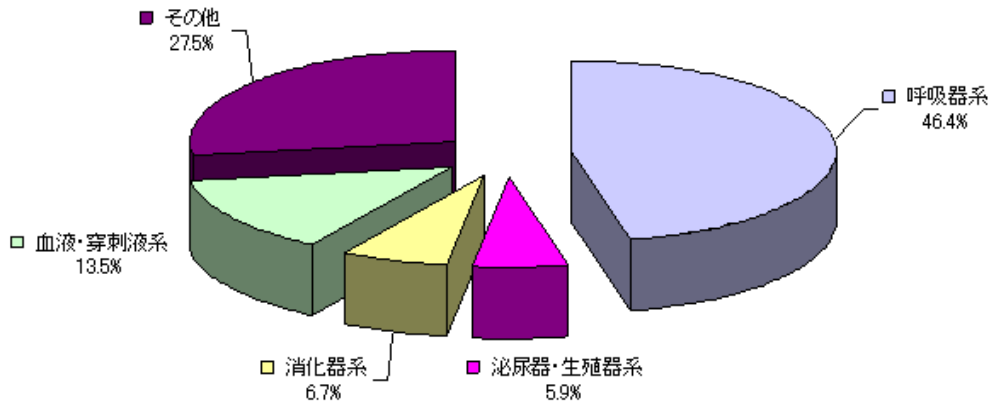
感染症件数の検体内容



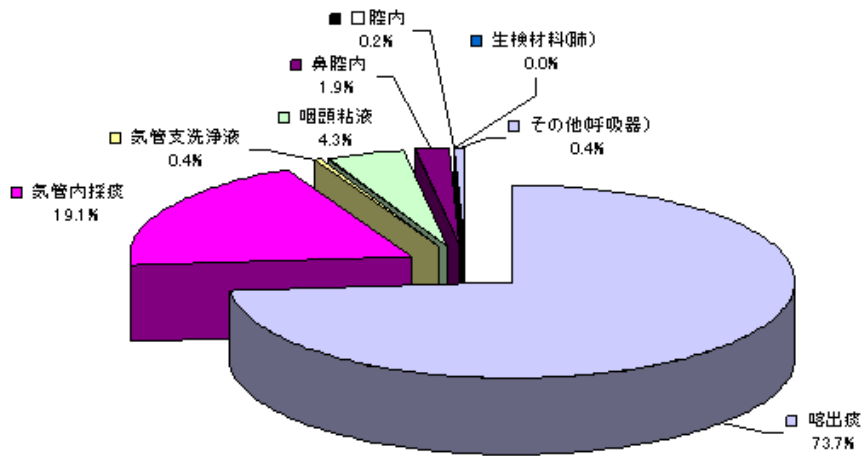
感染症件数の呼吸器系検体内容



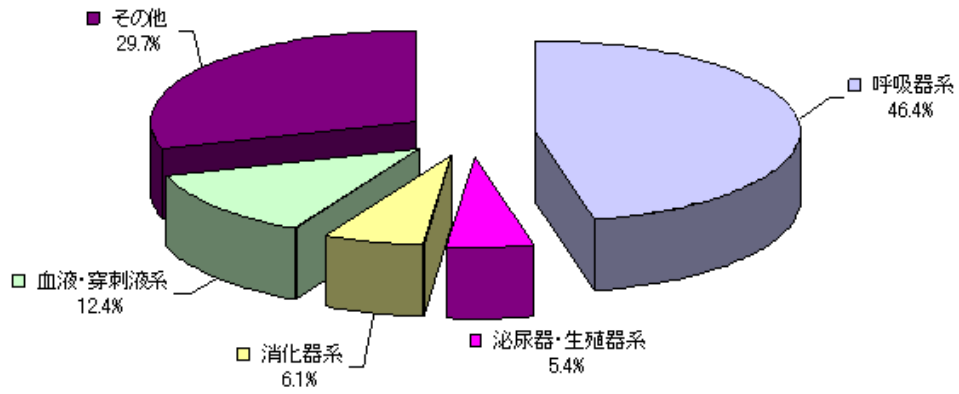
罹患者数の検体内容



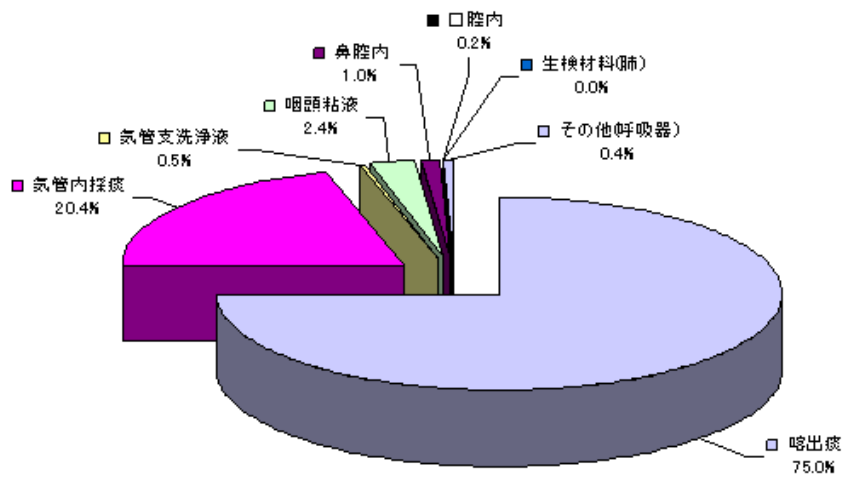
罹患者数の呼吸器系検体内容



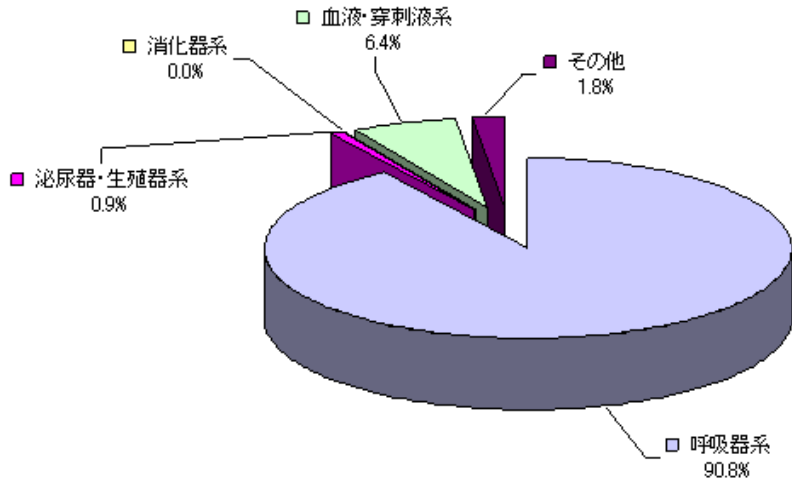
MRSA感染症件数の検体内容



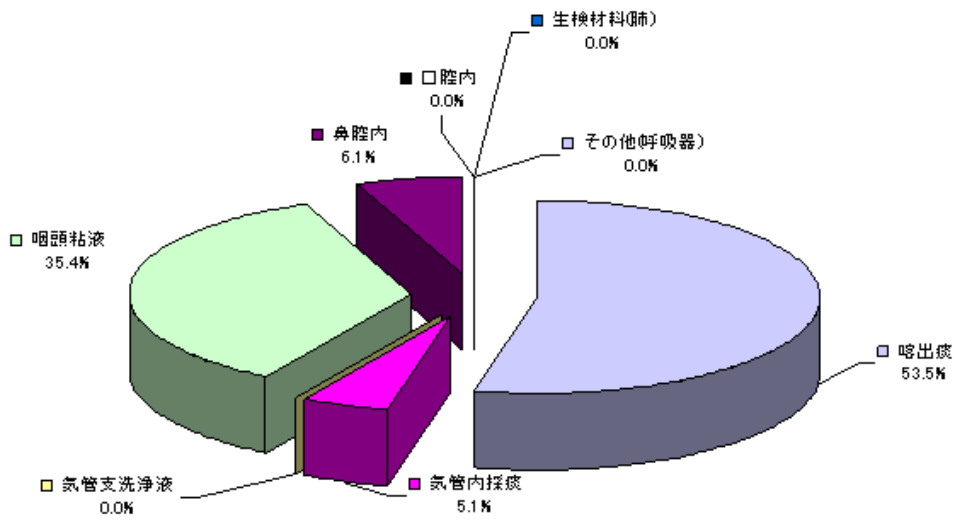
MRSA感染症件数の呼吸器系検体内容



PRSP感染症件数の検体内容



PRSP感染症件数の呼吸器系検体内容



◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表6．感染症及び罹患患者の感染症名内訳

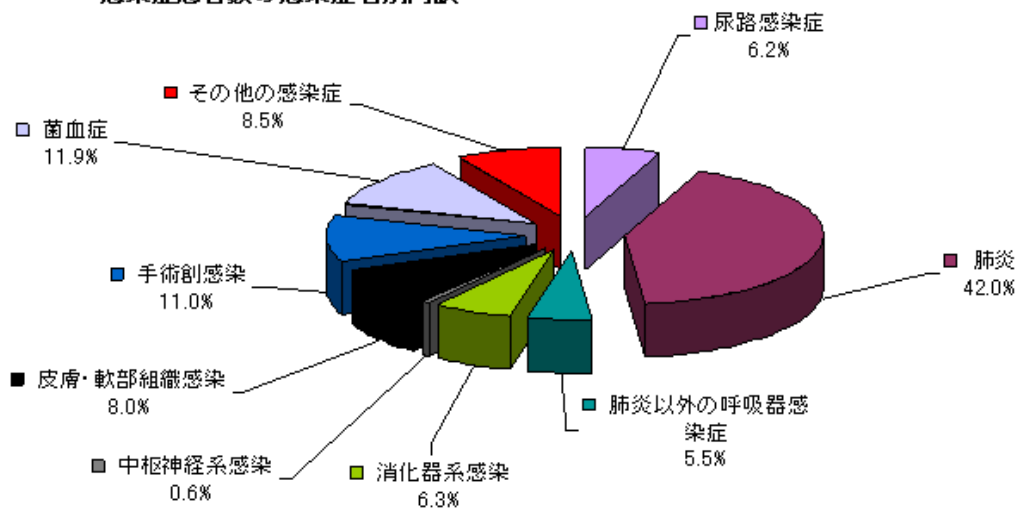
| | 感染患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染患者数 | その他の罹患患者数 |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|------------|------------|------------|
| 尿路感染症 | 227(6.2) | 184(6.1) | 184(5.5) | 153(5.5) | 0(0.0) | 0(0.0) | 43(22.5) | 31(23.8) |
| 肺炎 | 1,535 (42.0) | 1,250 (41.3) | 1,407 (41.9) | 1,143 (41.0) | 60(55.0) | 59(54.6) | 68(35.6) | 48(36.9) |
| 肺炎以外の呼吸器感染症 | 200(5.5) | 170(5.6) | 156(4.6) | 126(4.5) | 39(35.8) | 39(36.1) | 5(2.6) | 5(3.8) |
| 消化器系感染 | 230(6.3) | 216(7.1) | 225(6.7) | 211(7.6) | 0(0.0) | 0(0.0) | 5(2.6) | 5(3.8) |
| 中枢神経系感染 | 23(0.6) | 20(0.7) | 21(0.6) | 18(0.6) | 2(1.8) | 2(1.9) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 皮膚・軟部組織感染 | 293(8.0) | 257(8.5) | 288(8.6) | 253(9.1) | 1(0.9) | 1(0.9) | 4(2.1) | 3(2.3) |
| 手術創感染 | 403(11.0) | 315(10.4) | 398(11.9) | 312(11.2) | 0(0.0) | 0(0.0) | 5(2.6) | 3(2.3) |
| 菌血症 | 434(11.9) | 366(12.1) | 379(11.3) | 334(12.0) | 6(5.5) | 6(5.6) | 49(25.7) | 26(20.0) |
| その他の感染症 | 312(8.5) | 247(8.2) | 299(8.9) | 237(8.5) | 1(0.9) | 1(0.9) | 12(6.3) | 9(6.9) |
| 感染件数計 | 3,657 (100.0) | 3,025 (100.0) | 3,357 (100.0) | 2,787 (100.0) | 109(100.0) | 108(100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

()内は百分率

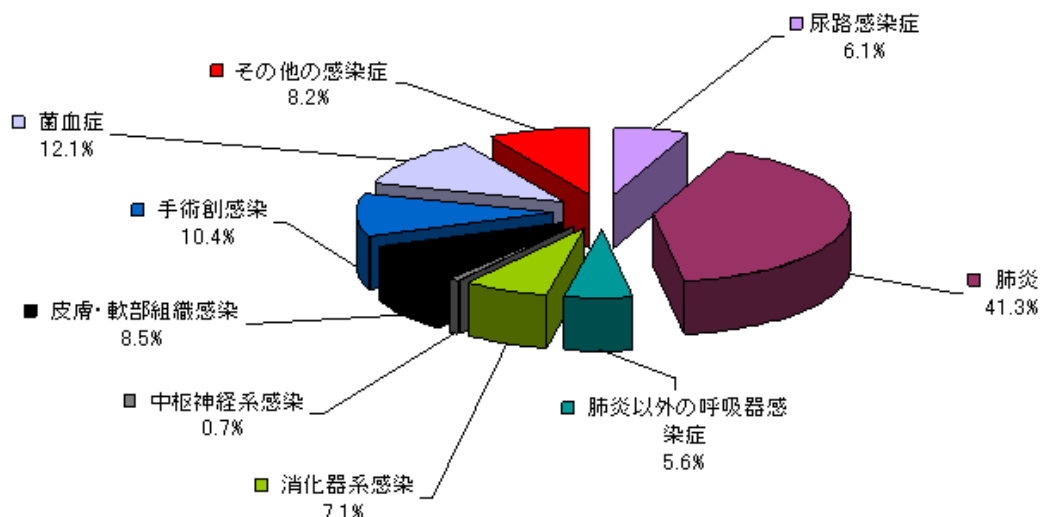
注:MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

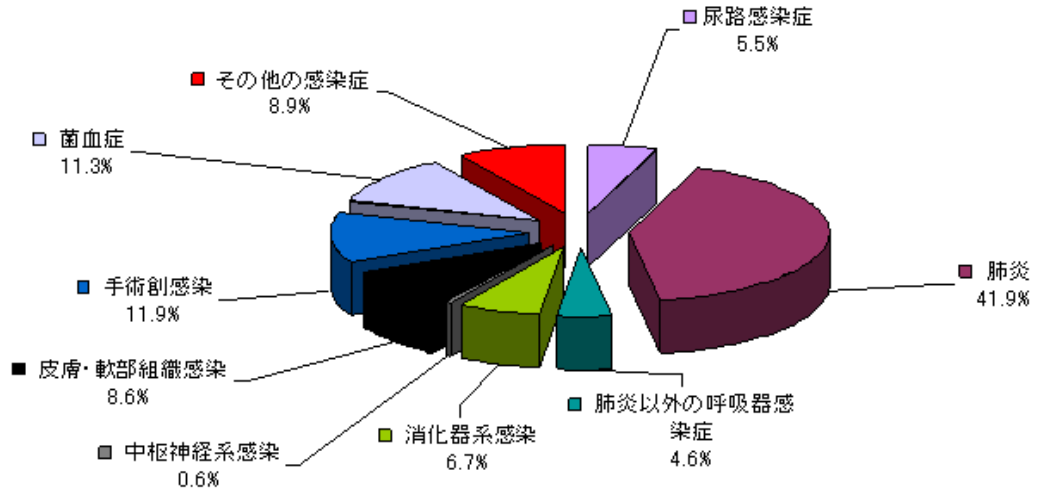
感染症患者数の感染症名別内訳



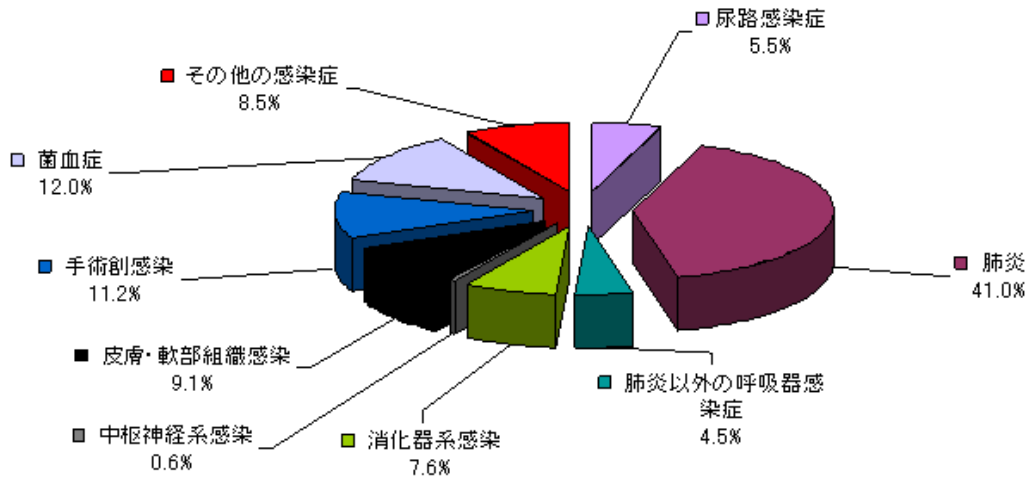
罹患患者数の感染症名別内訳



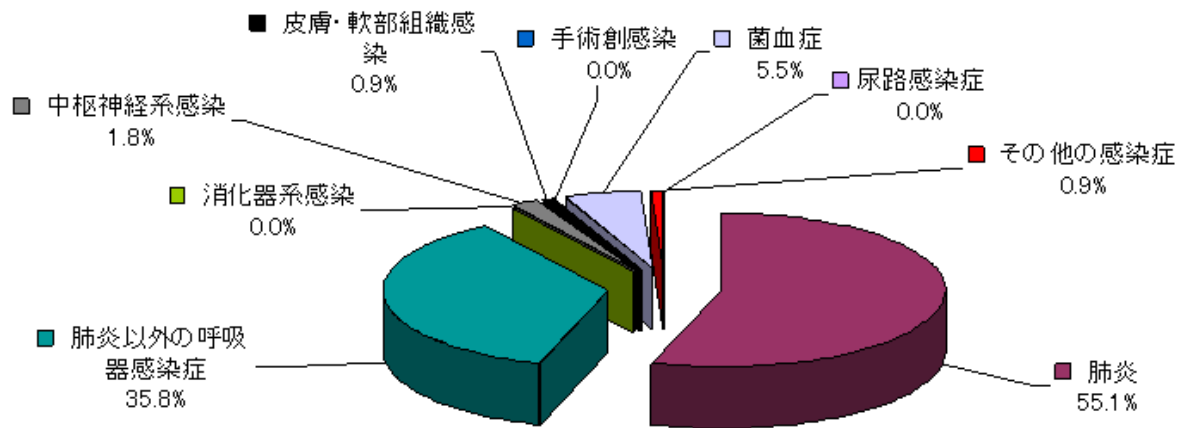
MRSA感染症患者数の感染症名別内訳



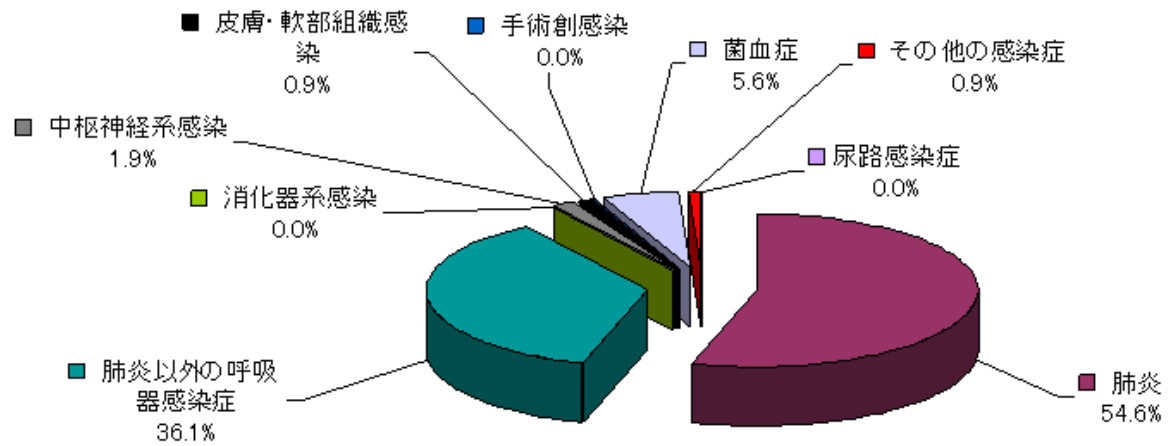
MRSA罹患患者数の感染症名別内訳



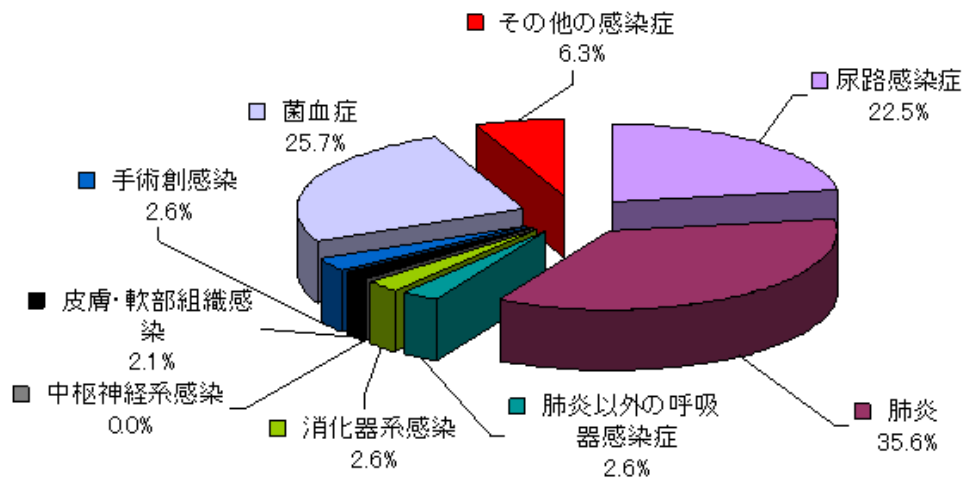
PRSP感染症患者数の感染症名別内訳



PRSP罹患患者数の感染症名別内訳



その他感染症患者数の感染症名別内訳



その他罹患患者数の感染症名別内訳

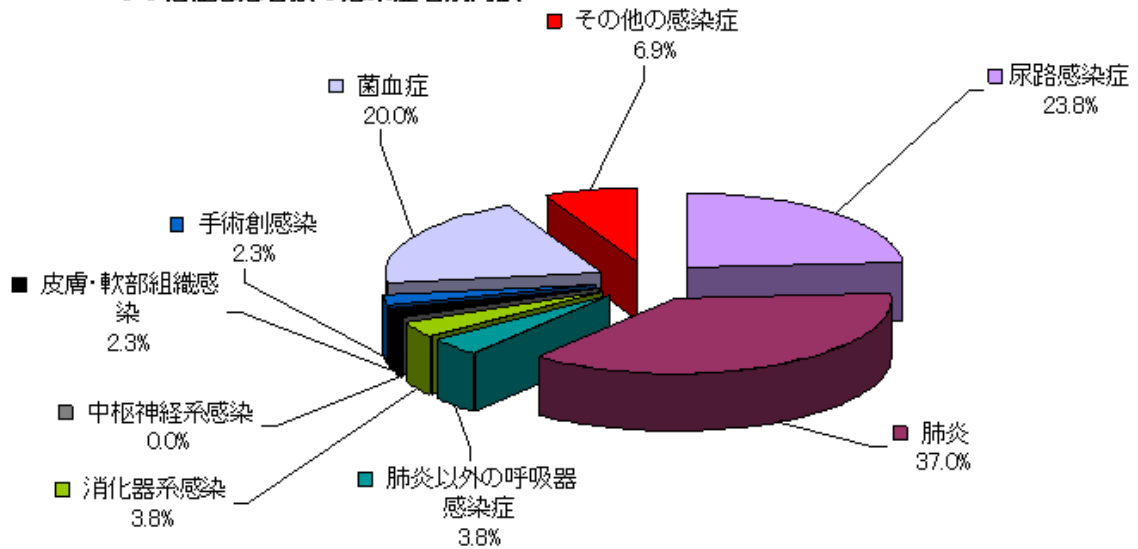


表7. 感染症及び罹患患者の基礎疾患名内訳

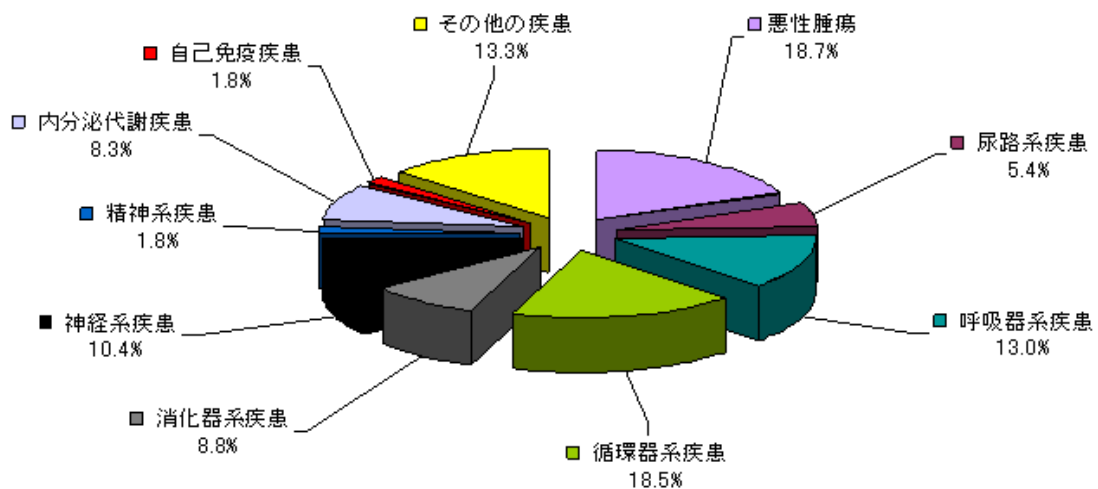
| | 感染患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染患者数 | その他の罹患患者数 |
|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 悪性腫瘍 | 843(18.7) | 730(19.6) | 783(18.9) | 684(19.8) | 7(8.1) | 7(8.1) | 53(19.9) | 39(22.8) |
| 尿路系疾患 | 245(5.4) | 205(5.5) | 221(5.3) | 188(5.4) | 1(1.2) | 1(1.2) | 23(8.6) | 16(9.4) |
| 呼吸器系疾患 | 583(13.0) | 479(12.9) | 496(12.0) | 410(11.8) | 49(57.0) | 49(57.0) | 38(14.2) | 20(11.7) |
| 循環器系疾患 | 833(18.5) | 671(18.1) | 794(19.1) | 641(18.5) | 8(9.3) | 8(9.3) | 31(11.6) | 22(12.9) |
| 消化器系疾患 | 394(8.8) | 321(8.6) | 358(8.6) | 301(8.7) | 2(2.3) | 2(2.3) | 34(12.7) | 18(10.5) |
| 神経系疾患 | 469(10.4) | 368(9.9) | 435(10.5) | 347(10.0) | 5(5.8) | 5(5.8) | 29(10.9) | 16(9.4) |
| 精神系疾患 | 80(1.8) | 67(1.8) | 76(1.8) | 64(1.8) | 1(1.2) | 1(1.2) | 3(1.1) | 2(1.2) |
| 内分泌代謝疾患 | 373(8.3) | 304(8.2) | 341(8.2) | 284(8.2) | 5(5.8) | 5(5.8) | 27(10.1) | 15(8.8) |
| 自己免疫疾患 | 80(1.8) | 72(1.9) | 74(1.8) | 67(1.9) | 2(2.3) | 2(2.3) | 4(1.5) | 3(1.8) |
| その他の疾患 | 600(13.3) | 500(13.5) | 569(13.7) | 474(13.7) | 6(7.0) | 6(7.0) | 25(9.4) | 20(11.7) |
| 基礎疾患件数計 | 4,500 (100.0) | 3,717 (100.0) | 4,147 (100.0) | 3,460 (100.0) | 86(100.0) | 86(100.0) | 267(100.0) | 171(100.0) |

()内は百分率

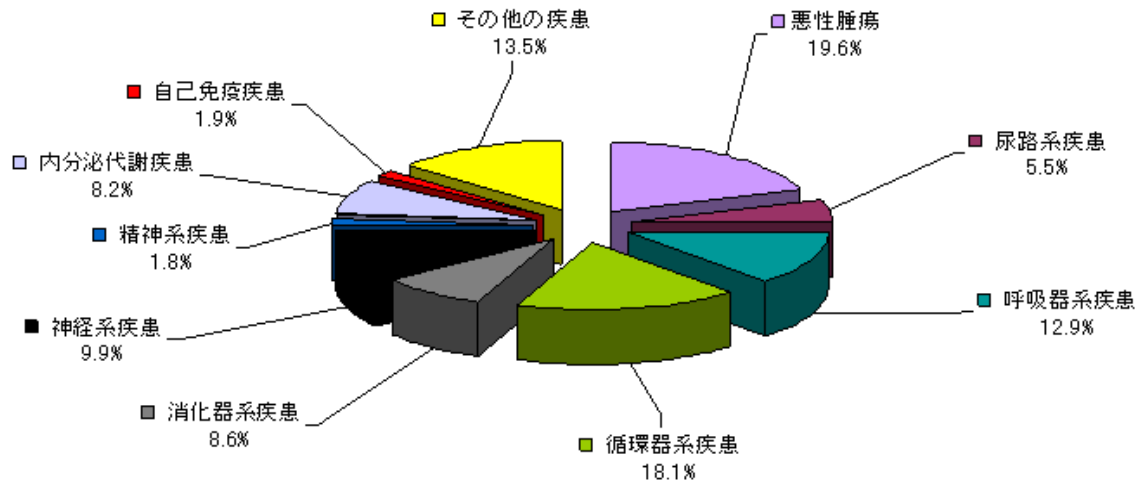
注:MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

感染症患者数の基礎疾患名別内訳

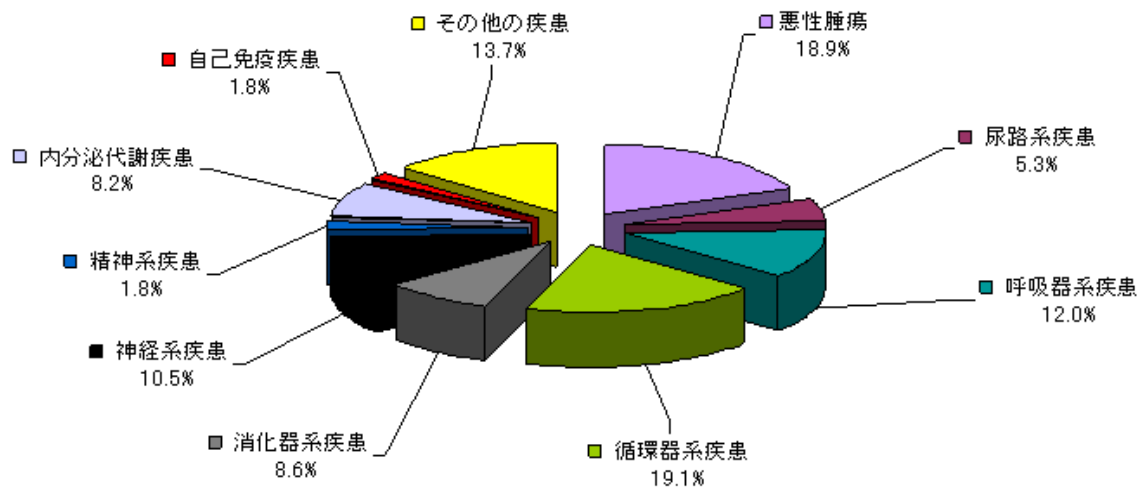


罹患者数の基礎疾患名別内訳

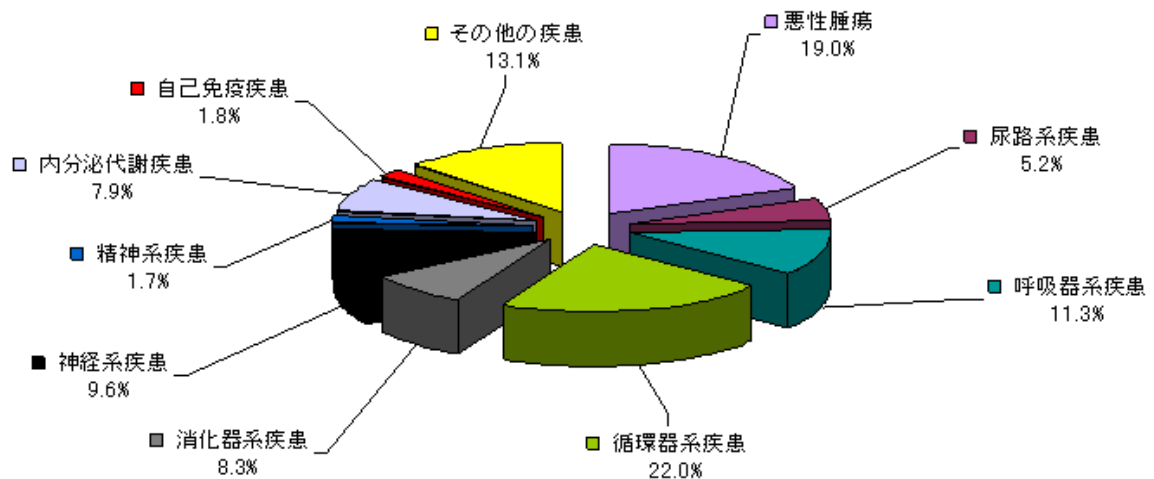


MRSA

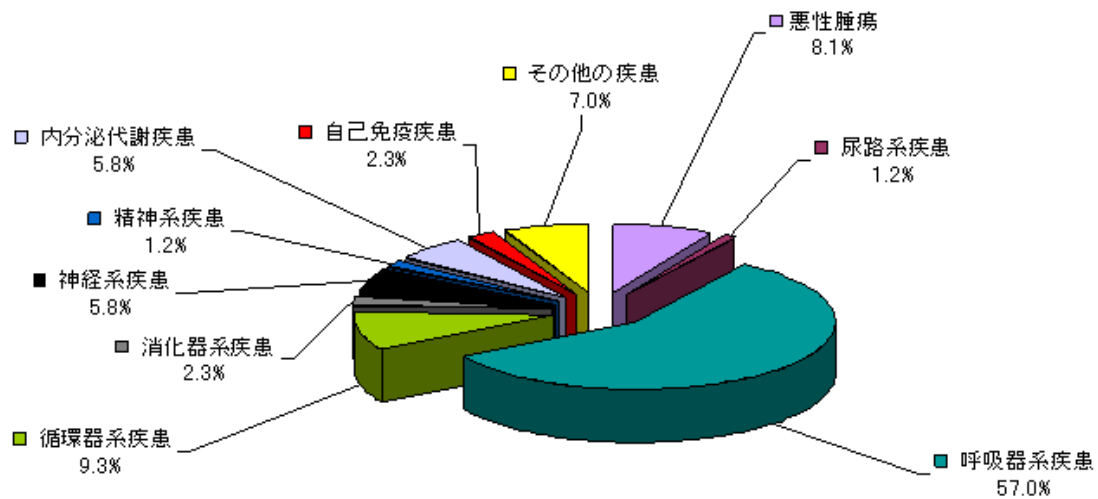
MRSA感染症患者数の基礎疾患名別内訳



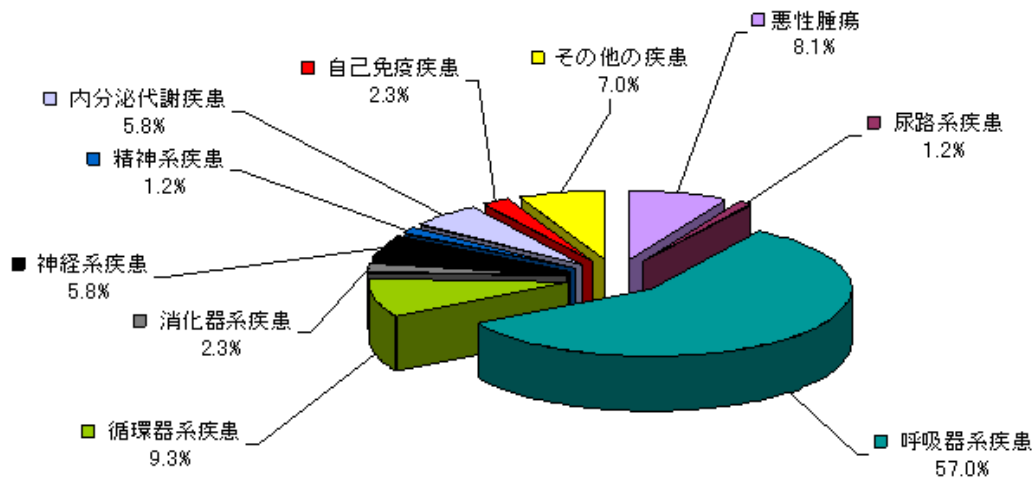
MRSA罹患者数の基礎疾患名別内訳



PRSP感染症患者数の基礎疾患名別内訳

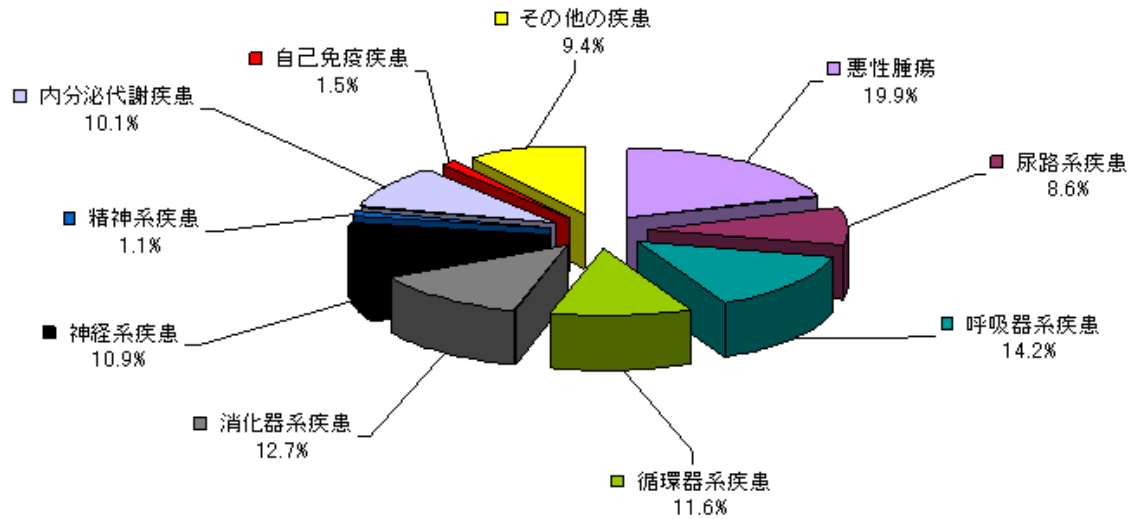


PRSP罹患患者数の基礎疾患名別内訳



その他

その他感染症患者数の基礎疾患名別内訳



その他罹患患者数の基礎疾患名別内訳

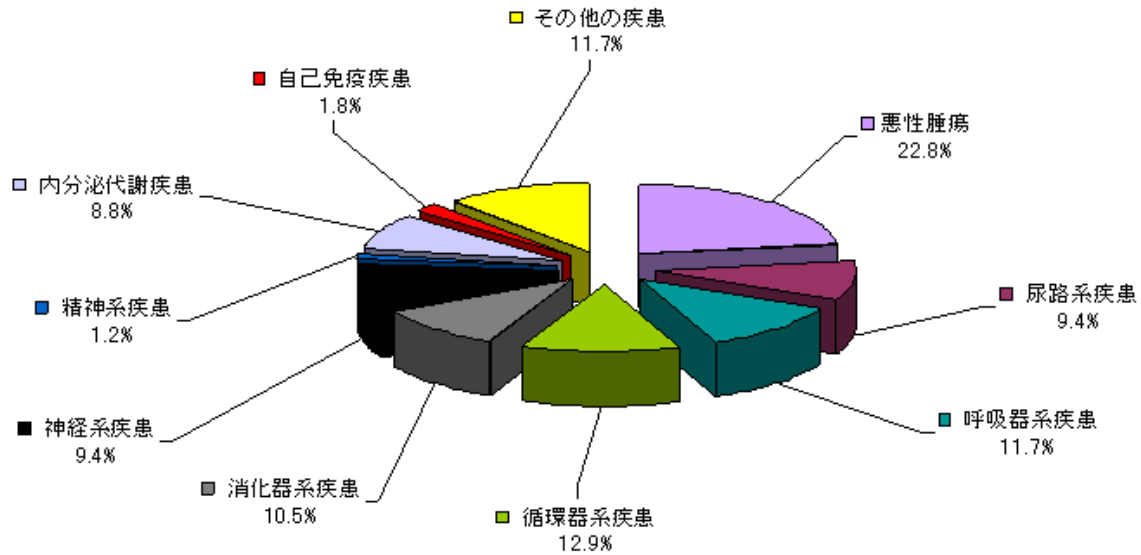
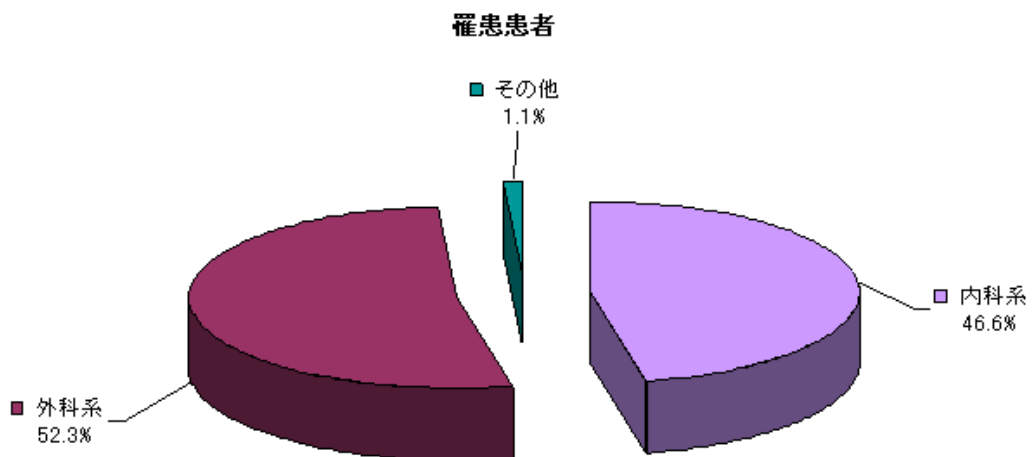
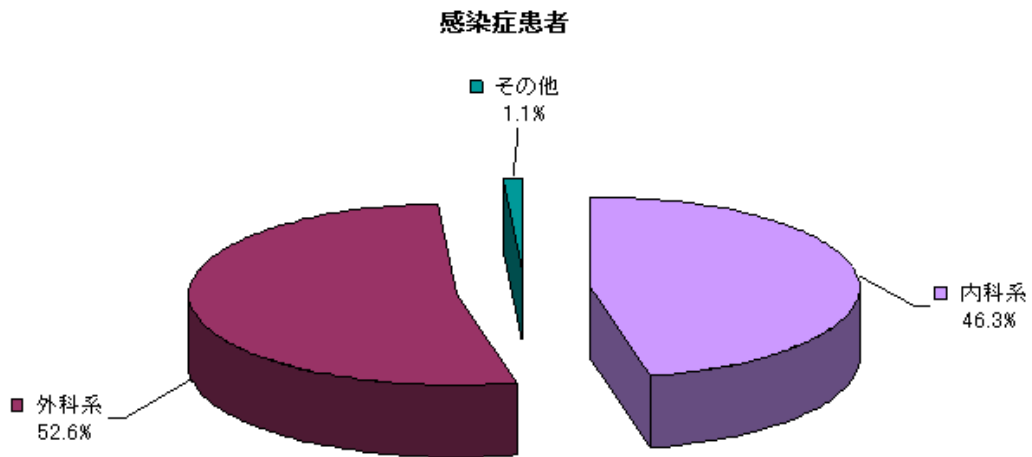


表 8 . 感染症及び罹患患者の診療科内訳

| | 感染患者 | 罹患患者 | MRSA感染患者 | MRSA罹患患者 | PRSP感染患者 | PRSP罹患患者 | その他の感染患者 | その他の罹患患者 |
|-----|-------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 内科系 | 1,692 | 1,410 | 1,490 | 1,243 | 95 | 94 | 107 | 73 |
| 外科系 | 1,926 | 1,583 | 1,828 | 1,512 | 14 | 14 | 84 | 57 |
| その他 | 39 | 32 | 39 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 3,657 | 3,025 | 3,357 | 2,787 | 109 | 108 | 191 | 130 |

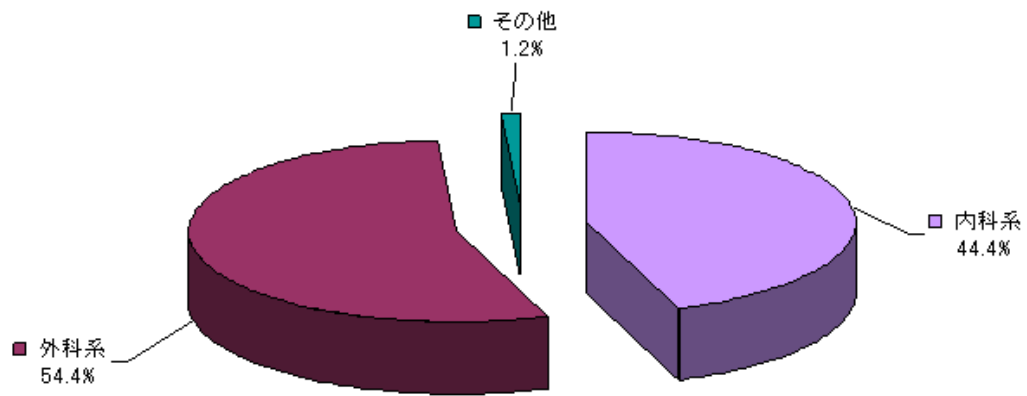
注:MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ βラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

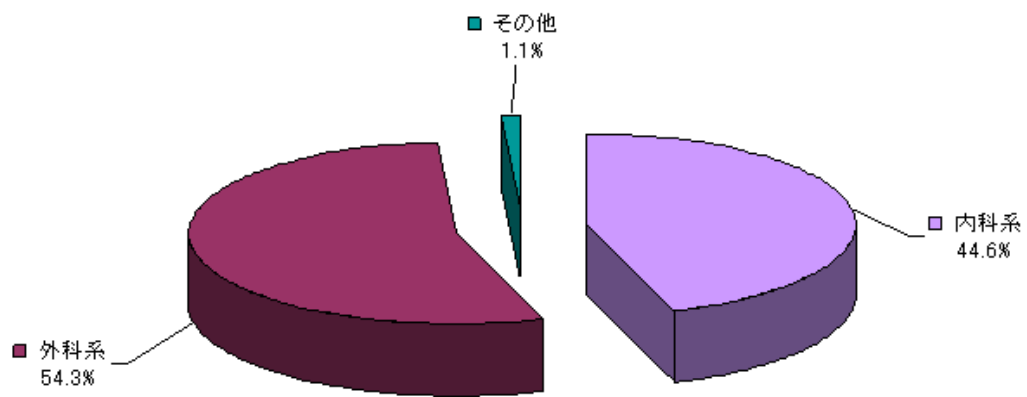


MRSA

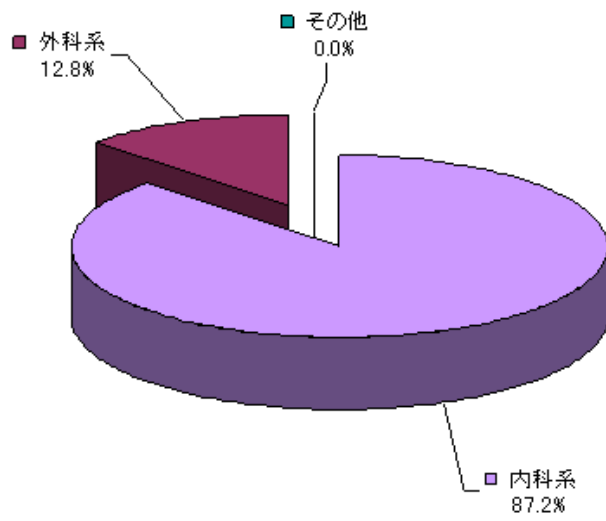
MRSA感染症患者



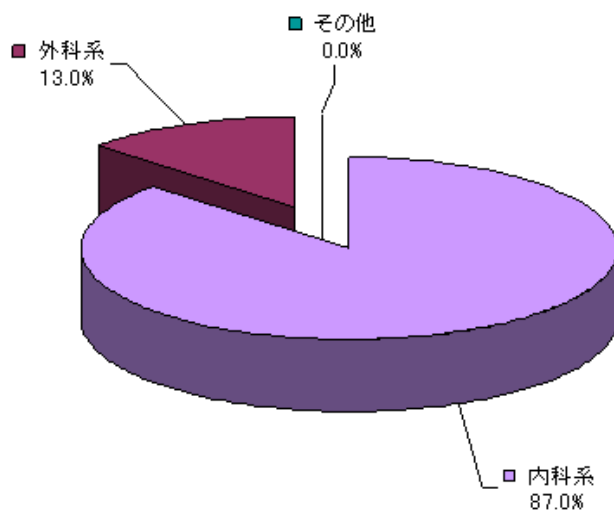
MRSA罹患患者



PRSP感染症患者

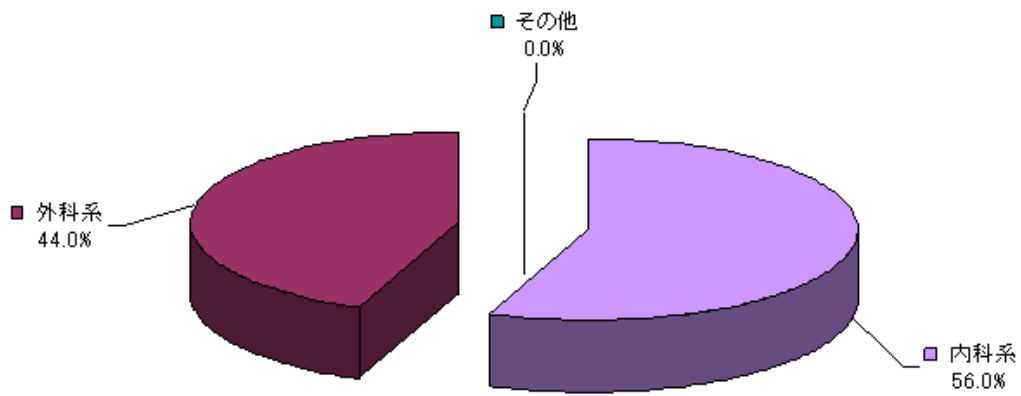


PRSP罹患患者



その他

その他感染症患者



その他罹患患者

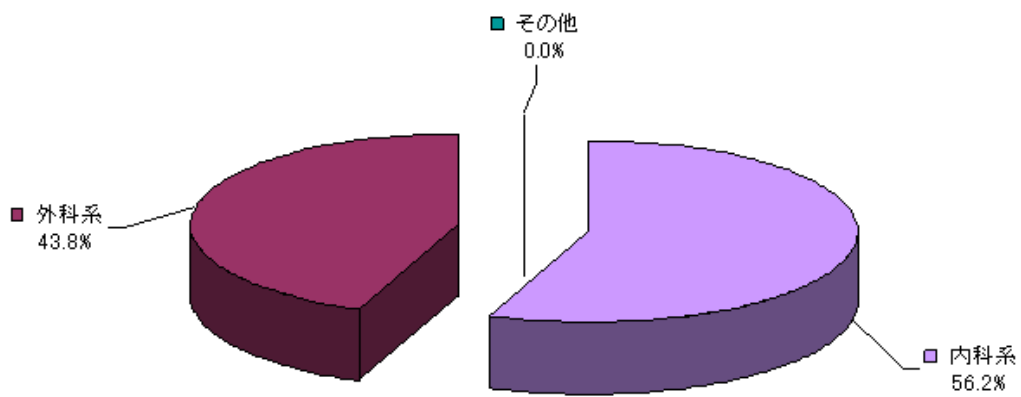


表9 . 感染症及び罹患患者の体温分布

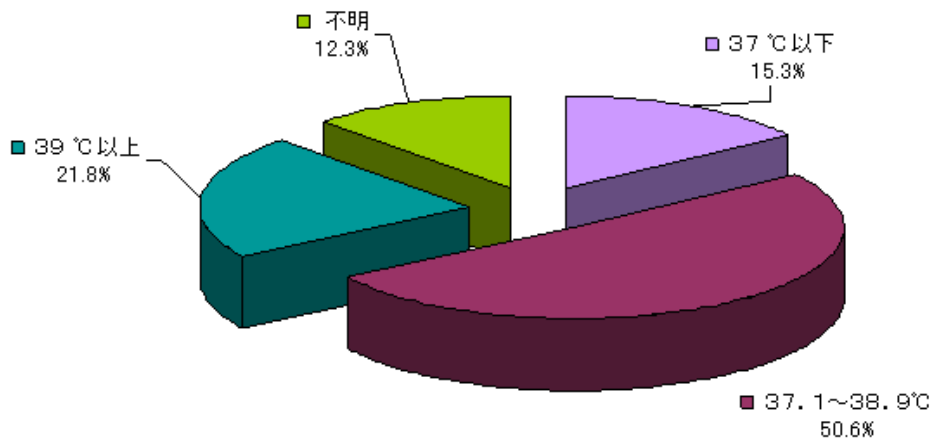
| | 感染症患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染症患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染症患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染症患者数 | その他の罹患患者数 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|------------|
| 37 以下 | 561(15.3) | 418(13.8) | 526(15.7) | 387(13.9) | 12(11.0) | 12(11.1) | 23(12.0) | 19(14.6) |
| 37.1 ~ 38.9 | 1,850(50.6) | 1,535(50.7) | 1,721(51.3) | 1,421(51.0) | 55(50.5) | 54(50.0) | 74(38.7) | 60(46.2) |
| 39 以上 | 798(21.8) | 670(22.1) | 693(20.6) | 605(21.7) | 31(28.4) | 31(28.7) | 74(38.7) | 34(26.2) |
| 不明 | 448(12.3) | 402(13.3) | 417(12.4) | 374(13.4) | 11(10.1) | 11(10.2) | 20(10.5) | 17(13.1) |
| 計 | 3,657(100.0) | 3,025(100.0) | 3,357(100.0) | 2,787(100.0) | 109(100.0) | 108(100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

()内は百分率

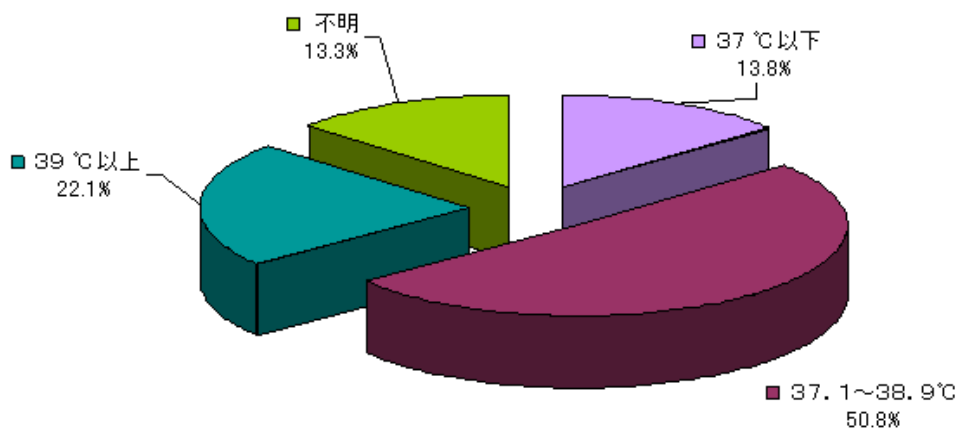
注: MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

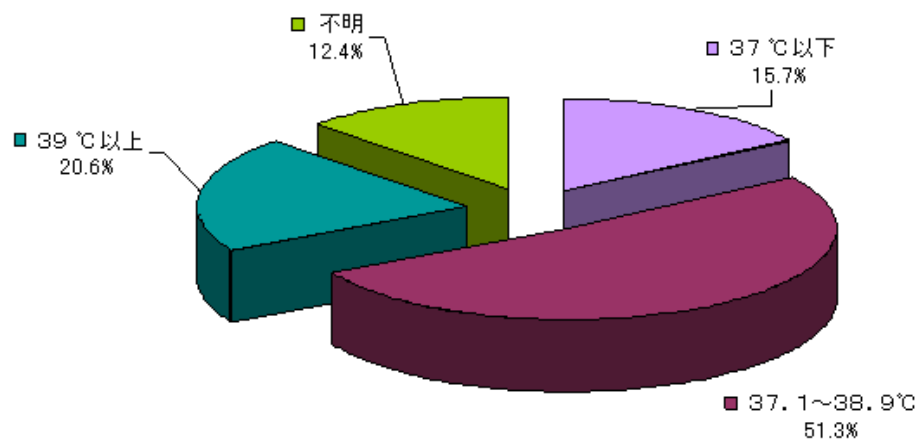
感染症患者数の体温分布



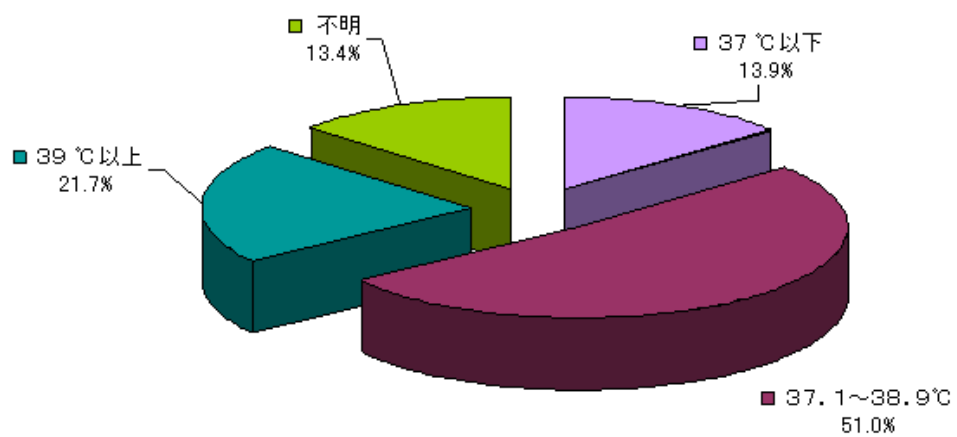
罹患患者数の体温分布



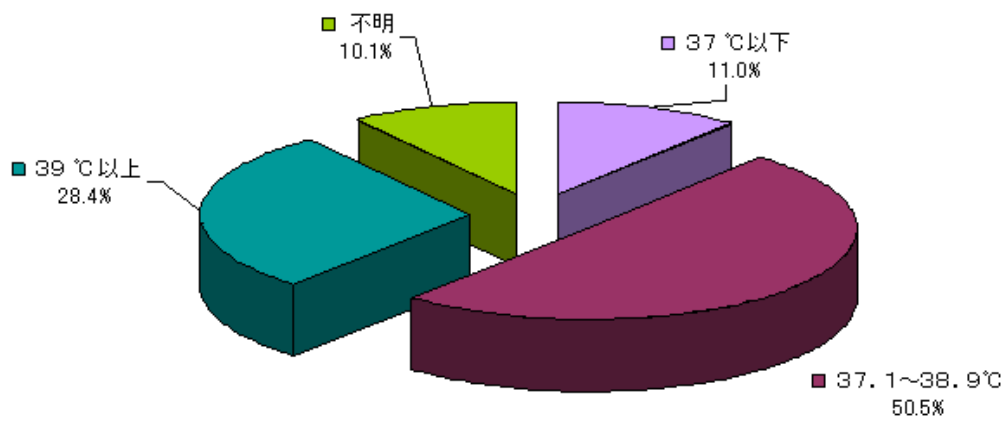
MRSA感染症患者数の体温分布



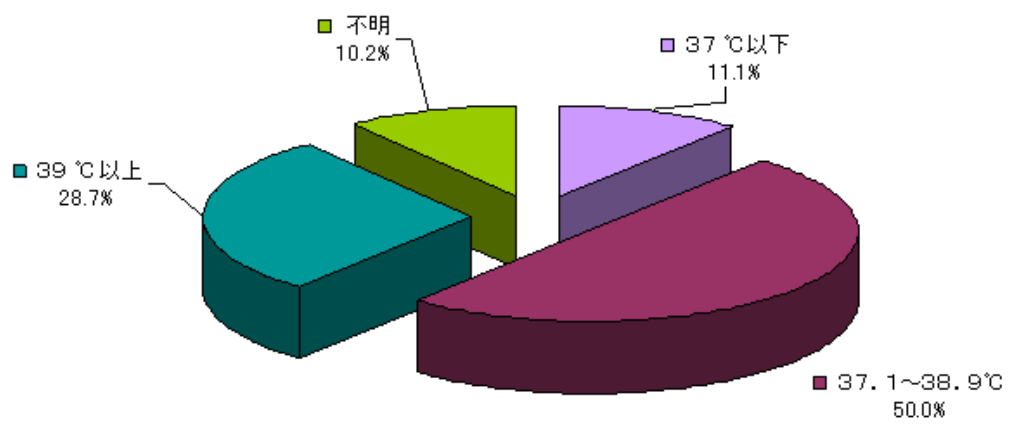
MRSA罹患患者数の体温分布



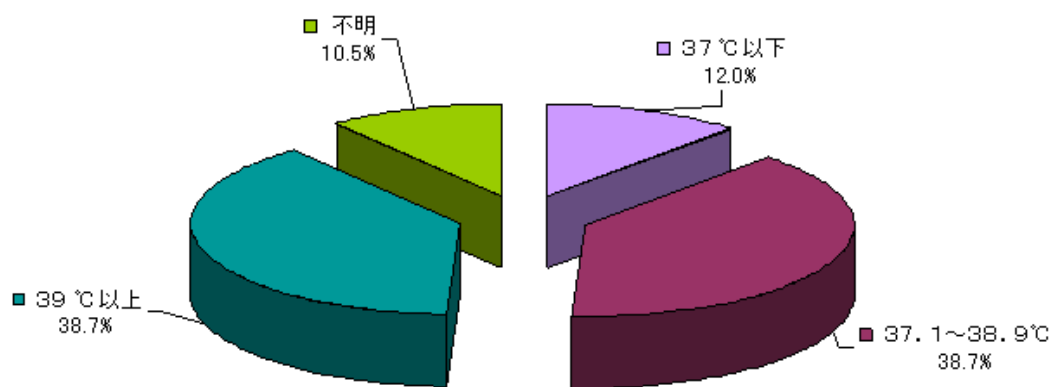
PRSP感染症患者数の体温分布



PRSP罹患患者数の体温分布



その他感染症患者数の体温分布



その他罹患患者数の体温分布

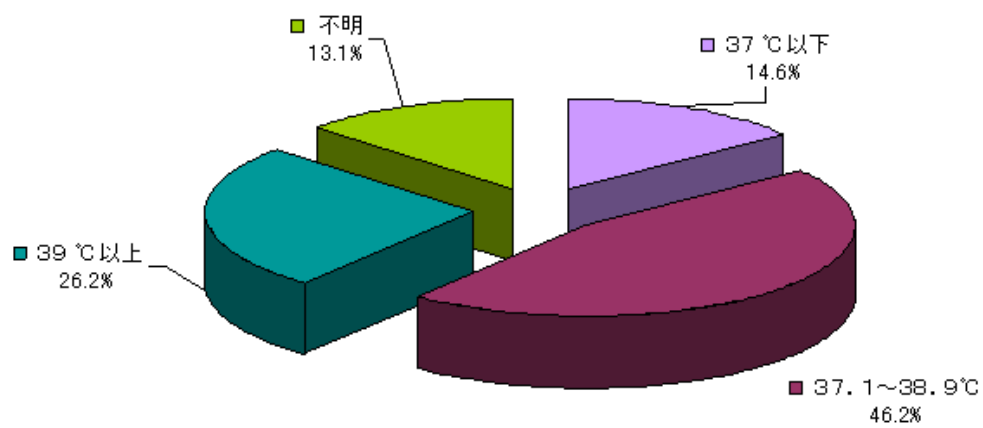


表10．感染症及び罹患患者の白血球数分布

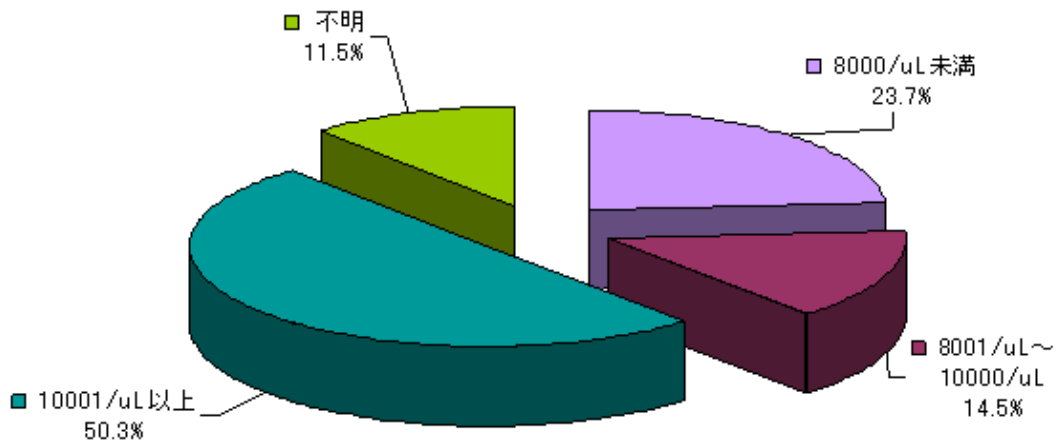
| 白血球数 | 感染患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染患者数 | その他の罹患患者数 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|------------|------------|
| 8000/μL未満 | 868 (23.7) | 663 (21.9) | 809 (24.1) | 615 (22.1) | 17(15.6) | 16(14.8) | 42(22.0) | 32(24.6) |
| 8001/μL～10000/μL | 532 (14.5) | 439 (14.5) | 487 (14.5) | 399 (14.3) | 19(17.4) | 19(17.6) | 26(13.6) | 21(16.2) |
| 10001/μL以上 | 1,837 (50.2) | 1,576 (52.1) | 1,690 (50.3) | 1,452 (52.1) | 64(58.7) | 64(59.3) | 83(43.5) | 60(46.2) |
| 不明 | 420 (11.5) | 347 (11.5) | 371 (11.1) | 321 (11.5) | 9(8.3) | 9(8.3) | 40(20.9) | 17(13.1) |
| 計 | 3,657 (100.0) | 3,025 (100.0) | 3,357 (100.0) | 2,787 (100.0) | 109 (100.0) | 108 (100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

()内は百分率

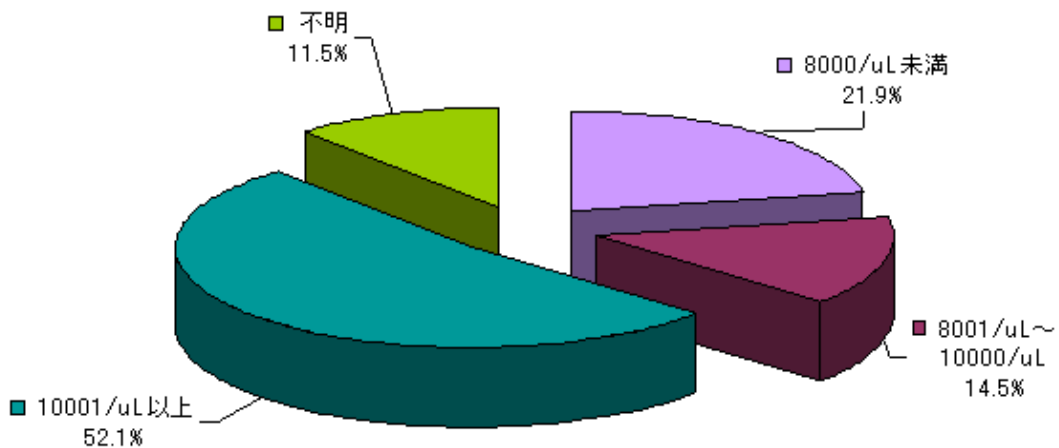
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

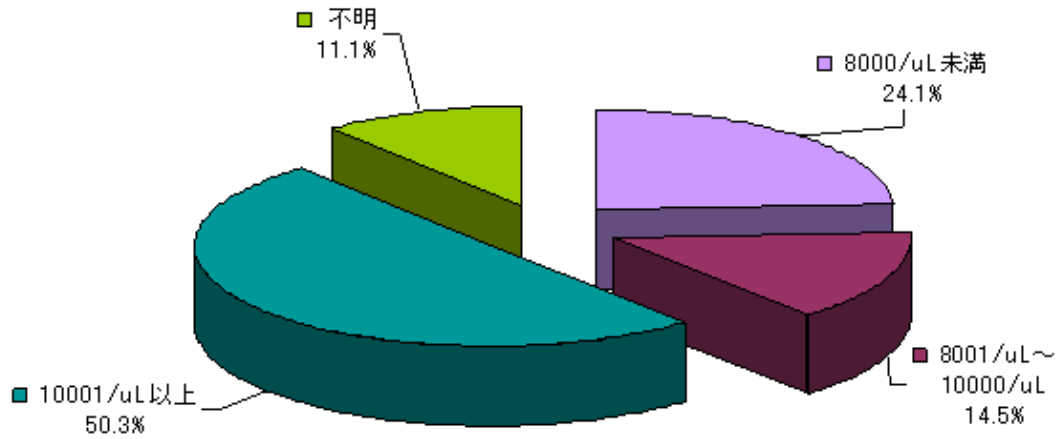
感染症患者数の白血球数分布



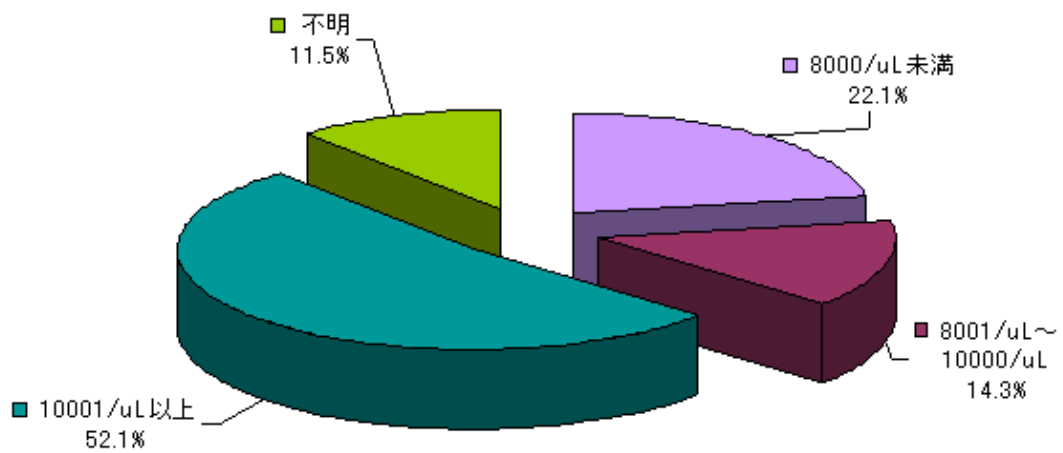
罹患患者数の白血球数分布



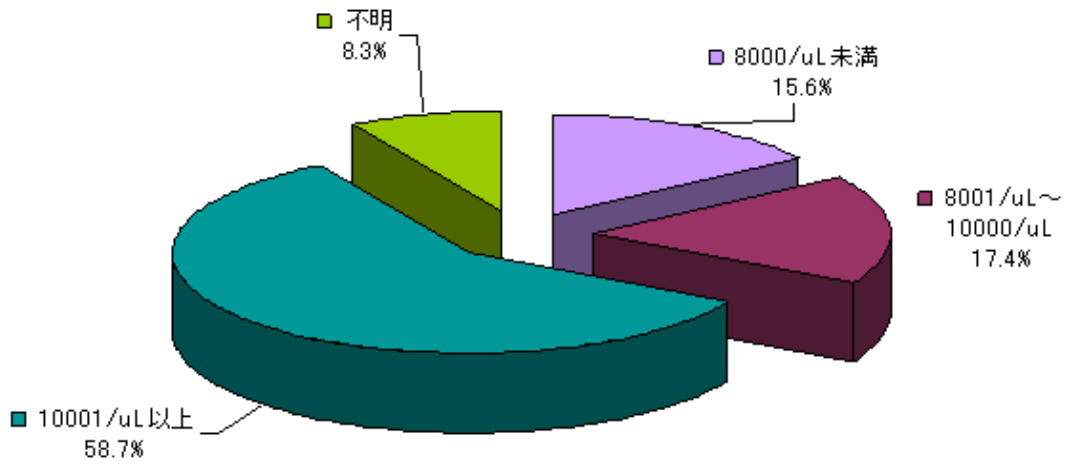
MRSA感染症患者数の白血球数分布



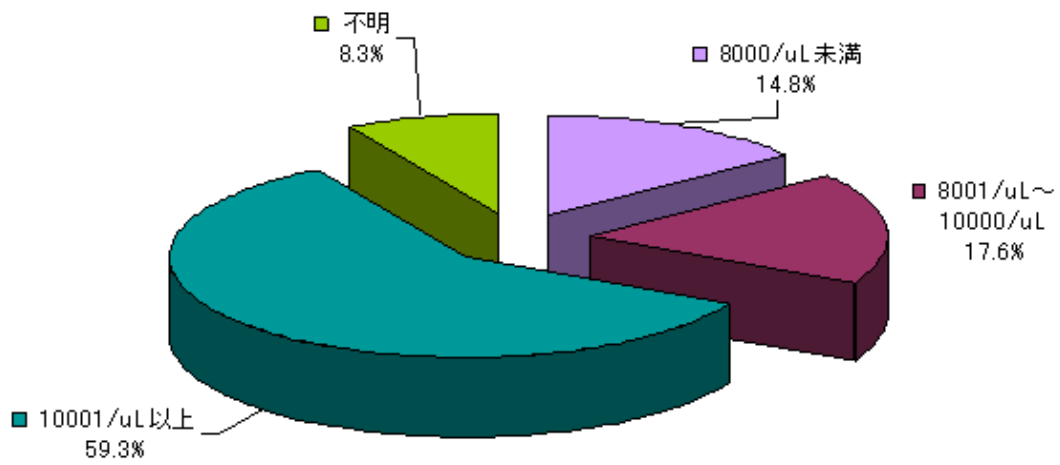
MRSA罹患患者数の白血球数分布



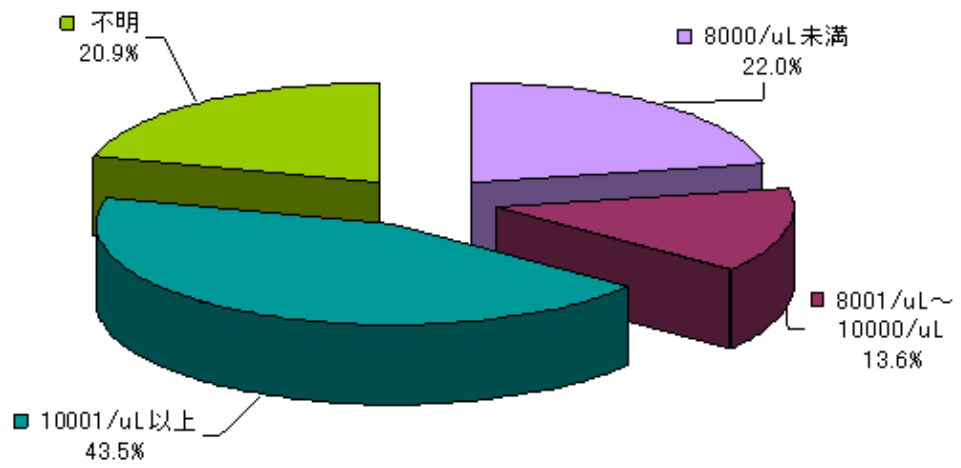
PRSP感染症患者数の白血球数分布



PRSP罹患患者数の白血球数分布



その他感染症患者数の白血球数分布



その他罹患患者数の白血球数分布

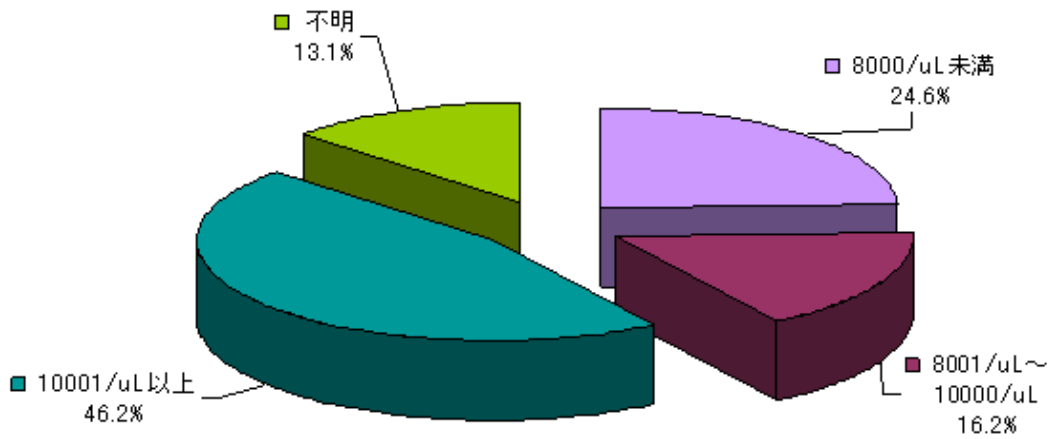


表 107/ 感染症及び罹患患者のCRP値分布

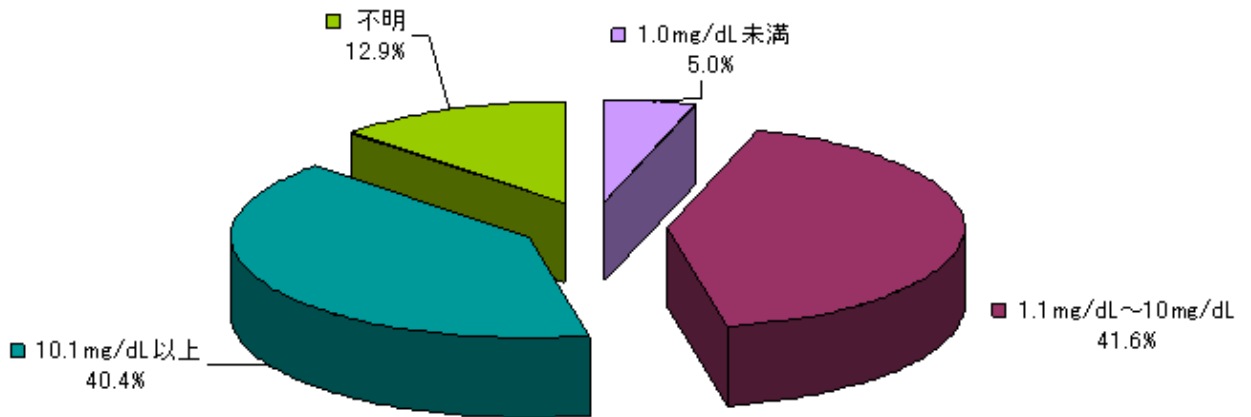
| CRP値 | 感染患者数 | 罹患患者数 | MRSA感染患者数 | MRSA罹患患者数 | PRSP感染患者数 | PRSP罹患患者数 | その他の感染患者数 | その他の罹患患者数 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|------------|
| 1.0mg/dL未満 | 184(5.0) | 141(4.7) | 164(4.9) | 121(4.3) | 15(13.8) | 15(13.9) | 5(2.6) | 5(3.8) |
| 1.1mg/dL～10mg/dL | 1,523(41.6) | 1,213(40.1) | 1,412(42.1) | 1,123(40.3) | 45(41.3) | 44(40.7) | 66(34.6) | 46(35.4) |
| 10.1mg/dL以上 | 1,479(40.4) | 1,281(42.3) | 1,364(40.6) | 1,184(42.5) | 40(36.7) | 40(37.0) | 75(39.3) | 57(43.8) |
| 不明 | 471(12.9) | 390(12.9) | 417(12.4) | 359(12.9) | 9(8.3) | 9(8.3) | 45(23.6) | 22(16.9) |
| 計 | 3,657(100.0) | 3,025(100.0) | 3,357(100.0) | 2,787(100.0) | 109(100.0) | 108(100.0) | 191(100.0) | 130(100.0) |

()内は百分率

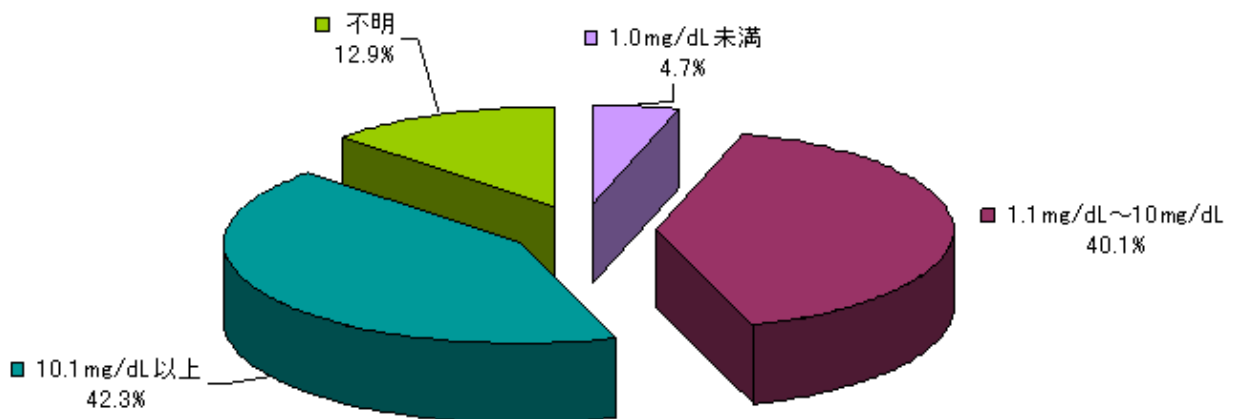
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

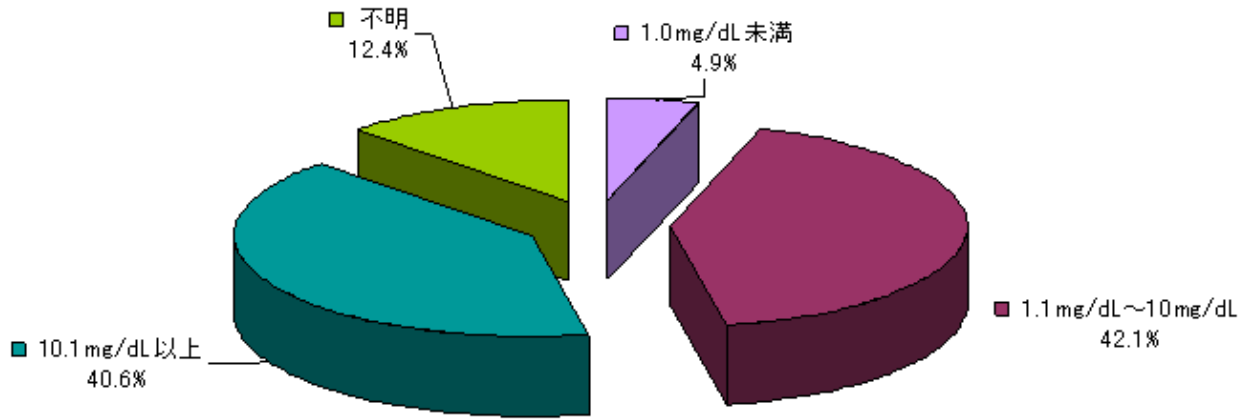
感染症患者数のCRP値分布



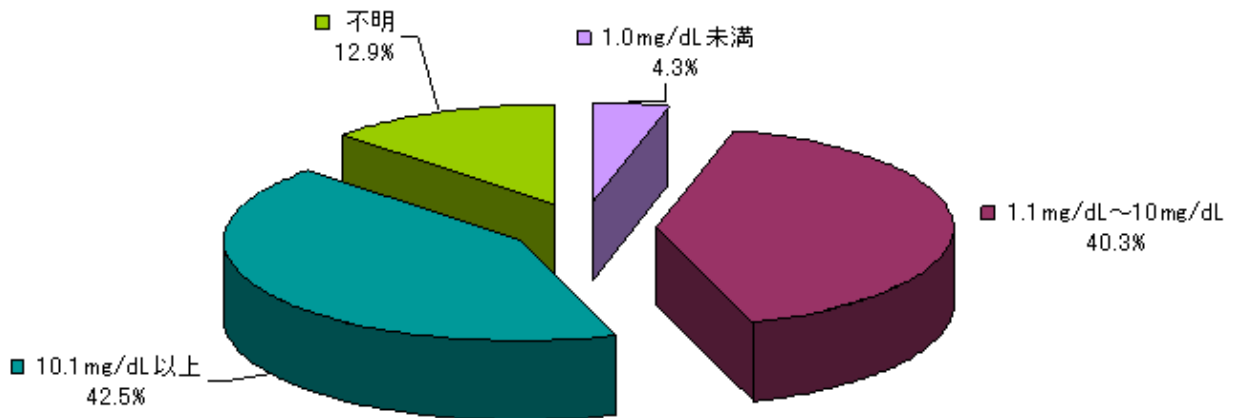
罹患患者数のCRP値分布



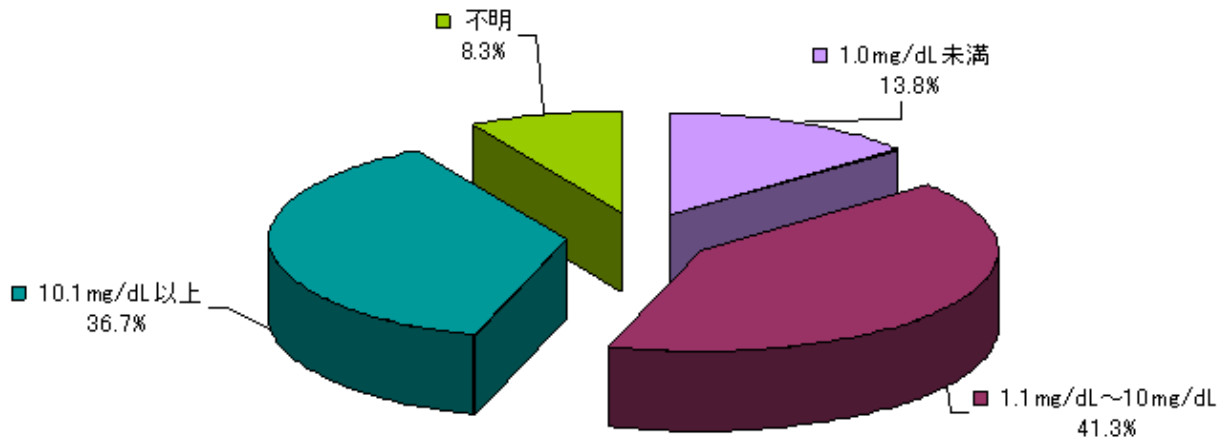
MRSA感染症患者数のCRP値分布



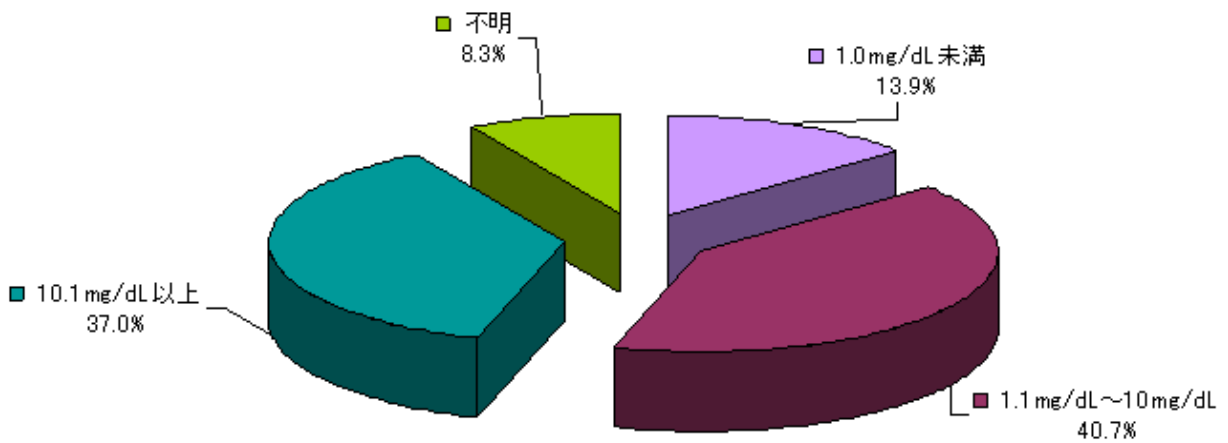
MRSA罹患患者数のCRP値分布



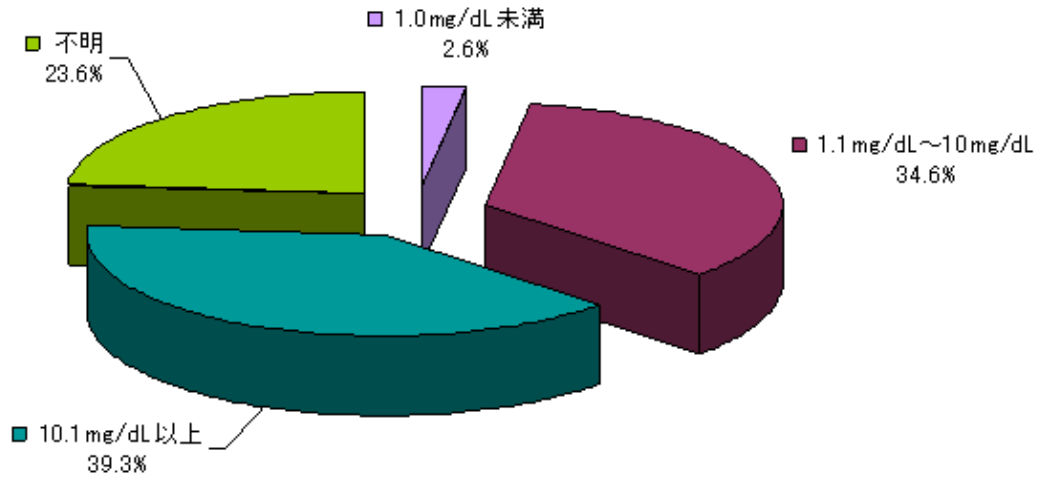
PRSP感染症患者数のCRP値分布



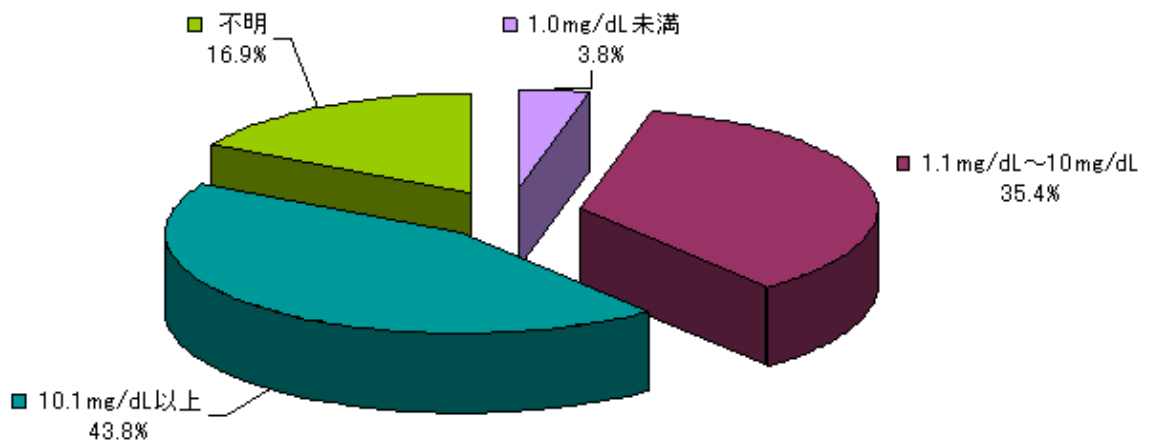
PRSP罹患患者数のCRP値分布



その他感染症患者数のCRP値分布



その他罹患患者数のCRP値分布



集計表

表1:感染患者数/入院数(率)

表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

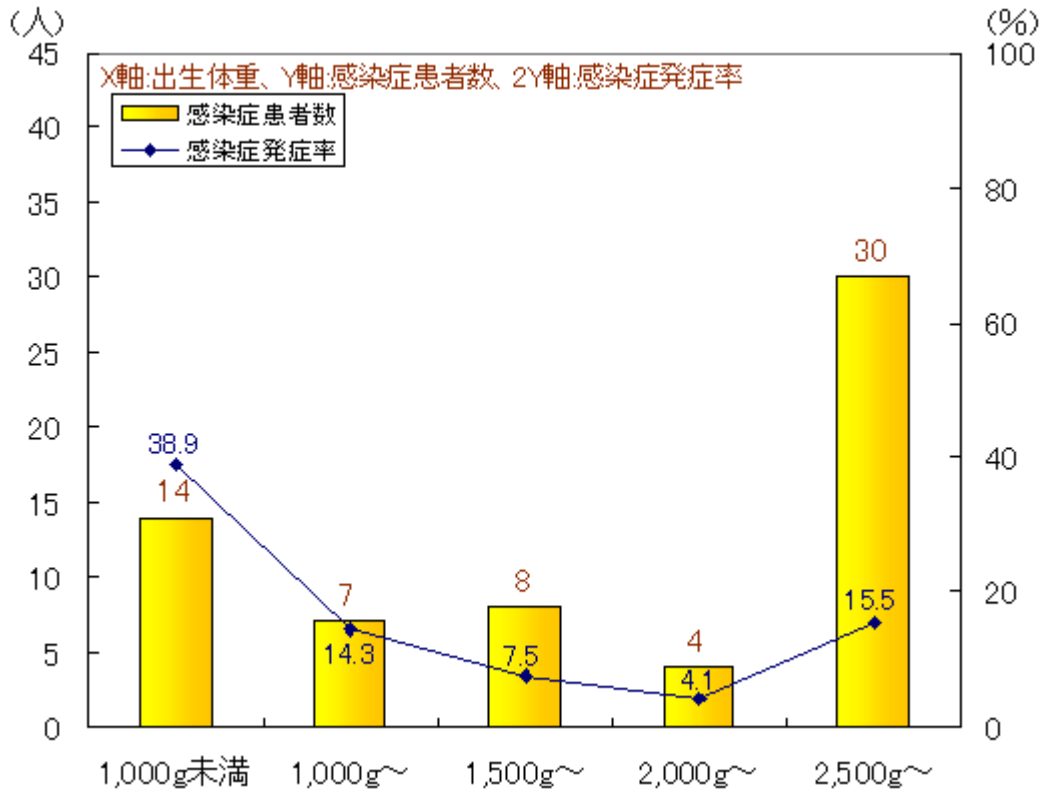
表3:起炎菌別感染症数

表4:耐性・感性別出生体重別感染数

| | |
|-------|-----|
| 参加施設数 | 5 |
| 対象患者数 | 485 |

next 

表1:感染患者数/入院数(率)

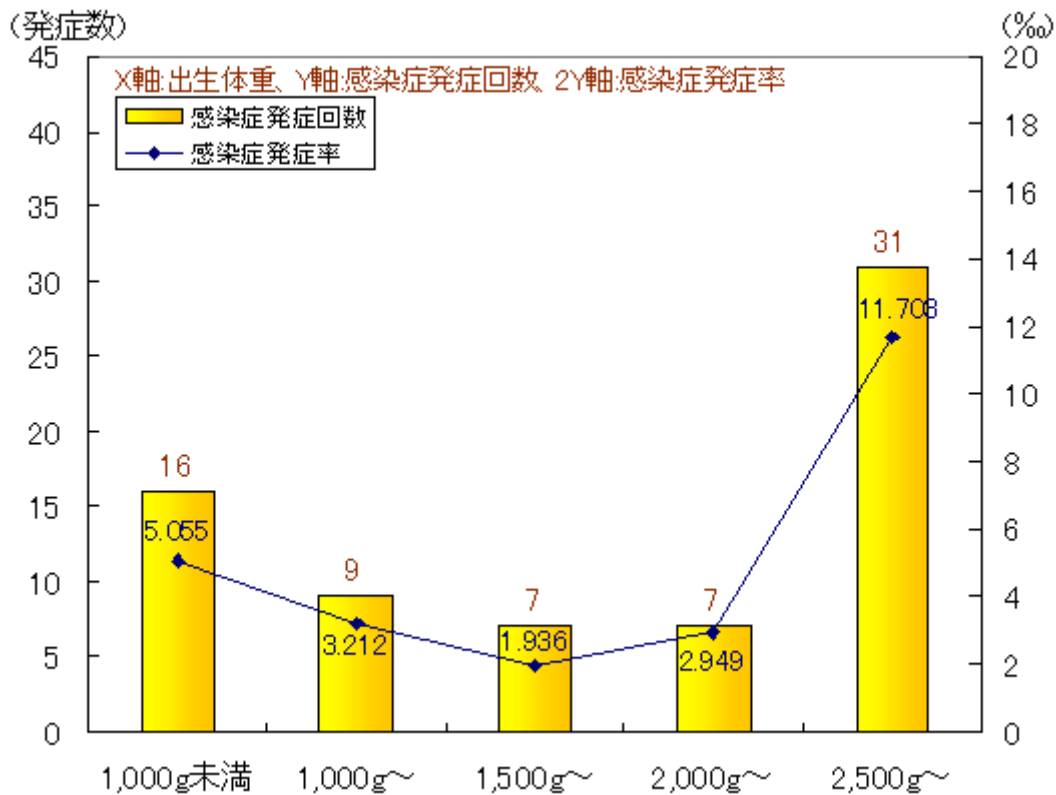
[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 入院数 | 36 | 49 | 106 | 97 | 194 | 482 |
| 感染症患者数 | 14 | 7 | 8 | 4 | 30 | 63 |
| 感染症発症率 | 38.9% | 14.3% | 7.5% | 4.1% | 15.5% | 13.1% |

| 項目 | 内容 |
|--------|----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 入院数 | NICUに入院した患者数。 |
| 感染症患者数 | 感染症と判断された患者数。 |
| 感染症発症率 | 感染症患者数 ÷ 入院数 × 100(%) |

[←back](#)[next→](#)

表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

PD: 入院日数合計

| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|---------|----------|---------|---------|---------|---------|--------|
| PD | 3165 | 2802 | 3616 | 2374 | 2649 | 14606 |
| 感染症発症回数 | 16 | 9 | 7 | 7 | 31 | 70 |
| 感染症発症率 | 5.055‰ | 3.212‰ | 1.936‰ | 2.949‰ | 11.703‰ | 4.793‰ |

| 項目 | 内容 |
|---------|--------------------------------|
| 対象 | NICUに入院し、退院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| PD | 入院日、退院日をそれぞれ1日としたのべ入院日数。 |
| 感染症発症回数 | 感染症と判断された症例数。 |
| 感染症発症率 | 感染症発症回数 ÷ PD × 1,000 |

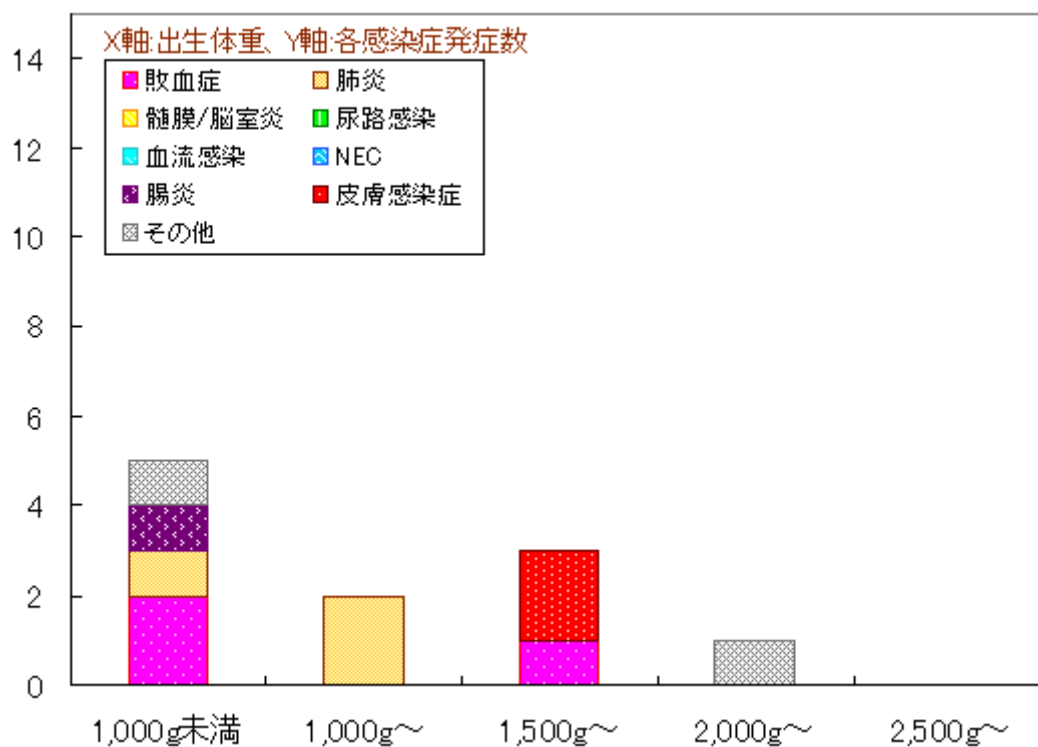
[←back](#)[next→](#)

表3:起炎菌別感染症数

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

MRSA

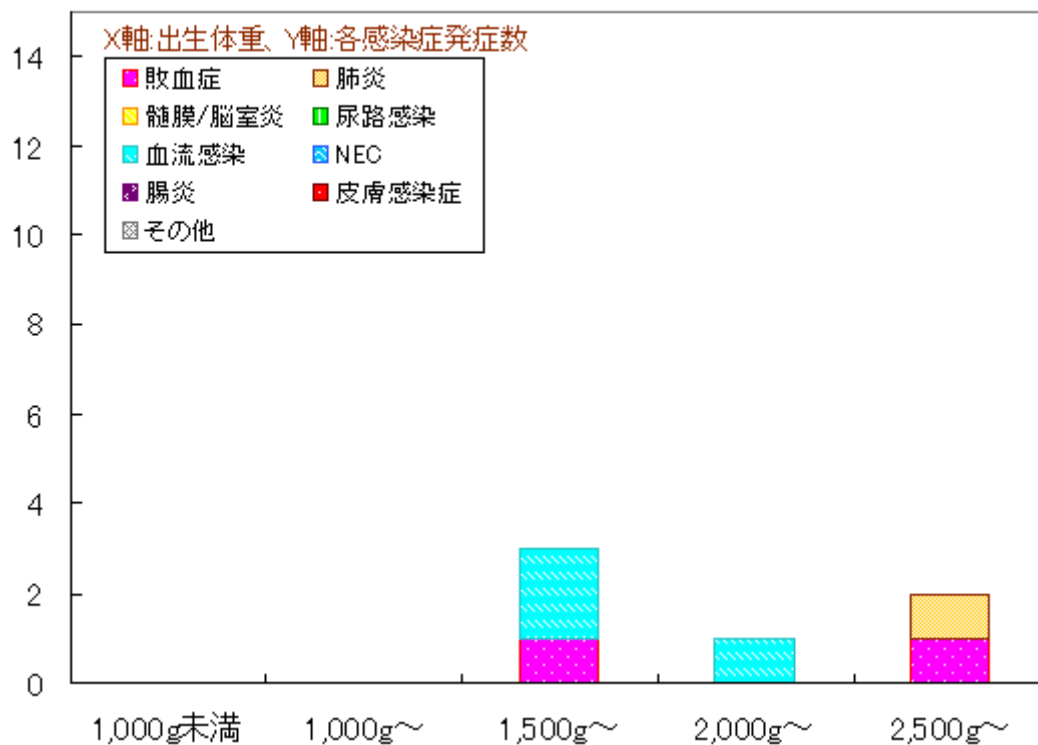
(発症数)



| MRSA | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 肺炎 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 合計 | 5 | 2 | 3 | 1 | 0 | 11 |

CNS

(発症数)



| CNS | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 6 |

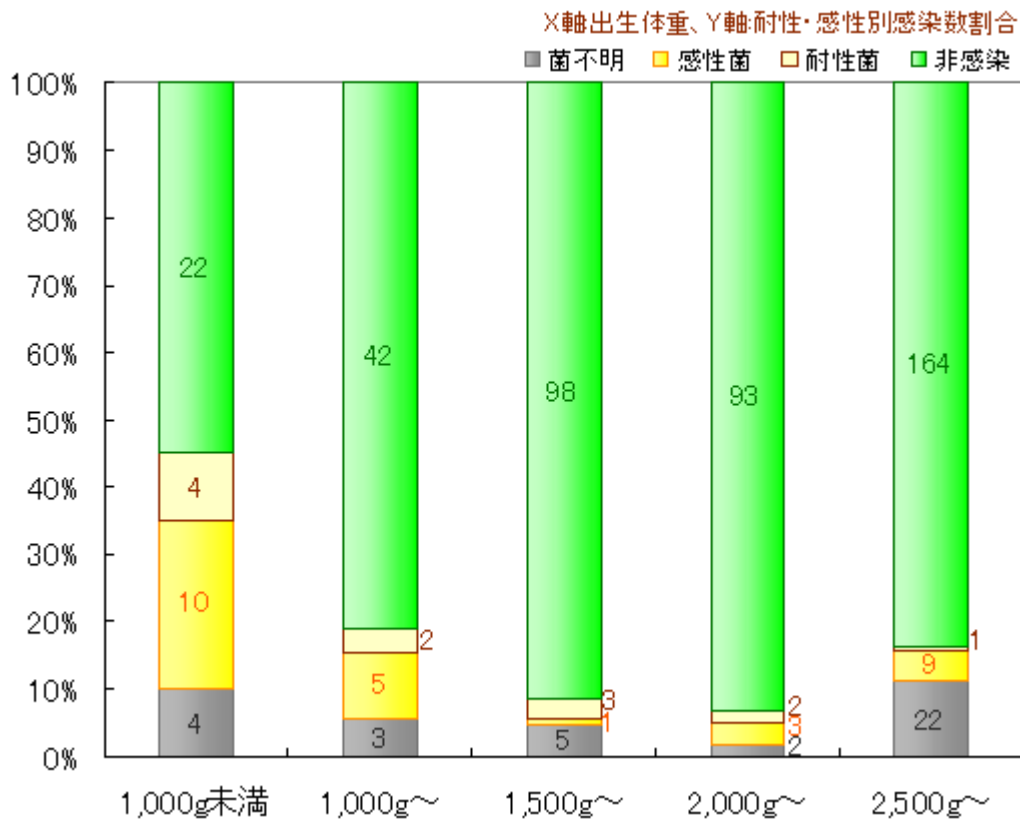
| 項目 | 内容 |
|-----|-----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 各症状 | 各症状が診断され、起炎菌が対象の菌と判断された症例数。 |

[感染症診断基準](#)

[back](#)

[next](#)

表4:菌耐性・感性別出生体重別感染数

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 非感染 | 22 | 42 | 98 | 93 | 164 | 419 |
| 耐性菌 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 12 |
| 感性菌 | 10 | 5 | 1 | 3 | 9 | 28 |
| 菌不明 | 4 | 3 | 5 | 2 | 22 | 36 |

| 項目 | 内容 |
|-----|--|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 耐性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が耐性菌と判断された症例数。 |
| 感性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が感性菌と判断された症例数。 |
| 菌不明 | 感染症と診断され、起炎菌が明らかにできない症例数。 菌が同定できないものは菌不明とする |

[薬剤耐性菌判定基準](#)[←back](#)[next→](#)

集計表

表1:感染患者数/入院数(率)

表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

表3:起炎菌別感染症数

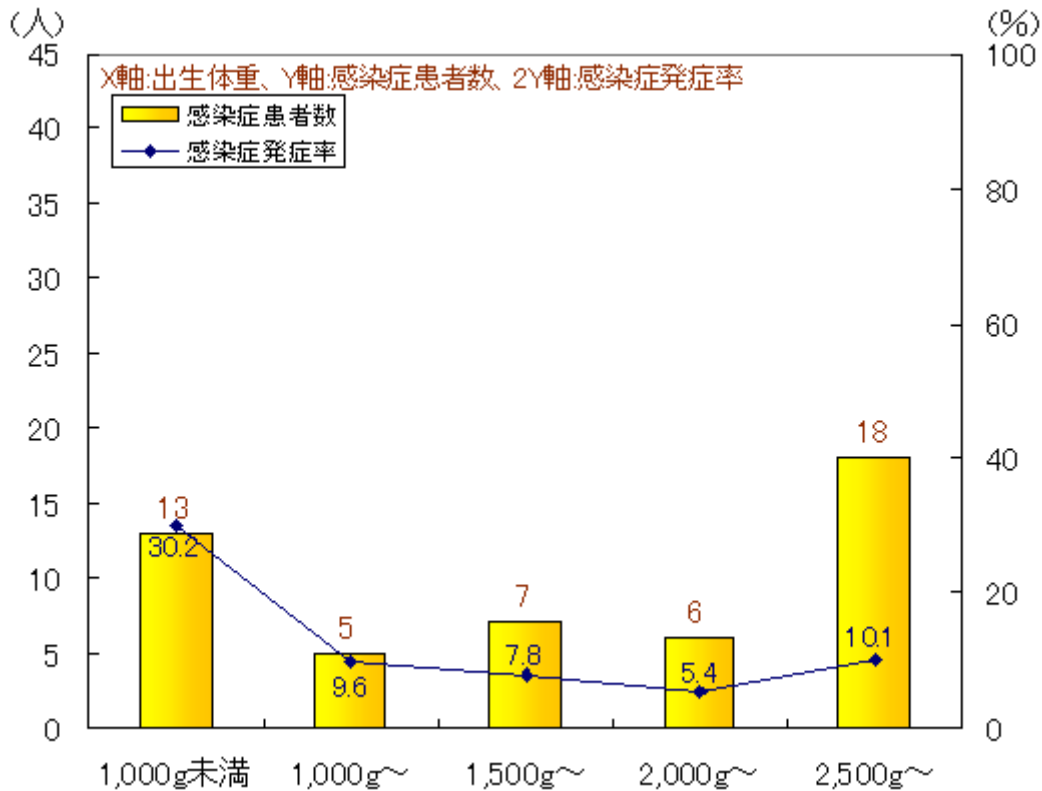
表4:耐性・感性別出生体重別感染数

| | |
|-------|-----|
| 参加施設数 | 5 |
| 対象患者数 | 476 |

next 

表1:感染患者数/入院数(率)

[TOP] [1] [2] [3] [4]



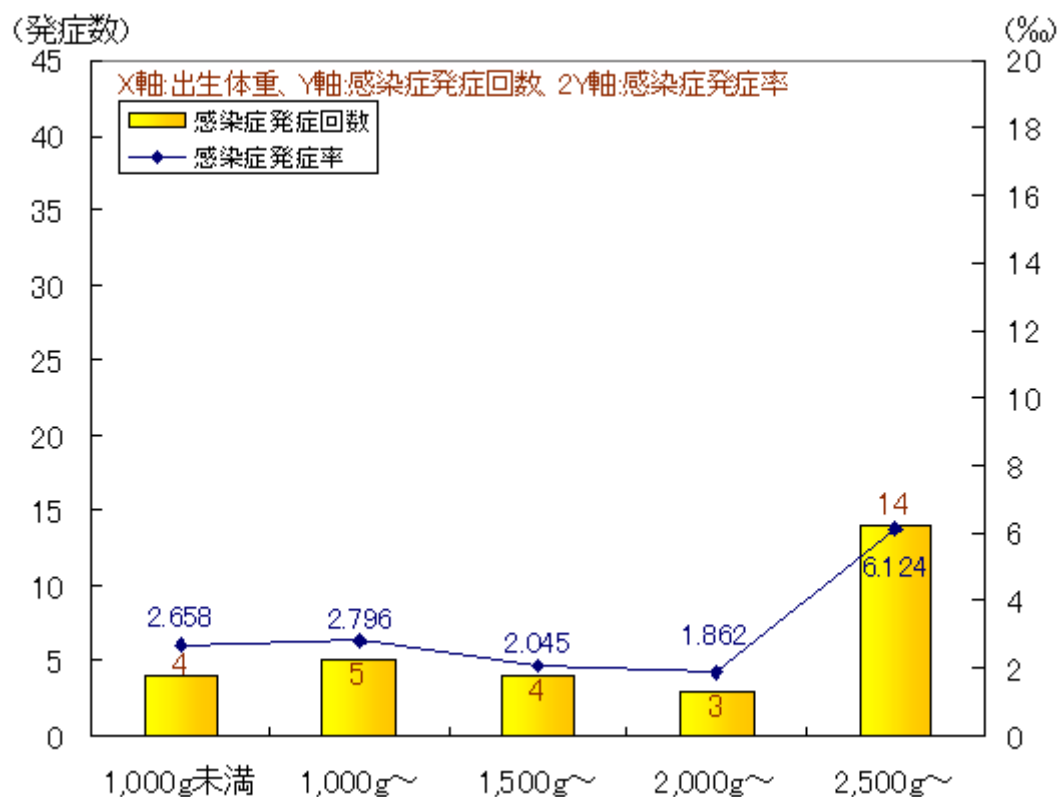
| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 入院数 | 43 | 52 | 90 | 112 | 179 | 476 |
| 感染症患者数 | 13 | 5 | 7 | 6 | 18 | 49 |
| 感染症発症率 | 30.2% | 9.6% | 7.8% | 5.4% | 10.1% | 10.3% |

| 項目 | 内容 |
|--------|----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 入院数 | NICUに入院した患者数。 |
| 感染症患者数 | 感染症と判断された患者数。 |
| 感染症発症率 | 感染症患者数 ÷ 入院数 × 100(%) |

←back

next→

表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

PD: 入院日数合計

| | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|---------|----------|---------|---------|---------|---------|--------|
| PD | 1505 | 1788 | 1956 | 1611 | 2286 | 9146 |
| 感染症発症回数 | 4 | 5 | 4 | 3 | 14 | 30 |
| 感染症発症率 | 2.658‰ | 2.796‰ | 2.045‰ | 1.862‰ | 6.124‰ | 3.280‰ |

| 項目 | 内容 |
|---------|--------------------------------|
| 対象 | NICUに入院し、退院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| PD | 入院日、退院日をそれぞれ1日としたのべ入院日数。 |
| 感染症発症回数 | 感染症と判断された症例数。 |
| 感染症発症率 | 感染症発症回数 ÷ PD × 1,000 |

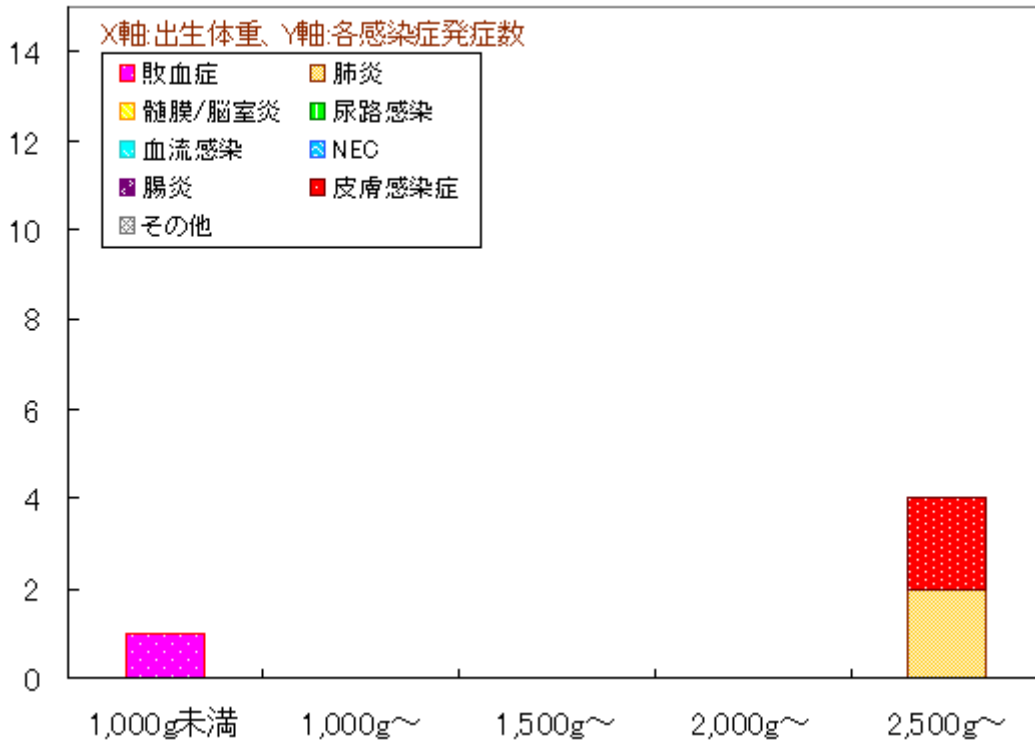
[←back](#)[next→](#)

表3:起炎菌別感染症数

[TOP] [1] [2] [3] [4]

MRSA

(発症数)



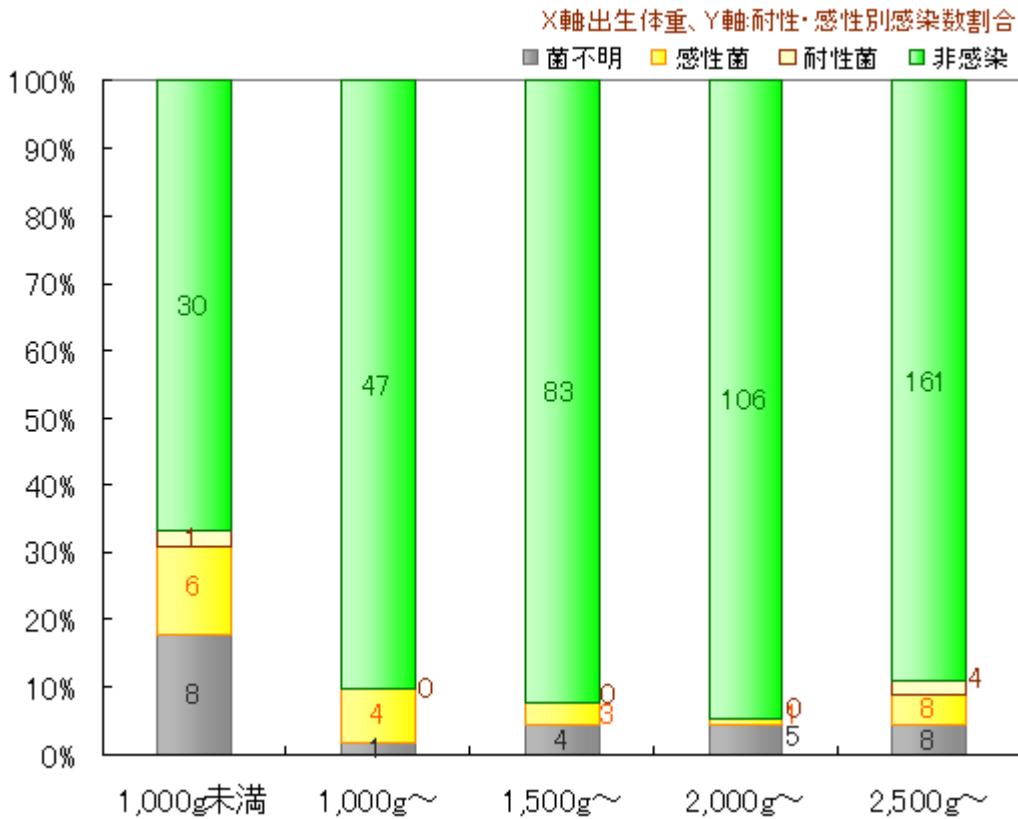
| MRSA | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 |

| 項目 | 内容 |
|-----|-----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 各症状 | 各症状が診断され、起炎菌が対象の菌と判断された症例数。 |

[感染症診断基準](#)

表4:菌耐性・感性別出生体重別感染数

[TOP] [1] [2] [3] [4]



| | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 非感染 | 30 | 47 | 83 | 106 | 161 | 427 |
| 耐性菌 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 |
| 感性菌 | 6 | 4 | 3 | 1 | 8 | 22 |
| 菌不明 | 8 | 1 | 4 | 5 | 8 | 26 |

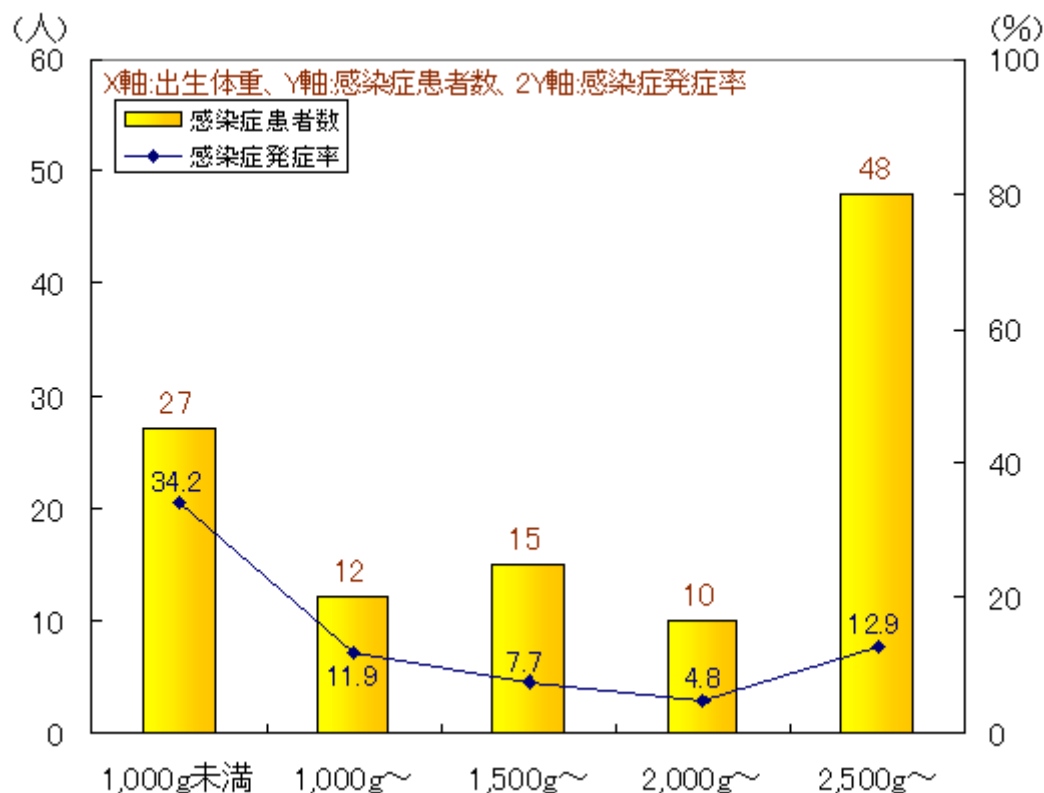
| 項目 | 内容 |
|-----|--|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 耐性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が耐性菌と判断された症例数。 |
| 感性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が感性菌と判断された症例数。 |
| 菌不明 | 感染症と診断され、起炎菌が明らかにできない症例数。 菌が同定できないものは菌不明とする |

[薬剤耐性菌判定基準](#)

←back

next→

表1:感染患者数/入院数(率)

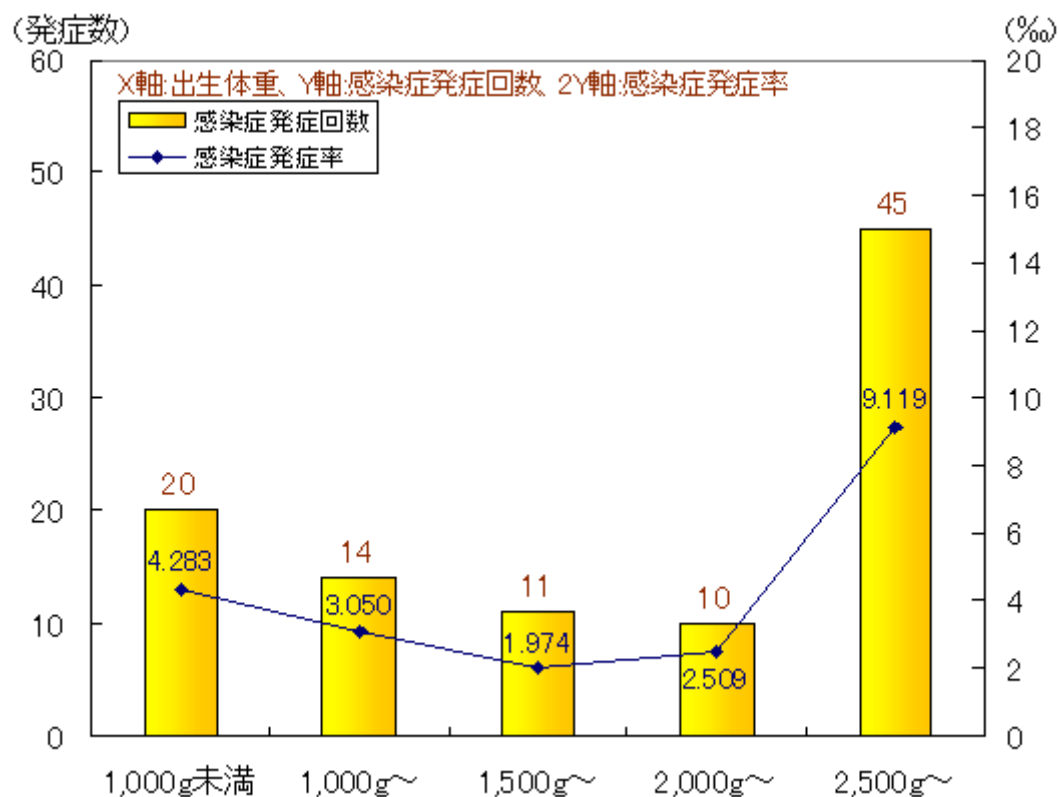
[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 入院数 | 79 | 101 | 196 | 209 | 373 | 958 |
| 感染症患者数 | 27 | 12 | 15 | 10 | 48 | 112 |
| 感染症発症率 | 34.2% | 11.9% | 7.7% | 4.8% | 12.9% | 11.7% |

| 項目 | 内容 |
|--------|----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 入院数 | NICUに入院した患者数。 |
| 感染症患者数 | 感染症と判断された患者数。 |
| 感染症発症率 | 感染症患者数 ÷ 入院数 × 100(%) |

[←back](#)[next→](#)

表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

PD: 入院日数合計

| | 1,000g未満 | 1,000g～ | 1,500g～ | 2,000g～ | 2,500g～ | 合計 |
|---------|----------|---------|---------|---------|---------|--------|
| PD | 4670 | 4590 | 5572 | 3985 | 4935 | 23752 |
| 感染症発症回数 | 20 | 14 | 11 | 10 | 45 | 100 |
| 感染症発症率 | 4.283‰ | 3.050‰ | 1.974‰ | 2.509‰ | 9.119‰ | 4.210‰ |

| 項目 | 内容 |
|---------|--------------------------------|
| 対象 | NICUに入院し、退院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| PD | 入院日、退院日をそれぞれ1日としたのべ入院日数。 |
| 感染症発症回数 | 感染症と判断された症例数。 |
| 感染症発症率 | 感染症発症回数 ÷ PD × 1,000 |

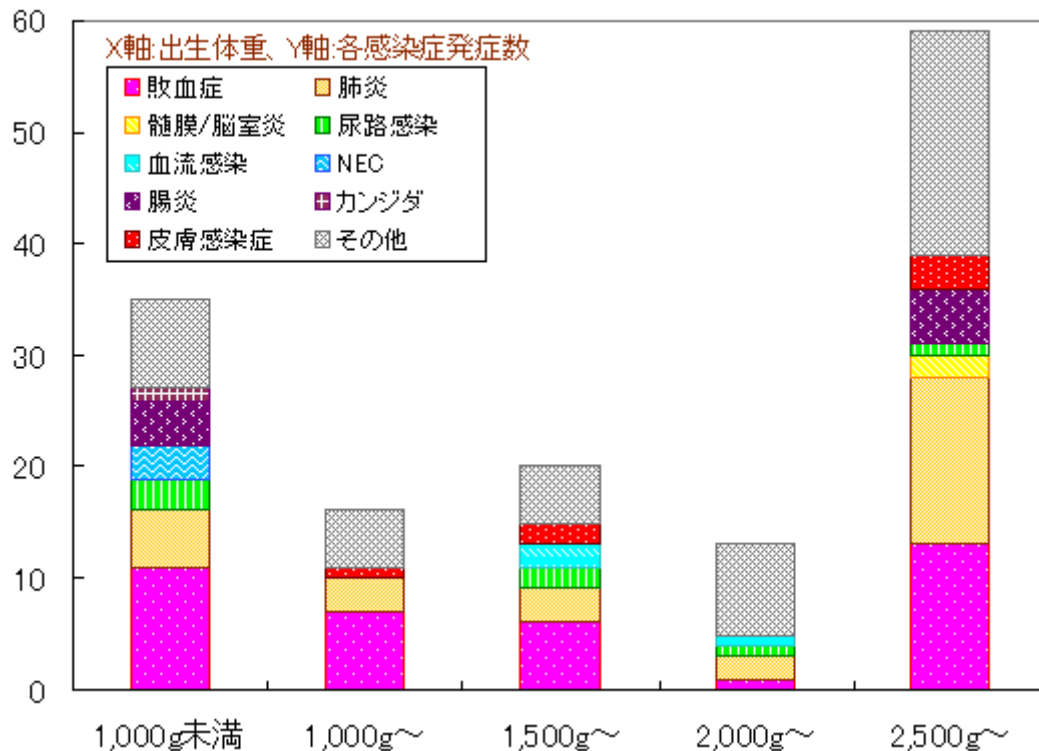
[←back](#)[next→](#)

表3:起炎菌別感染症数

[\[TOP\]](#) [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

全菌種

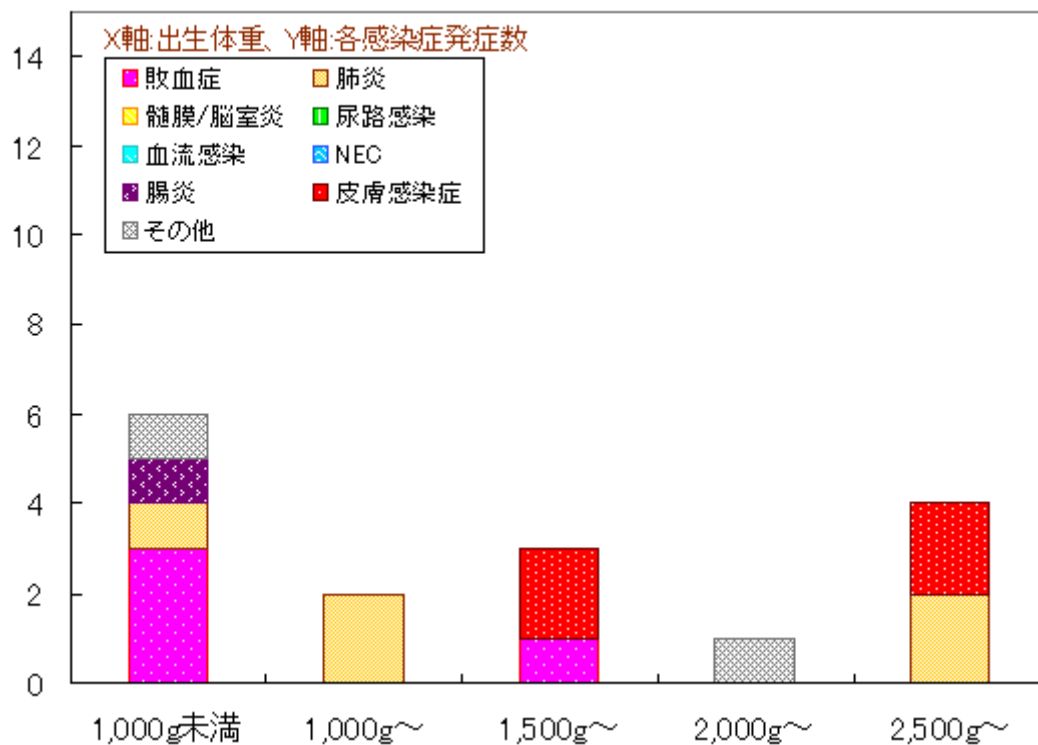
(発症数)



| 全菌種 | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 敗血症 | 11 | 7 | 6 | 1 | 13 | 38 |
| 肺炎 | 5 | 3 | 3 | 2 | 15 | 28 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 尿路感染 | 3 | 0 | 2 | 1 | 1 | 7 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 |
| NEC | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 腸炎 | 4 | 0 | 0 | 0 | 5 | 9 |
| カンジダ | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 皮膚感染症 | 0 | 1 | 2 | 0 | 3 | 6 |
| その他 | 8 | 5 | 5 | 8 | 20 | 46 |
| 合計 | 35 | 16 | 20 | 13 | 59 | 143 |

MRSA

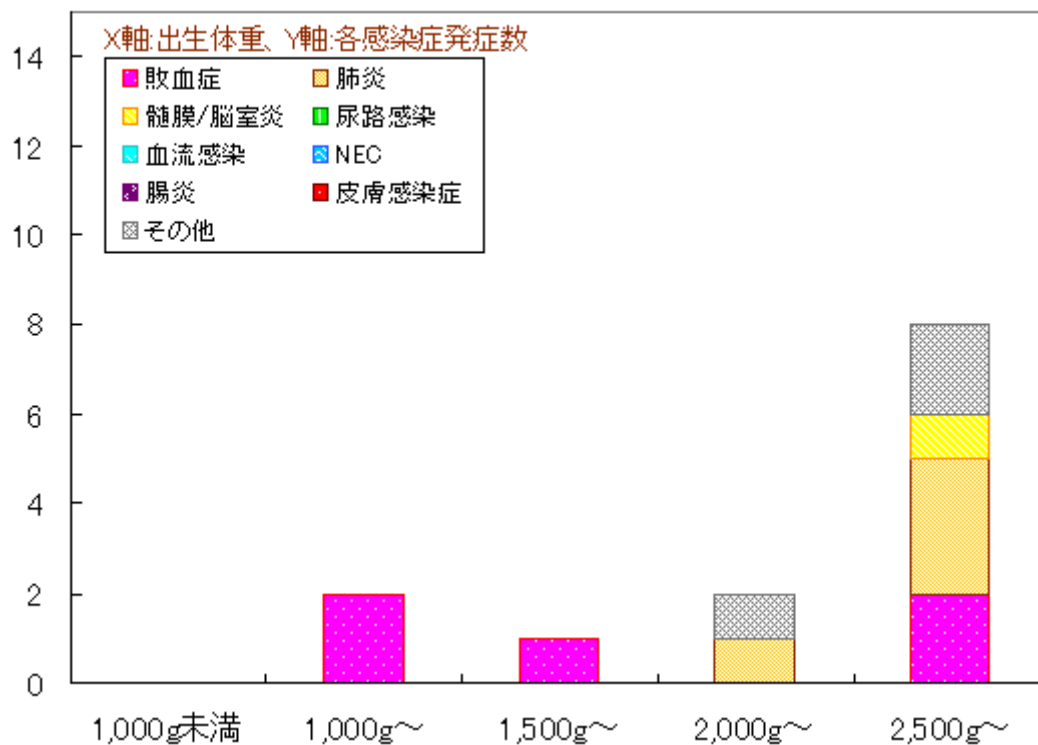
(発症数)



| MRSA | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 肺炎 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 4 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 合計 | 6 | 2 | 3 | 1 | 4 | 16 |

GBS

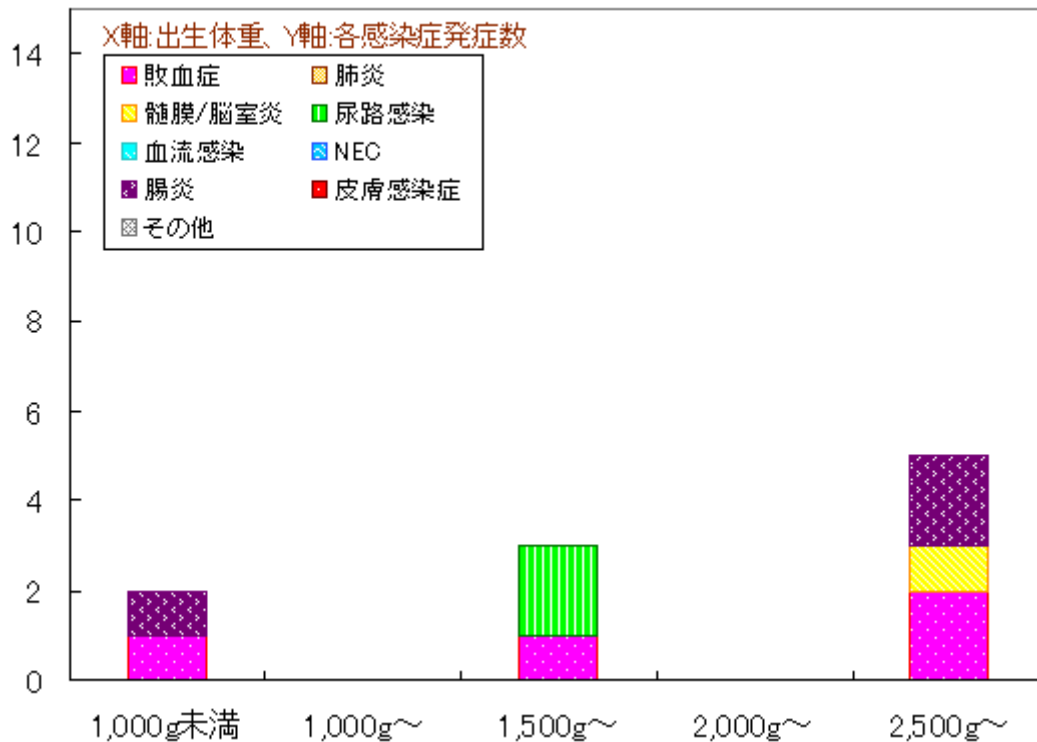
(発症数)



| GBS | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 5 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 合計 | 0 | 2 | 1 | 2 | 8 | 13 |

E.coli

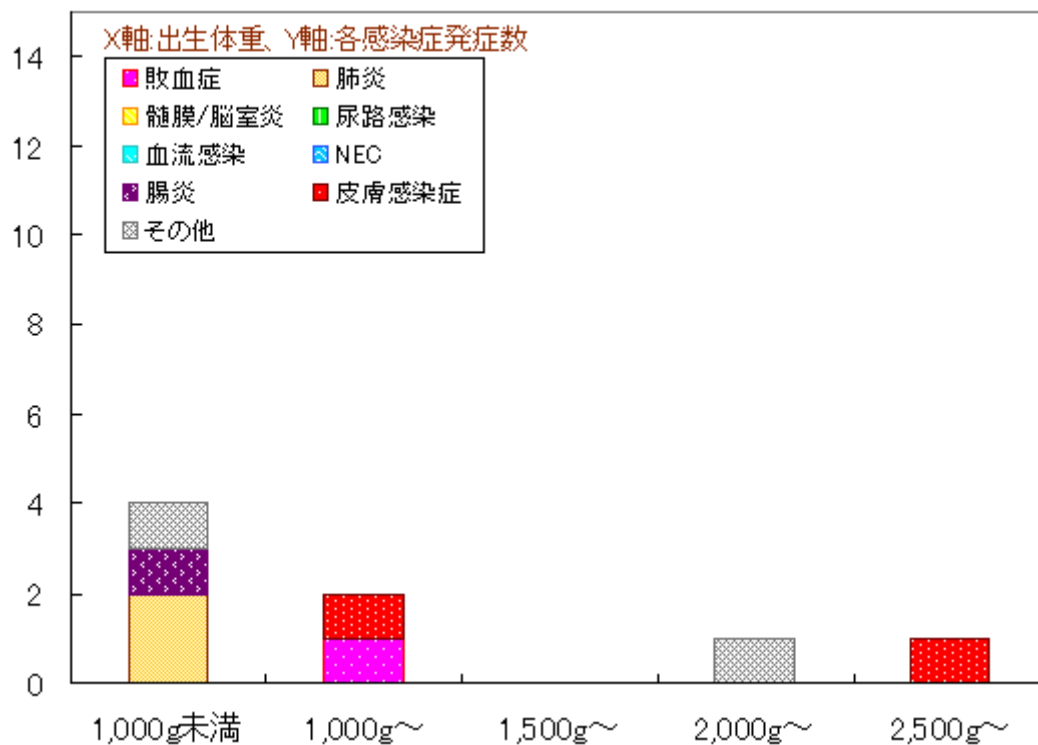
(発症数)



| E.coli | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 4 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 2 | 0 | 3 | 0 | 5 | 10 |

MSSA

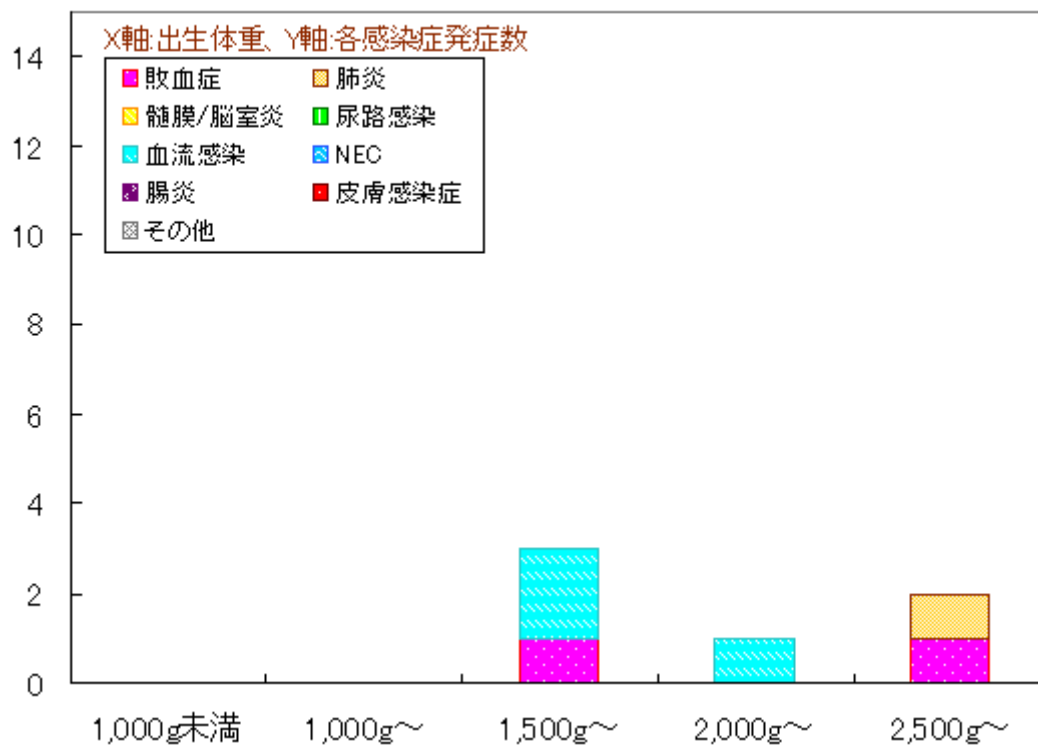
(発症数)



| MSSA | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 肺炎 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 合計 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | 8 |

CNS

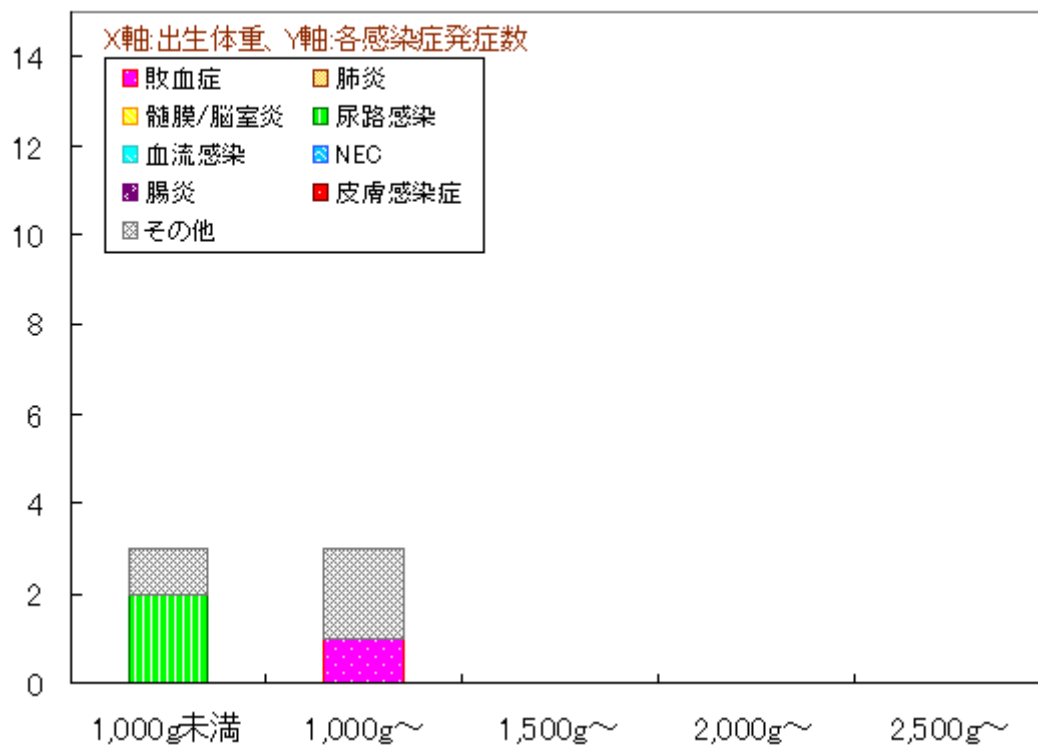
(発症数)



| CNS | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 6 |

Enterococcus属

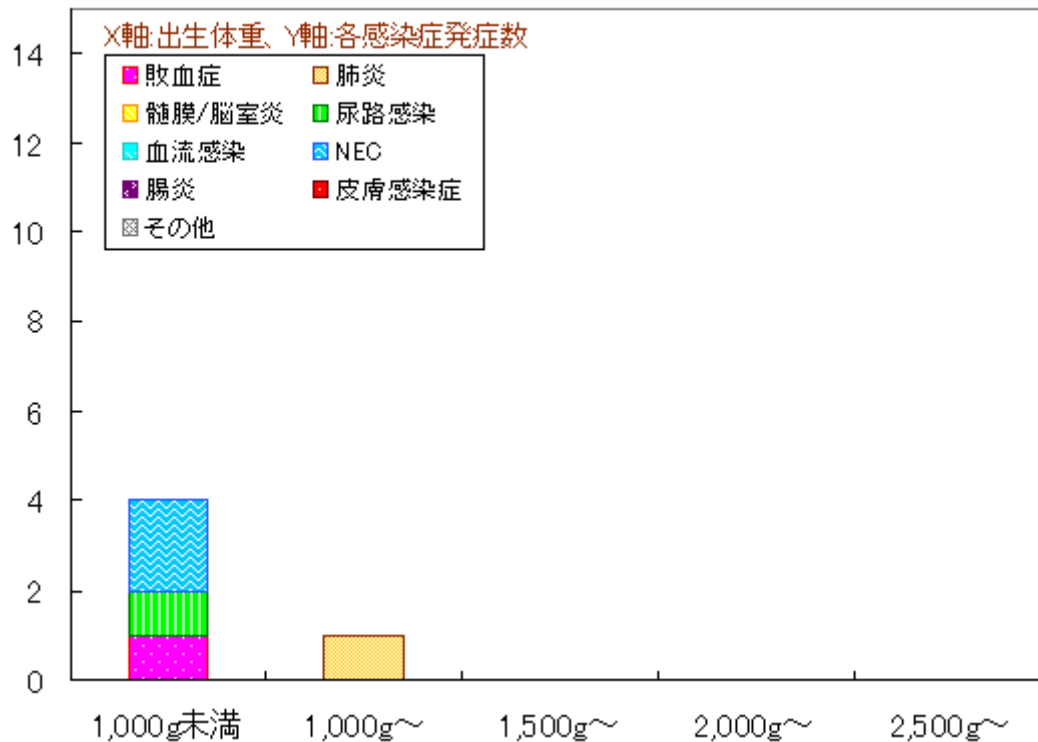
(発症数)



| Enterococcus | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 合計 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 |

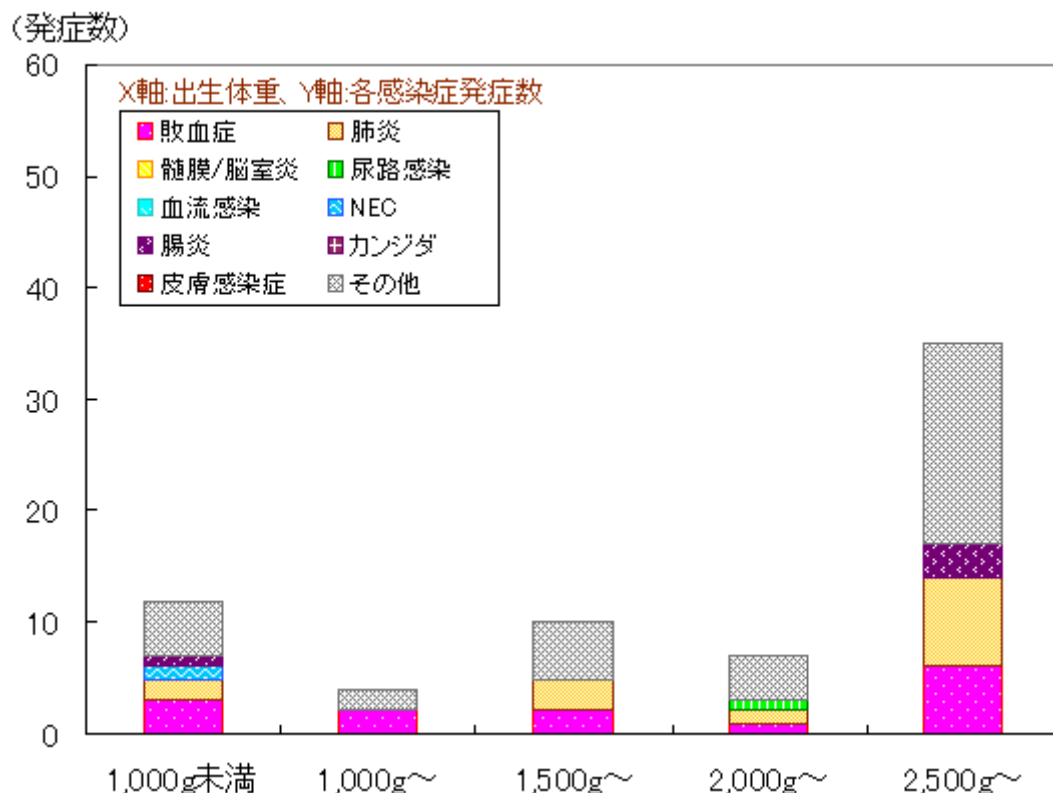
*Klebsiella*属

(発症数)



| Klebsiella | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|------------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 肺炎 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 腸炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |

菌不明



| 菌不明 | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|----|
| 敗血症 | 3 | 2 | 2 | 1 | 6 | 14 |
| 肺炎 | 2 | 0 | 3 | 1 | 8 | 14 |
| 髄膜/脳室炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 尿路感染 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 血流感染 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NEC | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 腸炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| カンジダ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 5 | 2 | 5 | 4 | 18 | 34 |
| 合計 | 12 | 4 | 10 | 7 | 35 | 68 |

| 項目 | 内容 |
|-----|-----------------------------|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 各症状 | 各症状が診断され、起炎菌が対象の菌と判断された症例数。 |

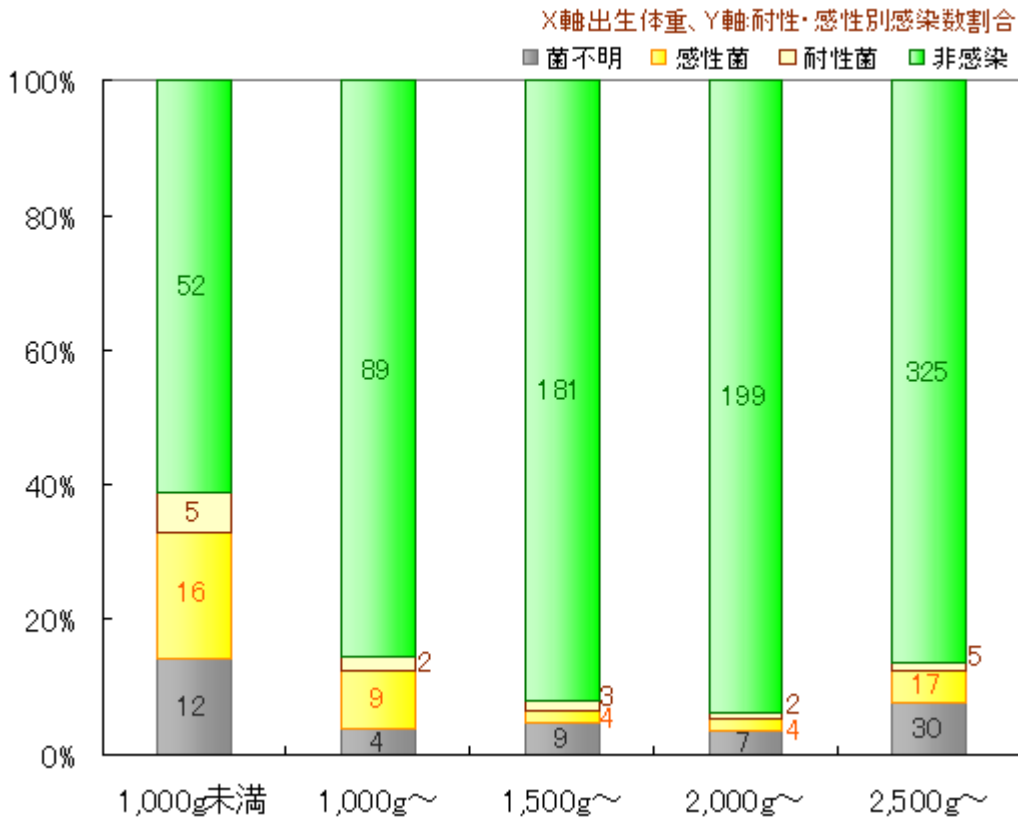
[感染症診断基準](#)

[back](#)

[next](#)

表4:耐性・感性別出生体重別感染数

[TOP] [1] [2] [3] [4]



| | 1,000g未満 | 1,000g~ | 1,500g~ | 2,000g~ | 2,500g~ | 合計 |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 非感染 | 52 | 89 | 181 | 199 | 325 | 846 |
| 耐性菌 | 5 | 2 | 3 | 2 | 5 | 17 |
| 感性菌 | 16 | 9 | 4 | 4 | 17 | 50 |
| 菌不明 | 12 | 4 | 9 | 7 | 30 | 62 |

| 項目 | 内容 |
|-----|--|
| 対象 | NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。 |
| 耐性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が耐性菌と判断された症例数。 |
| 感性菌 | 感染症と診断され、起炎菌が感性菌と判断された症例数。 |
| 菌不明 | 感染症と診断され、起炎菌が明らかにできない症例数。 菌が同定できないものは菌不明とする |

[薬剤耐性菌判定基準](#)

←back

next→

手術部位感染（SSI）部門におけるサーベイランスは、外科手術患者でのSSI発生状況を把握し、その対策を支援する情報を還元することを目的としています。

SSI部門において参加施設は、サーベイランスの対象とする手術手技を決定し、その手術手技に該当する手術に関する基礎的データ（手術時間、創分類、ASA スコア、他）を収集しています。術後原則としてSSI発生の有無に関する30日間の経過観察を行ないます。感染の兆候が疑われる症例に関しては、SSIの判定基準（米国CDCの院内感染診断基準）に基づきSSIか否かを判定します。SSIと判定した場合は、その発生に関するより詳細な情報を収集します。

参加各施設はこれらのデータを決められたフォーマットにより事業へ提出します。事業では、これらを解析し、以下に示すようなフィードバックを各施設に対して行なっています。ここで紹介しているのは全施設合計の解析結果です。

- [図1](#) 手術手技別SSI発生状況
- [図2](#) 性別手術手技別SSI発生状況
- [図3](#) 全身麻酔有無別手術手技別SSI発生状況
- [図4](#) 緊急手術有無別手術手技別SSI発生状況
- [図5](#) 外傷有無別手術手技別SSI発生状況
- [図6](#) 埋入物有無別手術手技別SSI発生状況
- [図7](#) 腹腔鏡使用有無別手術手技別SSI発生状況
- [図8](#) 合併手術有無別手術部位別SSI発生状況

参加各施設には同様の解析を施設ごとに行ない、結果を提供しています。各施設においては、フィードバックされた結果に基づき、SSIに関する自施設のパフォーマンス評価やその改善を行なっています。

2006年・季報（1-6月）では11施設から提供された2,607例のデータについて、集計・解析を行いました。

図1 . 手術部位別感染発生状況(症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 施設数 | 発生数 | 症例数 | 発生率 (%) | JNIS手術時間 75%パーセンタイル値(分) | NNIS手術時間 カットオフポイント値(分) |
|------|-----|-----|-----|---------|----------------------------|---------------------------|
| APPY | 6 | 5 | 80 | 6.3 | 83 | 60 |
| BILI | 7 | 13 | 130 | 10.0 | 502 | 300 |
| CARD | 4 | 0 | 79 | 0.0 | 404 | 300 |
| CBGB | 3 | 1 | 56 | 1.8 | 454 | 300 |
| CHOL | 7 | 4 | 195 | 2.1 | 146 | 120 |
| COLN | 8 | 26 | 227 | 11.5 | 216 | 180 |
| CRAN | 2 | 0 | 61 | 0.0 | 298 | 240 |
| FX | 2 | 0 | 176 | 0.0 | 122 | 120 |
| GAST | 8 | 14 | 202 | 6.9 | 259 | 180 |
| HER | 7 | 3 | 126 | 2.4 | 100 | 120 |
| KPRO | 3 | 0 | 97 | 0.0 | 140 | 120 |
| LAM | 2 | 4 | 87 | 4.6 | 128 | 120 |
| MAST | 3 | 0 | 51 | 0.0 | 184 | 180 |
| OGIT | 4 | 3 | 62 | 4.8 | 130 | 120 |
| OMS | 1 | 0 | 103 | 0.0 | 89 | 180 |
| REC | 8 | 26 | 122 | 21.3 | 306 | 180 |
| THOR | 5 | 2 | 154 | 1.3 | 288 | 180 |
| VS | 4 | 2 | 86 | 2.3 | 389 | 180 |

手術部位感染発生状況(全体データ)

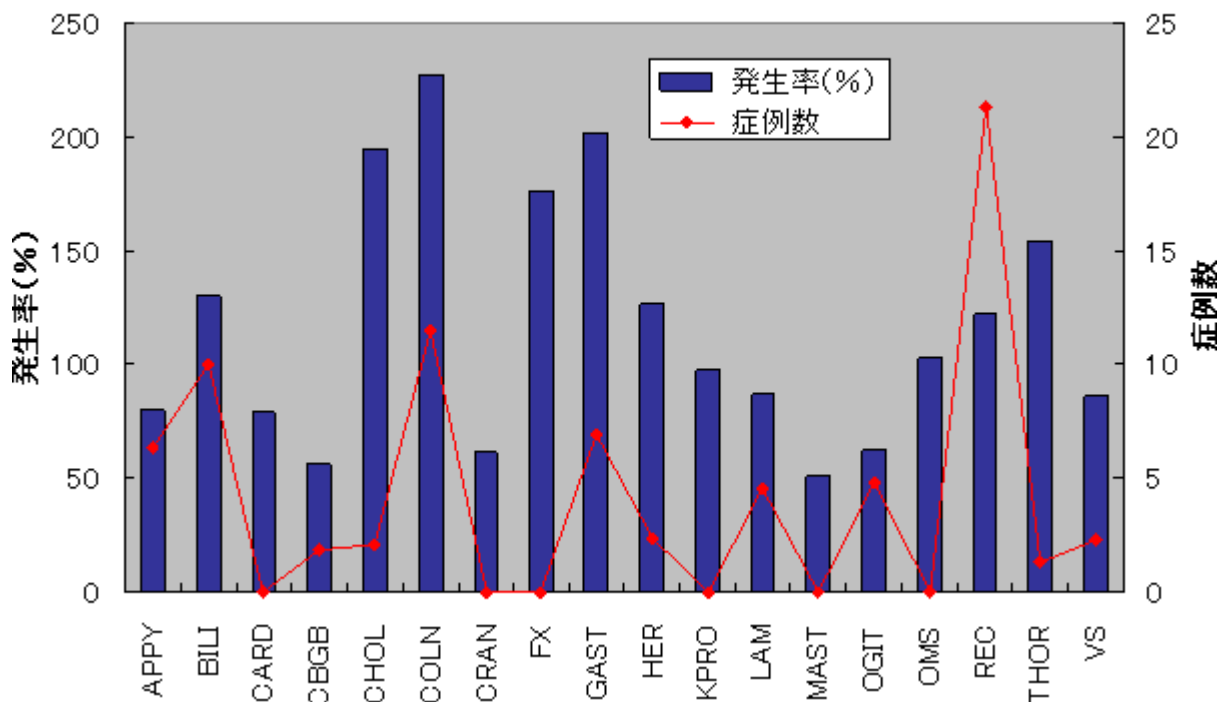
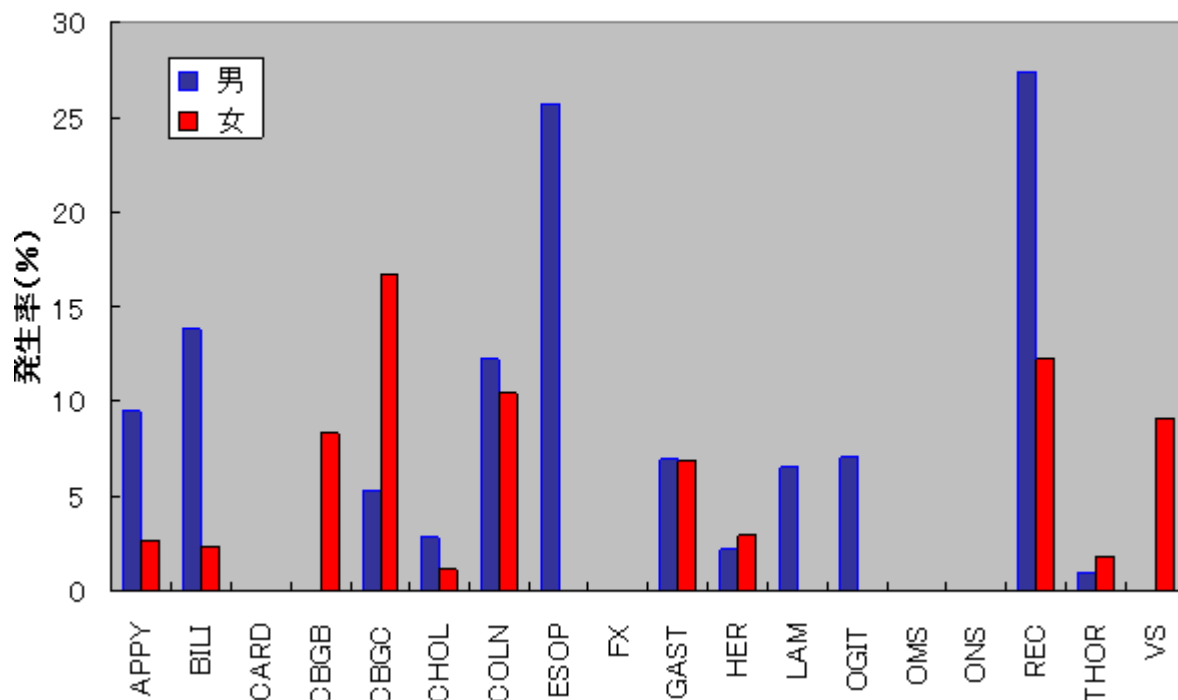


図 2 . 性別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 男 | | | 女 | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 4 | 42 | 9.5 | 1 | 38 | 2.6 |
| BILI | 12 | 87 | 13.8 | 1 | 43 | 2.3 |
| CARD | 0 | 48 | 0.0 | 0 | 31 | 0.0 |
| CBGB | 0 | 44 | 0.0 | 1 | 12 | 8.3 |
| CBGC | 2 | 38 | 5.3 | 1 | 6 | 16.7 |
| CHOL | 3 | 109 | 2.8 | 1 | 86 | 1.2 |
| COLN | 16 | 131 | 12.2 | 10 | 96 | 10.4 |
| ESOP | 9 | 35 | 25.7 | 0 | 5 | 0.0 |
| FX | 0 | 107 | 0.0 | 0 | 69 | 0.0 |
| GAST | 10 | 143 | 7.0 | 4 | 59 | 6.8 |
| HER | 2 | 93 | 2.2 | 1 | 33 | 3.0 |
| LAM | 4 | 62 | 6.5 | 0 | 25 | 0.0 |
| OGIT | 3 | 42 | 7.1 | 0 | 20 | 0.0 |
| OMS | 0 | 62 | 0.0 | 0 | 41 | 0.0 |
| ONS | 0 | 28 | 0.0 | 0 | 15 | 0.0 |
| REC | 20 | 73 | 27.4 | 6 | 49 | 12.2 |
| THOR | 1 | 98 | 1.0 | 1 | 56 | 1.8 |
| VS | 0 | 64 | 0.0 | 2 | 22 | 9.1 |

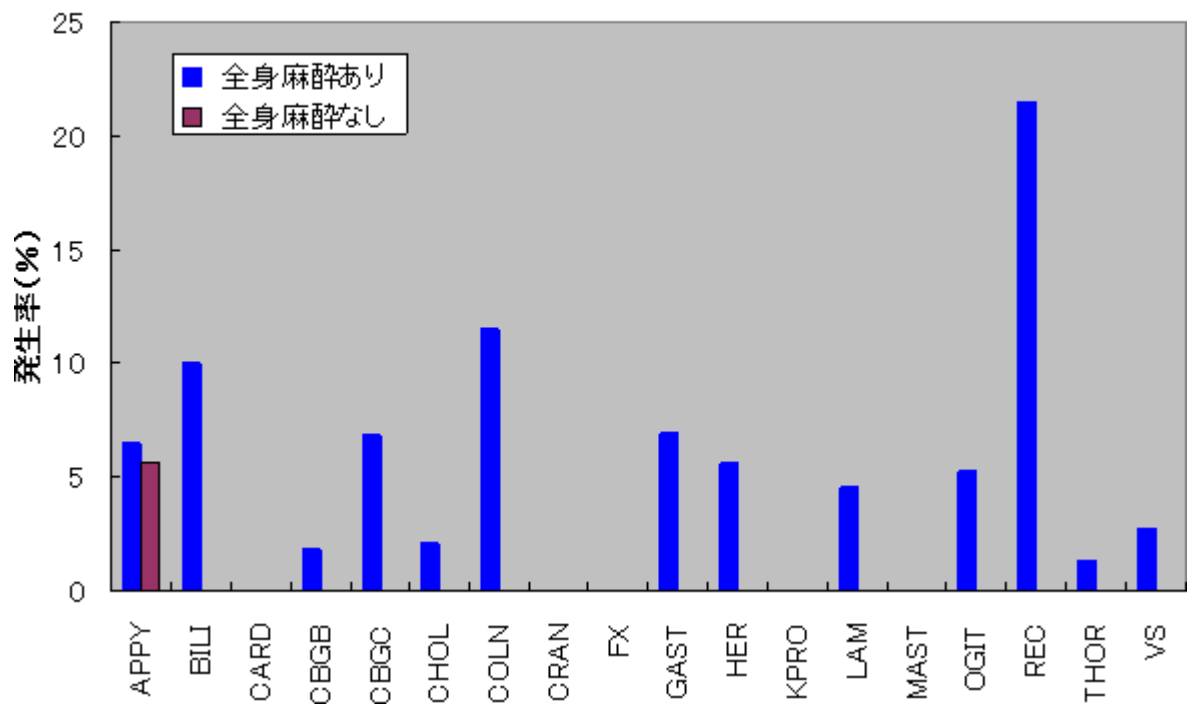
手術部位感染発生状況(性別)



2007/03/15 図3 . 全身麻酔有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 4 | 62 | 6.5 | 1 | 18 | 5.6 |
| BILI | 13 | 130 | 10.0 | - | - | - |
| CARD | 0 | 78 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| CBGB | 1 | 56 | 1.8 | - | - | - |
| CBGC | 3 | 44 | 6.8 | - | - | - |
| CHOL | 4 | 195 | 2.1 | - | - | - |
| COLN | 26 | 226 | 11.5 | 0 | 1 | 0.0 |
| CRAN | 0 | 60 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| FX | 0 | 92 | 0.0 | 0 | 84 | 0.0 |
| GAST | 14 | 202 | 6.9 | - | - | - |
| HER | 3 | 54 | 5.6 | 0 | 72 | 0.0 |
| KPRO | 0 | 72 | 0.0 | 0 | 25 | 0.0 |
| LAM | 4 | 87 | 4.6 | - | - | - |
| MAST | 0 | 50 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| OGIT | 3 | 57 | 5.3 | 0 | 5 | 0.0 |
| REC | 26 | 121 | 21.5 | 0 | 1 | 0.0 |
| THOR | 2 | 154 | 1.3 | - | - | - |
| VS | 2 | 73 | 2.7 | 0 | 13 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(全身麻酔)



2007/03/15 図4 . 緊急手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 5 | 72 | 6.9 | 0 | 8 | 0.0 |
| BILI | 0 | 5 | 0.0 | 13 | 125 | 10.4 |
| CARD | 0 | 8 | 0.0 | 0 | 71 | 0.0 |
| CBGB | 0 | 7 | 0.0 | 1 | 49 | 2.0 |
| CBGC | 1 | 2 | 50.0 | 2 | 42 | 4.8 |
| CHOL | 1 | 10 | 10.0 | 3 | 185 | 1.6 |
| COLN | 4 | 25 | 16.0 | 22 | 202 | 10.9 |
| FX | 0 | 35 | 0.0 | 0 | 141 | 0.0 |
| GAST | 1 | 4 | 25.0 | 13 | 198 | 6.6 |
| HER | 0 | 8 | 0.0 | 3 | 118 | 2.5 |
| KPRO | - | - | - | 0 | 97 | 0.0 |
| LAM | 0 | 1 | 0.0 | 4 | 86 | 4.7 |
| OGIT | 1 | 27 | 3.7 | 2 | 35 | 5.7 |
| OGU | 0 | 4 | 0.0 | 1 | 41 | 2.4 |
| OMS | 0 | 11 | 0.0 | 0 | 92 | 0.0 |
| REC | 0 | 2 | 0.0 | 26 | 120 | 21.7 |
| THOR | 0 | 7 | 0.0 | 2 | 147 | 1.4 |
| VS | 2 | 31 | 6.5 | 0 | 55 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(緊急手術)

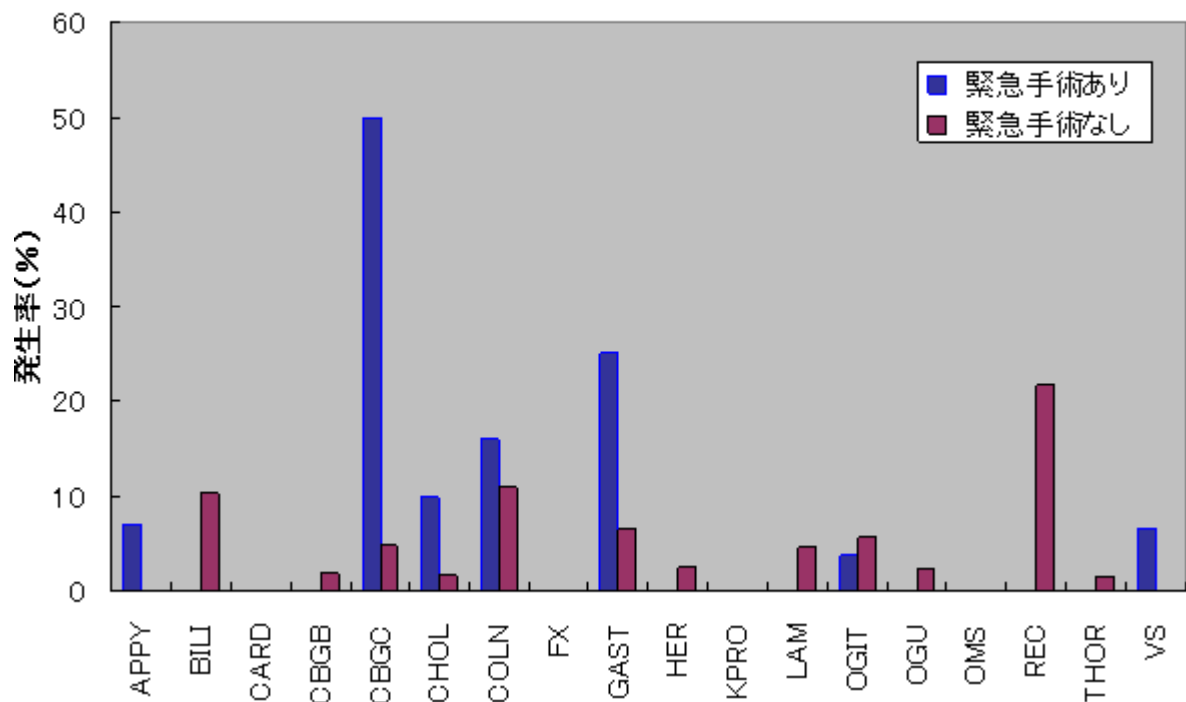


図5 . 外傷有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | - | - | - | 5 | 80 | 6.3 |
| BILI | 0 | 2 | 0.0 | 13 | 128 | 10.2 |
| CARD | - | - | - | 0 | 79 | 0.0 |
| CBGB | - | - | - | 1 | 56 | 1.8 |
| CHOL | - | - | - | 4 | 195 | 2.1 |
| COLN | 0 | 2 | 0.0 | 26 | 225 | 11.6 |
| CRAN | 0 | 4 | 0.0 | 0 | 57 | 0.0 |
| FX | 0 | 13 | 0.0 | 0 | 163 | 0.0 |
| GAST | - | - | - | 14 | 202 | 6.9 |
| HER | - | - | - | 3 | 126 | 2.4 |
| KPRO | - | - | - | 0 | 97 | 0.0 |
| LAM | - | - | - | 4 | 87 | 4.6 |
| MAST | - | - | - | 0 | 51 | 0.0 |
| OGIT | 0 | 1 | 0.0 | 3 | 61 | 4.9 |
| OMS | 0 | 11 | 0.0 | 0 | 92 | 0.0 |
| REC | - | - | - | 26 | 122 | 21.3 |
| THOR | - | - | - | 2 | 154 | 1.3 |
| VS | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 85 | 2.4 |

手術部位感染発生状況(外傷)

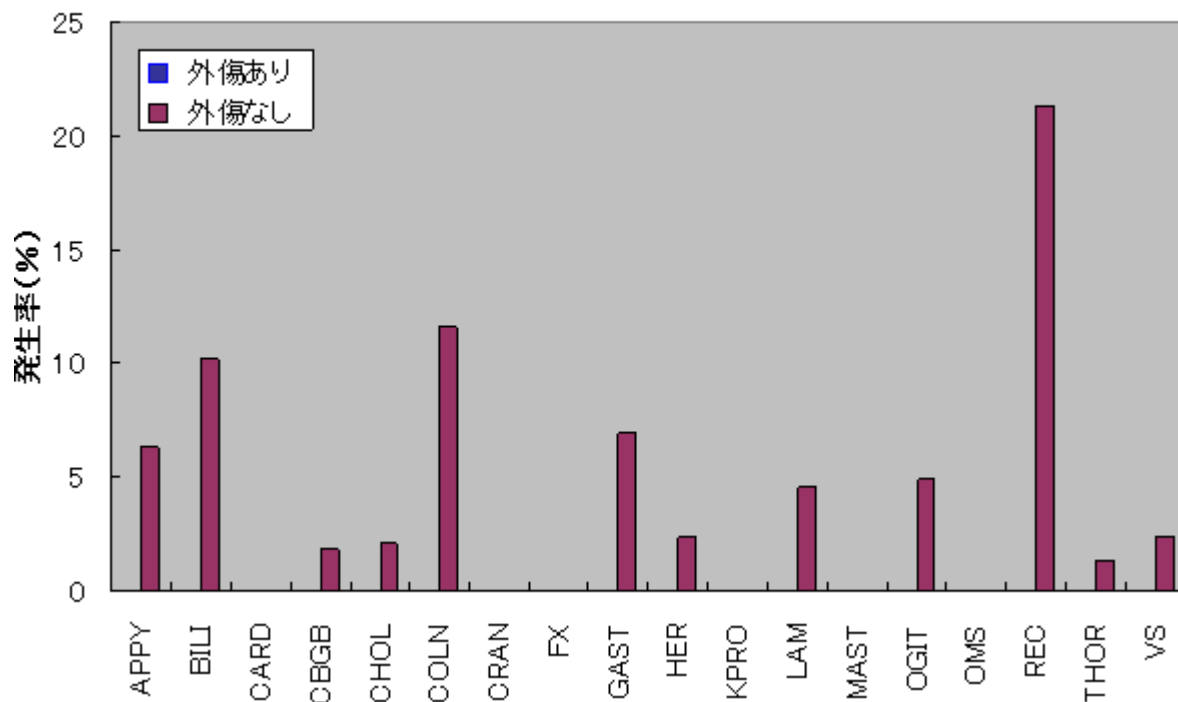


図6 . 埋入物有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | - | - | - | 5 | 80 | 6.3 |
| BILI | - | - | - | 13 | 130 | 10.0 |
| CHOL | 0 | 1 | 0.0 | 4 | 194 | 2.1 |
| COLN | 0 | 1 | 0.0 | 26 | 226 | 11.5 |
| ESOP | 0 | 1 | 0.0 | 9 | 39 | 23.1 |
| FX | 0 | 167 | 0.0 | 0 | 9 | 0.0 |
| GAST | - | - | - | 14 | 202 | 6.9 |
| HER | 2 | 96 | 2.1 | 1 | 30 | 3.3 |
| KPRO | 0 | 95 | 0.0 | 0 | 2 | 0.0 |
| LAM | 2 | 18 | 11.1 | 2 | 69 | 2.9 |
| OGIT | 0 | 5 | 0.0 | 3 | 57 | 5.3 |
| OGU | 0 | 6 | 0.0 | 1 | 39 | 2.6 |
| OMS | 0 | 29 | 0.0 | 0 | 74 | 0.0 |
| ONS | 0 | 12 | 0.0 | 0 | 31 | 0.0 |
| REC | 1 | 3 | 33.3 | 25 | 119 | 21.0 |
| SB | 1 | 1 | 100.0 | 6 | 36 | 16.7 |
| THOR | 1 | 33 | 3.0 | 1 | 121 | 0.8 |
| VS | 2 | 56 | 3.6 | 0 | 30 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(埋入物)

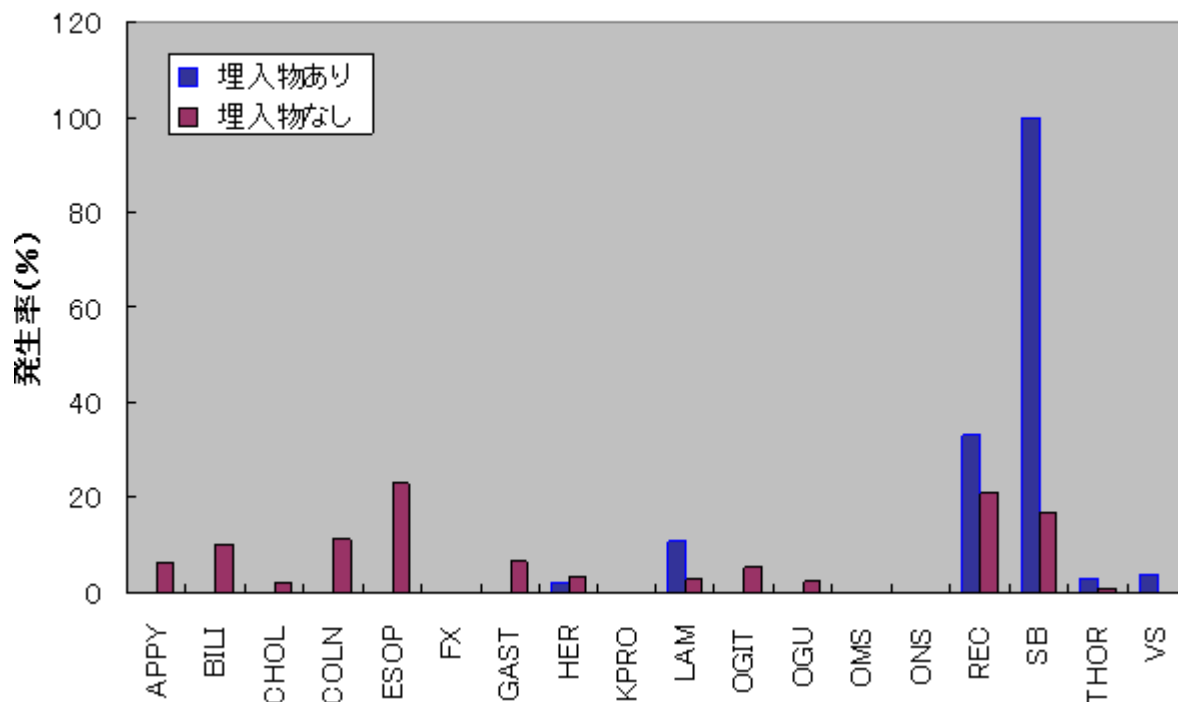
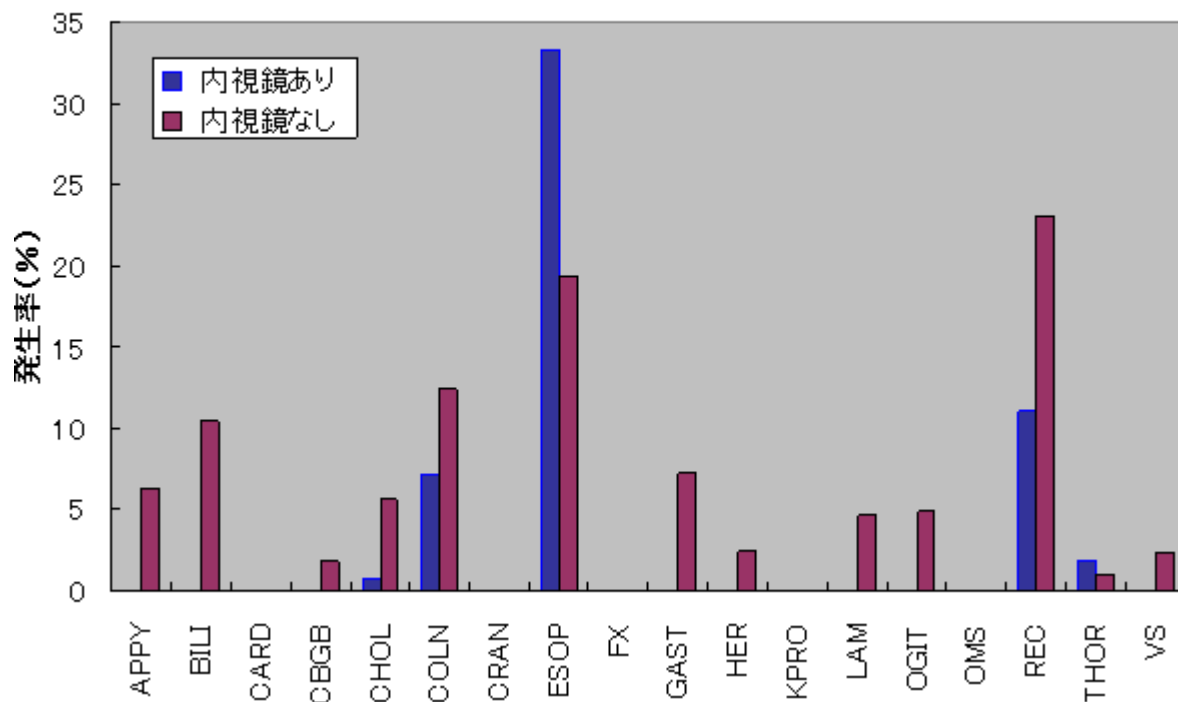


図7 . 内視鏡有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 1 | 0.0 | 5 | 79 | 6.3 |
| BILI | 0 | 5 | 0.0 | 13 | 125 | 10.4 |
| CARD | - | - | - | 0 | 79 | 0.0 |
| CBGB | - | - | - | 1 | 56 | 1.8 |
| CHOL | 1 | 142 | 0.7 | 3 | 53 | 5.7 |
| COLN | 3 | 42 | 7.1 | 23 | 185 | 12.4 |
| CRAN | - | - | - | 0 | 61 | 0.0 |
| ESOP | 3 | 9 | 33.3 | 6 | 31 | 19.4 |
| FX | - | - | - | 0 | 176 | 0.0 |
| GAST | 0 | 11 | 0.0 | 14 | 191 | 7.3 |
| HER | 0 | 2 | 0.0 | 3 | 124 | 2.4 |
| KPRO | - | - | - | 0 | 97 | 0.0 |
| LAM | 0 | 1 | 0.0 | 4 | 86 | 4.7 |
| OGIT | 0 | 1 | 0.0 | 3 | 61 | 4.9 |
| OMS | 0 | 17 | 0.0 | 0 | 86 | 0.0 |
| REC | 2 | 18 | 11.1 | 24 | 104 | 23.1 |
| THOR | 1 | 57 | 1.8 | 1 | 97 | 1.0 |
| VS | - | - | - | 2 | 86 | 2.3 |

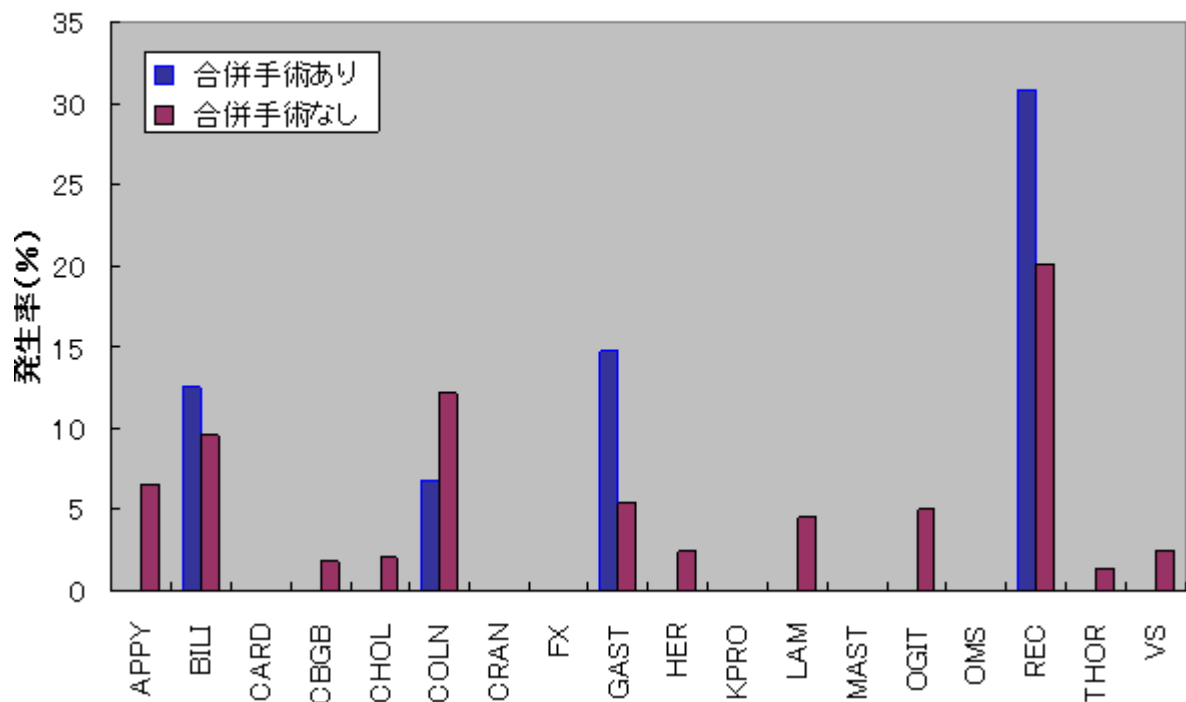
手術部位感染発生状況(内視鏡)



2007/03/15 図8 . 合併手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位20手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 3 | 0.0 | 5 | 77 | 6.5 |
| BILI | 2 | 16 | 12.5 | 11 | 114 | 9.6 |
| CARD | 0 | 4 | 0.0 | 0 | 75 | 0.0 |
| CBGB | 0 | 3 | 0.0 | 1 | 53 | 1.9 |
| CHOL | 0 | 6 | 0.0 | 4 | 189 | 2.1 |
| COLN | 2 | 30 | 6.7 | 24 | 197 | 12.2 |
| CRAN | - | - | - | 0 | 61 | 0.0 |
| FX | 0 | 2 | 0.0 | 0 | 174 | 0.0 |
| GAST | 5 | 34 | 14.7 | 9 | 168 | 5.4 |
| HER | 0 | 2 | 0.0 | 3 | 124 | 2.4 |
| KPRO | - | - | - | 0 | 97 | 0.0 |
| LAM | - | - | - | 4 | 87 | 4.6 |
| MAST | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 50 | 0.0 |
| OGIT | 0 | 2 | 0.0 | 3 | 60 | 5.0 |
| OMS | - | - | - | 0 | 103 | 0.0 |
| REC | 4 | 13 | 30.8 | 22 | 109 | 20.2 |
| THOR | 0 | 2 | 0.0 | 2 | 152 | 1.3 |
| VS | 0 | 5 | 0.0 | 2 | 81 | 2.5 |

手術部位感染発生状況(合併手術)



手術部位感染（SSI）部門におけるサーベイランスは、外科手術患者でのSSI発生状況を把握し、その対策を支援する情報を還元することを目的としています。

SSI部門において参加施設は、サーベイランスの対象とする手術手技を決定し、その手術手技に該当する手術に関する基礎的データ（手術時間、創分類、ASA スコア、他）を収集しています。術後原則としてSSI発生の有無に関する30日間の経過観察を行ないます。感染の兆候が疑われる症例に関しては、SSIの判定基準（米国CDCの院内感染診断基準）に基づきSSIか否かを判定します。SSIと判定した場合は、その発生に関するより詳細な情報を収集します。

参加各施設はこれらのデータを決められたフォーマットにより事業へ提出します。事業では、これらを解析し、以下に示すようなフィードバックを各施設に対して行なっています。ここで紹介しているのは全施設合計の解析結果です。

- [図1](#) 手術手技別SSI発生状況
- [図2](#) 性別手術手技別SSI発生状況
- [図3](#) 全身麻酔有無別手術手技別SSI発生状況
- [図4](#) 緊急手術有無別手術手技別SSI発生状況
- [図5](#) 外傷有無別手術手技別SSI発生状況
- [図6](#) 埋入物有無別手術手技別SSI発生状況
- [図7](#) 腹腔鏡使用有無別手術手技別SSI発生状況
- [図8](#) 合併手術有無別手術部位別SSI発生状況

参加各施設には同様の解析を施設ごとに行ない、結果を提供しています。各施設においては、フィードバックされた結果に基づき、SSIに関する自施設のパフォーマンス評価やその改善を行なっています。

2006年・季報（7-12月）では10施設から提供された1,591例のデータについて、集計・解析を行いました。

図1. 手術部位別感染発生状況(症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 施設数 | 発生数 | 症例数 | 発生率 (%) | JNIS手術時間 75%ハ-センイル値(分) | NNIS手術時間 カットオフポイント値(分) |
|------|-----|-----|-----|---------|---------------------------|---------------------------|
| APPY | 5 | 2 | 98 | 2.0 | 88 | 60 |
| BILI | 4 | 5 | 69 | 7.2 | 398 | 300 |
| CARD | 4 | 2 | 76 | 2.6 | 352 | 300 |
| CBGB | 4 | 1 | 33 | 3.0 | 465 | 300 |
| CHOL | 4 | 5 | 112 | 4.5 | 161 | 120 |
| COLN | 4 | 3 | 93 | 3.2 | 240 | 180 |
| CRAN | 1 | 0 | 53 | 0.0 | 272 | 240 |
| ESOP | 4 | 3 | 30 | 10.0 | 538 | 180 |
| FX | 2 | 0 | 159 | 0.0 | 120 | 120 |
| GAST | 4 | 6 | 63 | 9.5 | 276 | 180 |
| HER | 3 | 0 | 40 | 0.0 | 115 | 120 |
| HYST | 1 | 0 | 29 | 0.0 | 116 | 120 |
| MAST | 2 | 0 | 71 | 0.0 | 192 | 180 |
| OMS | 1 | 0 | 84 | 0.0 | 111 | 180 |
| ONS | 1 | 0 | 36 | 0.0 | 47 | 240 |
| REC | 5 | 9 | 57 | 15.8 | 378 | 180 |
| THOR | 4 | 1 | 102 | 1.0 | 276 | 180 |
| VS | 4 | 0 | 99 | 0.0 | 346 | 180 |

手術部位感染発生状況(全体データ)

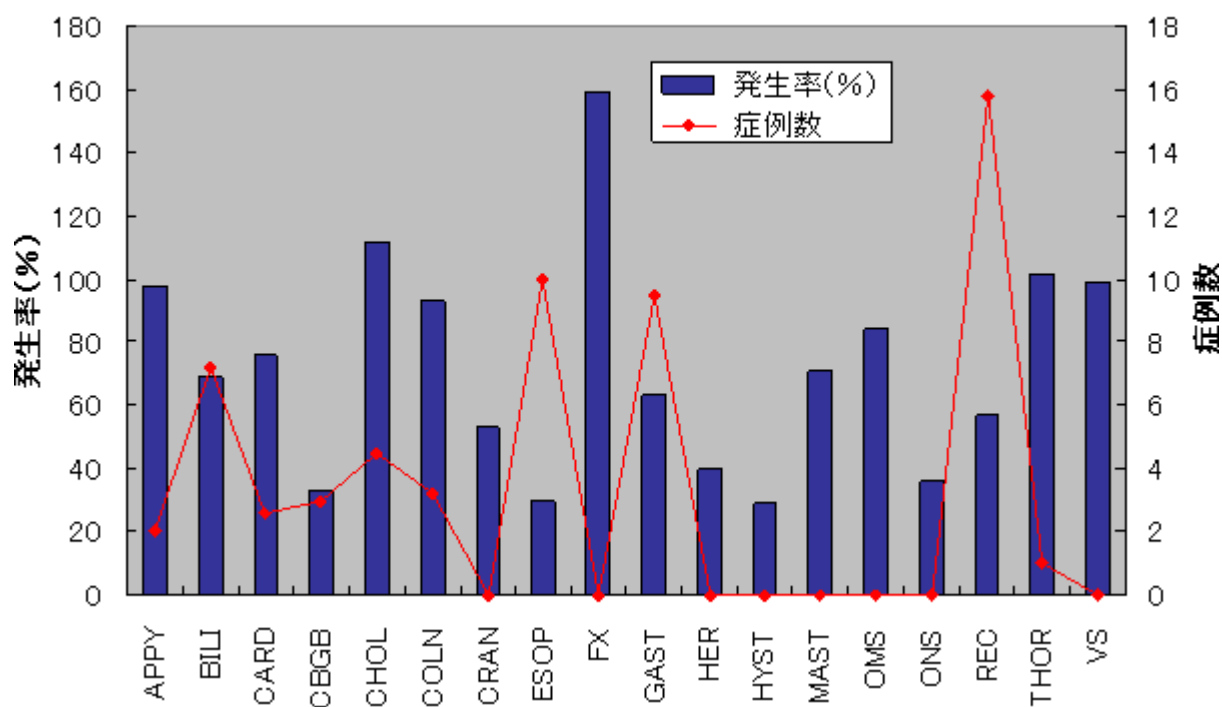
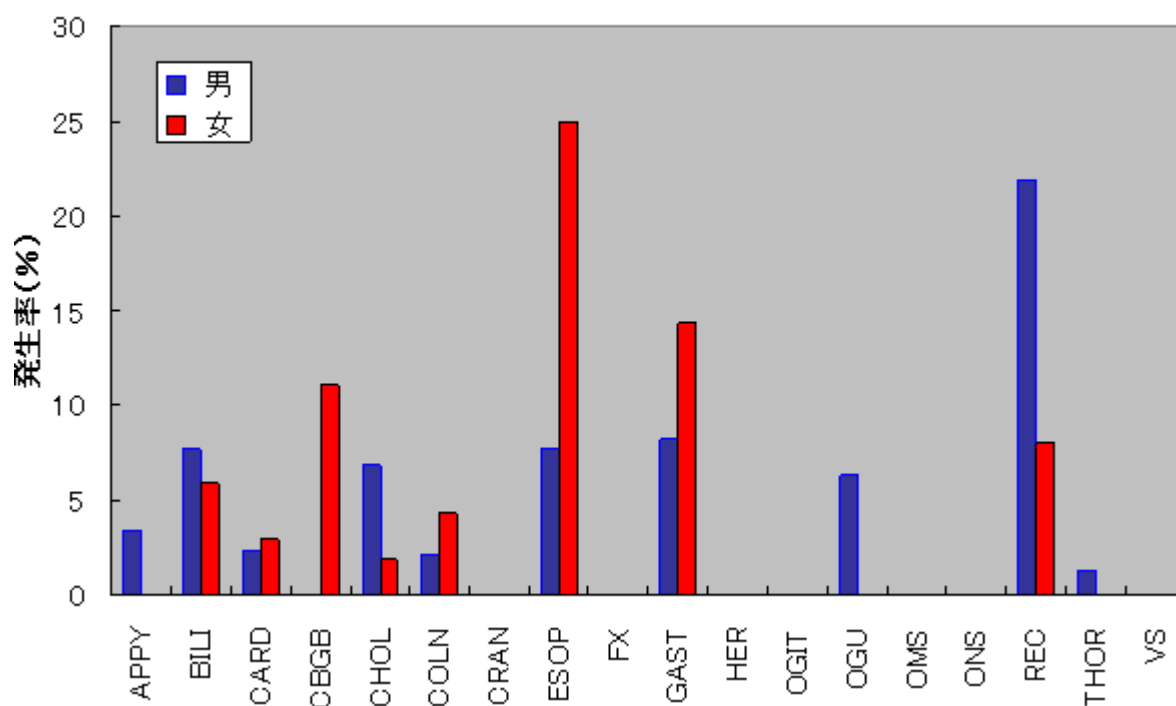


図 2 . 性別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 男 | | | 女 | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 2 | 59 | 3.4 | 0 | 39 | 0.0 |
| BILI | 4 | 52 | 7.7 | 1 | 17 | 5.9 |
| CARD | 1 | 43 | 2.3 | 1 | 33 | 3.0 |
| CBGB | 0 | 24 | 0.0 | 1 | 9 | 11.1 |
| CHOL | 4 | 59 | 6.8 | 1 | 53 | 1.9 |
| COLN | 1 | 47 | 2.1 | 2 | 46 | 4.3 |
| CRAN | 0 | 28 | 0.0 | 0 | 25 | 0.0 |
| ESOP | 2 | 26 | 7.7 | 1 | 4 | 25.0 |
| FX | 0 | 75 | 0.0 | 0 | 84 | 0.0 |
| GAST | 4 | 49 | 8.2 | 2 | 14 | 14.3 |
| HER | 0 | 29 | 0.0 | 0 | 11 | 0.0 |
| OGIT | 0 | 21 | 0.0 | 0 | 8 | 0.0 |
| OGU | 1 | 16 | 6.3 | 0 | 10 | 0.0 |
| OMS | 0 | 59 | 0.0 | 0 | 25 | 0.0 |
| ONS | 0 | 23 | 0.0 | 0 | 13 | 0.0 |
| REC | 7 | 32 | 21.9 | 2 | 25 | 8.0 |
| THOR | 1 | 76 | 1.3 | 0 | 26 | 0.0 |
| VS | 0 | 77 | 0.0 | 0 | 22 | 0.0 |

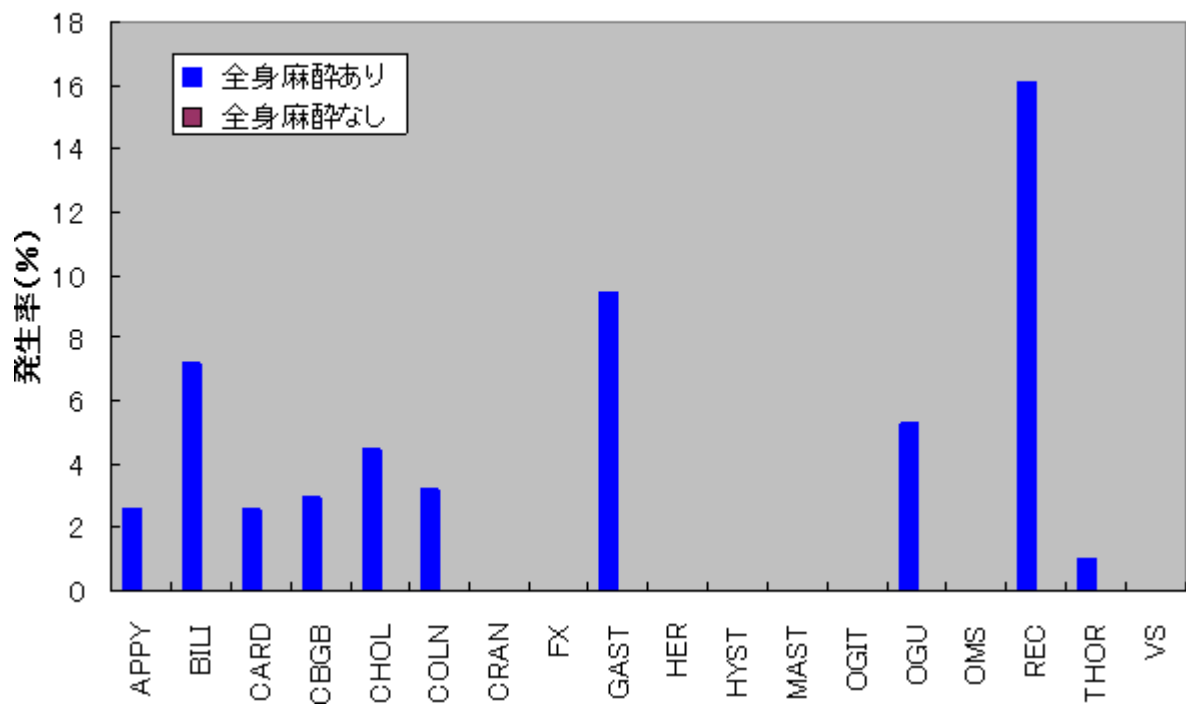
手術部位感染発生状況(性別)



2007/03/15 図3 . 全身麻酔有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 2 | 78 | 2.6 | 0 | 20 | 0.0 |
| BILI | 5 | 69 | 7.2 | - | - | - |
| CARD | 2 | 76 | 2.6 | - | - | - |
| CBGB | 1 | 33 | 3.0 | - | - | - |
| CHOL | 5 | 112 | 4.5 | - | - | - |
| COLN | 3 | 93 | 3.2 | - | - | - |
| CRAN | 0 | 53 | 0.0 | - | - | - |
| FX | 0 | 77 | 0.0 | 0 | 82 | 0.0 |
| GAST | 6 | 63 | 9.5 | - | - | - |
| HER | 0 | 26 | 0.0 | 0 | 14 | 0.0 |
| HYST | 0 | 28 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| MAST | 0 | 70 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| OGIT | 0 | 27 | 0.0 | 0 | 2 | 0.0 |
| OGU | 1 | 19 | 5.3 | 0 | 7 | 0.0 |
| OMS | 0 | 51 | 0.0 | 0 | 33 | 0.0 |
| REC | 9 | 56 | 16.1 | 0 | 1 | 0.0 |
| THOR | 1 | 102 | 1.0 | - | - | - |
| VS | 0 | 93 | 0.0 | 0 | 6 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(全身麻酔)



2007/03/15 図4 . 緊急手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 2 | 90 | 2.2 | 0 | 8 | 0.0 |
| BILI | 0 | 3 | 0.0 | 5 | 66 | 7.6 |
| CARD | 0 | 7 | 0.0 | 2 | 69 | 2.9 |
| CBGB | 0 | 9 | 0.0 | 1 | 24 | 4.2 |
| CHOL | 0 | 9 | 0.0 | 5 | 103 | 4.9 |
| COLN | 2 | 21 | 9.5 | 1 | 72 | 1.4 |
| CRAN | 0 | 38 | 0.0 | 0 | 15 | 0.0 |
| FX | 0 | 39 | 0.0 | 0 | 120 | 0.0 |
| GAST | 1 | 5 | 20.0 | 5 | 58 | 8.6 |
| HER | 0 | 10 | 0.0 | 0 | 30 | 0.0 |
| MAST | - | - | - | 0 | 71 | 0.0 |
| OGIT | 0 | 18 | 0.0 | 0 | 11 | 0.0 |
| OMS | 0 | 9 | 0.0 | 0 | 75 | 0.0 |
| ONS | 0 | 30 | 0.0 | 0 | 6 | 0.0 |
| REC | 1 | 2 | 50.0 | 8 | 55 | 14.5 |
| SB | 1 | 16 | 6.3 | 0 | 9 | 0.0 |
| THOR | 0 | 1 | 0.0 | 1 | 101 | 1.0 |
| VS | 0 | 19 | 0.0 | 0 | 80 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(緊急手術)

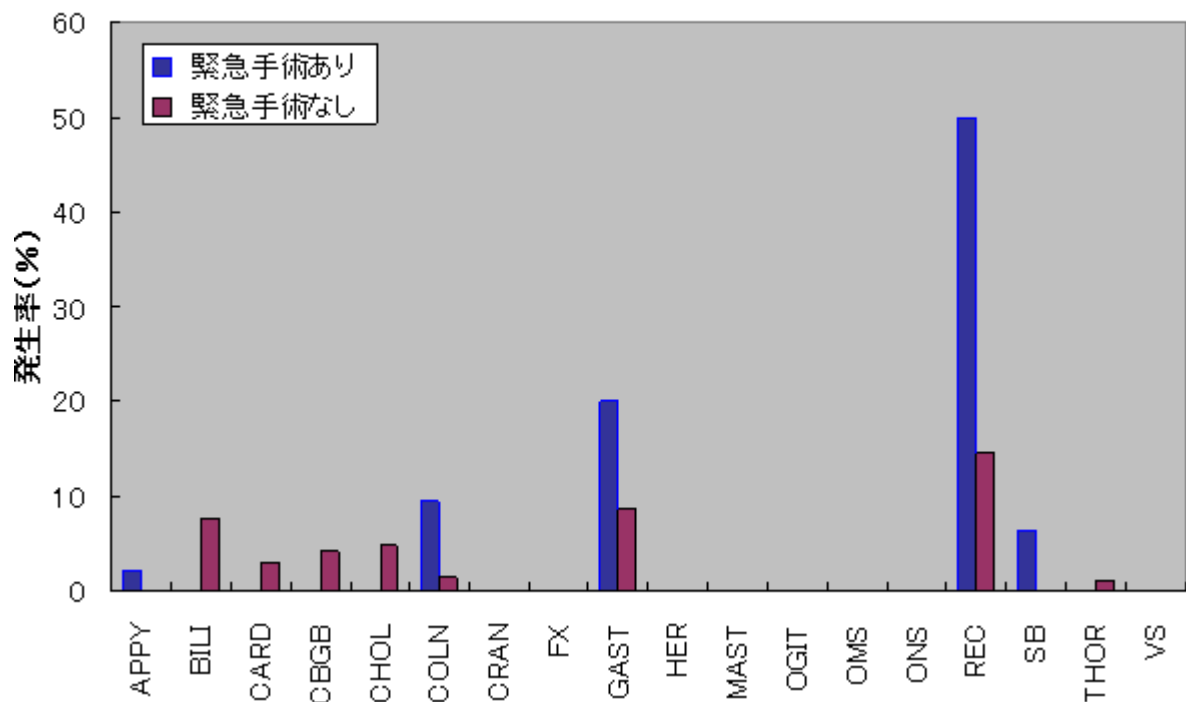


図5 . 外傷有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 97 | 2.1 |
| BILI | - | - | - | 5 | 69 | 7.2 |
| CARD | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 75 | 2.7 |
| CBGB | - | - | - | 1 | 33 | 3.0 |
| CHOL | - | - | - | 5 | 112 | 4.5 |
| COLN | 0 | 1 | 0.0 | 3 | 92 | 3.3 |
| CRAN | 0 | 4 | 0.0 | 0 | 49 | 0.0 |
| ESOP | - | - | - | 3 | 30 | 10.0 |
| FX | 0 | 27 | 0.0 | 0 | 132 | 0.0 |
| GAST | - | - | - | 6 | 63 | 9.5 |
| HER | - | - | - | 0 | 40 | 0.0 |
| HYST | - | - | - | 0 | 29 | 0.0 |
| MAST | - | - | - | 0 | 71 | 0.0 |
| OMS | 0 | 5 | 0.0 | 0 | 79 | 0.0 |
| ONS | - | - | - | 0 | 36 | 0.0 |
| REC | - | - | - | 9 | 57 | 15.8 |
| THOR | - | - | - | 1 | 102 | 1.0 |
| VS | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 98 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(外傷)

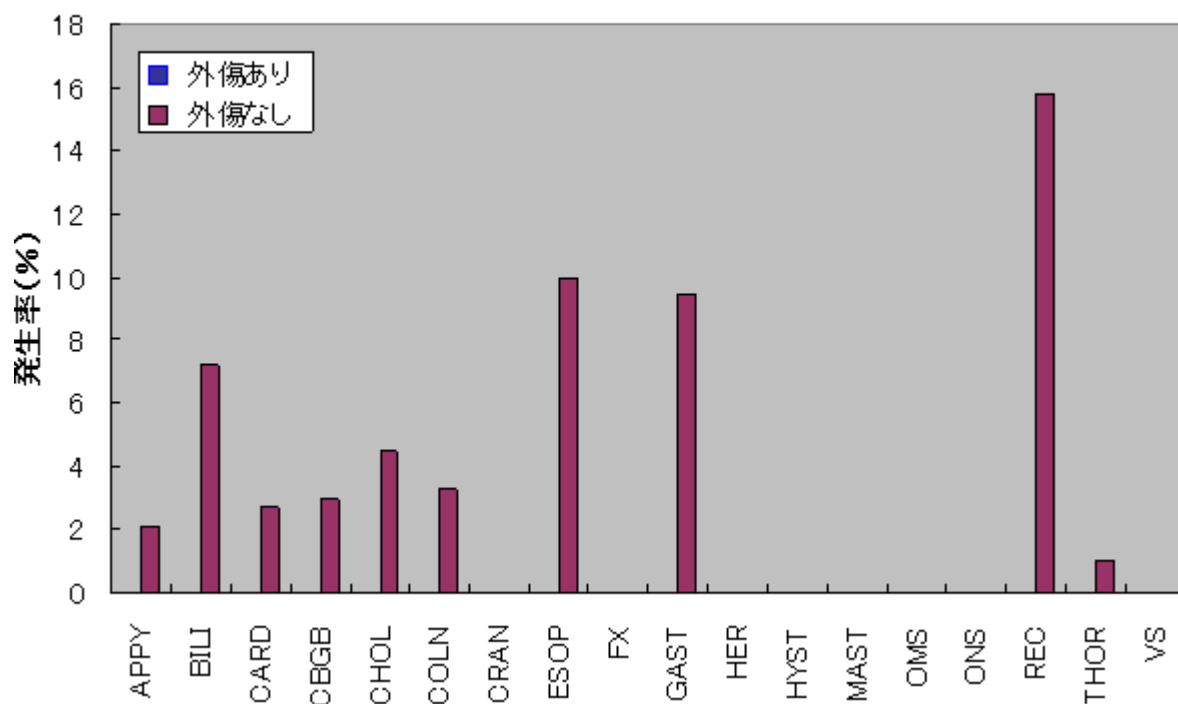


図6 . 埋入物有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 97 | 2.1 |
| BILI | 0 | 2 | 0.0 | 5 | 67 | 7.5 |
| CARD | 2 | 70 | 2.9 | 0 | 6 | 0.0 |
| CBGB | 1 | 32 | 3.1 | 0 | 1 | 0.0 |
| CHOL | 0 | 2 | 0.0 | 5 | 110 | 4.5 |
| COLN | 0 | 3 | 0.0 | 3 | 90 | 3.3 |
| CRAN | 0 | 47 | 0.0 | 0 | 6 | 0.0 |
| FX | 0 | 156 | 0.0 | 0 | 3 | 0.0 |
| GAST | 0 | 1 | 0.0 | 6 | 62 | 9.7 |
| HER | 0 | 29 | 0.0 | 0 | 11 | 0.0 |
| MAST | - | - | - | 0 | 71 | 0.0 |
| OCVS | 0 | 12 | 0.0 | 0 | 10 | 0.0 |
| OGU | 1 | 6 | 16.7 | 0 | 20 | 0.0 |
| OMS | 0 | 22 | 0.0 | 0 | 62 | 0.0 |
| ONS | 0 | 9 | 0.0 | 0 | 27 | 0.0 |
| REC | 2 | 7 | 28.6 | 7 | 50 | 14.0 |
| THOR | 0 | 12 | 0.0 | 1 | 90 | 1.1 |
| VS | 0 | 79 | 0.0 | 0 | 20 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(埋入物)

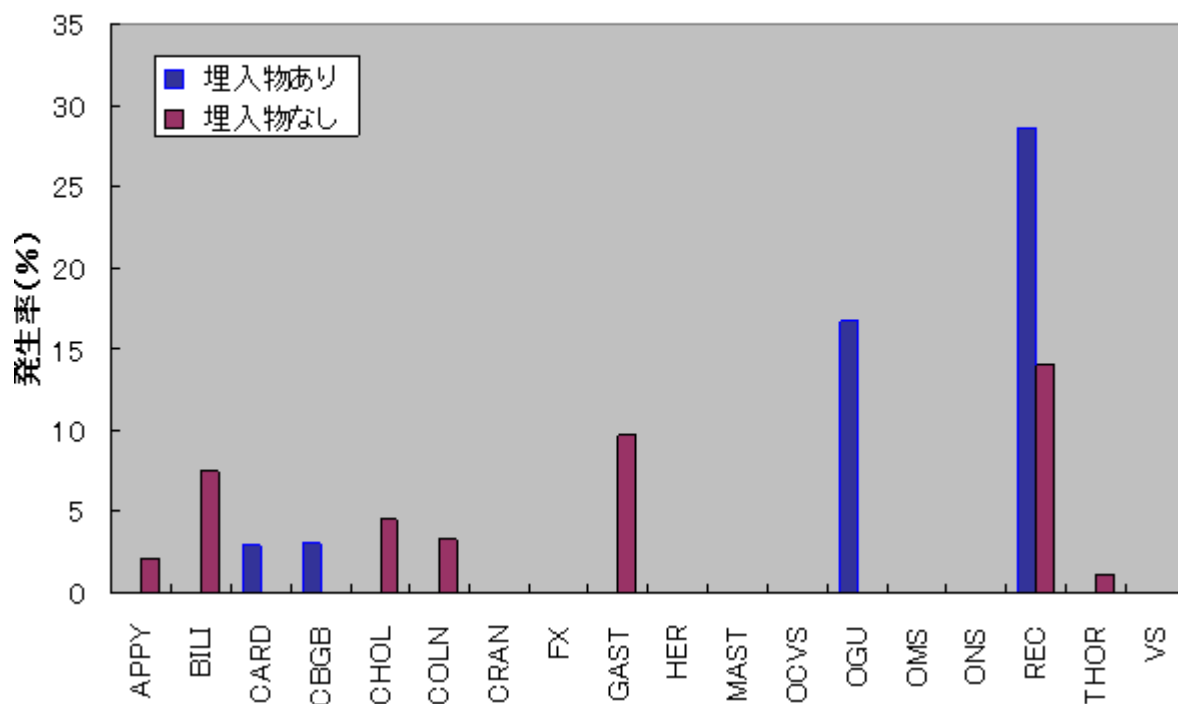
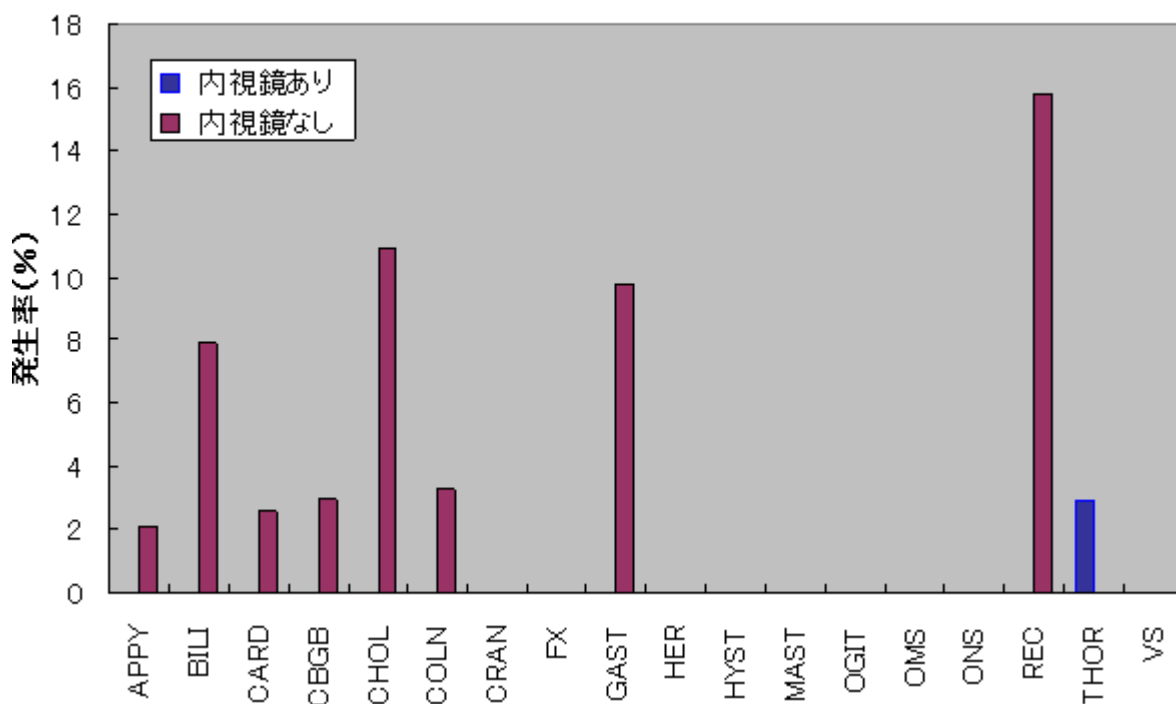


図7 . 内視鏡有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 97 | 2.1 |
| BILI | 0 | 6 | 0.0 | 5 | 63 | 7.9 |
| CARD | - | - | - | 2 | 76 | 2.6 |
| CBGB | - | - | - | 1 | 33 | 3.0 |
| CHOL | 0 | 66 | 0.0 | 5 | 46 | 10.9 |
| COLN | 0 | 2 | 0.0 | 3 | 91 | 3.3 |
| CRAN | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 52 | 0.0 |
| FX | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 158 | 0.0 |
| GAST | 0 | 2 | 0.0 | 6 | 61 | 9.8 |
| HER | - | - | - | 0 | 40 | 0.0 |
| HYST | - | - | - | 0 | 29 | 0.0 |
| MAST | - | - | - | 0 | 71 | 0.0 |
| OGIT | - | - | - | 0 | 29 | 0.0 |
| OMS | 0 | 8 | 0.0 | 0 | 76 | 0.0 |
| ONS | - | - | - | 0 | 36 | 0.0 |
| REC | - | - | - | 9 | 57 | 15.8 |
| THOR | 1 | 35 | 2.9 | 0 | 67 | 0.0 |
| VS | - | - | - | 0 | 99 | 0.0 |

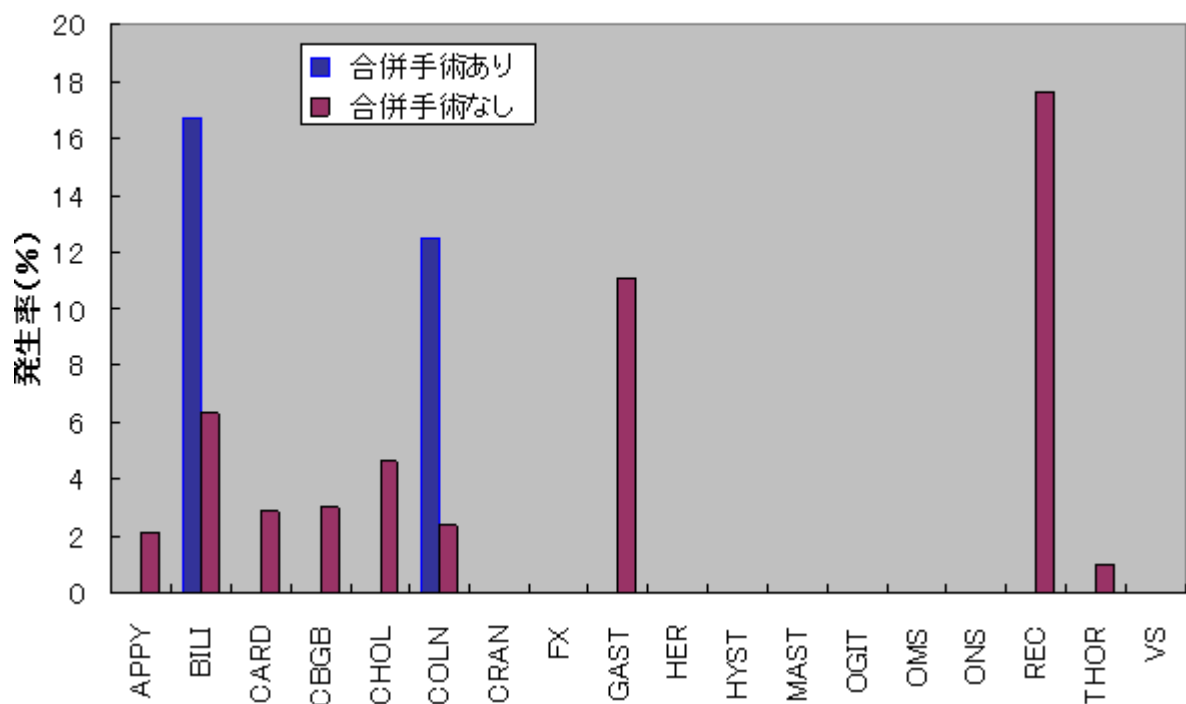
手術部位感染発生状況(内視鏡)



2007/03/15 図8 . 合併手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位20手術手技)

| 手術手技 | あり | | | なし | | |
|------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | 1 | 0.0 | 2 | 97 | 2.1 |
| BILI | 1 | 6 | 16.7 | 4 | 63 | 6.3 |
| CARD | 0 | 8 | 0.0 | 2 | 68 | 2.9 |
| CBGB | - | - | - | 1 | 33 | 3.0 |
| CHOL | 0 | 3 | 0.0 | 5 | 109 | 4.6 |
| COLN | 1 | 8 | 12.5 | 2 | 85 | 2.4 |
| CRAN | - | - | - | 0 | 53 | 0.0 |
| FX | 0 | 2 | 0.0 | 0 | 157 | 0.0 |
| GAST | 0 | 9 | 0.0 | 6 | 54 | 11.1 |
| HER | - | - | - | 0 | 40 | 0.0 |
| HYST | - | - | - | 0 | 29 | 0.0 |
| MAST | - | - | - | 0 | 71 | 0.0 |
| OGIT | - | - | - | 0 | 29 | 0.0 |
| OMS | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 83 | 0.0 |
| ONS | - | - | - | 0 | 36 | 0.0 |
| REC | 0 | 6 | 0.0 | 9 | 51 | 17.6 |
| THOR | 0 | 1 | 0.0 | 1 | 101 | 1.0 |
| VS | 0 | 4 | 0.0 | 0 | 95 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(合併手術)



手術部位感染（SSI）部門におけるサーベイランスは、外科手術患者でのSSI発生状況を把握し、その対策を支援する情報を還元することを目的としています。

SSI部門において参加施設は、サーベイランスの対象とする手術手技を決定し、その手術手技に該当する手術に関する基礎的データ（手術時間、創分類、ASA スコア、他）を収集しています。術後原則としてSSI発生の有無に関する30日間の経過観察を行ないます。感染の兆候が疑われる症例に関しては、SSIの判定基準（米国CDCの院内感染診断基準）に基づきSSIか否かを判定します。SSIと判定した場合は、その発生に関するより詳細な情報を収集します。

参加各施設はこれらのデータを決められたフォーマットにより事業へ提出します。事業では、これらを解析し、以下に示すようなフィードバックを各施設に対して行なっています。ここで紹介しているのは全施設合計の解析結果です。

- [図1](#) 手術手技別SSI発生状況
- [図2](#) 性別手術手技別SSI発生状況
- [図3](#) 全身麻酔有無別手術手技別SSI発生状況
- [図4](#) 緊急手術有無別手術手技別SSI発生状況
- [図5](#) 外傷有無別手術手技別SSI発生状況
- [図6](#) 埋入物有無別手術手技別SSI発生状況
- [図7](#) 腹腔鏡使用有無別手術手技別SSI発生状況
- [図8](#) 合併手術有無別手術部位別SSI発生状況

参加各施設には同様の解析を施設ごとに行ない、結果を提供しています。各施設においては、フィードバックされた結果に基づき、SSIに関する自施設のパフォーマンス評価やその改善を行なっています。

2006年・年報（1-12月）では12施設から提供された4,198例のデータについて、集計・解析を行いました。

図1. 手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 施設数 | 発生数 | 症例数 | 発生率 (%) | JNIS手術時間 75%パーセンタイル値 (分) | NNIS手術時間 カットオフポイント値 (分) |
|------|-----|-----|-----|---------|-----------------------------|----------------------------|
| APPY | 8 | 7 | 178 | 3.9 | 87 | 60 |
| BILI | 7 | 18 | 199 | 9 | 474 | 300 |
| CARD | 4 | 2 | 155 | 1.3 | 390 | 300 |
| CBGB | 4 | 2 | 89 | 2.2 | 462 | 300 |
| CHOL | 7 | 9 | 307 | 2.9 | 151 | 120 |
| COLN | 9 | 29 | 320 | 9.1 | 222 | 180 |
| CRAN | 2 | 0 | 114 | 0 | 294 | 240 |
| FX | 3 | 0 | 335 | 0 | 120 | 120 |
| GAST | 8 | 20 | 265 | 7.5 | 262 | 180 |
| HER | 7 | 3 | 166 | 1.8 | 106 | 120 |
| KPRO | 3 | 0 | 101 | 0 | 140 | 120 |
| LAM | 3 | 4 | 103 | 3.9 | 132 | 120 |
| MAST | 3 | 0 | 122 | 0 | 186 | 180 |
| OGIT | 4 | 3 | 91 | 3.3 | 112 | 120 |
| OMS | 1 | 0 | 187 | 0 | 94 | 180 |
| REC | 9 | 35 | 179 | 19.6 | 332 | 180 |
| THOR | 5 | 3 | 256 | 1.2 | 286 | 180 |
| VS | 4 | 2 | 185 | 1.1 | 370 | 180 |

手術部位感染発生状況

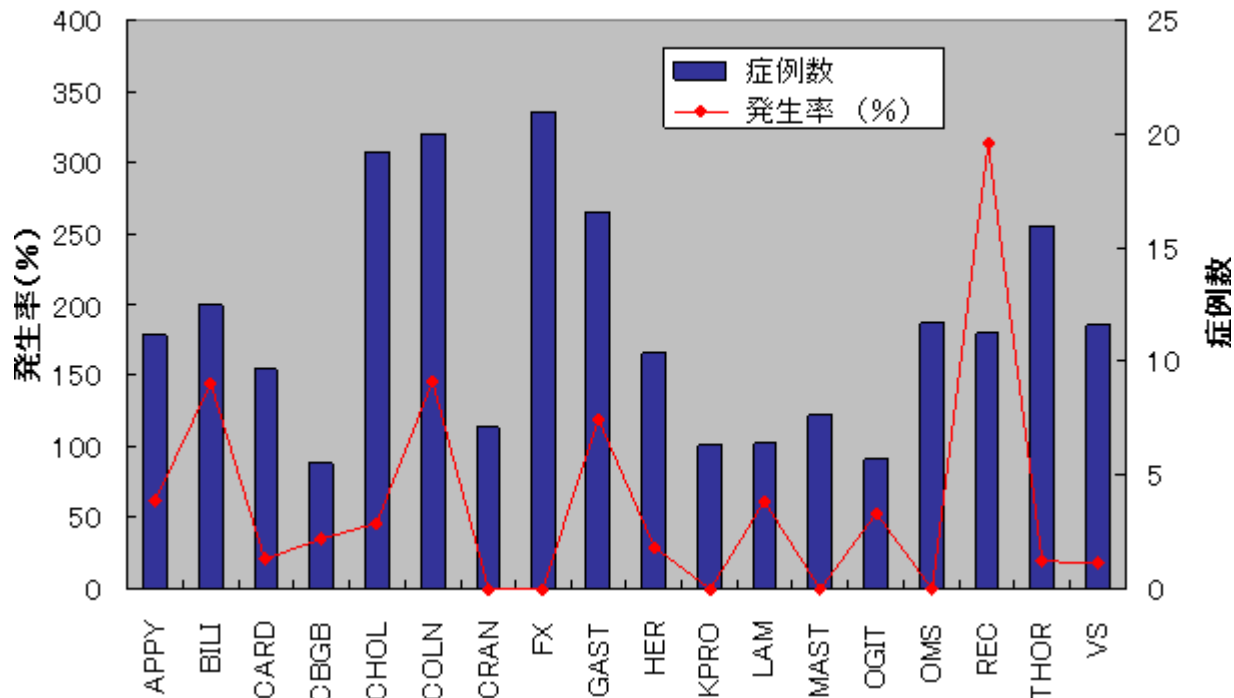


図 2 . 性別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 男 | | | 女 | | |
|------|---------|-----|---------|---------|-----|---------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率 (%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率 (%) |
| APPY | 6 | 101 | 5.9 | 1 | 77 | 1.3 |
| BILI | 16 | 139 | 11.5 | 2 | 60 | 3.3 |
| CARD | 1 | 91 | 1.1 | 1 | 64 | 1.6 |
| CBGB | 0 | 68 | 0 | 2 | 21 | 9.5 |
| CHOL | 7 | 168 | 4.2 | 2 | 139 | 1.4 |
| COLN | 17 | 178 | 9.6 | 12 | 142 | 8.5 |
| CRAN | 0 | 54 | 0 | 0 | 60 | 0 |
| ESOP | 11 | 61 | 18 | 1 | 9 | 11.1 |
| FX | 0 | 182 | 0 | 0 | 153 | 0 |
| GAST | 14 | 192 | 7.3 | 6 | 73 | 8.2 |
| HER | 2 | 122 | 1.6 | 1 | 44 | 2.3 |
| LAM | 4 | 75 | 5.3 | 0 | 28 | 0 |
| OGIT | 3 | 63 | 4.8 | 0 | 28 | 0 |
| OMS | 0 | 121 | 0 | 0 | 66 | 0 |
| ONS | 0 | 51 | 0 | 0 | 28 | 0 |
| REC | 27 | 105 | 25.7 | 8 | 74 | 10.8 |
| THOR | 2 | 174 | 1.1 | 1 | 82 | 1.2 |
| VS | 0 | 141 | 0 | 2 | 44 | 4.5 |

手術部位感染発生状況(性別)

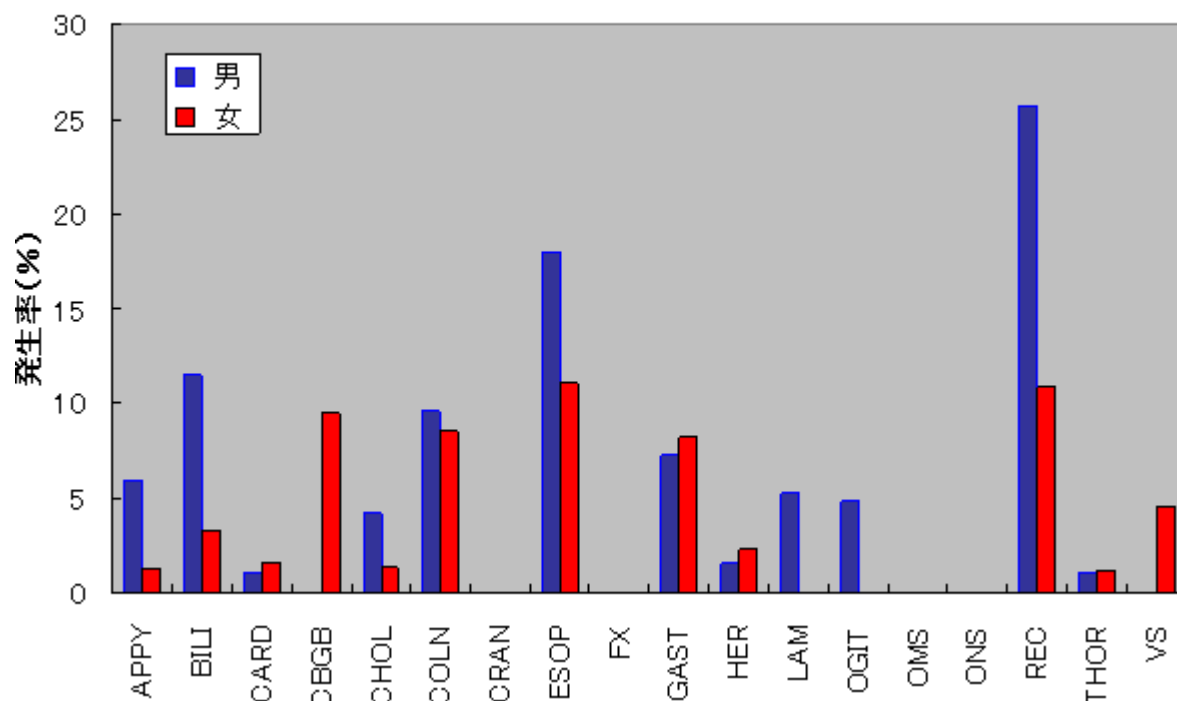


図3 . 全身麻酔有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 全身麻酔あり | | | 全身麻酔なし | | |
|------|---------|-----|---------|---------|-----|---------|
| | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率 (%) | 発生数 SSI | 症例数 | 発生率 (%) |
| APPY | 6 | 140 | 4.3 | 1 | 38 | 2.6 |
| BILI | 18 | 199 | 9.0 | - | - | - |
| CARD | 2 | 154 | 1.3 | 0 | 1 | 0.0 |
| CBGB | 2 | 89 | 2.2 | - | - | - |
| CHOL | 9 | 307 | 2.9 | - | - | - |
| COLN | 29 | 319 | 9.1 | 0 | 1 | 0.0 |
| CRAN | 0 | 113 | 0.0 | 0 | 1 | 0.0 |
| FX | 0 | 169 | 0.0 | 0 | 166 | 0.0 |
| GAST | 20 | 265 | 7.5 | - | - | - |
| HER | 3 | 80 | 3.8 | 0 | 86 | 0.0 |
| KPRO | 0 | 74 | 0.0 | 0 | 27 | 0.0 |
| LAM | 4 | 103 | 3.9 | - | - | - |
| MAST | 0 | 120 | 0.0 | 0 | 2 | 0.0 |
| OGIT | 3 | 84 | 3.6 | 0 | 7 | 0.0 |
| OMS | 0 | 81 | 0.0 | 0 | 106 | 0.0 |
| REC | 35 | 177 | 19.8 | 0 | 2 | 0.0 |
| THOR | 3 | 256 | 1.2 | - | - | - |
| VS | 2 | 166 | 1.2 | 0 | 19 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(全身麻酔)

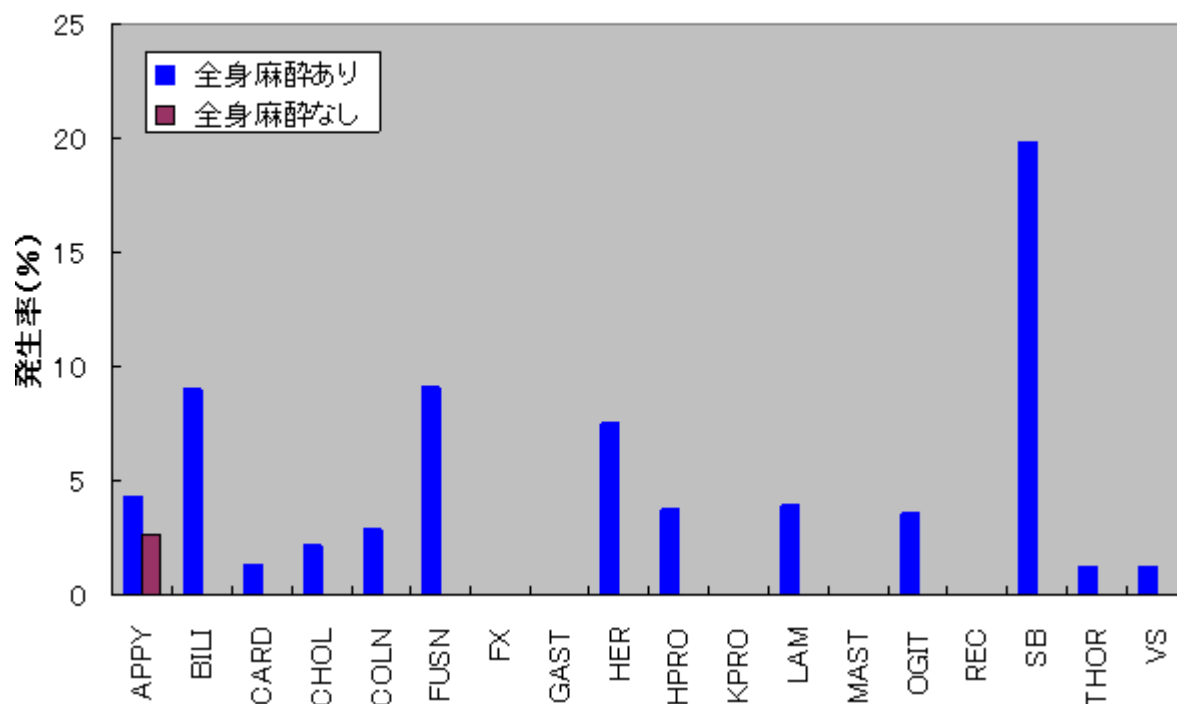


図4 . 緊急手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 緊急手術あり | | | 緊急手術なし | | | | |
|------|--------|-----|-----|---------|-----|-----|-----|---------|
| | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率 (%) | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率 (%) |
| APPY | 7 | | 162 | 4.3 | 0 | | 16 | 0.0 |
| BILI | 0 | | 8 | 0.0 | 18 | | 191 | 9.4 |
| CARD | 0 | | 15 | 0.0 | 2 | | 140 | 1.4 |
| CBGB | 0 | | 16 | 0.0 | 2 | | 73 | 2.7 |
| CHOL | 1 | | 19 | 5.3 | 8 | | 288 | 2.8 |
| COLN | 6 | | 46 | 13.0 | 23 | | 274 | 8.4 |
| ESOP | 0 | | 1 | 0.0 | 12 | | 69 | 17.4 |
| FX | 0 | | 74 | 0.0 | 0 | | 261 | 0.0 |
| GAST | 2 | | 9 | 22.2 | 18 | | 256 | 7.0 |
| HER | 0 | | 18 | 0.0 | 3 | | 148 | 2.0 |
| KPRO | - | | - | - | 0 | | 101 | 0.0 |
| LAM | 0 | | 1 | 0.0 | 4 | | 102 | 3.9 |
| MAST | - | | - | - | 0 | | 122 | 0.0 |
| OMS | 0 | | 20 | 0.0 | 0 | | 167 | 0.0 |
| ONS | 0 | | 55 | 0.0 | 0 | | 24 | 0.0 |
| REC | 1 | | 4 | 25.0 | 34 | | 175 | 19.4 |
| THOR | 0 | | 8 | 0.0 | 3 | | 248 | 1.2 |
| VS | 2 | | 50 | 4.0 | 0 | | 135 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(緊急手術)

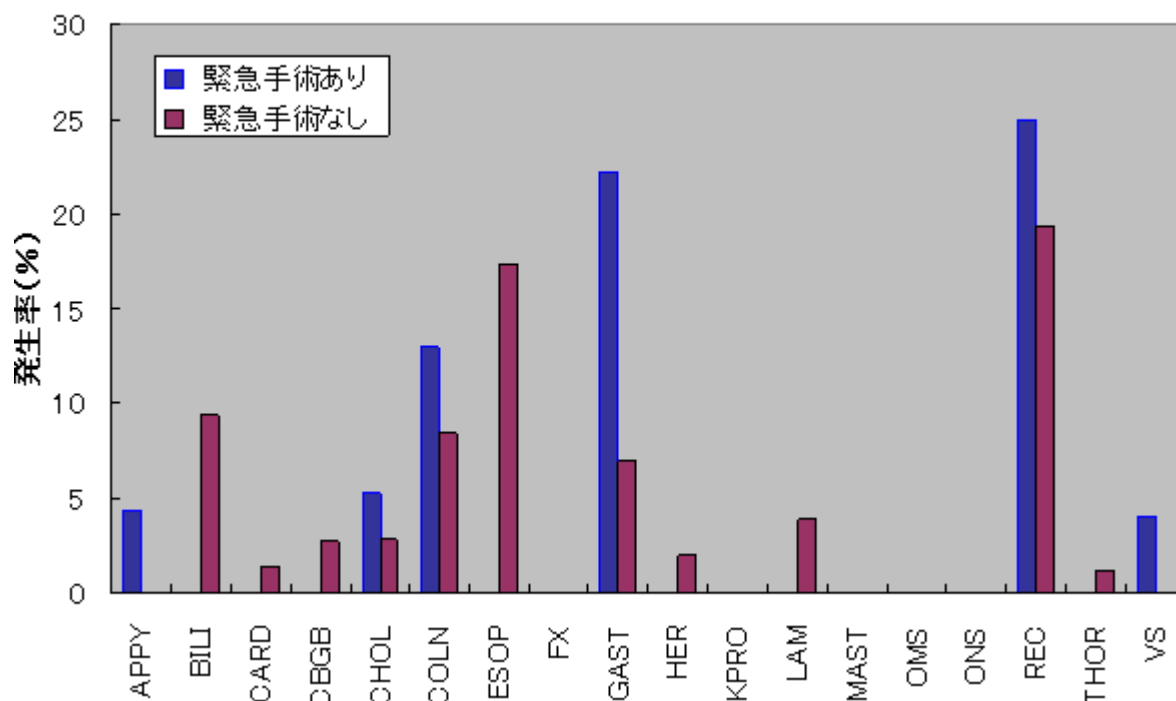


図5．外傷有無別手術部位別感染発生状況（症例数上位18手術手技）

| 手術手技 | 外傷あり | | | 外傷なし | | | | |
|------|------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|
| | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | | 1 | 0.0 | 7 | | 177 | 4.0 |
| BILI | 0 | | 2 | 0.0 | 18 | | 197 | 9.1 |
| CARD | 0 | | 1 | 0.0 | 2 | | 154 | 1.3 |
| CBGB | - | | - | - | 2 | | 89 | 2.2 |
| CHOL | - | | - | - | 9 | | 307 | 2.9 |
| COLN | 0 | | 3 | 0.0 | 29 | | 317 | 9.1 |
| CRAN | 0 | | 8 | 0.0 | 0 | | 106 | 0.0 |
| FX | 0 | | 40 | 0.0 | 0 | | 295 | 0.0 |
| GAST | - | | - | - | 20 | | 265 | 7.5 |
| HER | - | | - | - | 3 | | 166 | 1.8 |
| KPRO | - | | - | - | 0 | | 101 | 0.0 |
| LAM | - | | - | - | 4 | | 103 | 3.9 |
| MAST | - | | - | - | 0 | | 122 | 0.0 |
| OGIT | 0 | | 2 | 0.0 | 3 | | 89 | 3.4 |
| OMS | 0 | | 16 | 0.0 | 0 | | 171 | 0.0 |
| REC | - | | - | - | 35 | | 179 | 19.6 |
| THOR | - | | - | - | 3 | | 256 | 1.2 |
| VS | 0 | | 2 | 0.0 | 2 | | 183 | 1.1 |

手術部位感染発生状況(外傷)

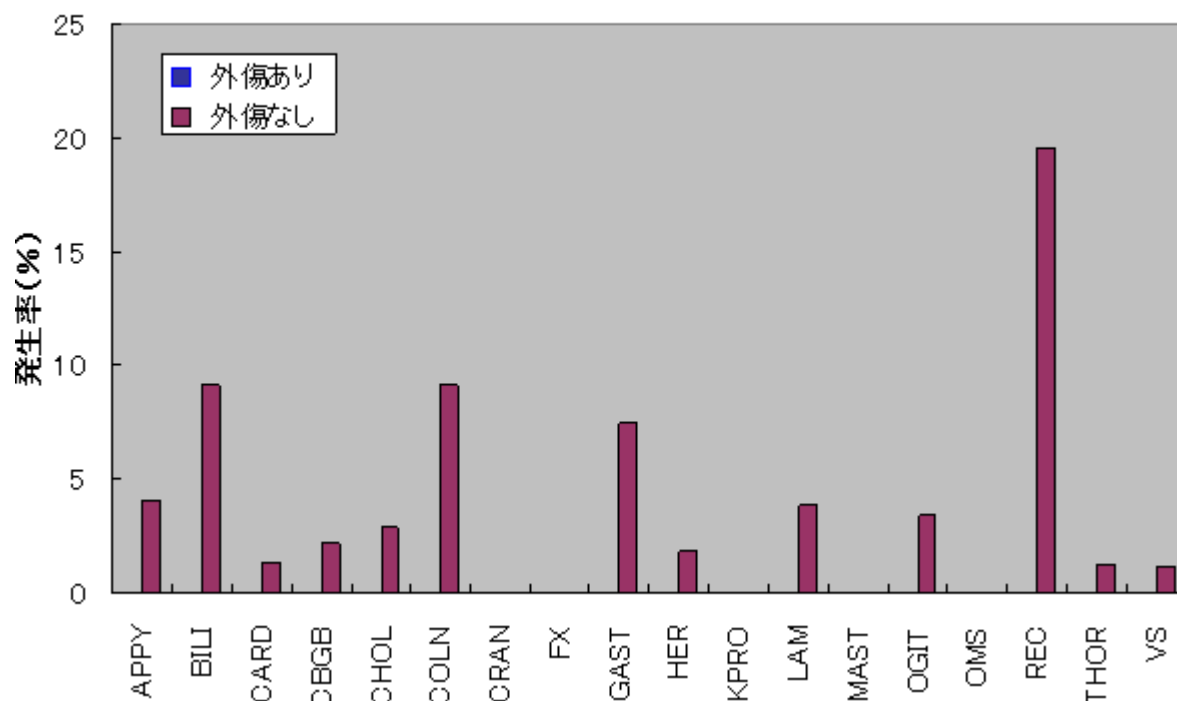


図6. 埋入物有無別手術部位別感染発生状況(症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 埋入物あり | | | 埋入物なし | | | | |
|------|-------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|
| | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | | 1 | 0.0 | 7 | | 177 | 4.0 |
| BILI | 0 | | 2 | 0.0 | 18 | | 197 | 9.1 |
| CARD | 2 | | 143 | 1.4 | 0 | | 12 | 0.0 |
| CBGB | 2 | | 79 | 2.5 | 0 | | 10 | 0.0 |
| CBGC | 3 | | 53 | 5.7 | 0 | | 4 | 0.0 |
| CHOL | 0 | | 3 | 0.0 | 9 | | 304 | 3.0 |
| COLN | 0 | | 4 | 0.0 | 29 | | 316 | 9.2 |
| CRAN | 0 | | 97 | 0.0 | 0 | | 17 | 0.0 |
| FX | 0 | | 323 | 0.0 | 0 | | 12 | 0.0 |
| GAST | 0 | | 1 | 0.0 | 20 | | 264 | 7.6 |
| HER | 2 | | 125 | 1.6 | 1 | | 41 | 2.4 |
| KPRO | 0 | | 99 | 0.0 | 0 | | 2 | 0.0 |
| LAM | 2 | | 23 | 8.7 | 2 | | 80 | 2.5 |
| MAST | - | | - | - | 0 | | 122 | 0.0 |
| OMS | 0 | | 51 | 0.0 | 0 | | 136 | 0.0 |
| REC | 3 | | 10 | 30.0 | 32 | | 169 | 18.9 |
| THOR | 1 | | 45 | 2.2 | 2 | | 211 | 0.9 |
| VS | 2 | | 135 | 1.5 | 0 | | 50 | 0.0 |

手術部位感染発生状況(埋入物)

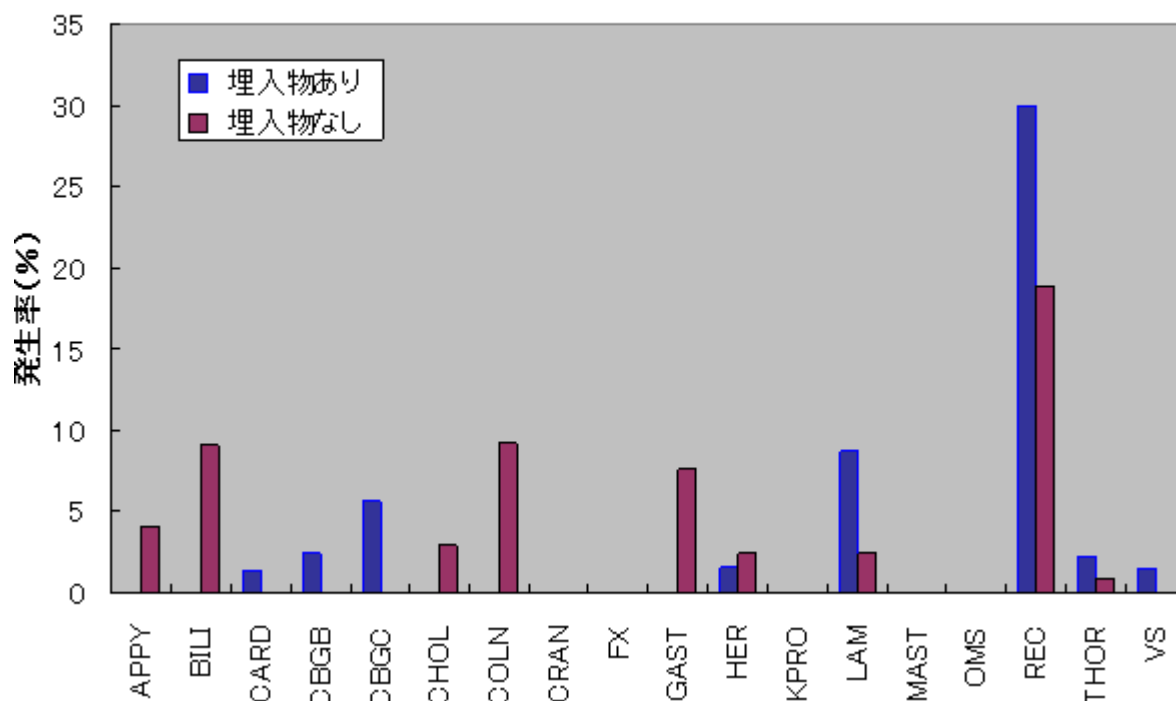


図7. 内視鏡有無別手術部位別感染発生状況（症例数上位18手術手技）

| 手術手技 | 内視鏡あり | | | 内視鏡なし | | | | |
|------|-------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|--------|
| | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率(%) |
| APPY | 0 | | 2 | 0.0 | 7 | | 176 | 4.0 |
| BILI | 0 | | 11 | 0.0 | 18 | | 188 | 9.6 |
| CARD | - | | - | - | 2 | | 155 | 1.3 |
| CBGB | - | | - | - | 2 | | 89 | 2.2 |
| CHOL | 1 | | 208 | 0.5 | 8 | | 99 | 8.1 |
| COLN | 3 | | 44 | 6.8 | 26 | | 276 | 9.4 |
| CRAN | 0 | | 1 | 0.0 | 0 | | 113 | 0.0 |
| FX | 0 | | 1 | 0.0 | 0 | | 334 | 0.0 |
| GAST | 0 | | 13 | 0.0 | 20 | | 252 | 7.9 |
| HER | 0 | | 2 | 0.0 | 3 | | 164 | 1.8 |
| KPRO | - | | - | - | 0 | | 101 | 0.0 |
| LAM | 0 | | 1 | 0.0 | 4 | | 102 | 3.9 |
| MAST | - | | - | - | 0 | | 122 | 0.0 |
| OGIT | 0 | | 1 | 0.0 | 3 | | 90 | 3.3 |
| OMS | 0 | | 25 | 0.0 | 0 | | 162 | 0.0 |
| REC | 2 | | 18 | 11.1 | 33 | | 161 | 20.5 |
| THOR | 2 | | 92 | 2.2 | 1 | | 164 | 0.6 |
| VS | - | | - | - | 2 | | 185 | 1.1 |

手術部位感染発生状況(内視鏡)

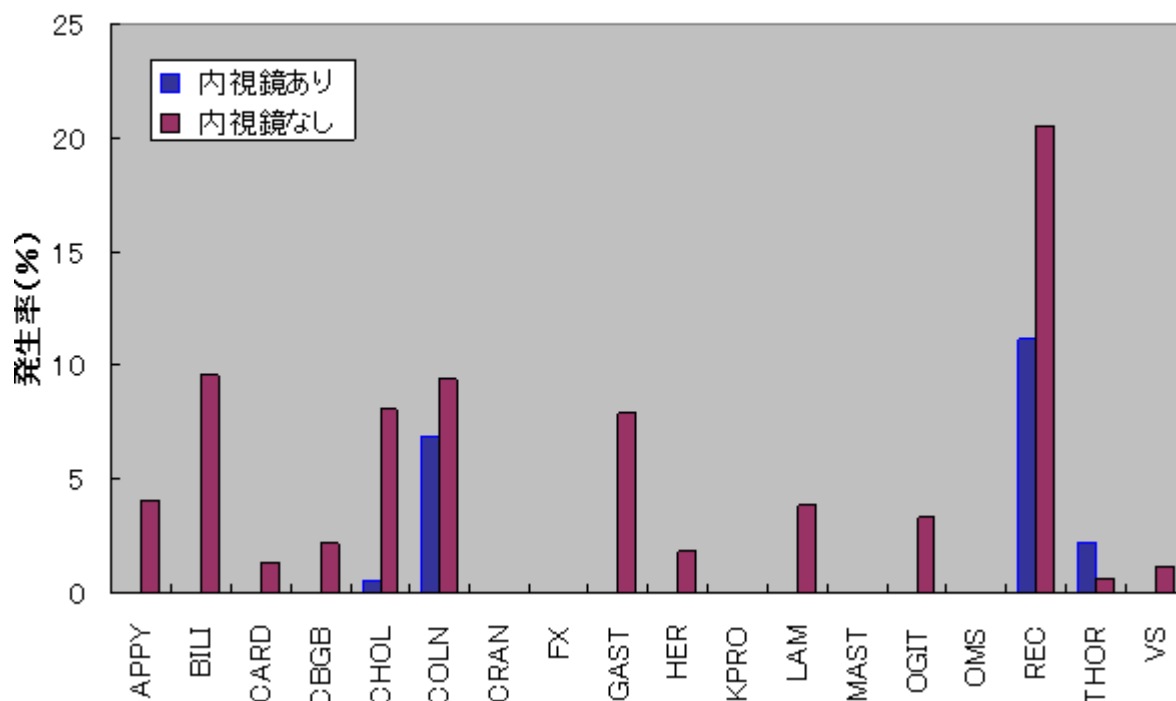


図8 . 合併手術有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位18手術手技)

| 手術手技 | 合併手術あり | | | 合併手術なし | | | | |
|------|--------|-----|-----|---------|-----|-----|-----|---------|
| | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率 (%) | 発生数 | SSI | 症例数 | 発生率 (%) |
| APPY | 0 | | 4 | 0.0 | 7 | | 174 | 4.0 |
| BILI | 3 | | 22 | 13.6 | 15 | | 177 | 8.5 |
| CARD | 0 | | 12 | 0.0 | 2 | | 143 | 1.4 |
| CBGB | 0 | | 3 | 0.0 | 2 | | 86 | 2.3 |
| CHOL | 0 | | 9 | 0.0 | 9 | | 298 | 3.0 |
| COLN | 3 | | 38 | 7.9 | 26 | | 282 | 9.2 |
| CRAN | - | | - | - | 0 | | 114 | 0.0 |
| FX | 0 | | 4 | 0.0 | 0 | | 331 | 0.0 |
| GAST | 5 | | 43 | 11.6 | 15 | | 222 | 6.8 |
| HER | 0 | | 2 | 0.0 | 3 | | 164 | 1.8 |
| KPRO | - | | - | - | 0 | | 101 | 0.0 |
| LAM | - | | - | - | 4 | | 103 | 3.9 |
| MAST | 0 | | 1 | 0.0 | 0 | | 121 | 0.0 |
| OGIT | 0 | | 2 | 0.0 | 3 | | 89 | 3.4 |
| OMS | 0 | | 1 | 0.0 | 0 | | 186 | 0.0 |
| REC | 4 | | 19 | 21.1 | 31 | | 160 | 19.4 |
| THOR | 0 | | 3 | 0.0 | 3 | | 253 | 1.2 |
| VS | 0 | | 9 | 0.0 | 2 | | 176 | 1.1 |

手術部位感染発生状況(合併手術)

